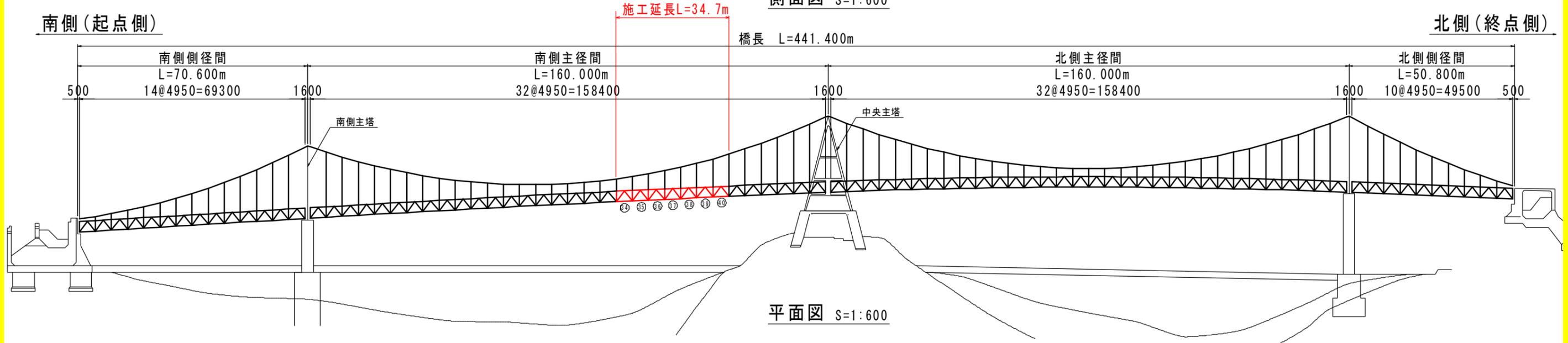
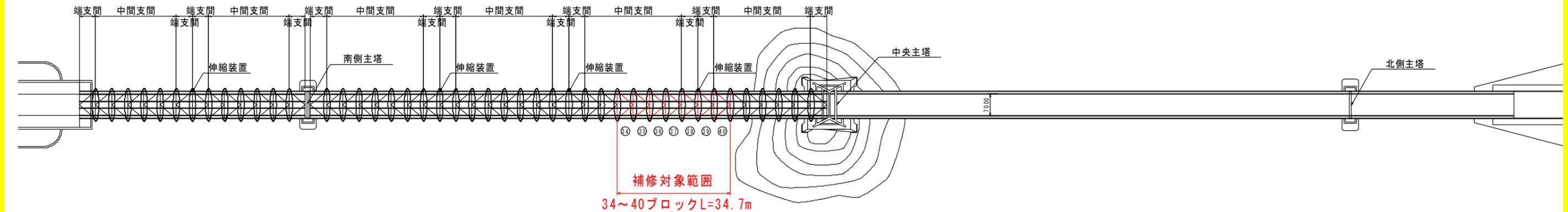


全体補修一般図

側面図 S=1:600

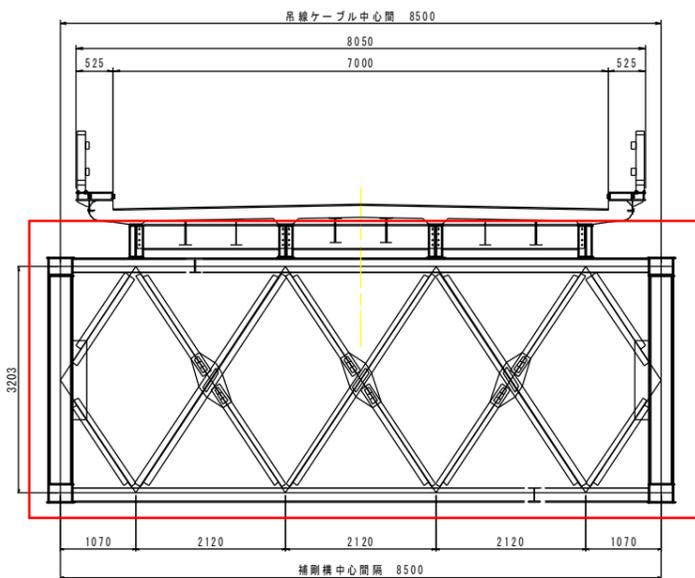


平面図 S=1:600



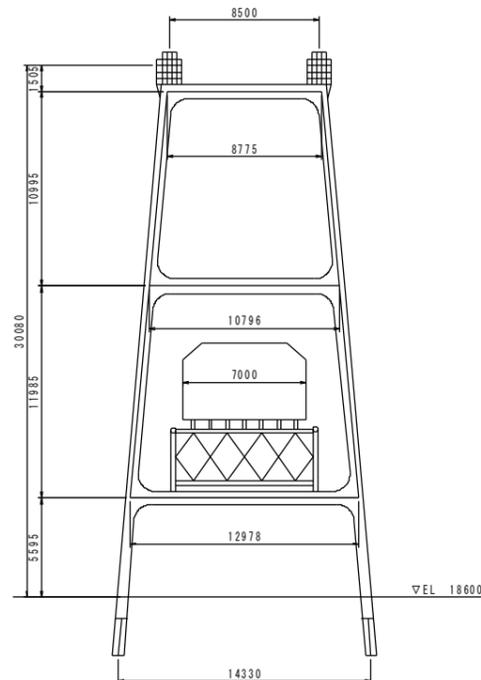
補剛トラス断面 S=1:50

左側



右側

中央塔柱 S=1:200



<凡例>
 補修対象箇所を示す

橋梁諸元

橋長	441.4 m
支間長	70.6+160.0+160.0+50.8
有効幅員	7.0 m
型式	4径間補剛吊桁(自碇式)
設計荷重	TL-20
横断勾配	2%放物線勾配
縦断勾配	6% / ~2% / ~4%

表 補修対策一覧

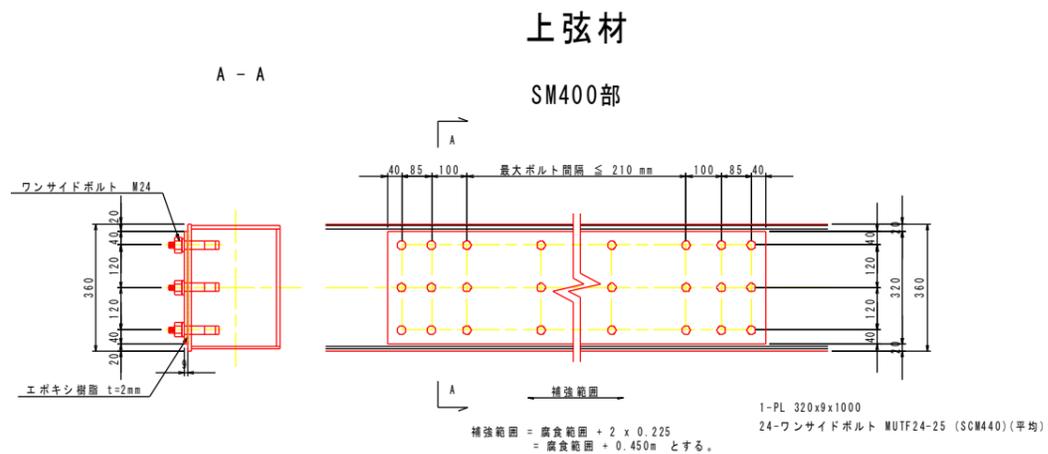
補修箇所	補修工法
主構(上下弦材, 斜材, 垂直材)	パテ整形+再塗装 あて板補修
対傾構(上下弦材)	パテ整形+再塗装 あて板補修
対傾構(斜材)	パテ整形+再塗装 あて板補修
上横構	部材取替
下横構	部材取替
ガセットプレート	部材取替
縦桁・横桁	パテ整形+再塗装 あて板補修

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	全体補修一般図
縮尺	S=1:600 図面番号 1 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

主構補強詳細図(その1) S=1:10

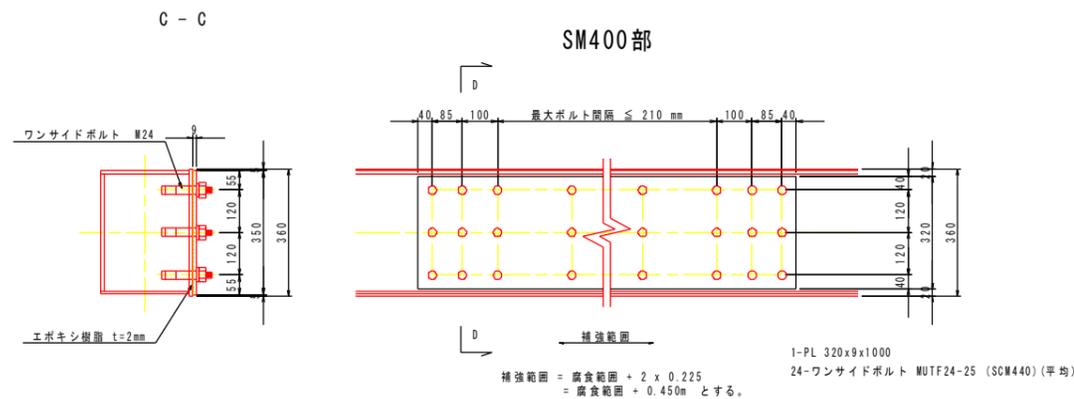
上弦材-下弦材

塗装要領図



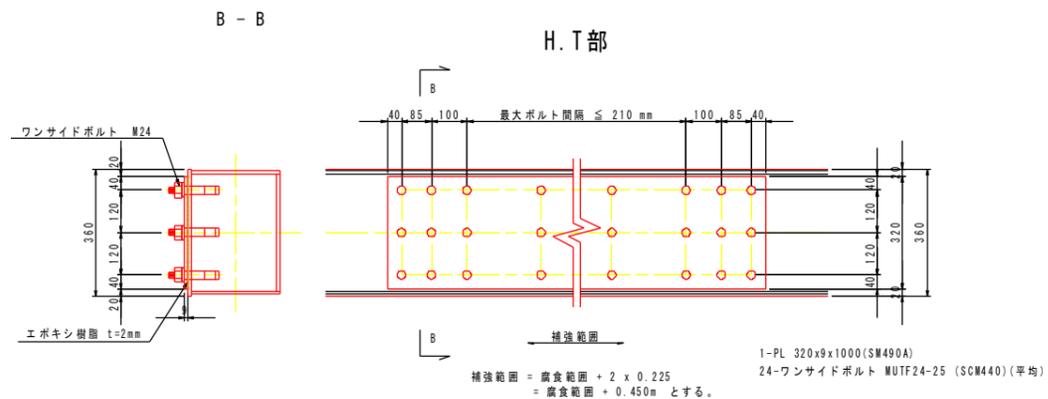
上弦材 [1] 補修数量 1m当り

鋼材数量	39 kg	素地調整	0.382 m ²
ボルト数量	24 本	孔明工	24 ヶ
		不陸調整材	1.088 kg
		現場塗装工	0.382 m ²



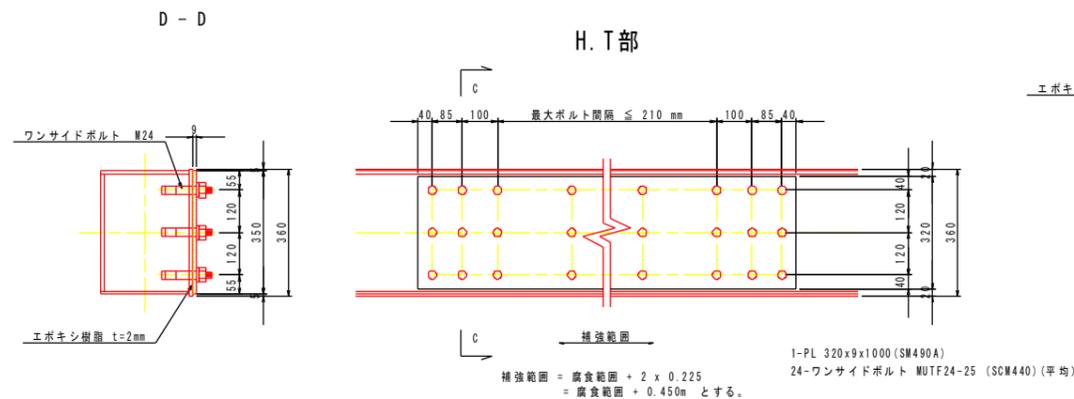
下弦材 [1] 補修数量 1m当り

鋼材数量	39 kg	素地調整	0.382 m ²
ボルト数量	24 本	孔明工	24 ヶ
		不陸調整材	1.088 kg
		現場塗装工	0.382 m ²



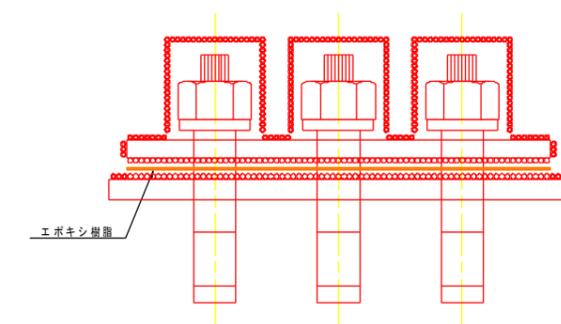
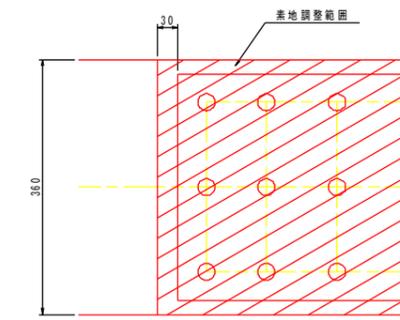
上弦材 [1] 補修数量 1m当り

鋼材数量	39 kg	素地調整	0.382 m ²
ボルト数量	24 本	孔明工	24 ヶ
		不陸調整材	1.088 kg
		現場塗装工	0.382 m ²



下弦材 [1] 補修数量 1m当り

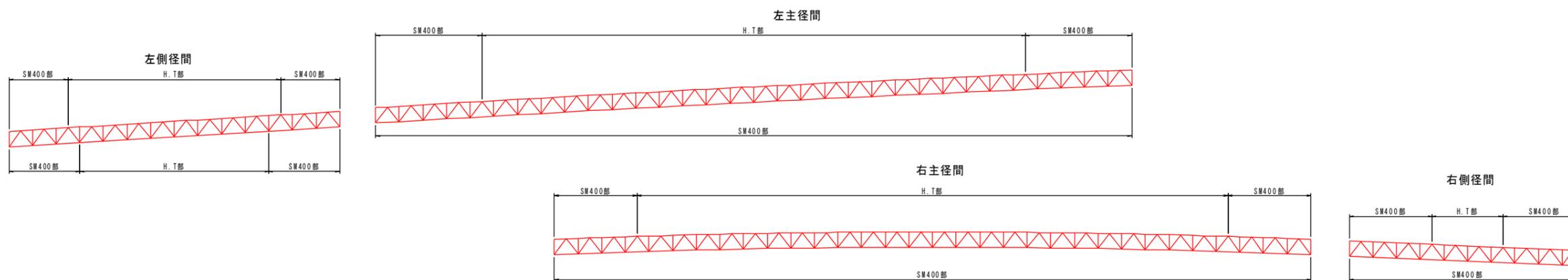
鋼材数量	39 kg	素地調整	0.382 m ²
ボルト数量	24 本	孔明工	24 ヶ
		不陸調整材	1.088 kg
		現場塗装工	0.382 m ²



(J) 接触部(無機ジンクリッチペイント)または:接触部(高摩擦有機ジンクペイント)
(F-1) 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接部)

記号	塗装系
(J)	F-11
(F-1)	J

配置図



注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

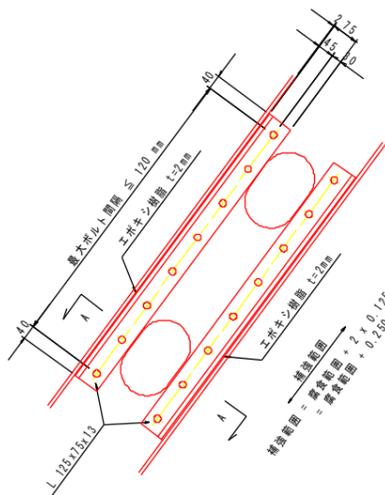
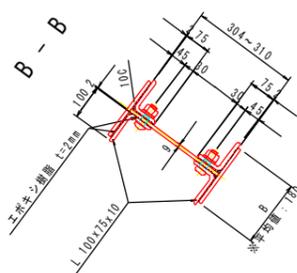
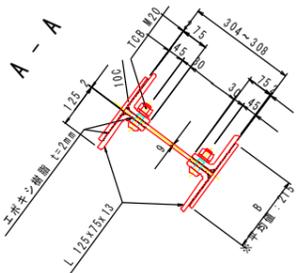
工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴 - 徳島大島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島 (小鳴門橋)		
図面名	主構補修詳細図(その1)上弦材・下弦材		
縮尺	S=1:10	図面番号	2 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

主構補強詳細図(その2) S=1:10

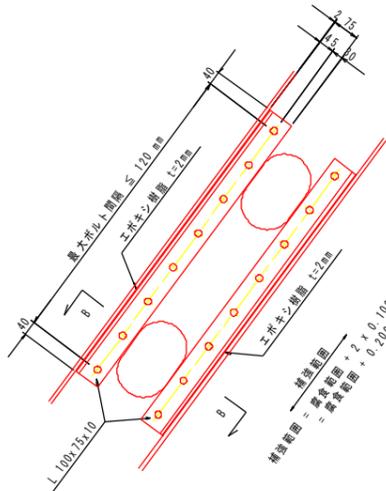
斜材

D1~D3, D12~D14, D15~D17, D44~D46, D47~D49, D76~D78, D79~D81, D86~D88

D4~D11, D18~D43, D50~D75, D82~D85



補修数量 1m当り
 鋼材数量 41 kg
 ボルト数量 8 本
 素地調整 0.451 m²
 孔明工 8 ヶ
 不陸調整材 1.241 kg
 現場塗装工 0.520 m²
 2-L 125x75x13x1000
 8-TCB M20x60 (S10T)



補修数量 1m当り
 鋼材数量 29 kg
 ボルト数量 8 本
 素地調整 0.413 m²
 孔明工 8 ヶ
 不陸調整材 1.122 m²
 現場塗装工 0.467 m²
 2-L 100x75x10x1000
 8-TCB M20x60 (S10T)

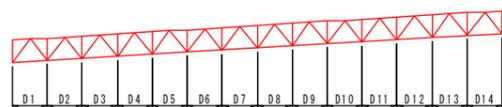
フランジ幅寸法表

径間	B								
D1	240	D21	160	D41	170	D61	180	D81	190
D2	220	D22	160	D42	170	D62	180	D82	180
D3	220	D23	160	D43	180	D63	180	D83	160
D4	200	D24	170	D44	190	D64	180	D84	160
D5	180	D25	170	D45	200	D65	180	D85	180
D6	180	D26	170	D46	220	D66	170	D86	190
D7	160	D27	170	D47	220	D67	170	D87	220
D8	160	D28	180	D48	200	D68	170	D88	220
D9	180	D29	180	D49	190	D69	170		
D10	180	D30	180	D50	180	D70	160		
D11	200	D31	180	D51	170	D71	160		
D12	220	D32	180	D52	170	D72	160		
D13	220	D33	180	D53	160	D73	170		
D14	240	D34	170	D54	160	D74	170		
D15	220	D35	170	D55	160	D75	180		
D16	200	D36	170	D56	170	D76	190		
D17	190	D37	170	D57	170	D77	200		
D18	180	D38	160	D58	170	D78	220		
D19	170	D39	160	D59	170	D79	220		
D20	170	D40	160	D60	180	D80	220		

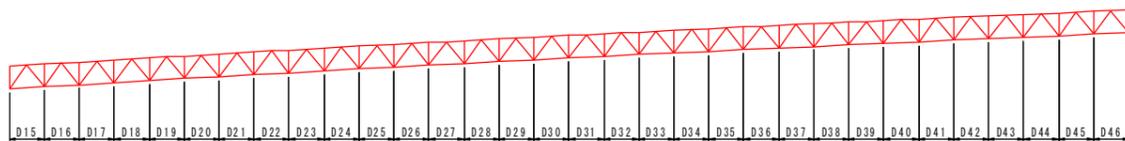
配置図

左主径間

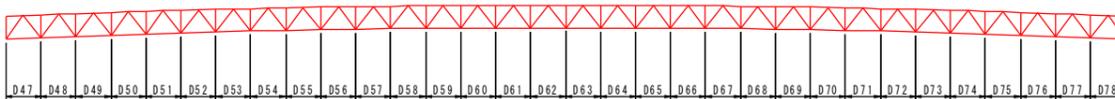
左側径間



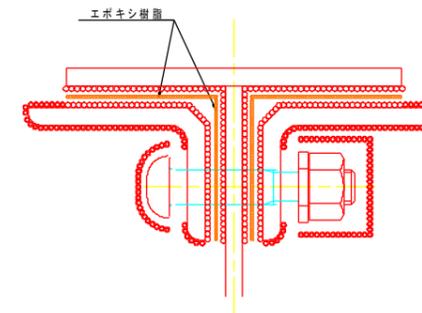
右主径間



右側径間

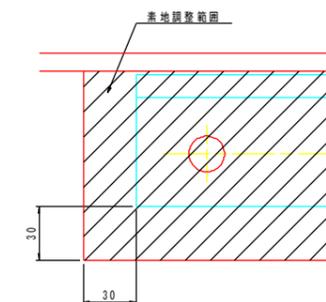


塗装要領図



(J) 接触部(無機ジंकリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジंकペイント)
 (F-1) 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J



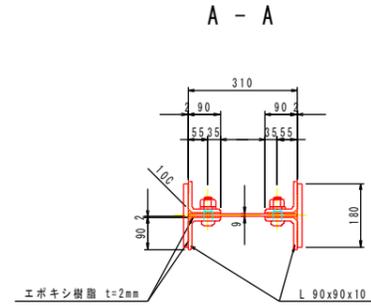
素地調整範囲は、新設部材接触面+30mmの範囲を標準とする。

- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 印はトルシア型高力ボルトM20(S10T)を示す。
 - 3) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ22.5とする。
 - 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ24.5とする。
 - 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

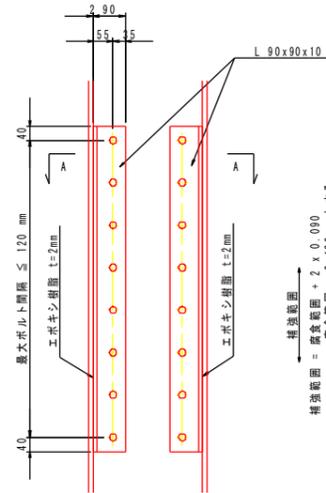
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	主構補強詳細図(その2)斜材		
縮尺	S=1:10	図面番号	3 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

主構補強詳細図(その3) S=1:10

垂直材

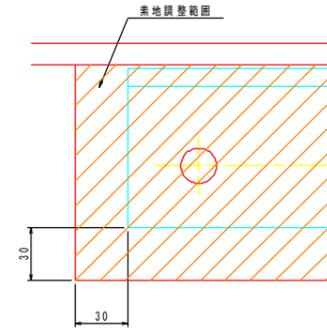


側面図



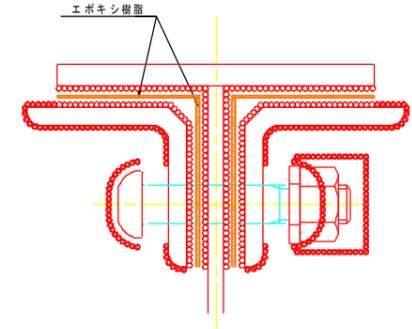
補修数量 1m当たり

鋼材数量	31 kg
ボルト数量	8 本
素地調整	0.445 m ²
孔明工	8 ヶ
不陸調整材	1.224 kg
現場塗装工	0.485 m ²
2-L 90x90x10x1000	
8-TCB M22x65 (S10T)	



素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。

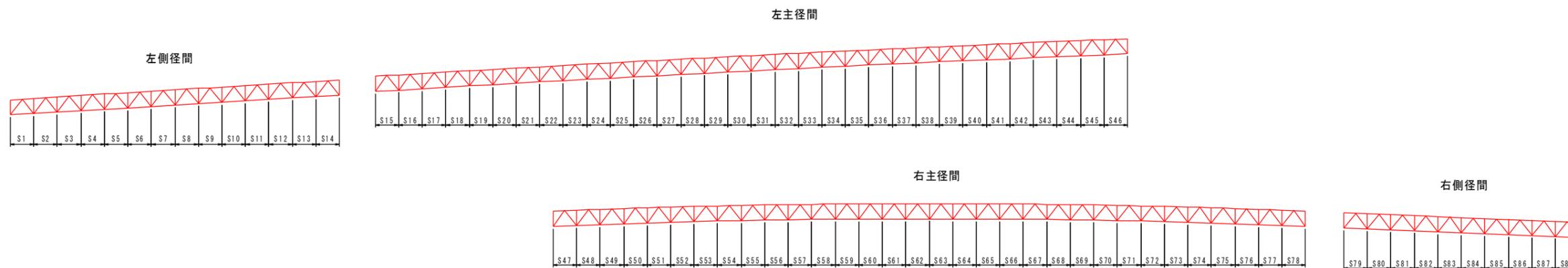
塗装要領図



- J 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクリッチペイント)
- F-11 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
J	F-11
F-11	J

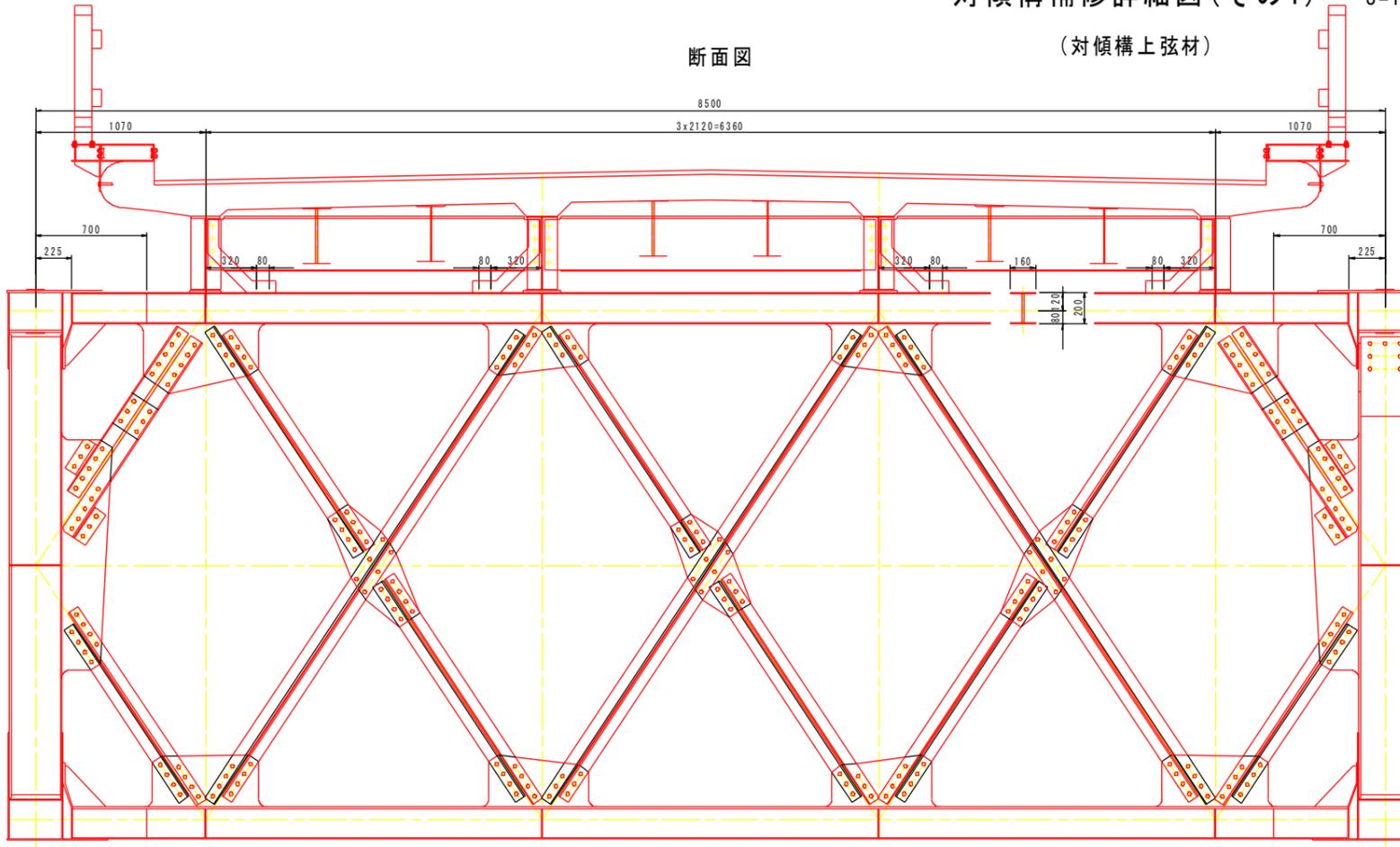
配置図



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
 - 3) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
 - 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
 - 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

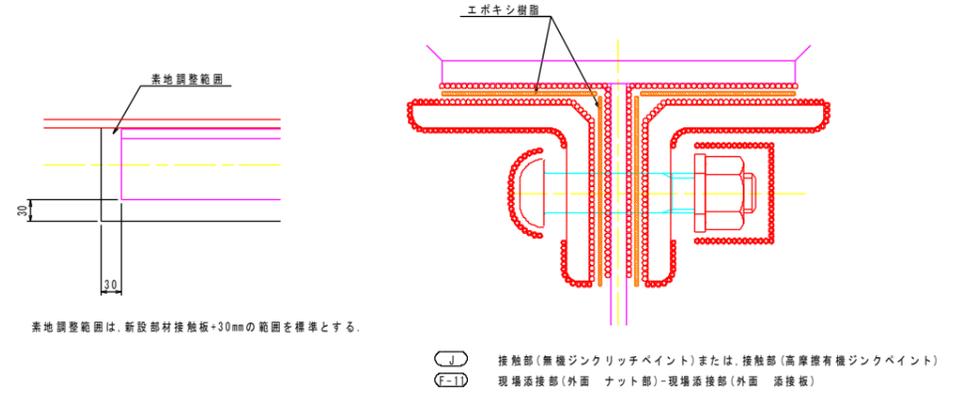
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳島大島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	主構補強詳細図(その3)垂直材		
縮尺	S=1:10	図面番号	4 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

対傾構補修詳細図(その1) S=1:20



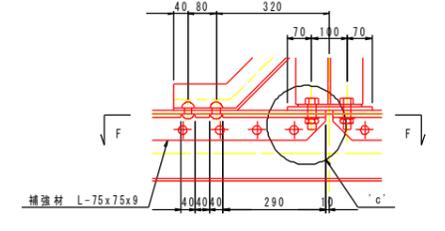
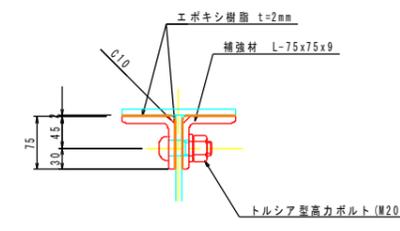
断面図 (対傾構上弦材) S=1:20

塗装要領図

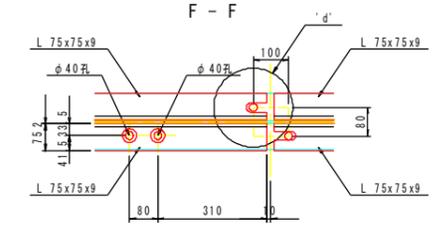


'a'部詳細図 S=1:5

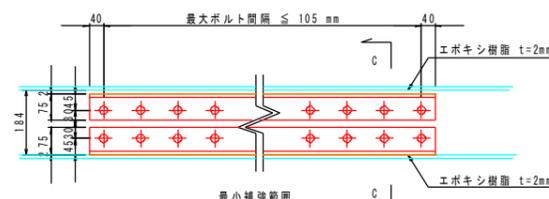
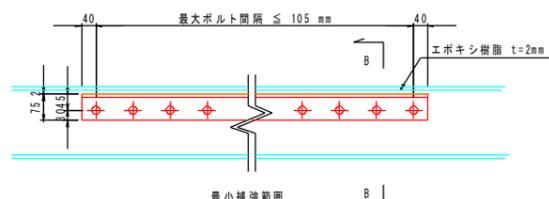
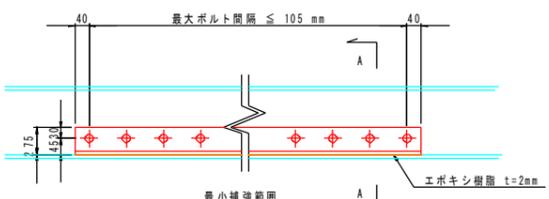
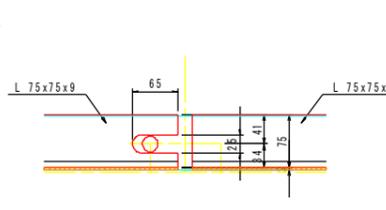
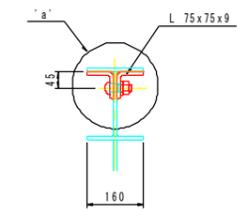
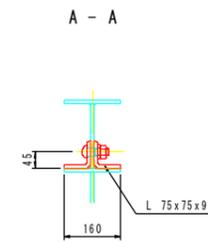
'b'部詳細図 S=1:10



'c'部詳細図 S=1:5



'd'部詳細図 S=1:5



下記条件の最大値とする。
1) 桁高(m)の2倍に1mを加えた値以上とする。
∴ 0.200 x 2 + 1.000 = 1.400m
2) 腐食範囲 + 2 x 0.075
∴ 腐食範囲 + 0.150m

2-L 75x75x9x1000
10-TCB M20x60 (S10T)

下記条件の最大値とする。
1) 桁高(m)の2倍に1mを加えた値以上とする。
∴ 0.200 x 2 + 1.000 = 1.400m
2) 腐食範囲 + 2 x 0.075
∴ 腐食範囲 + 0.150m

2-L 75x75x9x1000
10-TCB M20x60 (S10T)

下記条件の最大値とする。
1) 桁高(m)の2倍に1mを加えた値以上とする。
∴ 0.200 x 2 + 1.000 = 1.400m
2) 腐食範囲 + 2 x 0.075
∴ 腐食範囲 + 0.150m

4-L 75x75x9x1000
20-TCB M20x60 (S10T)

対傾構上弦材 [1] 補修数量 1m当り

鋼材数量	24 kg	素地調整	0.392 m ²
ボルト数量	10 本	孔明工	10 ヶ
		不陸調整材	1.054 m ²
		現場塗装工	0.432 m ²

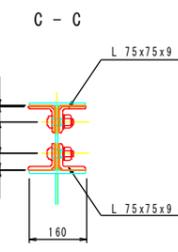
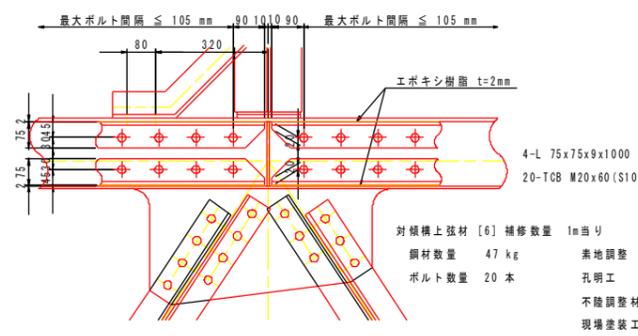
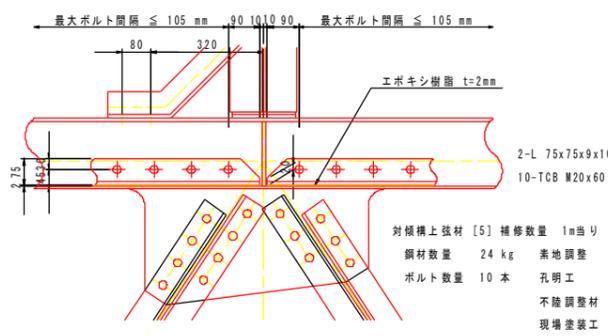
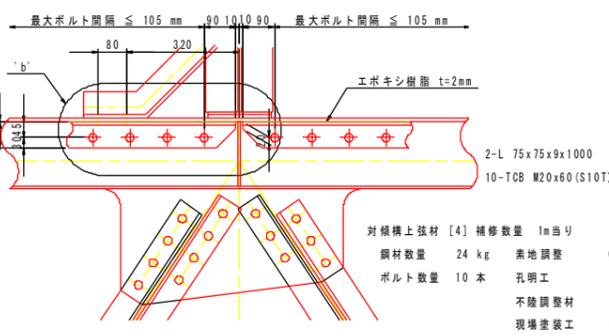
対傾構上弦材 [2] 補修数量 1m当り

鋼材数量	24 kg	素地調整	0.392 m ²
ボルト数量	10 本	孔明工	10 ヶ
		不陸調整材	1.054 m ²
		現場塗装工	0.432 m ²

対傾構上弦材 [3] 補修数量 1m当り

鋼材数量	47 kg	素地調整	0.729 m ²
ボルト数量	20 本	孔明工	20 ヶ
		不陸調整材	2.108 m ²
		現場塗装工	0.809 m ²

支点部 S=1:10



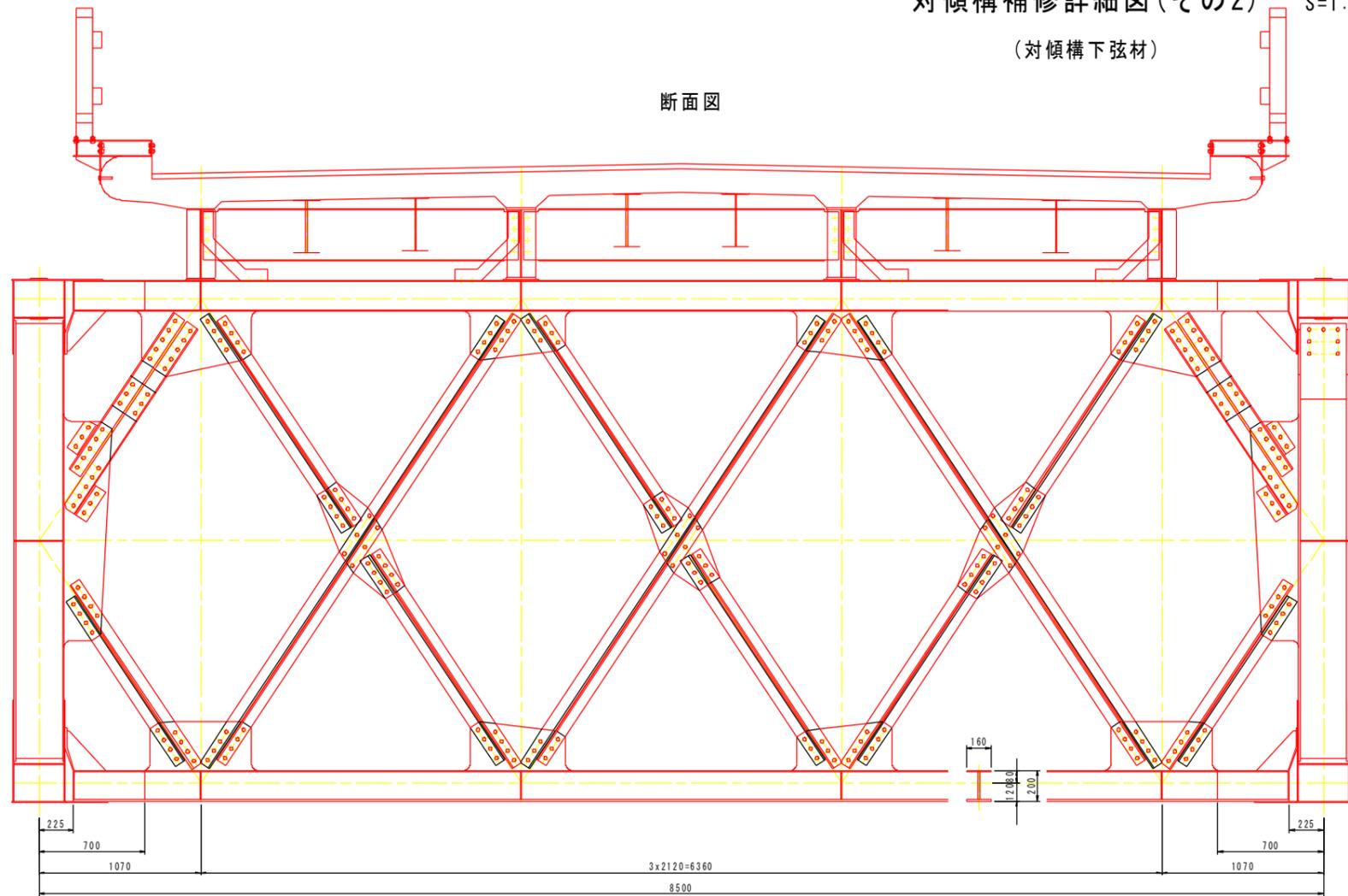
注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新製部材の高力ボルト孔は、φ22.5とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ24.5とする。
4) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1 徳土 鳴門公園線 鳴門橋大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	対傾構補修詳細図(その1)上弦材		
縮尺	S=1:20	図面番号	5 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

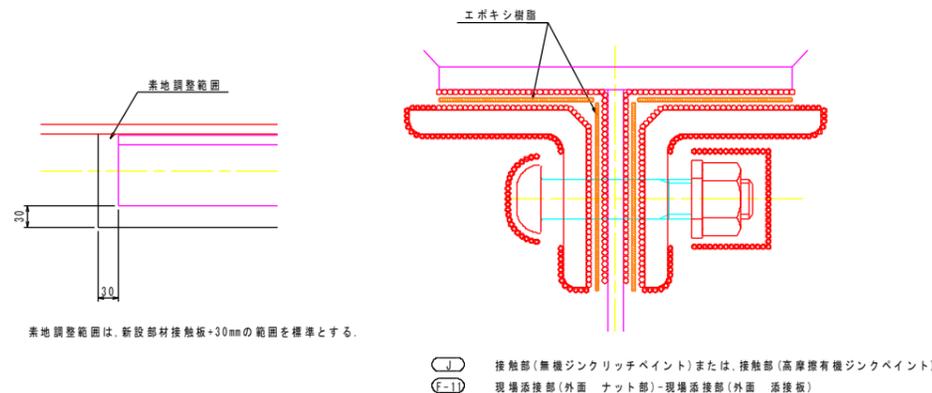
対傾構補修詳細図(その2) S=1:20

(対傾構下弦材)

断面図

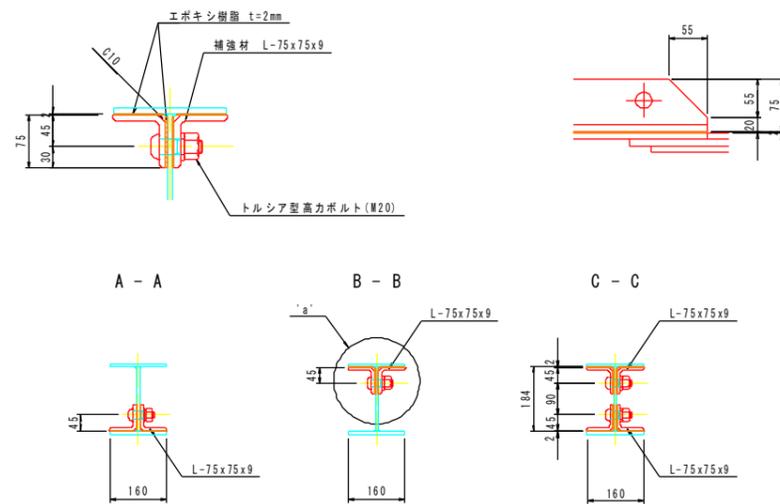


塗装要領図

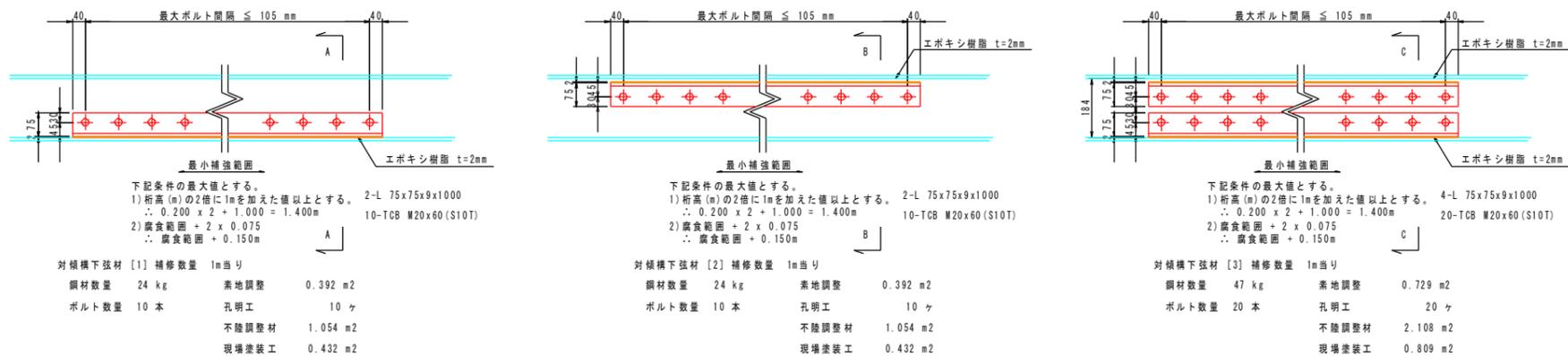


'a'部詳細図 S=1:5

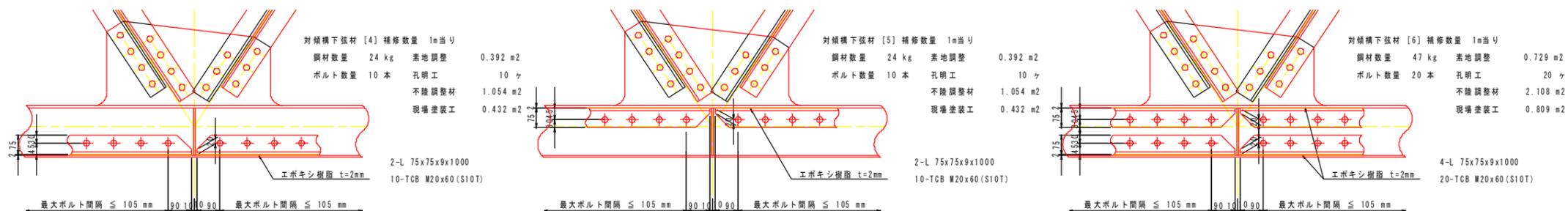
'b'部詳細図 S=1:5



標準部 S=1:10



支点部 S=1:10



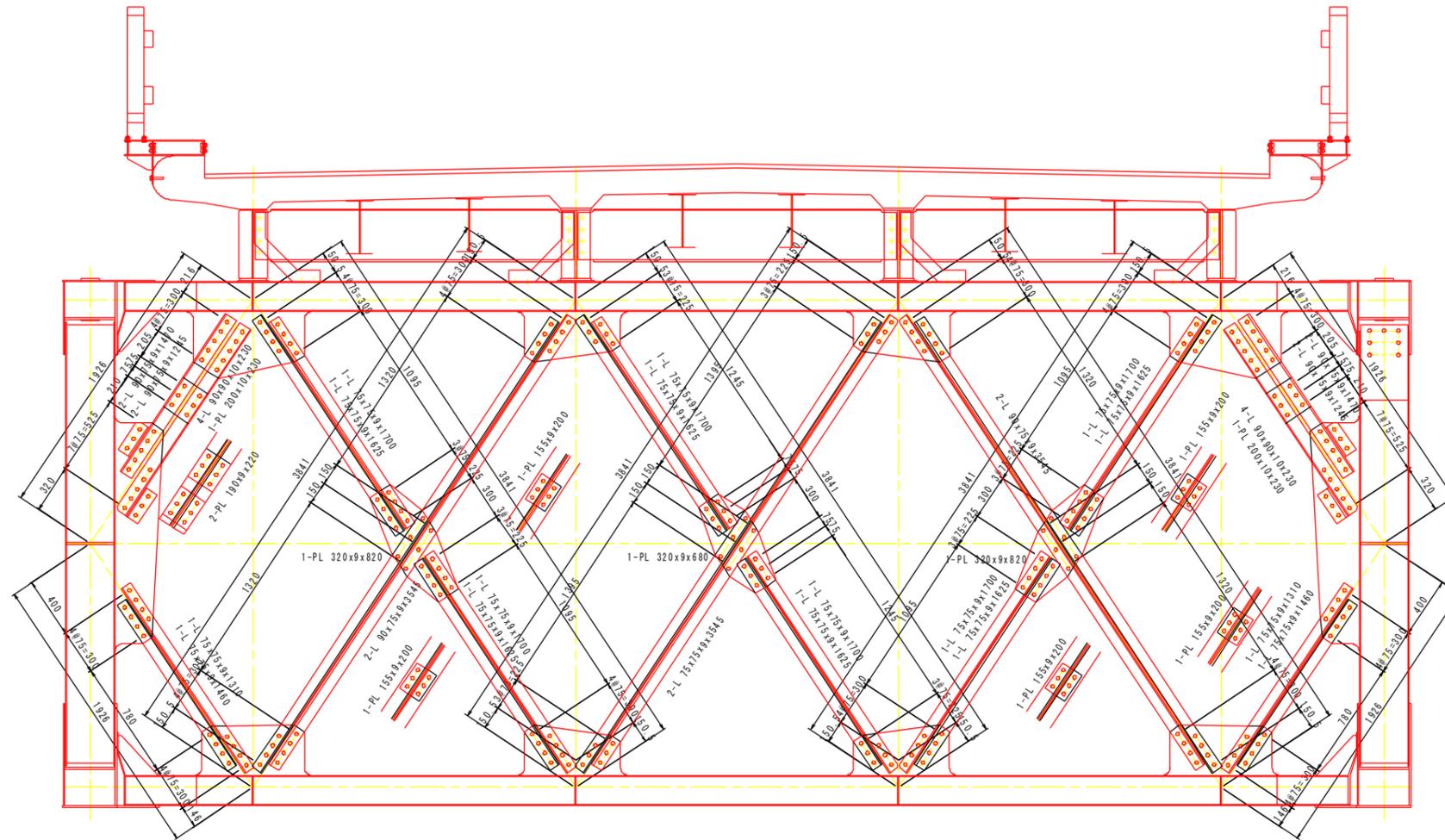
- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ22.5とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ24.5とする。
 - 4) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳島大島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)		
図面名	対傾構補修詳細図(その2)下弦材		
縮尺	S=1:20	図面番号	6 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

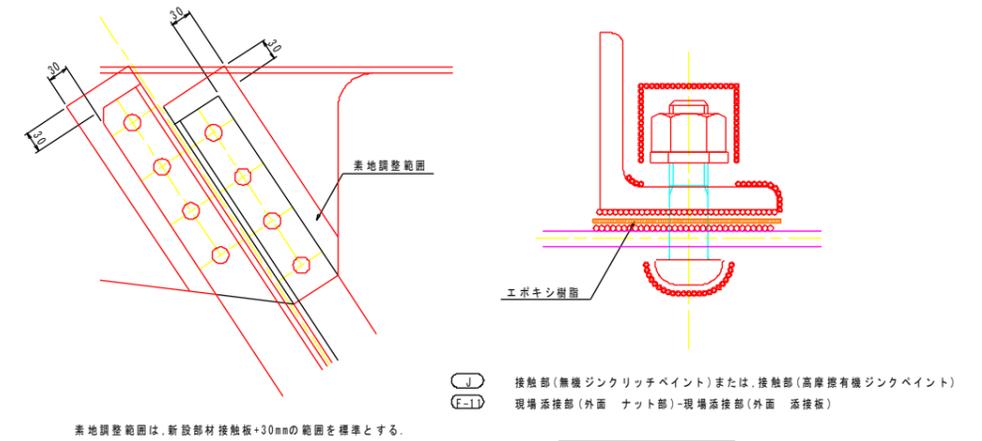
対傾構補修詳細図(その3) S=1:20

(対傾構斜材)

断面図



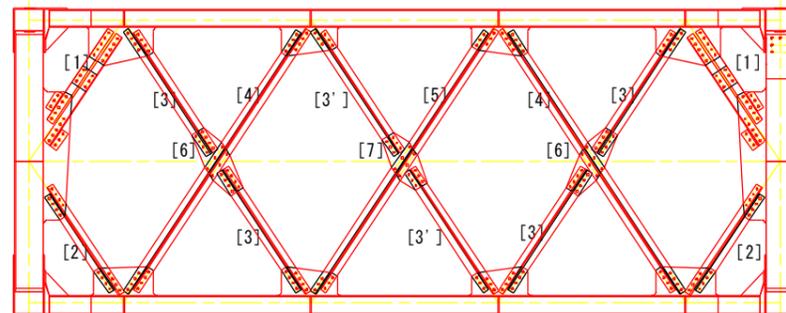
塗装要領図



○ 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩耗有機ジンクリッチペイント)
 (F-1) 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。

記号	塗装系
○	F-11
○	J



対傾構斜材 [1]
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 98 kg
 ボルト数量 44 本

リベット取外し工 44 本
 素地調整 0.519 m²
 孔明工 26 ヶ
 不陸調整材 1.212 kg
 現場塗装工 1.293 m²
 工場塗装工 1.564 m²

対傾構斜材 [5]
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 89 kg
 ボルト数量 30 本

リベット取外し工 30 本
 素地調整 0.443 m²
 孔明工 18 ヶ
 不陸調整材 0.388 kg
 現場塗装工 0.719 m²
 工場塗装工 1.620 m²

対傾構斜材 [2]
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 41 kg
 ボルト数量 22 本

リベット取外し工 22 本
 素地調整 0.362 m²
 孔明工 16 ヶ
 不陸調整材 0.311 kg
 現場塗装工 0.535 m²
 工場塗装工 0.560 m²

対傾構斜材連結板 [6]
 補修数量 1箇所当り
 鋼材数量 30 kg
 ボルト数量 22 本

リベット取外し工 22 本
 素地調整 0.309 m²
 孔明工 22 ヶ
 不陸調整材 0.464 kg
 現場塗装工 0.420 m²
 工場塗装工 0.252 m²

対傾構斜材 [3]
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 46 kg
 ボルト数量 22 本

リベット取外し工 22 本
 素地調整 0.362 m²
 孔明工 16 ヶ
 不陸調整材 0.311 kg
 現場塗装工 0.535 m²
 工場塗装工 0.722 m²

対傾構斜材連結板 [7]
 補修数量 1箇所当り
 鋼材数量 24 kg
 ボルト数量 18 本

リベット取外し工 18 本
 素地調整 0.264 m²
 孔明工 18 ヶ
 不陸調整材 0.388 kg
 現場塗装工 0.355 m²
 工場塗装工 0.207 m²

対傾構斜材 [3']
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 44 kg
 ボルト数量 18 本

リベット取外し工 18 本
 素地調整 0.281 m²
 孔明工 12 ヶ
 不陸調整材 0.235 kg
 現場塗装工 0.434 m²
 工場塗装工 0.767 m²

対傾構斜材 [4]
 補修数量 1本当り
 鋼材数量 98 kg
 ボルト数量 34 本

リベット取外し工 34 本
 素地調整 0.524 m²
 孔明工 22 ヶ
 不陸調整材 0.464 kg
 現場塗装工 0.820 m²
 工場塗装工 1.783 m²

注記

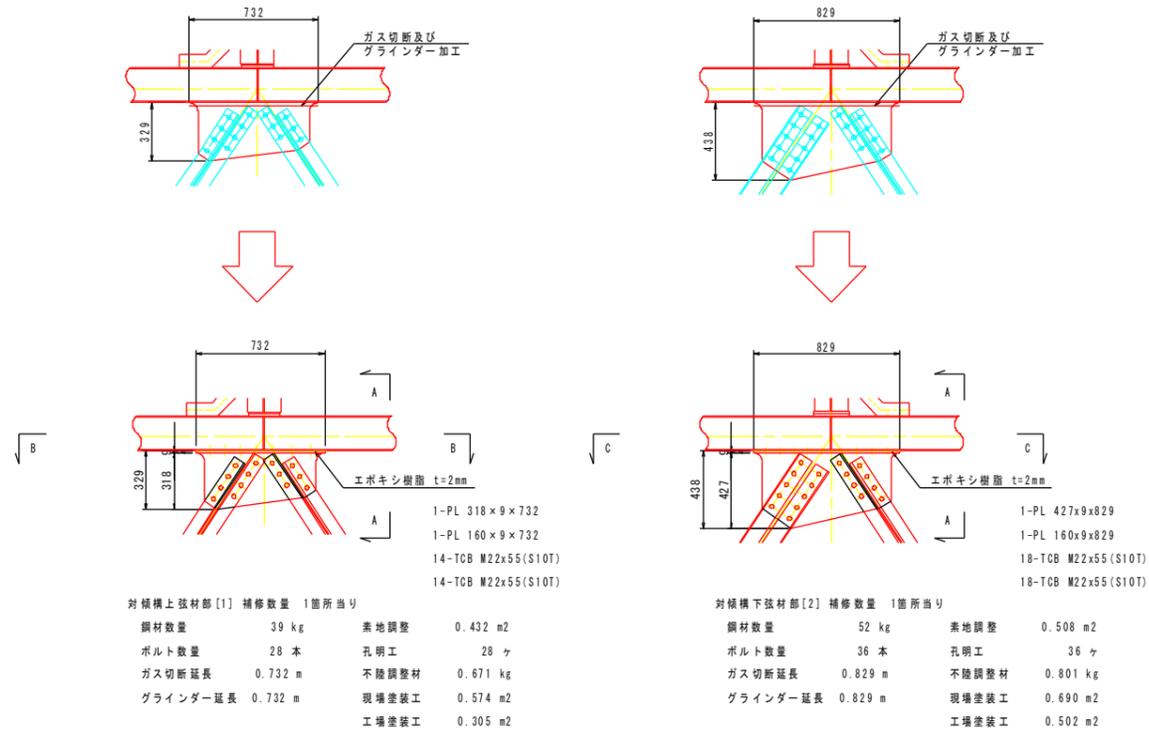
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 3) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
- 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
- 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	対傾構補修詳細図(その3)斜材		
縮尺	S=1:20	図面番号	7 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

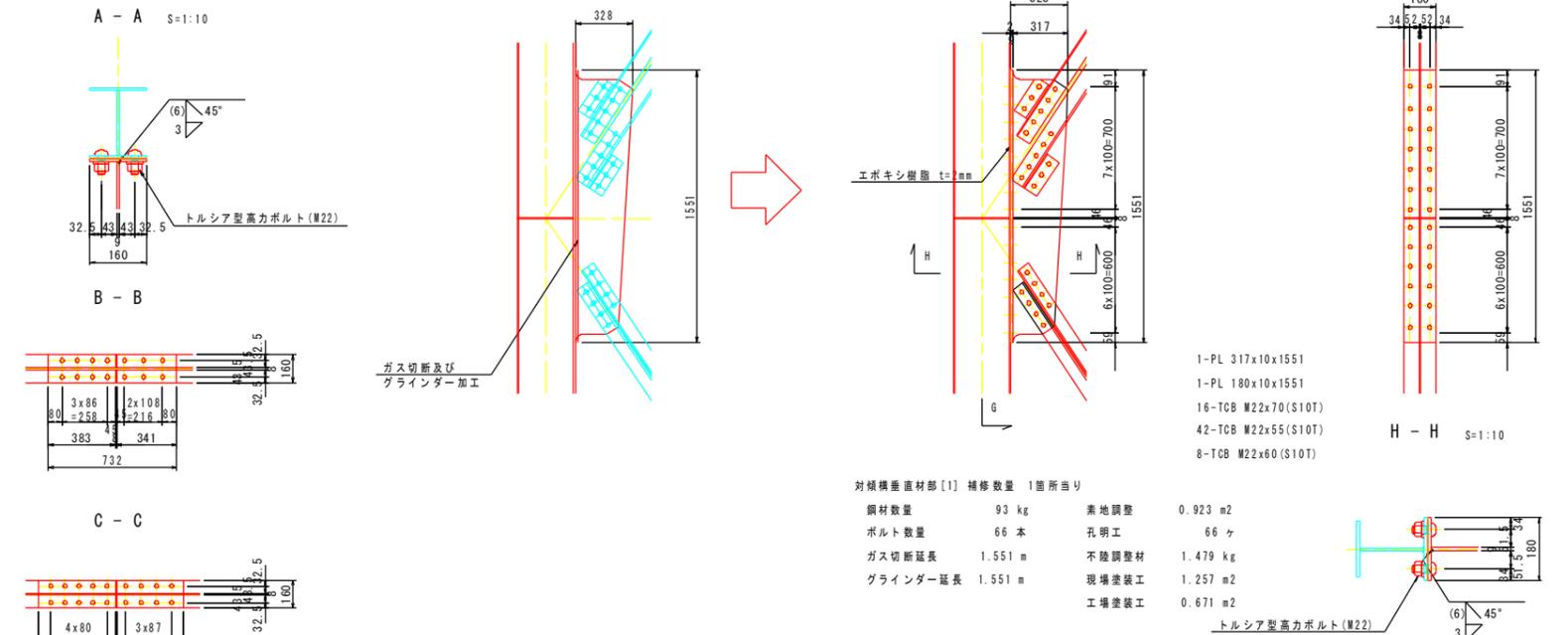
対傾構補修詳細図(その4) S=1:20

対傾構 ガセット部

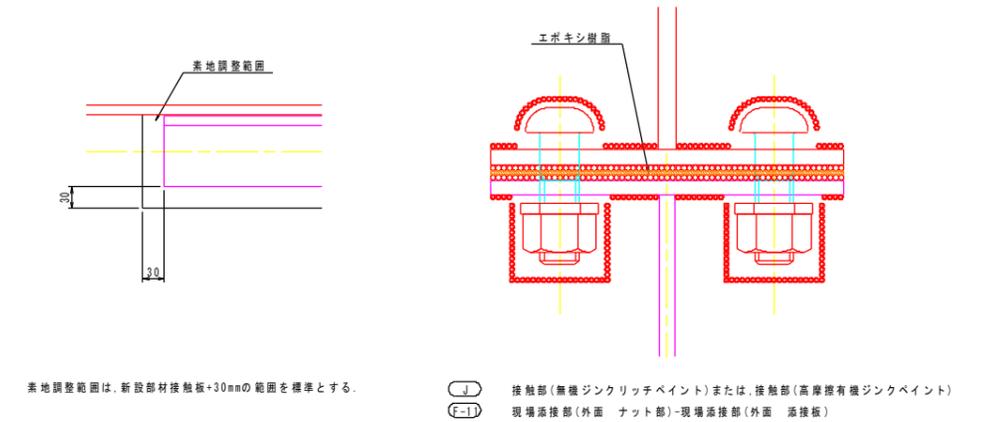
対傾構上弦材 ガセット部



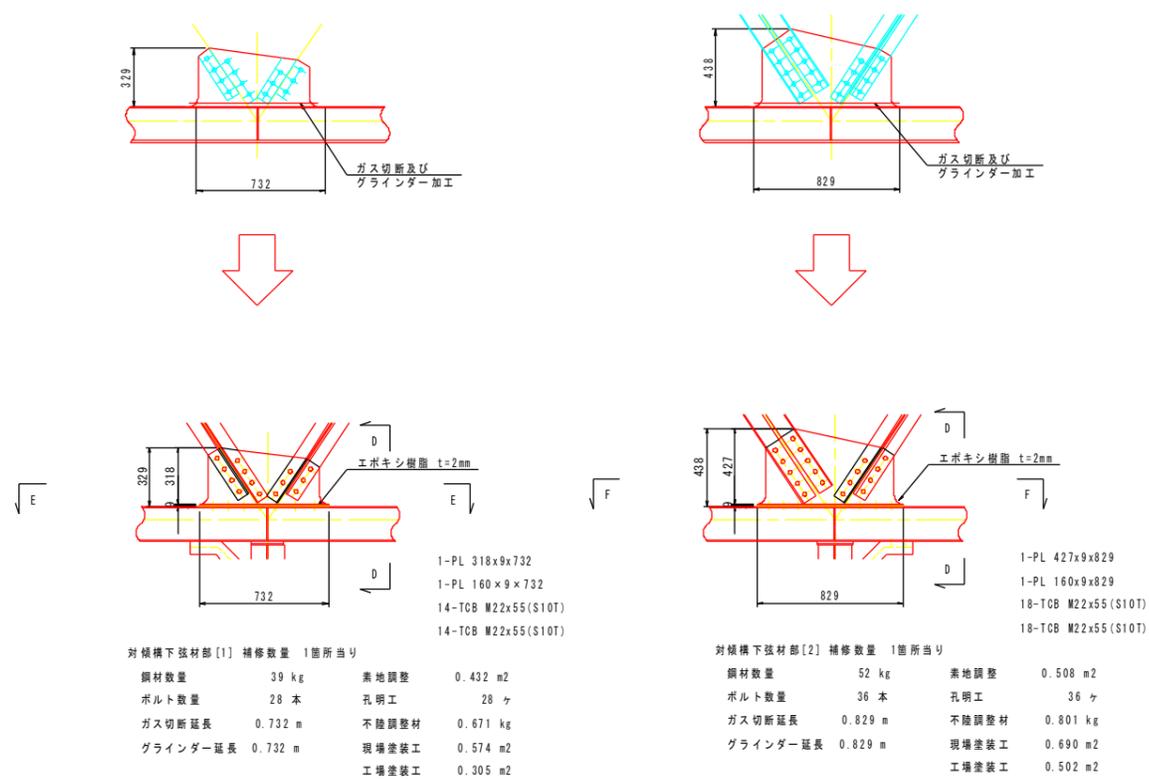
対傾構垂直材 ガセット部



塗装要領図



対傾構下弦材 ガセット部



記号	塗装系
○ J	F-11
○ F-1	J

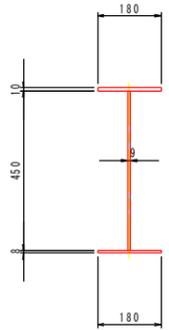
- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、M20の高力ボルトの場合は、φ22.5とする。M22の高力ボルトの場合は、φ24.5とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、M20の高力ボルトの場合は、φ24.5とする。M22の高力ボルトの場合は、φ26.5とする。
 - 4) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	対傾構補修詳細図(その4)ガセット部
縮尺	S=1:20 図面番号 8 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

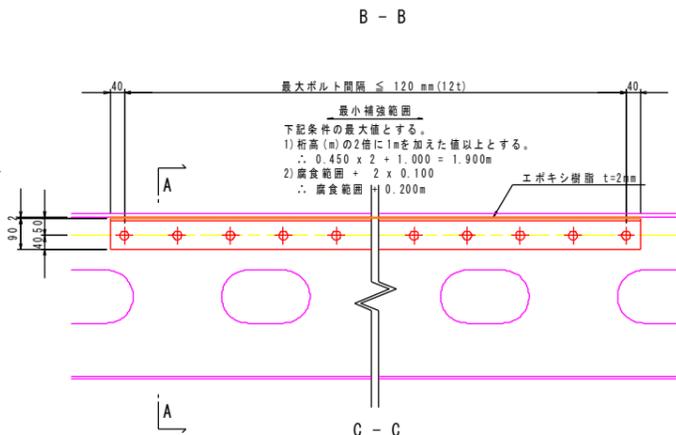
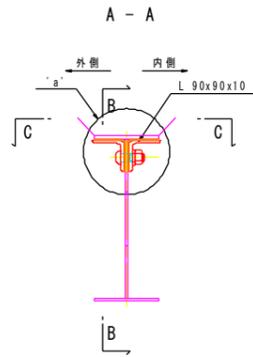
縦桁補修詳細図(その1) S=1:10

上フランジ腐食部

外桁標準断面 S=1:10



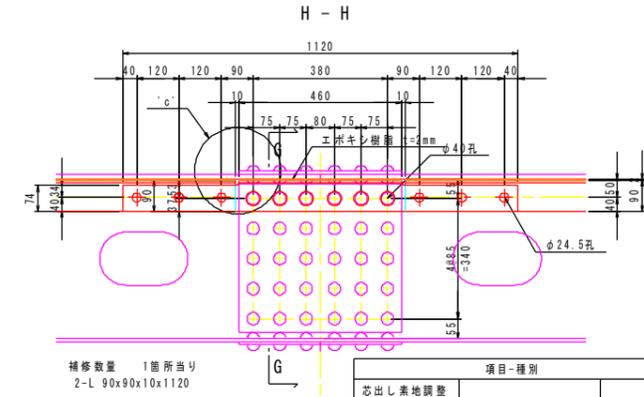
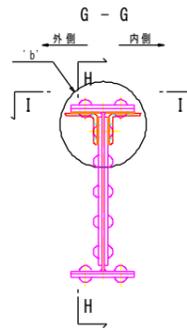
外縦桁標準部



補修数量 1m当り
2-L 90x90x10x1000
9-TCB M22x70(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.445	
鋼桁孔明け	ヶ	9	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	1.224
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.445

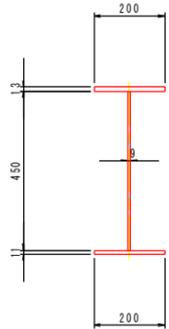
外縦桁現場添接部



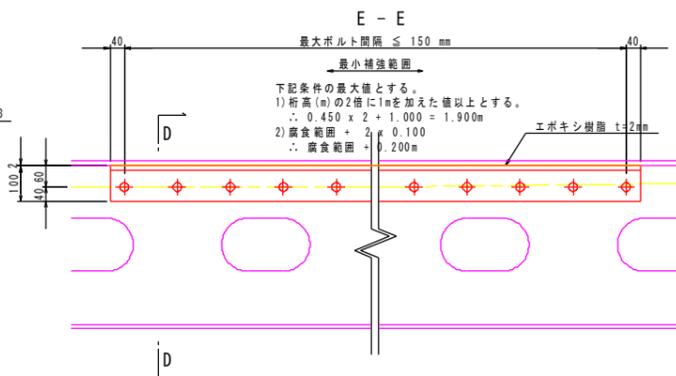
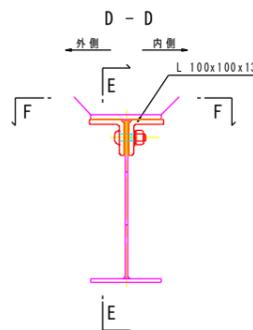
補修数量 1箇所当り
2-L 90x90x10x1120
6-TCB M22x90(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.193	
鋼桁孔明け	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.845
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.193

内桁標準断面 S=1:10



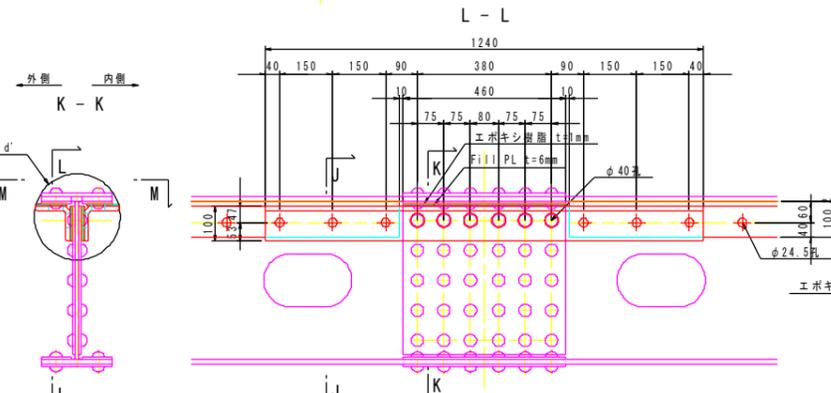
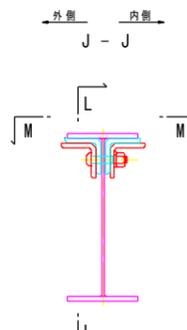
内縦桁標準部



補修数量 1m当り
2-L 100x100x13x1000
7-TCB M22x75(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.488	
鋼桁孔明け	ヶ	7	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	1.360
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.488

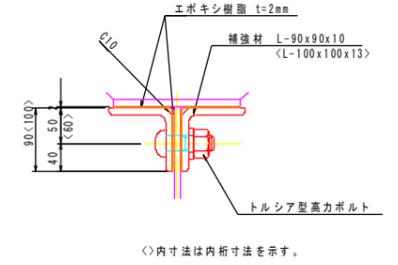
内縦桁現場添接部



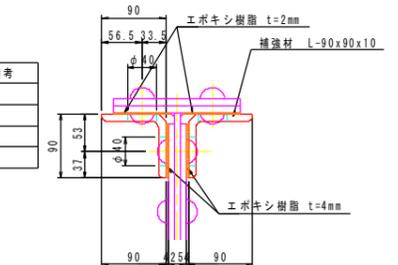
補修数量 1箇所当り
2-L 100x100x13x1240
2-Fill PL 100x6x460
2-Fill PL 90x6x460
6-TCB M22x100(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.212	
鋼桁孔明け	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.313
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.212

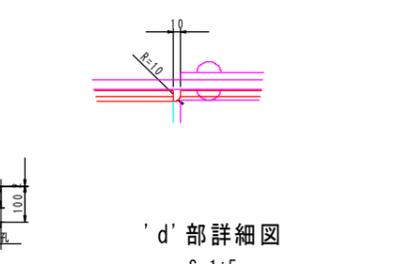
'a'部詳細図 S=1:5



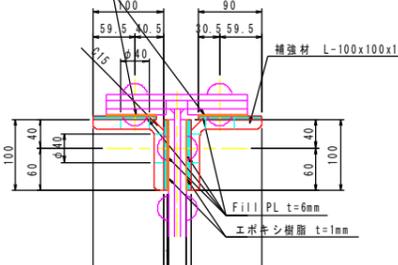
'b'部詳細図 S=1:5



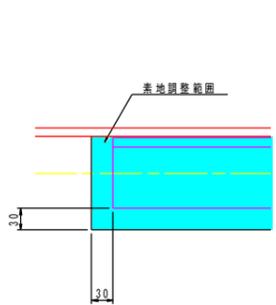
'c'部詳細図 S=1:5



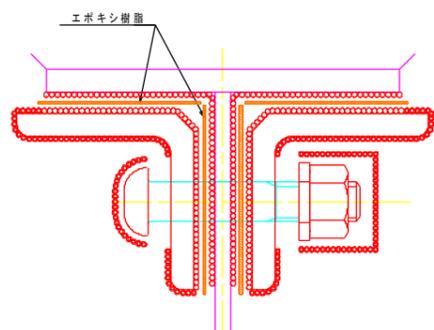
'd'部詳細図 S=1:5



塗装要領図



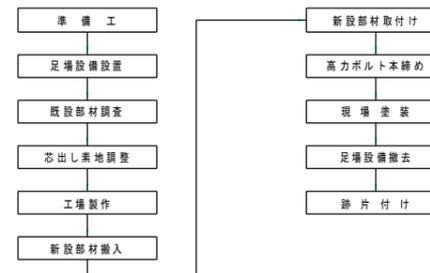
素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。



① 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクペイント)
② 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J

施工フローチャート



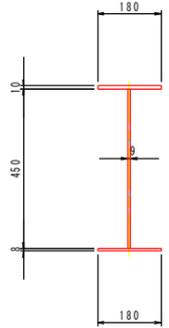
注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
3) 新製部材の高力ボルトは、φ24.5とする。
4) 既設部材の高力ボルト(現場施工)は、φ26.5とする。
5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳大島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)
図面名	縦桁補修詳細図(その1)上フランジ腐食部
縮尺	S=1:10 図面番号 9 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

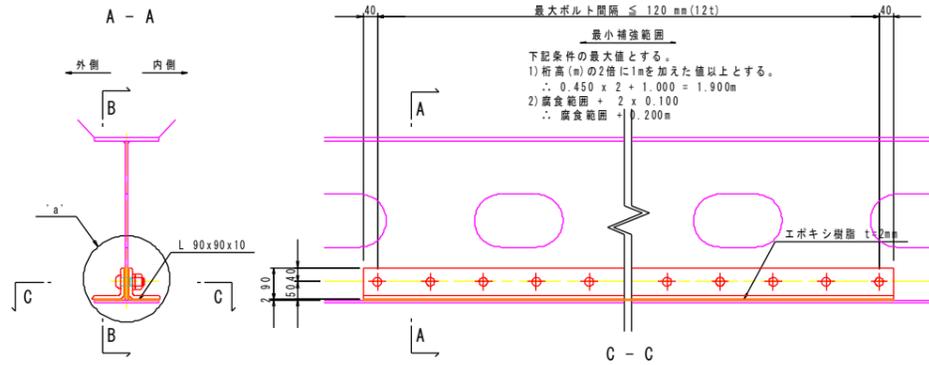
縦桁補修詳細図(その2) S=1:10

下フランジ腐食部

外桁標準断面 S=1:10



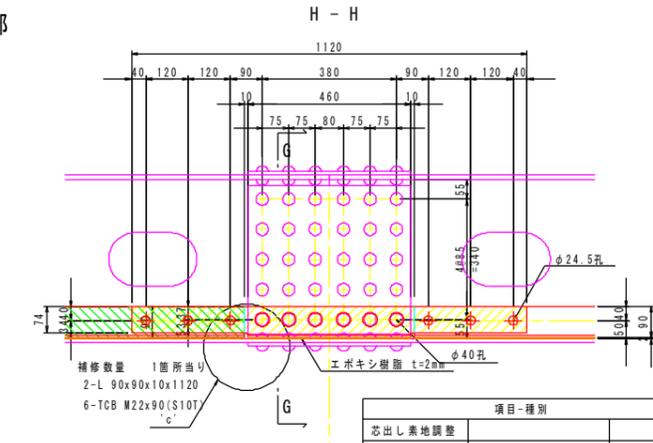
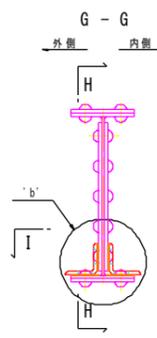
外縦桁標準部



補修数量 1m当り
 2-L 90x90x10x1000
 9-TCB M22x70(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.445	
鋼桁孔明工	ヶ	9	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	1.224	kg
現場塗装工	下-中-上塗り	0.445	m ²

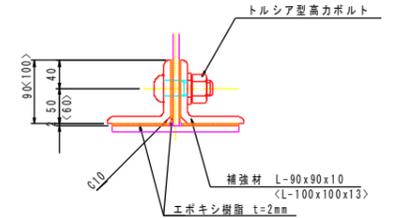
外縦桁現場添接部



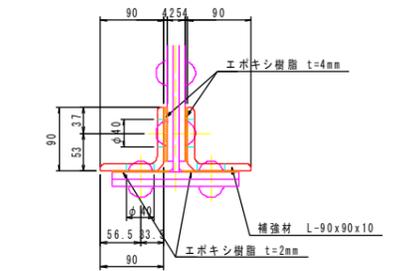
補修数量 1箇所当り
 2-L 90x90x10x1120
 6-TCB M22x90(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.193	
鋼桁孔明工	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	0.845	kg
現場塗装工	下-中-上塗り	0.193	m ²

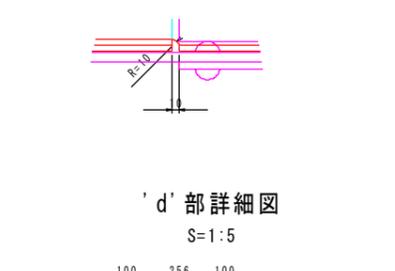
'a'部詳細図 S=1:5



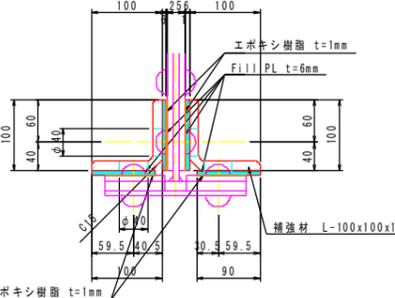
'b'部詳細図 S=1:5



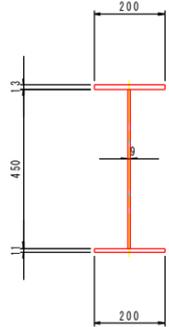
'c'部詳細図 S=1:5



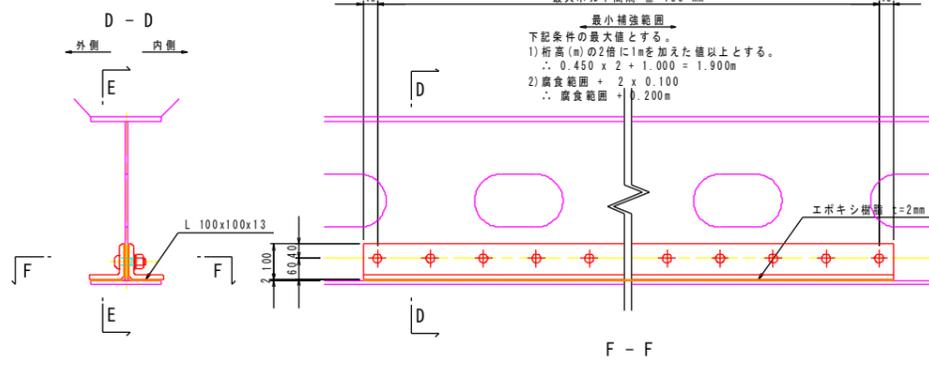
'd'部詳細図 S=1:5



内桁標準断面 S=1:10



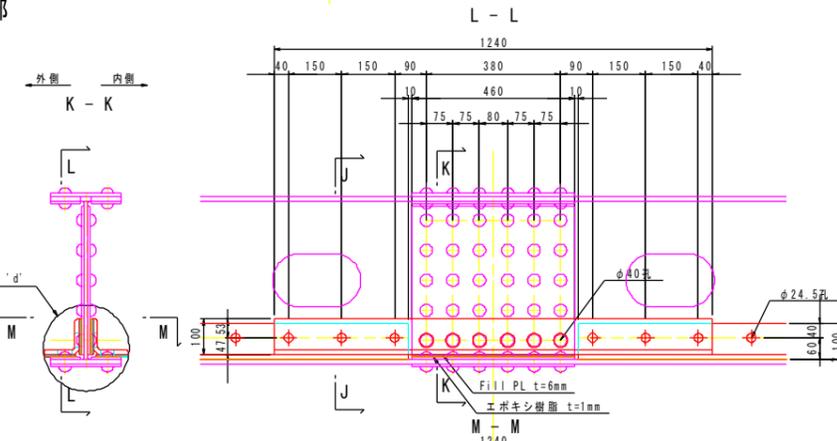
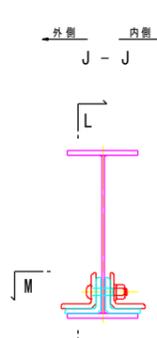
内縦桁標準部



補修数量 1m当り
 2-L 100x100x13x1000
 7-TCB M22x75(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.488	
鋼桁孔明工	ヶ	7	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	1.360	kg
現場塗装工	下-中-上塗り	0.488	m ²

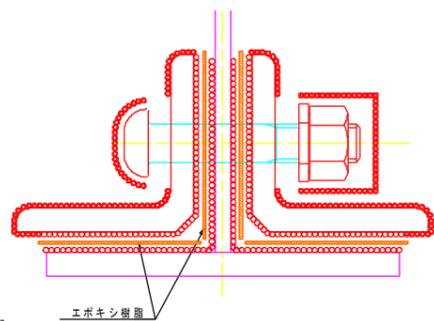
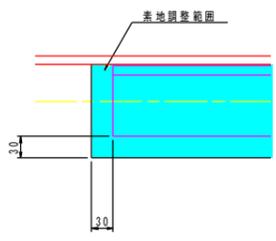
内縦桁現場添接部



補修数量 1箇所当り
 2-L 100x100x13x1240
 2-Fill PL 100x6x460
 2-Fill PL 90x6x460
 6-TCB M22x100(S10T)

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.212	
鋼桁孔明工	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	0.313	kg
現場塗装工	下-中-上塗り	0.212	m ²

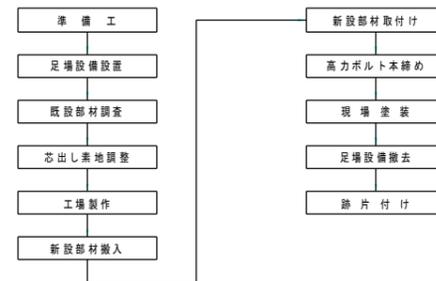
塗装要領図



J 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクリッチペイント)
 F-1 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J

施工フローチャート



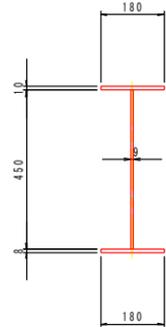
注記
 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
 3) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1部土 鳴門公園線 鳴-徳島大島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)
図面名	縦桁補修詳細図(その2)下フランジ腐食部
縮尺	S=1:10 図面番号 10 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

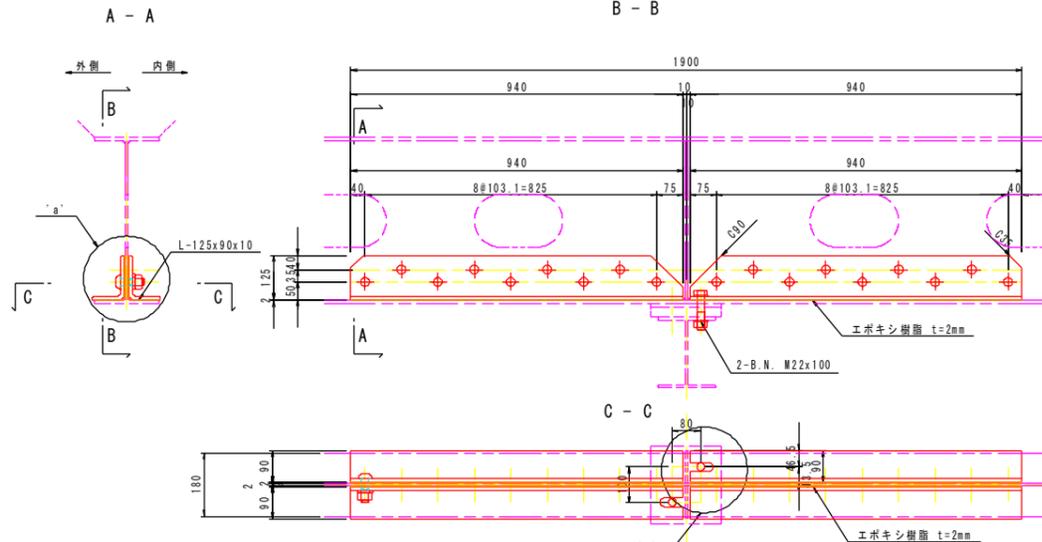
縦桁補修詳細図(その3) S=1:10

横トラス支点腐食部

外桁標準断面
S=1:10



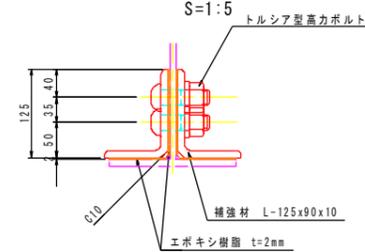
外縦桁支点部



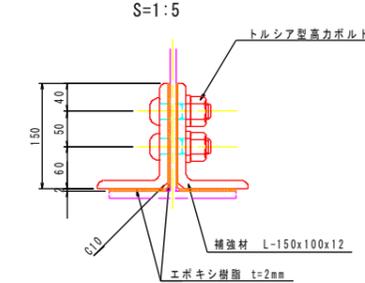
補修数量 1箇所当り
4-L 125x90x10x940
18-TCB M22x70 (S10T)
2-BN M22x100

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	0.980	
鋼桁孔明け	ヶ	18	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	kg	2.749
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.980

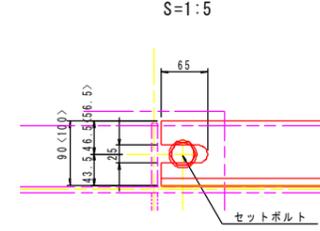
'a'部詳細図
S=1:5



'b'部詳細図
S=1:5

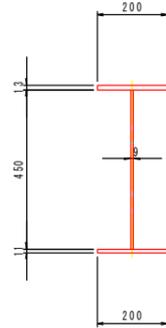


'c'部詳細図
S=1:5

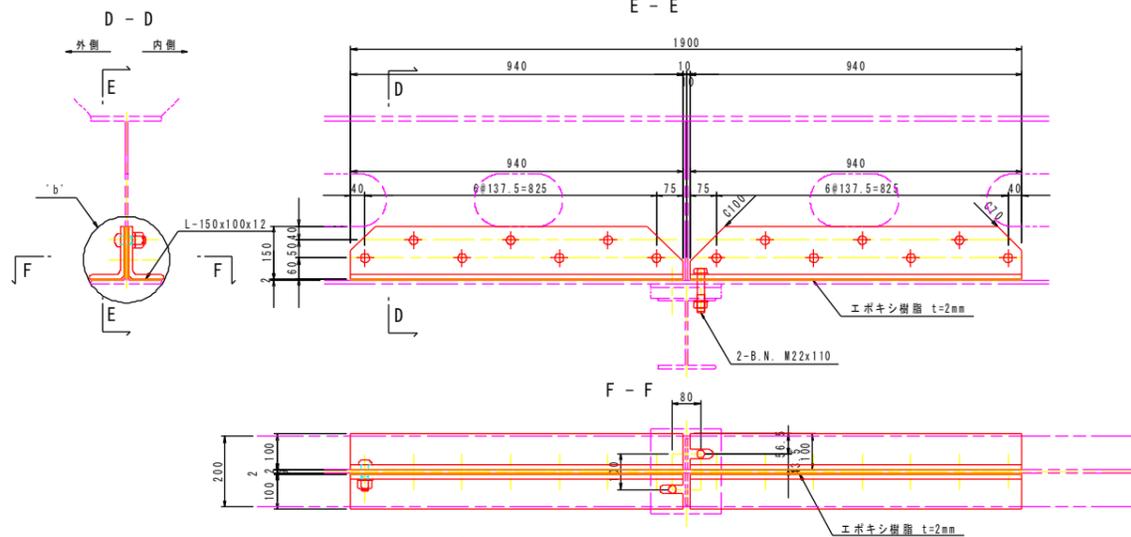


◁内寸法は内桁寸法を示す。

内桁標準断面
S=1:10



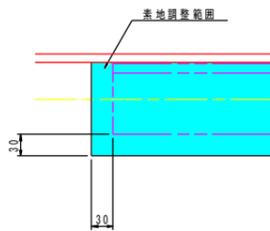
内縦桁支点部



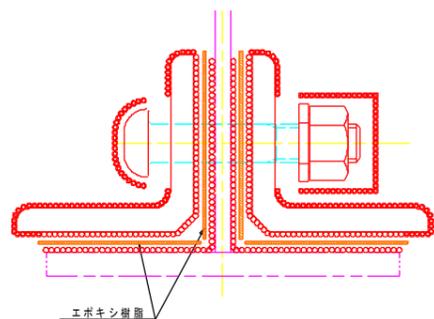
補修数量 1箇所当り
4-L 150x100x12x940
14-TCB M22x75 (S10T)
2-BN M22x110

項目-種別	単位	数量	備考
芯出し素地調整	m ²	1.120	
鋼桁孔明け	ヶ	14	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相当	kg	3.196
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	1.120

塗装要領図



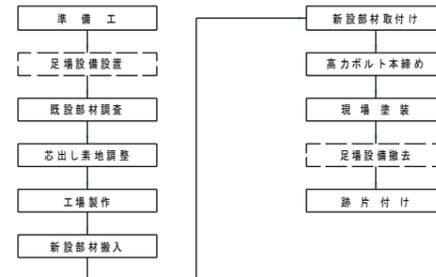
素地調整範囲は、新設部材接触面+30mmの範囲を標準とする。



J 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクリッチペイント)
F-11 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J

施工フローチャート



注記

- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 3) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
- 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
- 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴-徳島大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	縦桁補修詳細図(その3)横トラス支点腐食部
縮尺	S=1:10 図面番号 11 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

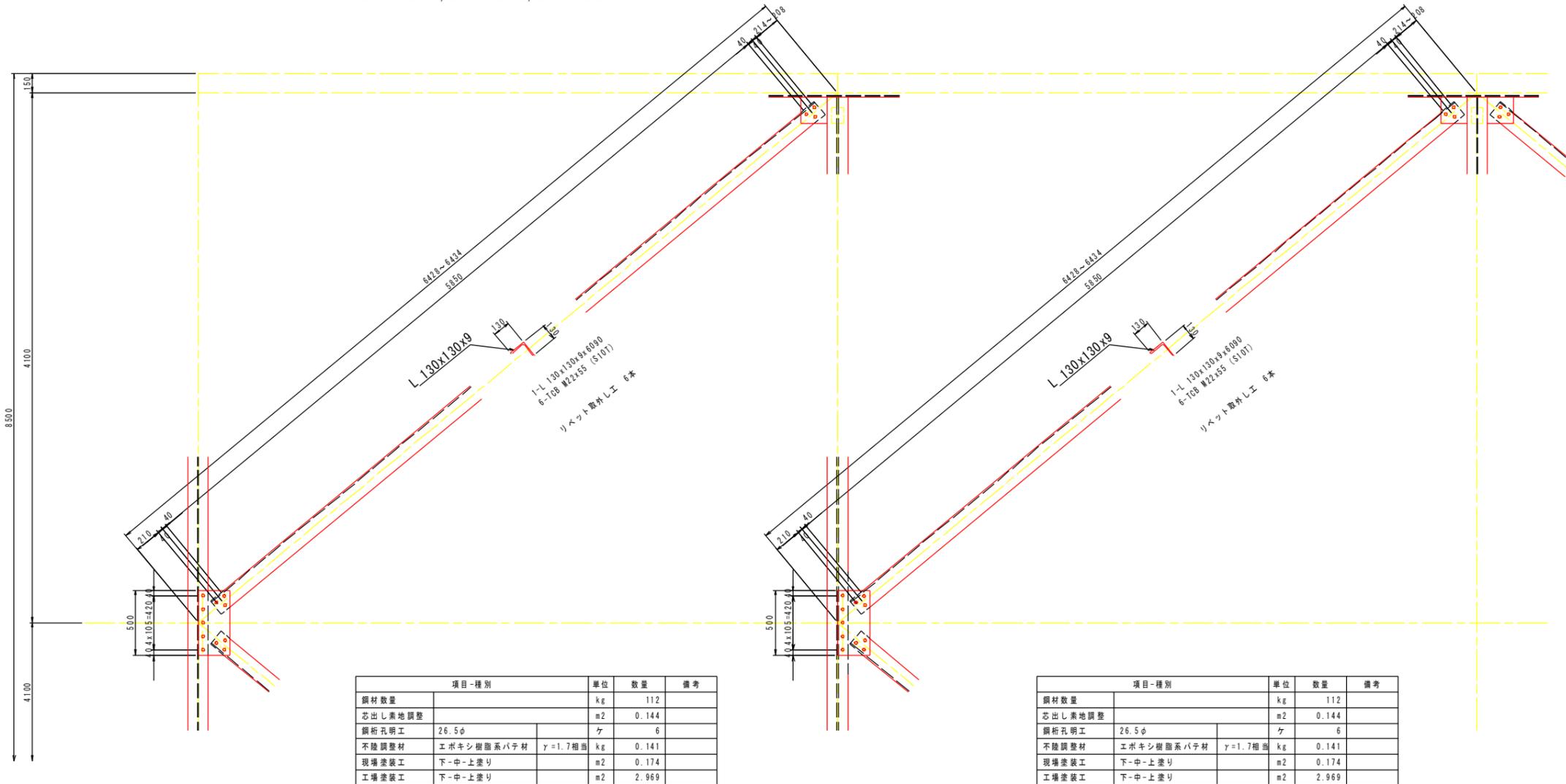
上横構補強詳細図 (その1)

S=1:20

弦材取替え

D1~D6, D9~D14, D26~D29, D32~D35, D58~D61
D64~D67, D79~D82, D85~D88

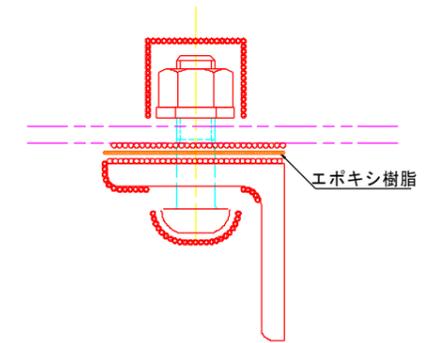
D7, D8, D30, D31, D62, D63, D83, D84



項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	112	
芯出し素地調整	m ²	0.144	
鋼桁孔明け	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相出	kg	0.141
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.174
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	2.969

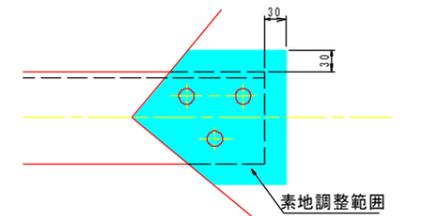
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	112	
芯出し素地調整	m ²	0.144	
鋼桁孔明け	ヶ	6	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相出	kg	0.141
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.174
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	2.969

塗装要領図



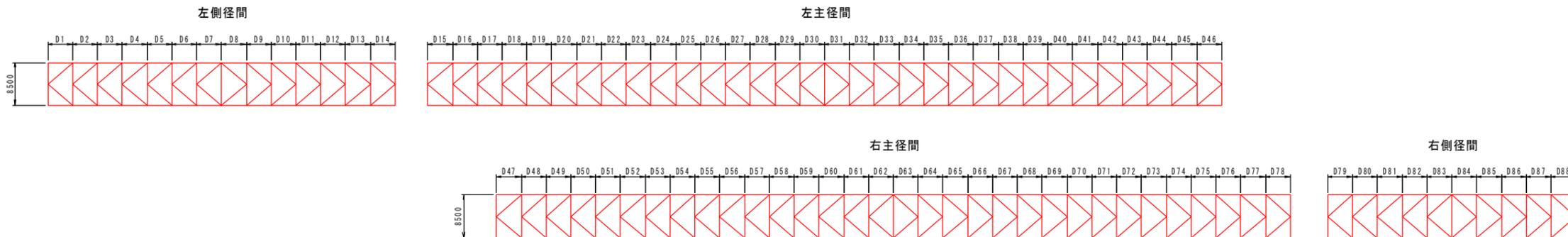
(J) 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクリッチペイント)
(F-1) 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J



素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。

配置図



注記

- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 3) 新設製作部材の高力ボルト孔は、 $\phi 24.5$ とする。
- 4) 取替部材の高力ボルト孔(現場施工)は、 $\phi 26.5$ とする。
- 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	上横構補強詳細図(その1)弦材取替え		
縮尺	S=1:20	図面番号	12 / 74
会社名			
事業者名	徳島県 東部 県土 整備局		

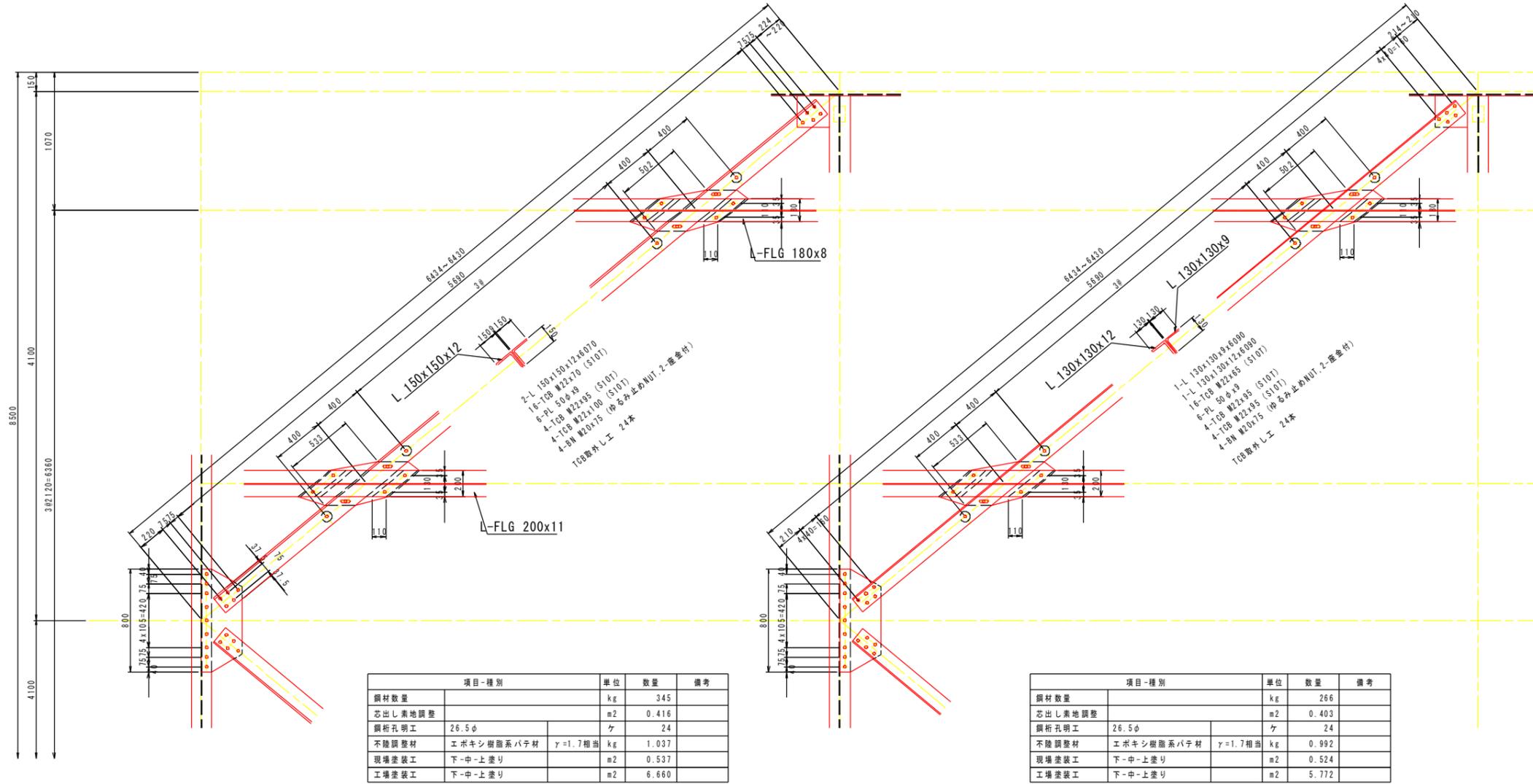
上横構補強詳細図 (その2)

S=1:20

弦材取替え

D15, D46, D47, D78

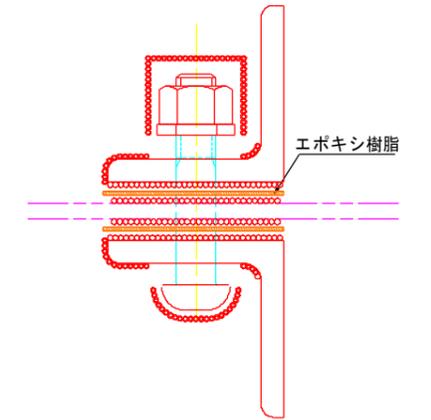
D16, D45, D48, D77



項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	345	
芯出し素地調整	m ²	0.416	
鋼桁孔明工	ヶ	24	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材	γ=1.7相当	kg 1.037
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.537
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	6.660

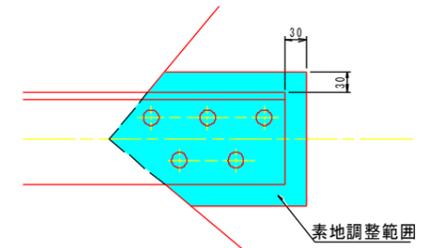
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	266	
芯出し素地調整	m ²	0.403	
鋼桁孔明工	ヶ	24	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材	γ=1.7相当	kg 0.992
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.524
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	5.772

塗装要領図



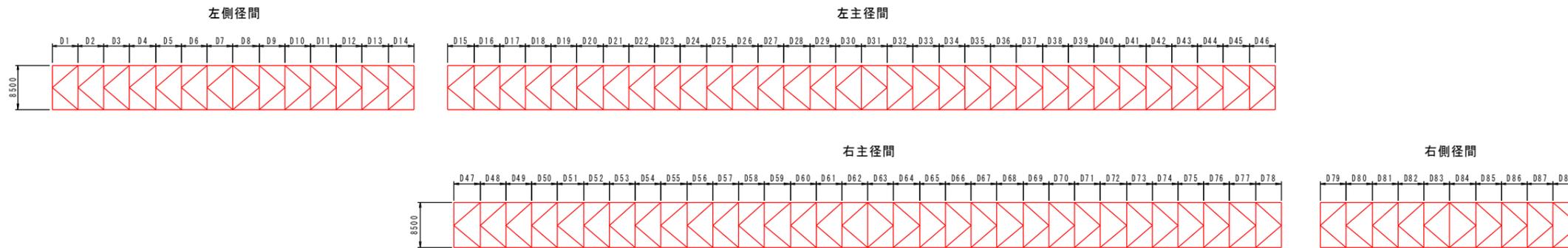
接触部 (無機ジクロリドペイント) または、接触部 (高摩擦有機ジクロリドペイント)
 現場添接部 (外面 ナット部) - 現場添接部 (外面 添接板)

記号	塗装系
○	F-11
○	J



素地調整範囲は、新設部材接触部+30mmの範囲を標準とする。

配置図



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 印はトルシア型高力ボルトM22 (S10T)を示す。
 - 3) 新設製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
 - 4) 既設部材の高力ボルト孔 (現場施工)は、φ26.5とする。
 - 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴 - 徳島大島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島 (小鳴門橋)		
図面名	上横構補強詳細図 (その2) 弦材取替え		
縮尺	S=1:20	図面番号	13 / 74
会社名			
事業者名	徳島県 東部 県土 整備局		

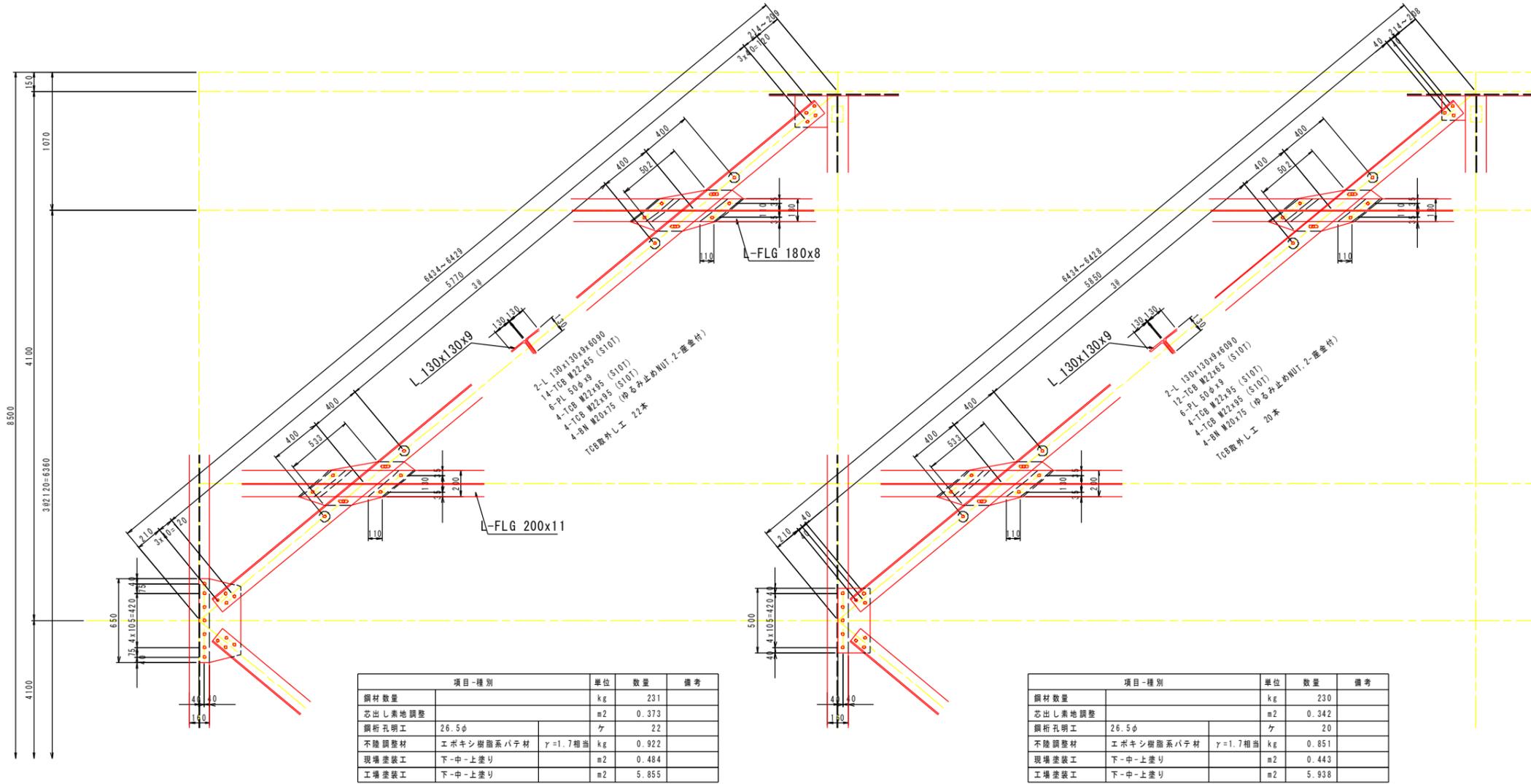
上横構補強詳細図 (その3)

S=1:20

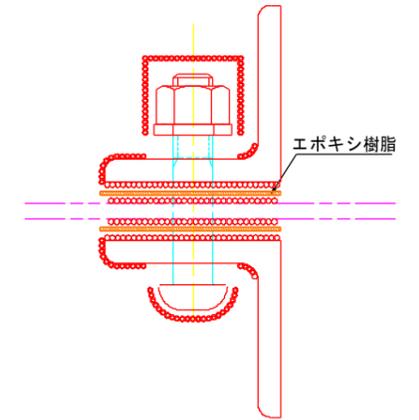
弦材取替え

D17~D20, D41~D44, D49~D52, D73~D76

D21~D25, D36~D40, D53~D57, D68~D72

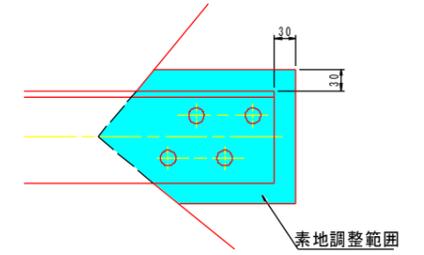


塗装要領図



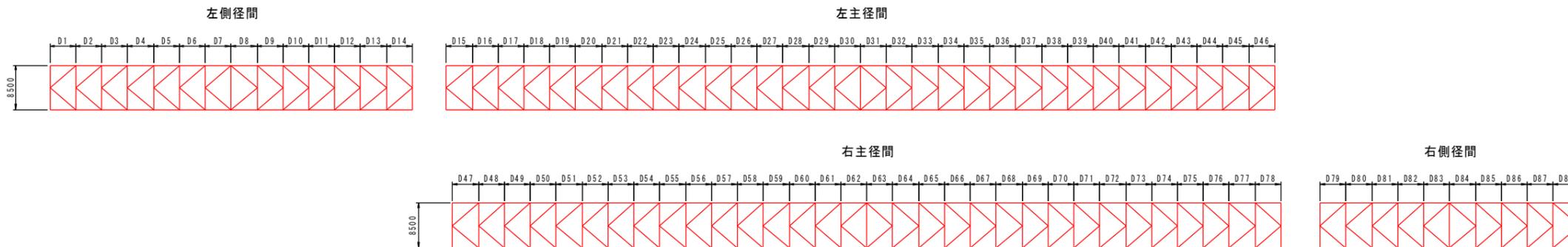
○ J 接触部(無機ジクロリドペイント)または、接触部(高摩擦有機ジクロリドペイント)
○ F-11 現場添接部(外面 ナット部)-現場添接部(外面 添接板)

記号	塗装系
○ F-11	F-11
○ J	J



素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。

配置図



注記

- 特記なき材料は全てSS400とする。
- 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 新設製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
- 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
- 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴-徳島大島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)		
図面名	上横構補強詳細図(その3)弦材取替え		
縮尺	S=1:20	図面番号	14 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

上横構補強詳細図 (その4)

S=1:10

ガセット部取替え

対傾構上弦材との取り合い部

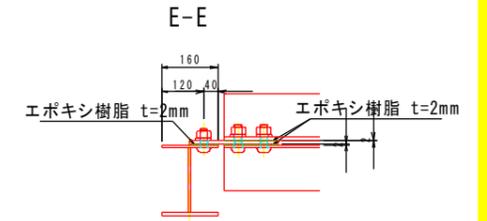
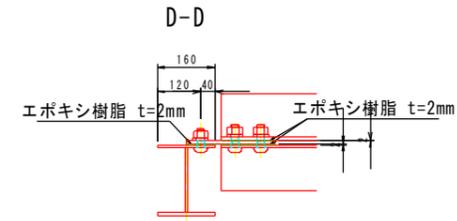
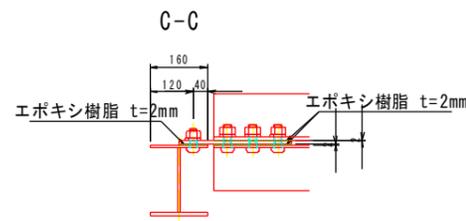
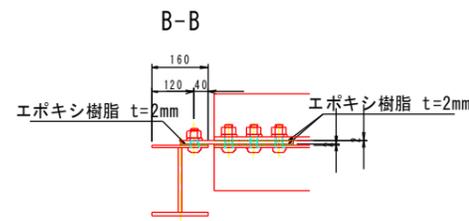
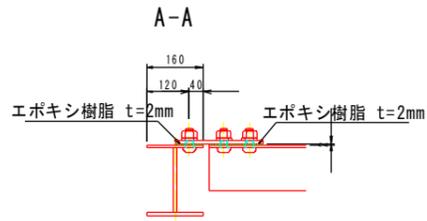
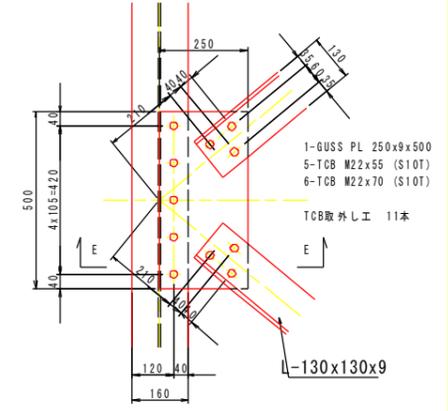
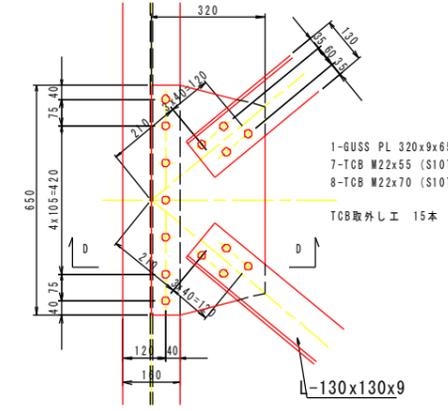
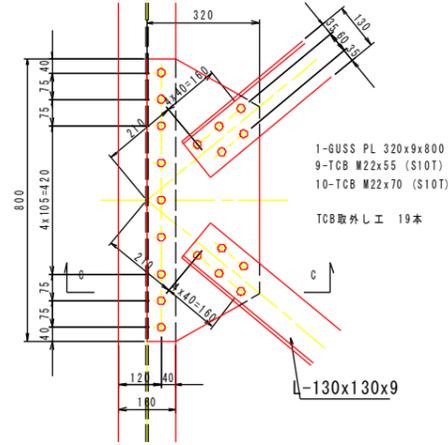
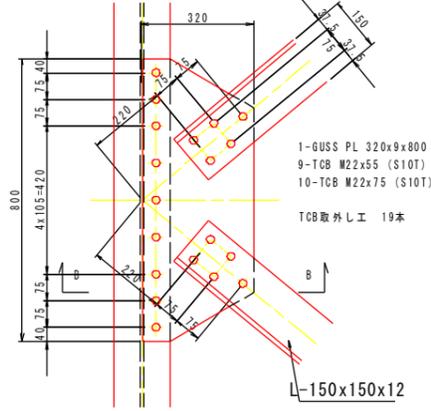
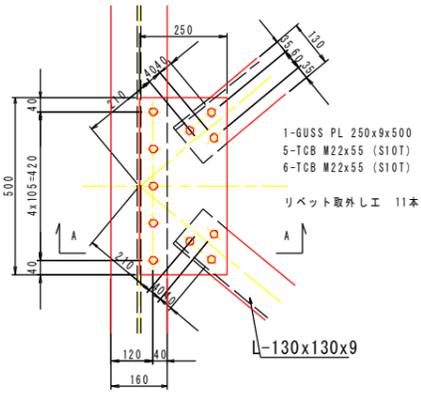
D1~D6, D9~D14, D26~D29, D32~D35, D58~D61
D64~D67, D79~D82, D85~D88
D7, D8, D30, D31, D62, D63, D83, D84

D15, D46, D47, D78

D16, D45, D48, D77

D17~D20, D41~D44
D49~D52, D73~D76

D21~D25, D36~D40
D53~D57, D68~D72



項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	14	
芯出し素地調整	m2	0.222	
鋼桁孔明工	26.5φ	ケ	11
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.277
現場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.278
工場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.087

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	27	
芯出し素地調整	m2	0.501	
鋼桁孔明工	26.5φ	ケ	19
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.687
現場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.441
工場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.246

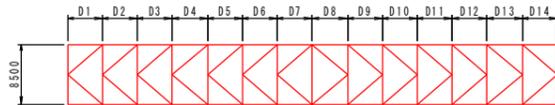
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	27	
芯出し素地調整	m2	0.470	
鋼桁孔明工	26.5φ	ケ	19
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.642
現場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.425
工場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.259

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	22	
芯出し素地調整	m2	0.395	
鋼桁孔明工	26.5φ	ケ	15
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.531
現場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.352
工場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.208

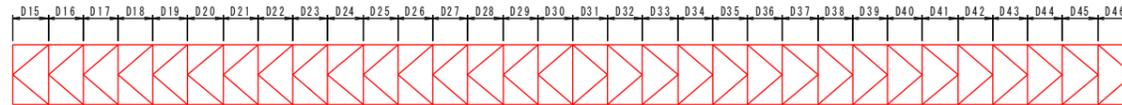
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	14	
芯出し素地調整	m2	0.321	
鋼桁孔明工	26.5φ	ケ	11
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 γ=1.7相当	kg	0.419
現場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.278
工場塗装工	下-中-上塗り	m2	0.087

配置図

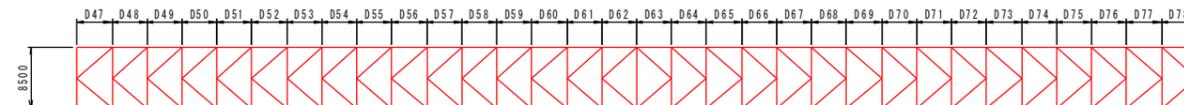
左側径間



左主径間



右主径間



右側径間



注記

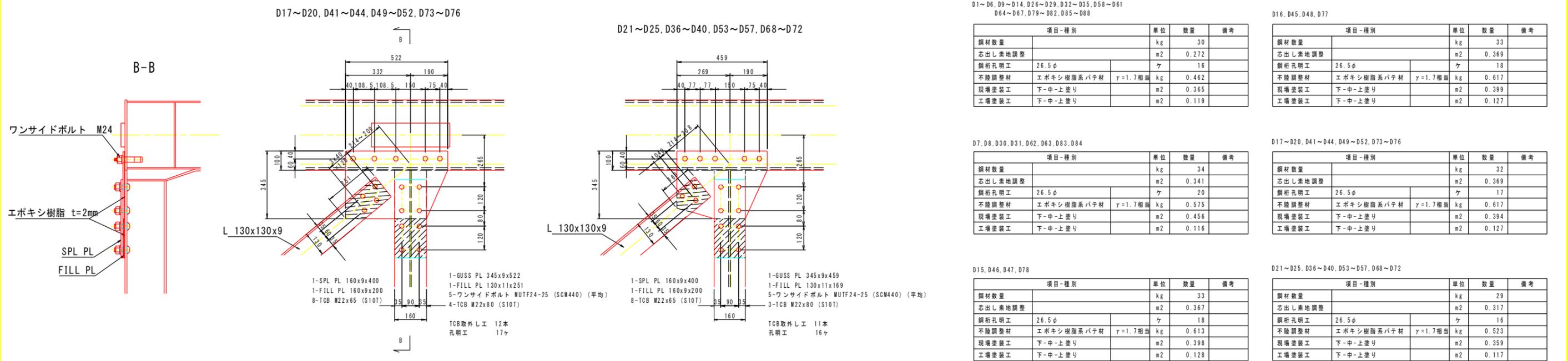
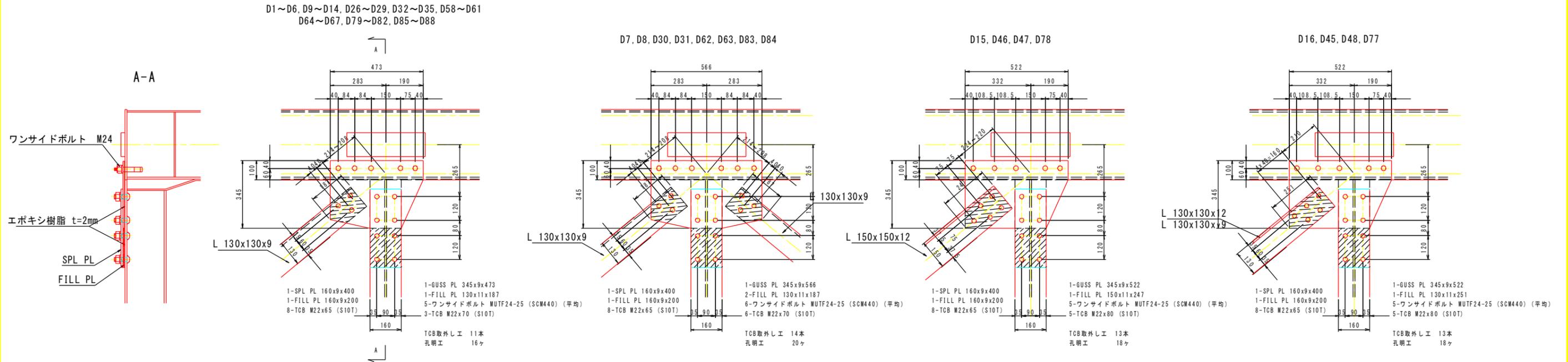
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 3) 新機製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
- 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
- 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	上横構補強詳細図 (その4) ガセット部取替え		
縮尺	S=1:10	図面番号	15 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

上横構補強詳細図 (その5)

S=1:10

ガセット部取替え
主構上弦材との取り合い部



項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	30	
芯出し素地調整	m2	0.272	
鋼桁孔明け工	ヶ	16	
不陸調整材	kg	0.462	
現場塗装工	m2	0.365	
工場塗装工	m2	0.119	

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	33	
芯出し素地調整	m2	0.369	
鋼桁孔明け工	ヶ	18	
不陸調整材	kg	0.617	
現場塗装工	m2	0.399	
工場塗装工	m2	0.127	

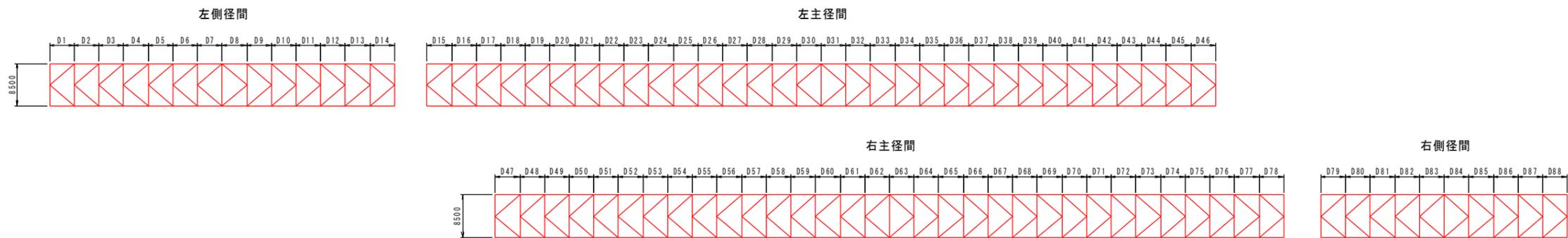
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	34	
芯出し素地調整	m2	0.341	
鋼桁孔明け工	ヶ	20	
不陸調整材	kg	0.575	
現場塗装工	m2	0.456	
工場塗装工	m2	0.116	

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	32	
芯出し素地調整	m2	0.369	
鋼桁孔明け工	ヶ	17	
不陸調整材	kg	0.617	
現場塗装工	m2	0.394	
工場塗装工	m2	0.127	

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	33	
芯出し素地調整	m2	0.367	
鋼桁孔明け工	ヶ	18	
不陸調整材	kg	0.613	
現場塗装工	m2	0.398	
工場塗装工	m2	0.128	

項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	29	
芯出し素地調整	m2	0.317	
鋼桁孔明け工	ヶ	16	
不陸調整材	kg	0.523	
現場塗装工	m2	0.359	
工場塗装工	m2	0.117	

配置図



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
 - 3) 新機製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5とする。
 - 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5とする。
 - 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

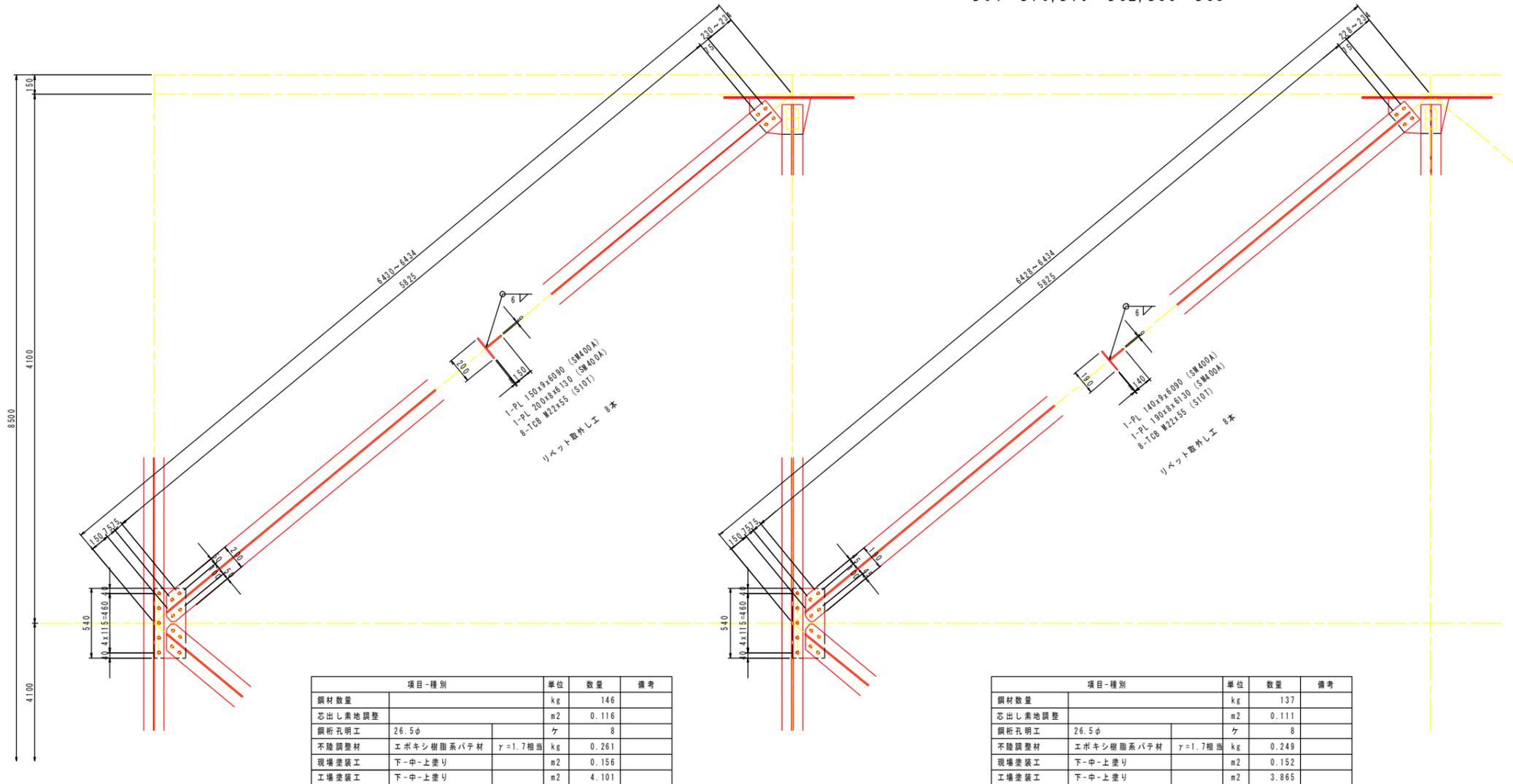
工事名	R1線土 鳴門公園線 鳴門橋大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)
図面名	上横構補強詳細図 (その5) ガセット部取替え
縮尺	S=1:10 図面番号 16 / 74
会社名	
事業者名	徳島県 東部県土整備局

下横構補強詳細図 (その1)

S=1:20

D15, D16, D45, D46, D47, D48, D77, D78

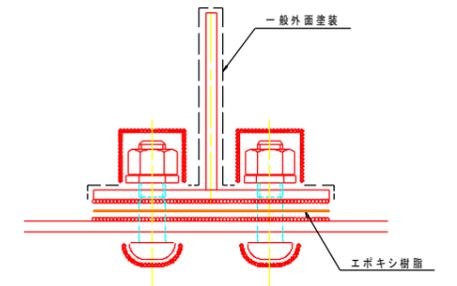
D1~D6, D9~D14, D17~D29, D32~D44, D49~D61
D64~D76, D79~D82, D85~D88



項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	146	
芯出し素地調整	m ²	0.116	
鋼桁孔明工	ヶ	8	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相出	kg	0.261
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.156
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	4.101

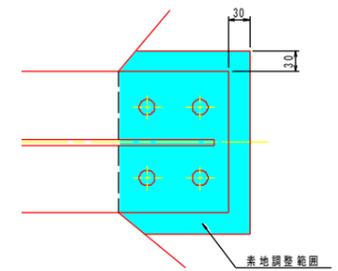
項目-種別	単位	数量	備考
鋼材数量	kg	137	
芯出し素地調整	m ²	0.111	
鋼桁孔明工	ヶ	8	
不陸調整材	エポキシ樹脂系パテ材 $\gamma=1.7$ 相出	kg	0.249
現場塗装工	下-中-上塗り	m ²	0.152
工場塗装工	下-中-上塗り	m ²	3.865

塗装要領図



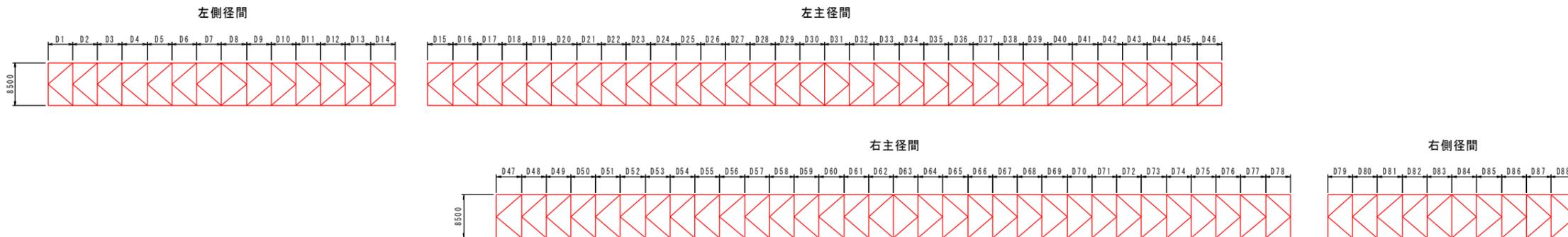
(J) 接触部(無機ジンクリッチペイント)または、接触部(高摩擦有機ジンクペイント)
(F-1) 現場溶接部(外面 ナット部)-現場溶接部(外面 溶接部)

記号	塗装系
○	F-11
○	J



素地調整範囲は、新設部材接触板+30mmの範囲を標準とする。

配置図



注記

- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 印はトルシア型高力ボルトM22(S10T)を示す。
- 3) 新機製作部材の高力ボルト孔は、 $\phi 24.5$ とする。
- 4) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、 $\phi 26.5$ とする。
- 5) 現場寸法計測の上、製作及び施工を行うこと。

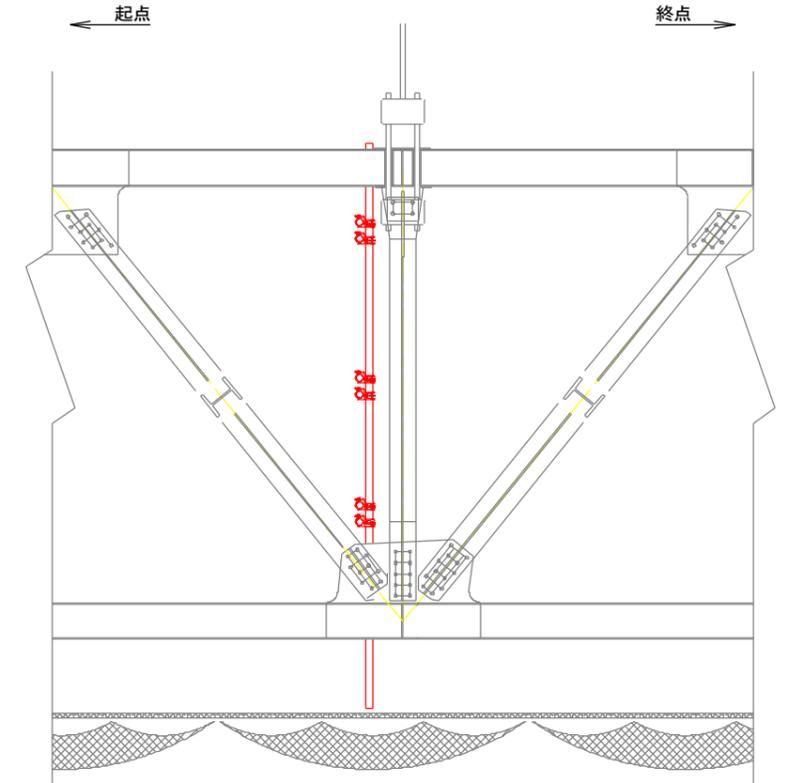
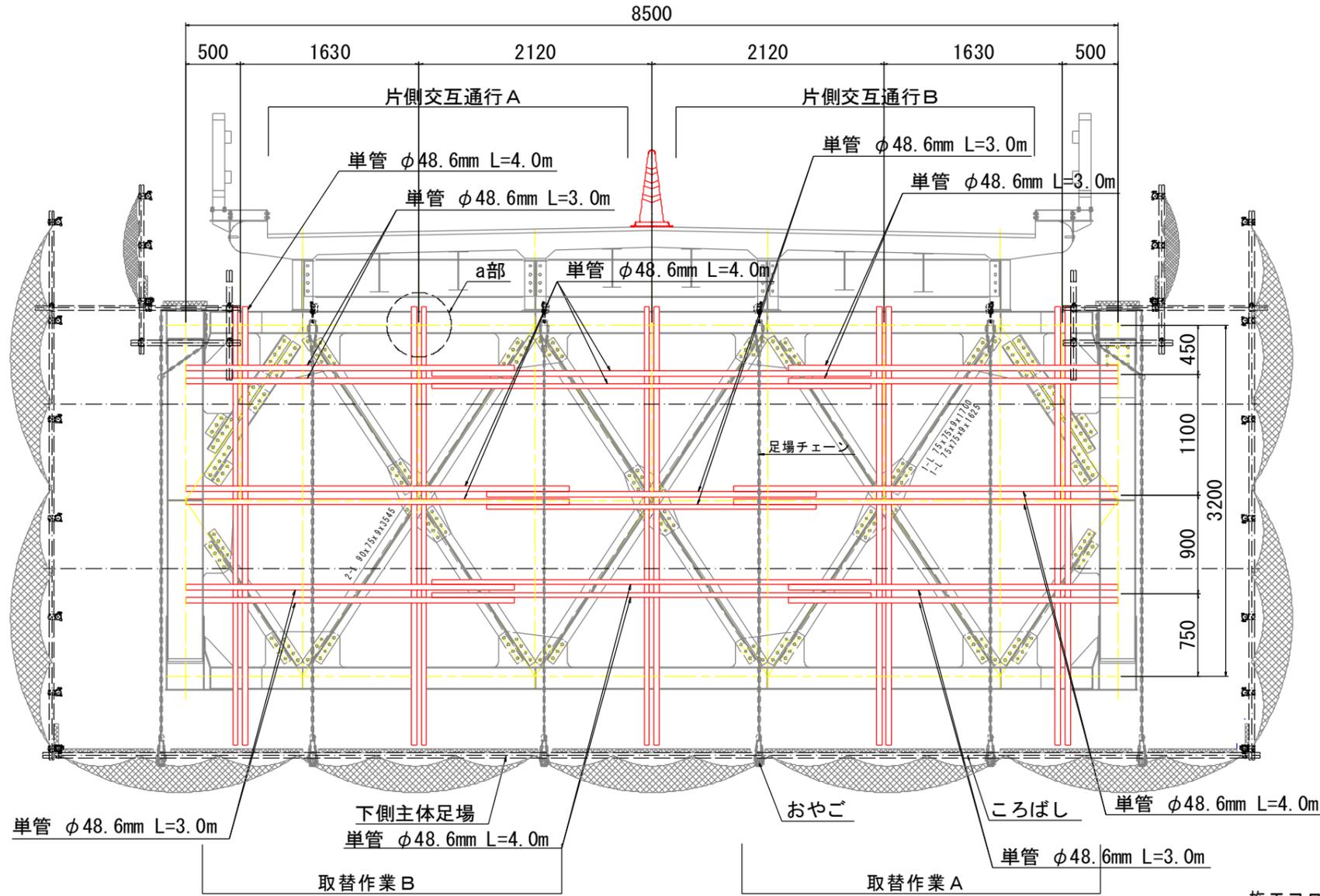
工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴-徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	下横構補強詳細図(その1)		
縮尺	S=1:20	図面番号	17 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

上部工補修施工要領図

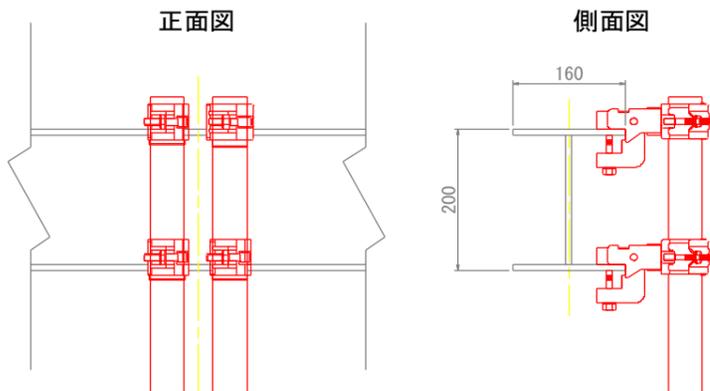
(参考図)

正面図 S=1:25

側面図 S=1:25



a部 詳細図 S=1:5

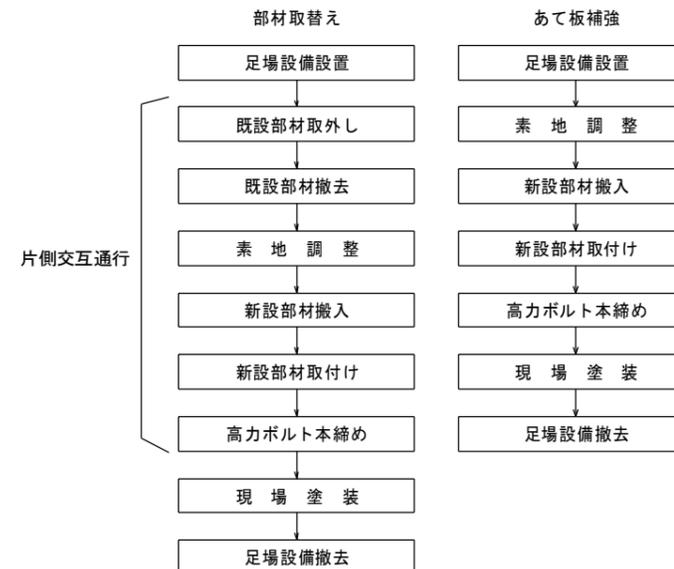


※対傾構下弦材も同様に単管と連結する

使用材料

単管 φ48.6mm	L=4.0m N=18本
	L=3.0m N=10本

施工フローチャート



〈施工時留意事項〉
 部材取替時において、取替箇所活荷重が載荷されないように配慮する。
 (端部斜材作用力が大きいため配慮。
 片側通行A→取替作業A、片側通行B→取替作業B)
 あて板作業時の規制必要性無し。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島橋 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	上部工補修施工要領図 (参考図)		
縮尺	S=1:25	図面番号	19 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

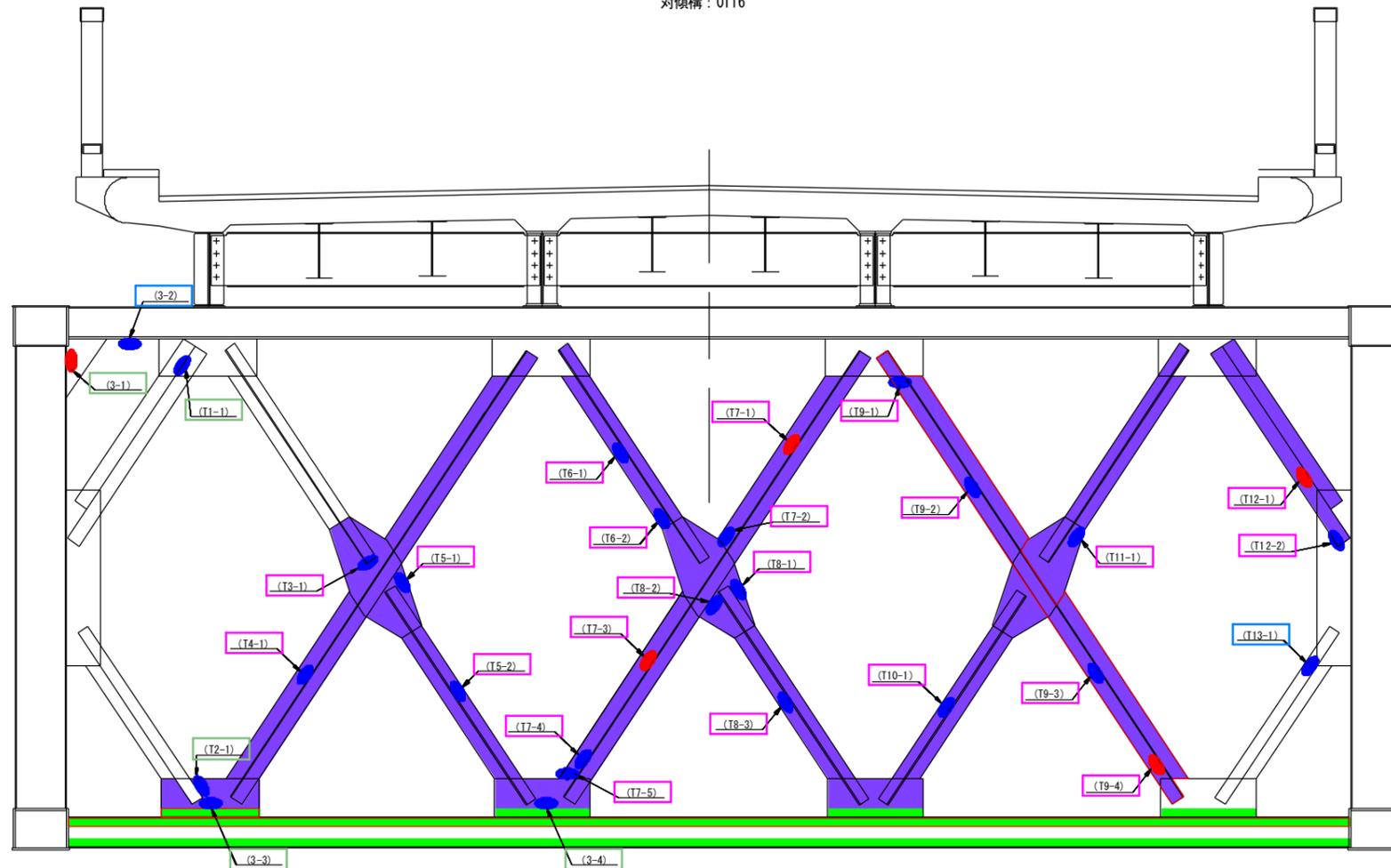
S=1:20

ブロック番号(34)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	有	60 x 20 x 5	0.001		0.01	金属パテ補修
(3-2)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(3-3)	無	140 x 40 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修
(3-4)	無	180 x 30 x 3	0.005		0.04	金属パテ補修
(T1-1)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(T2-1)	無	100 x 30 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(T3-1)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(T4-1)	無	280 x 90 x 3				部材補修
(T5-1)	無	100 x 50 x 3				部材補修
(T5-2)	無	300 x 100 x 3				部材補修
(T6-1)	無	130 x 40 x 3				部材補修
(T6-2)	無	50 x 50 x 5				
(T7-1)	有	80 x 80 x 5				
(T7-2)	無	30 x 50 x 5				
(T7-3)	有	850 x 80 x 5				部材補修
(T7-4)	無	50 x 50 x 3				
(T7-5)	無	30 x 70 x 3				
(T8-1)	無	200 x 20 x 3				部材補修
(T8-2)	無	170 x 30 x 3				部材補修
(T8-3)	無	200 x 80 x 3				部材補修
(T9-1)	無	50 x 50 x 4				
(T9-2)	無	200 x 100 x 4				部材補修
(T9-3)	無	220 x 60 x 3				
(T9-4)	有	450 x 90 x 5				
(T10-1)	無	250 x 80 x 3				部材補修
(T11-1)	無	100 x 20 x 3				部材補修
(T12-1)	有	130 x 70 x 5				部材補修
(T12-2)	無	30 x 60 x 3				
(T13-1)	無	100 x 80 x 3	0.008			再塗装
小計			0.044	0.00	0.14	

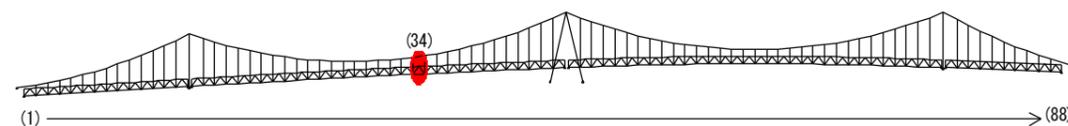
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

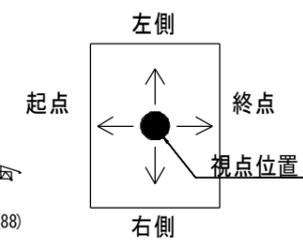
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕度を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(34) 対傾構(起点側)
縮尺	S=1:20 図面番号 20 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

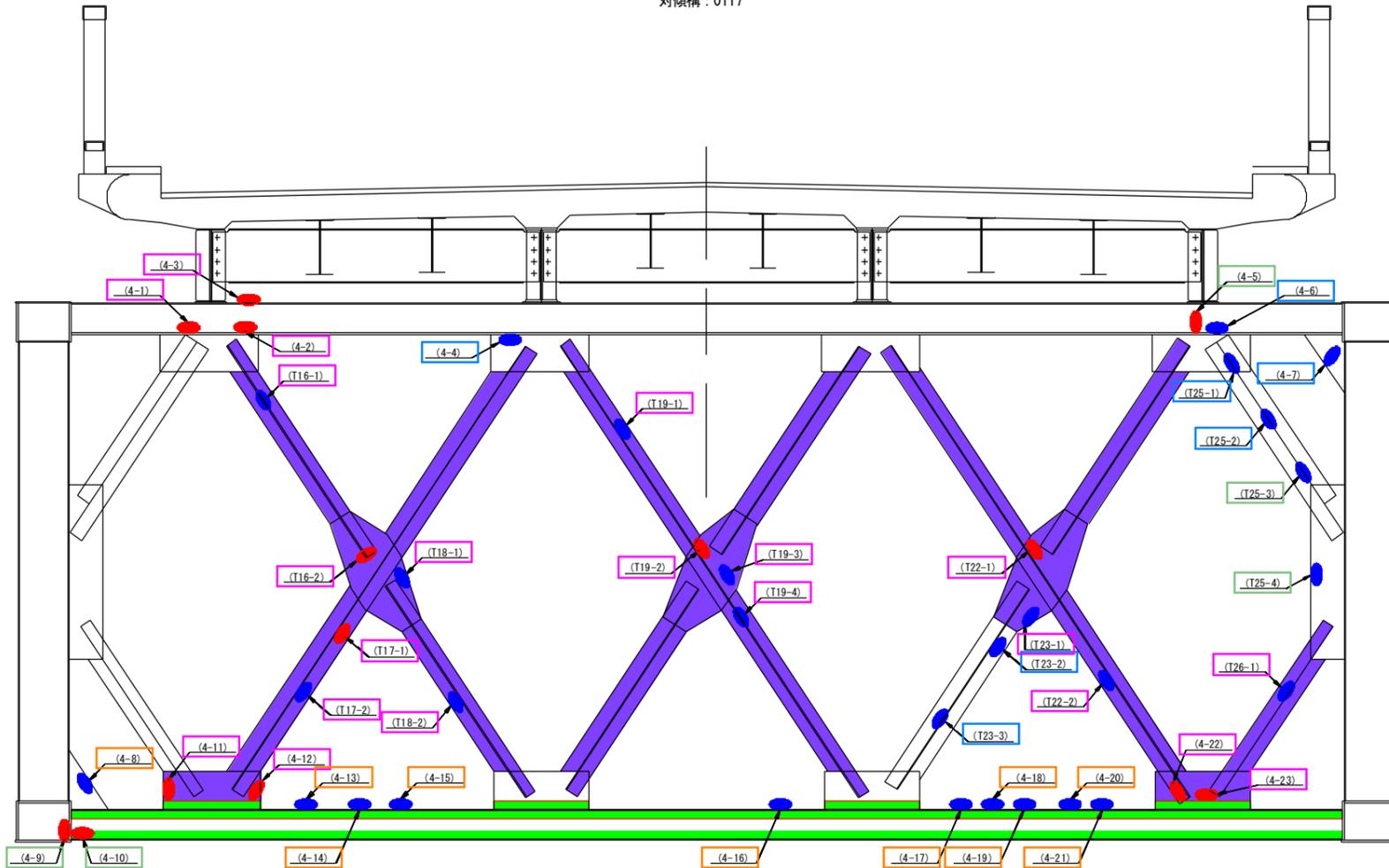
S=1:20

ブロック番号(34)

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

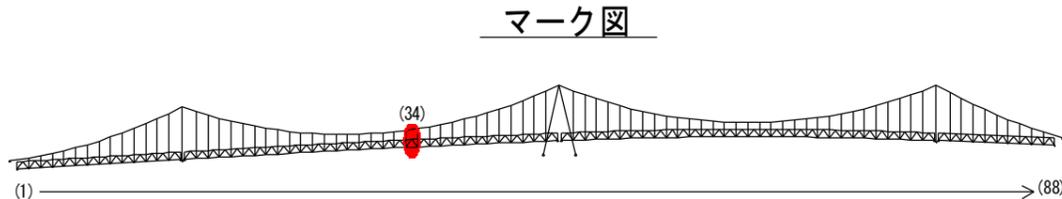
(終点側)
対傾構: 0117



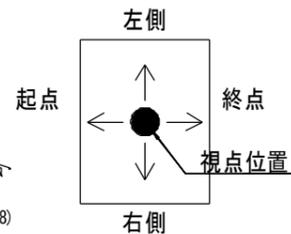
- 補修工法凡例**
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●



視点位置図



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m2)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(4-1)	有	350 x 80 x 5	0.028	0.24	0.32	部材補修
(4-2)	有	250 x 80 x 5	0.020	0.17	0.23	部材補修
(4-3)	有	80 x 80 x 5	0.006	0.05	0.07	部材補修
(4-4)	無	100 x 70 x 3	0.007	0.04	0.05	再塗装
(4-5)	有	80 x 60 x 5	0.005	0.04	0.06	金属パテ補修
(4-6)	無	80 x 80 x 3	0.006	0.03	0.04	再塗装
(4-7)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03	0.03	再塗装
(4-8)	無	200 x 70 x 3	0.014	0.07	0.10	エポキシ樹脂パテ補修
(4-9)	有	100 x 60 x 5	0.006	0.05	0.07	金属パテ補修
(4-10)	有	250 x 50 x 5	0.013	0.11	0.14	金属パテ補修
(4-11)	有	100 x 50 x 5	0.005	0.04	0.06	部材補修
(4-12)	有	200 x 200 x 5	0.040	0.34	0.46	部材補修
(4-13)	無	200 x 70 x 3	0.014	0.07	0.10	エポキシ樹脂パテ補修
(4-14)	無	150 x 50 x 3	0.008	0.04	0.05	エポキシ樹脂パテ補修
(4-15)	無	600 x 80 x 3	0.048	0.24	0.33	エポキシ樹脂パテ補修
(4-16)	無	300 x 100 x 3	0.030	0.15	0.20	エポキシ樹脂パテ補修
(4-17)	無	200 x 30 x 3	0.006	0.03	0.04	エポキシ樹脂パテ補修
(4-18)	無	130 x 40 x 3	0.005	0.03	0.04	エポキシ樹脂パテ補修
(4-19)	無	100 x 80 x 3	0.008	0.04	0.05	エポキシ樹脂パテ補修
(4-20)	無	250 x 40 x 3	0.010	0.05	0.07	エポキシ樹脂パテ補修
(4-21)	無	300 x 40 x 3	0.012	0.06	0.08	エポキシ樹脂パテ補修
(4-22)	有	200 x 150 x 5	0.030	0.26	0.35	部材補修
(4-23)	有	430 x 30 x 5	0.013	0.11	0.15	部材補修
(T16-1)	無	80 x 50 x 3	0.004	0.02	0.03	部材補修
(T16-2)	有	200 x 150 x 5	0.030	0.26	0.35	部材補修
(T17-1)	有	150 x 60 x 5	0.009	0.08	0.10	部材補修
(T17-2)	無	100 x 70 x 3	0.007	0.04	0.05	部材補修
(T18-1)	無	300 x 60 x 3	0.018	0.09	0.12	部材補修
(T18-2)	無	120 x 70 x 3	0.008	0.04	0.06	部材補修
(T19-1)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03	0.03	部材補修
(T19-2)	有	200 x 70 x 5	0.014	0.12	0.16	部材補修
(T19-3)	無	300 x 150 x 4	0.045	0.31	0.41	部材補修
(T19-4)	無	150 x 40 x 3	0.006	0.03	0.04	部材補修
(T22-1)	有	150 x 70 x 5	0.011	0.09	0.12	部材補修
(T22-2)	無	300 x 100 x 3	0.030	0.15	0.21	部材補修
(T23-1)	無	100 x 30 x 3	0.003	0.02	0.02	部材補修
(T23-2)	無	100 x 40 x 3	0.004	0.02	0.03	再塗装
(T23-3)	無	200 x 50 x 3	0.010	0.05	0.07	再塗装
(T25-1)	無	120 x 70 x 3	0.008	0.04	0.06	再塗装
(T25-2)	無	100 x 70 x 3	0.007	0.04	0.05	再塗装
(T25-3)	無	350 x 150 x 3	0.053	0.27	0.36	金属パテ補修
(T25-4)	無	300 x 60 x 3	0.018	0.09	0.12	金属パテ補修
(T26-1)	無	80 x 60 x 3	0.005	0.02	0.03	部材補修
小計			0.296	0.79	0.75	

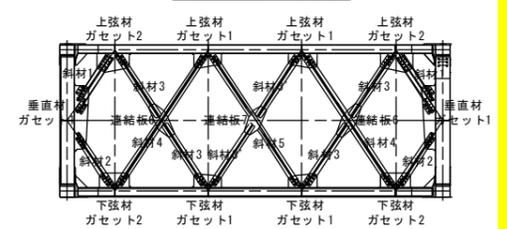
取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	1
斜材 3	3
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	0
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	0
下弦材 ガセット 2	2
垂直材 ガセット 1	0

(補修方針)

- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて表記する。

取替箇所マーク図



(補修方針)

- 可能減肉率及び間値(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
- 孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
- 雨水溜水箇所はエポキシパテ補修を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装とする。
- 損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(34) 対傾構(終点側)
縮尺	S=1:20 図面番号 21 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

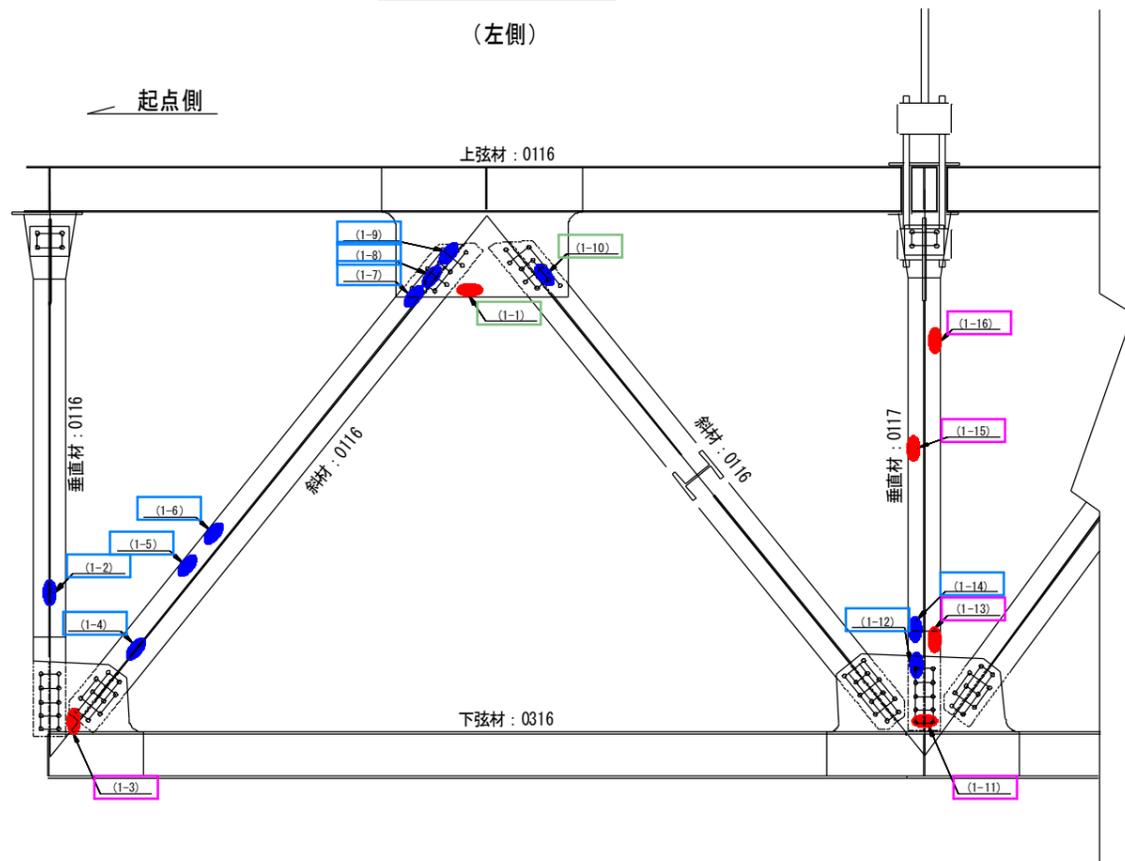
S=1:20

ブロック番号(34)

主構<弦材・斜材・垂直材>
左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(1-2)	無	260 x 60 x 3	0.016			再塗装
(1-3)	有	300 x 50 x 5				部材補修
(1-4)	無	120 x 30 x 3	0.004			再塗装
(1-5)	無	150 x 40 x 3	0.006			再塗装
(1-6)	無	270 x 40 x 3	0.011			再塗装
(1-7)	無	130 x 50 x 3	0.007			再塗装
(1-8)	無	70 x 60 x 3	0.004			再塗装
(1-9)	無	50 x 50 x 3	0.003			再塗装
(1-10)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(1-11)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(1-12)	無	200 x 100 x 3	0.020			再塗装
(1-13)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(1-14)	無	700 x 70 x 3	0.049			再塗装
(1-15)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(1-16)	有	250 x 50 x 5				部材補修
小計			0.127	0.00	0.08	

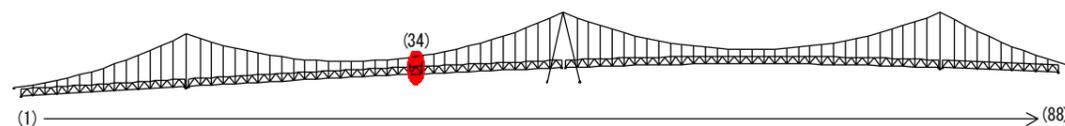
補修工法凡例

- (1-1) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (1-10) : 金属パテ補修箇所
- (1-11) : エポキシパテ補修箇所
- (1-2) : 再塗装箇所

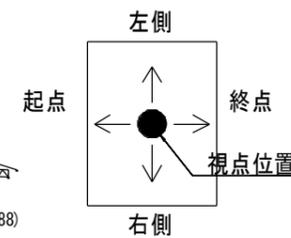
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(34) 主構(左側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	22 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

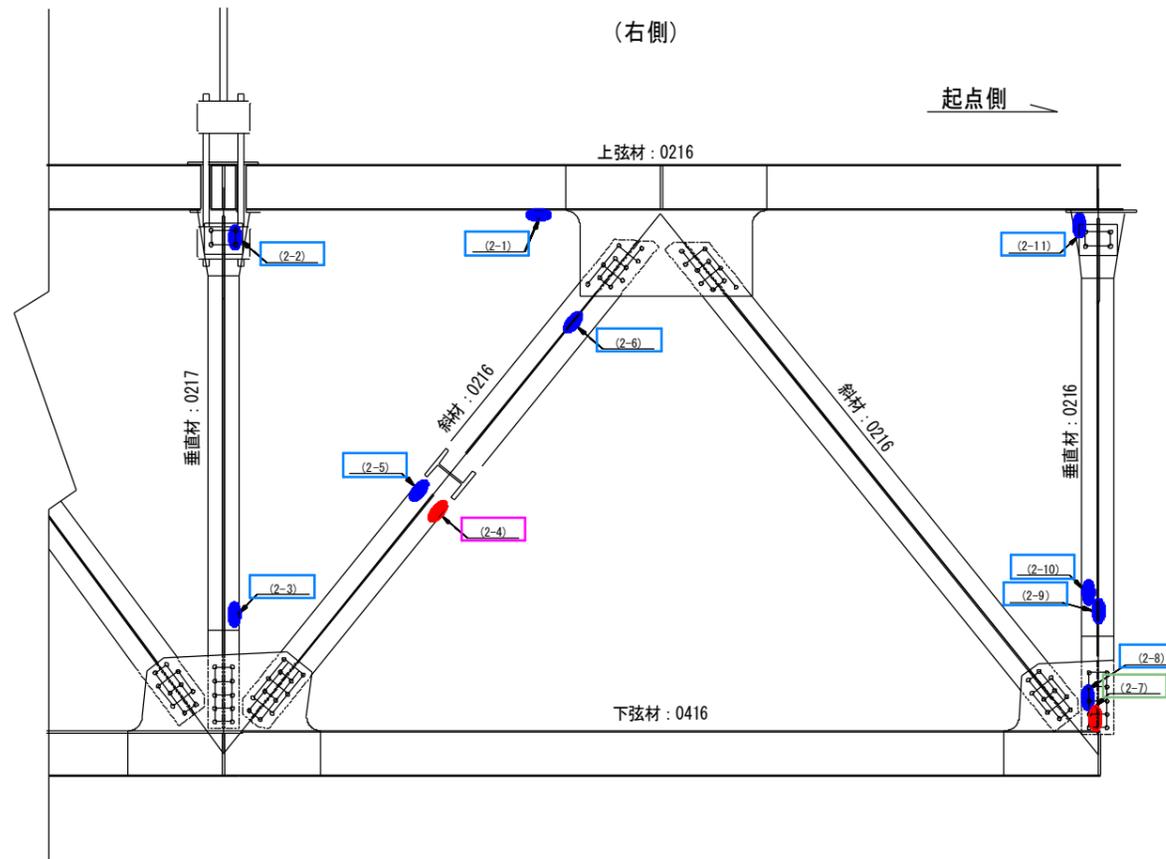
補修図

S=1:20

ブロック番号(34)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	60 x 60 x 3	0.004			再塗装
(2-2)	無	150 x 80 x 3	0.012			再塗装
(2-3)	無	130 x 80 x 3	0.010			再塗装
(2-4)	有	130 x 60 x 5				部材補修
(2-5)	無	30 x 40 x 3	0.001			再塗装
(2-6)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(2-7)	有	100 x 80 x 5	0.008		0.09	金属パテ補修
(2-8)	無	150 x 70 x 3	0.011			再塗装
(2-9)	無	300 x 120 x 3	0.036			再塗装
(2-10)	無	150 x 40 x 3	0.006			再塗装
(2-11)	無	120 x 30 x 3	0.004			再塗装
小計			0.107	0.00	0.09	

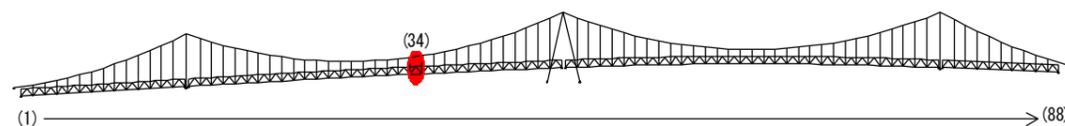
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

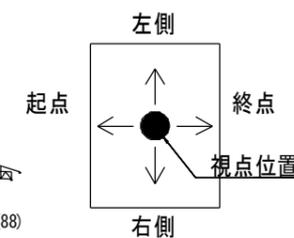
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所は
パテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を
確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候橋補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合は
ブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(34) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	23 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

ブロック番号(34)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

起点側

平面図

終点側

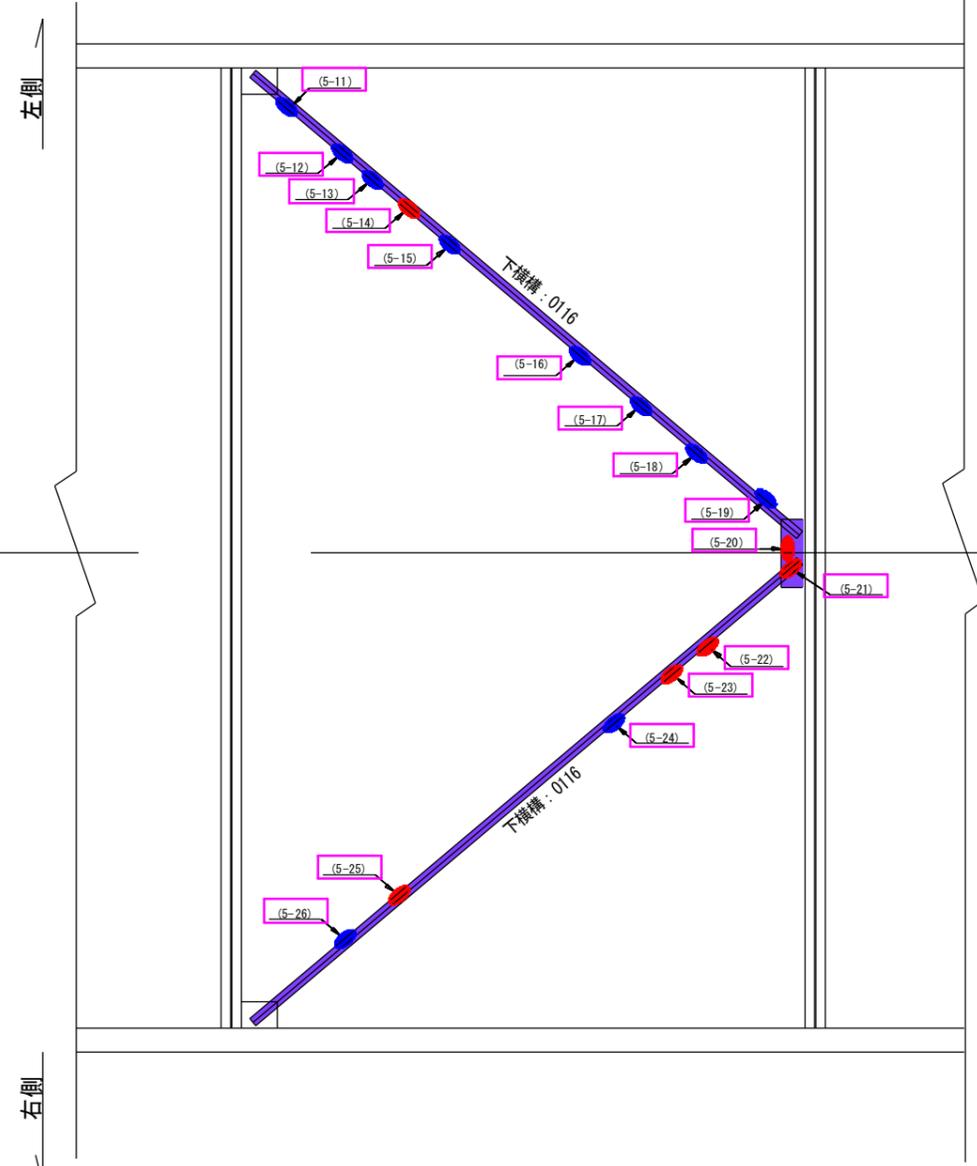
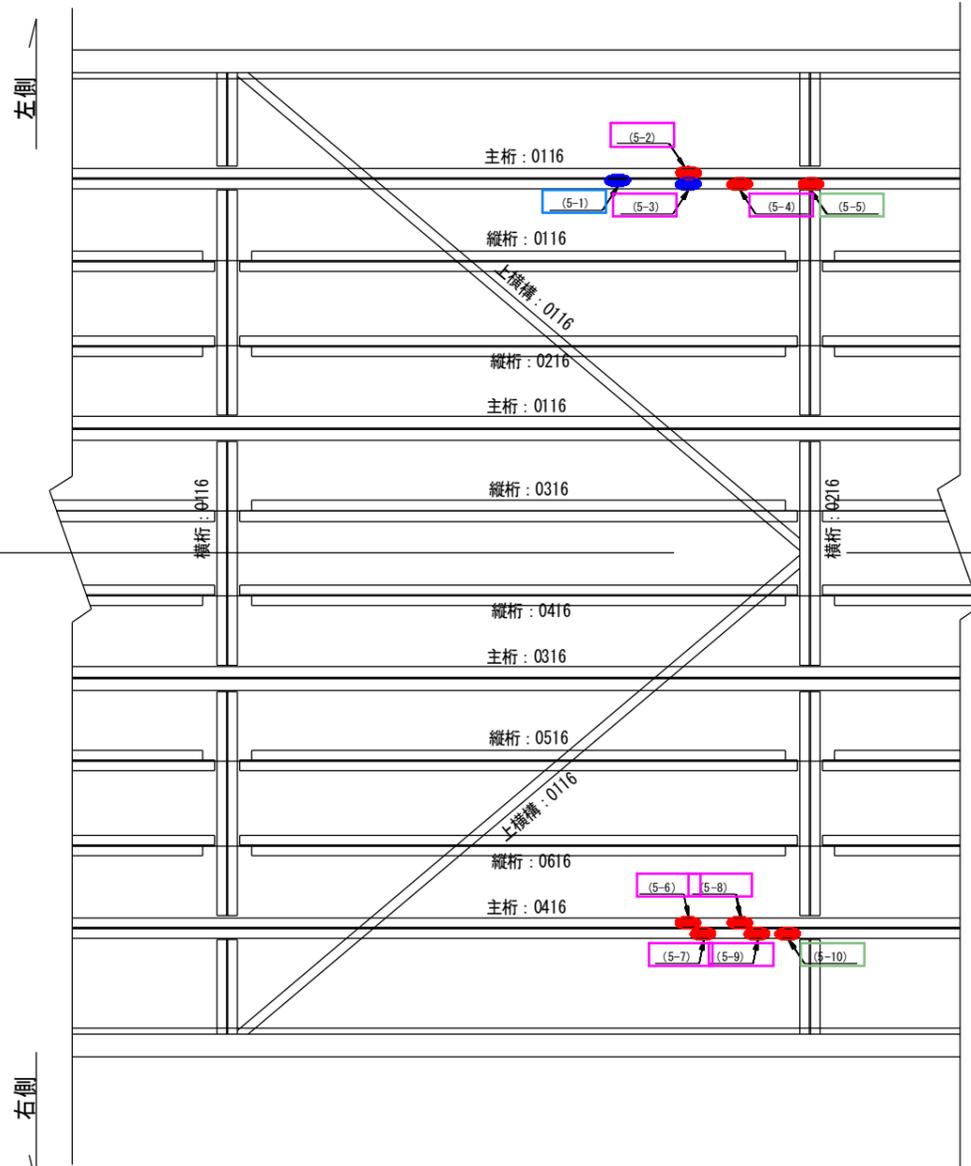
(主桁・縦桁・横桁・上横構)

起点側

平面図

終点側

(下横構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	無	2600 x 50 x 4	0.130			再塗装
(5-2)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(5-3)	無	300 x 50 x 4				
(5-4)	有	400 x 70 x 5				部材補修
(5-5)	有	80 x 80 x 5	0.006		0.07	
(5-6)	有	500 x 30 x 5				部材補修
(5-7)	有	400 x 120 x 5				部材補修
(5-8)	有	600 x 30 x 5				部材補修
(5-9)	有	1200 x 20 x 5				部材補修
(5-10)	有	100 x 100 x 5	0.010		0.12	金属パテ補修
(5-11)	無	150 x 80 x 3				部材補修
(5-12)	無	80 x 70 x 3				
(5-13)	無	150 x 40 x 3				
(5-14)	有	100 x 50 x 5				
(5-15)	無	120 x 50 x 3				
(5-16)	無	300 x 50 x 3				
(5-17)	無	200 x 50 x 3				
(5-18)	無	800 x 40 x 3				
(5-19)	無	350 x 40 x 3				
(5-20)	有	600 x 200 x 5				
(5-21)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(5-22)	有	130 x 80 x 5				
(5-23)	有	90 x 70 x 5				
(5-24)	無	380 x 80 x 3				
(5-25)	有	450 x 50 x 3				
(5-26)	無	80 x 40 x 3				
小計			0.146	0.00	0.19	

- 補修工法凡例
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

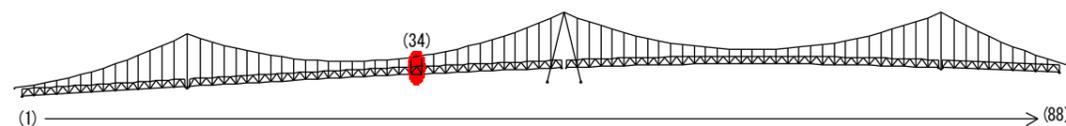
取替箇所一覧表

取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	2
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	0

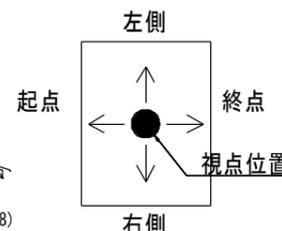
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

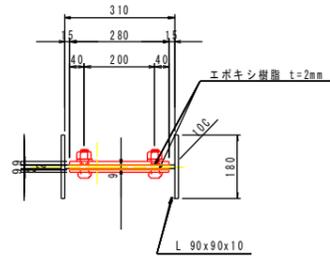
工事名	R1部土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(34) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 24 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修詳細図 S=1:10

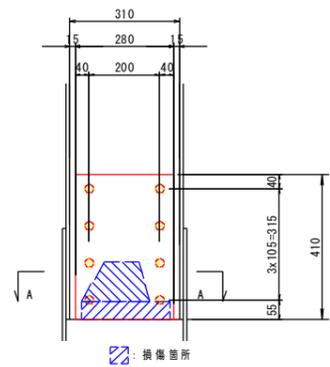
ブロック番号(34) 主構(左側)

補修詳細
(1-3, 11)

断面図
A-A



側面図



垂直材補修数量(1箇所当たり) ※2箇所

鋼材数量 20 kg

ボルト数量 8 本

素地調整 0.291 m²

孔明工 8 ヶ

不陸調整材 0.781 kg

現場塗装工 0.331 m²

2-PL 410x9x280 (SS400)

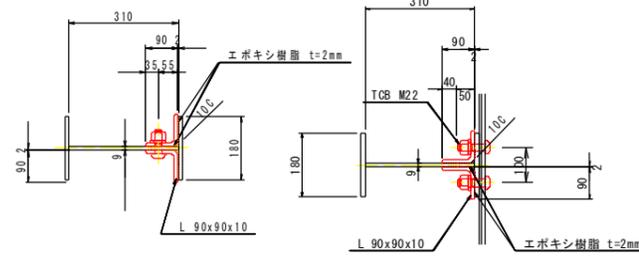
8-TCB M22x70 (S10T)

※ウェブあて板において、トルシアボルトは健全部に4本以上定着すること

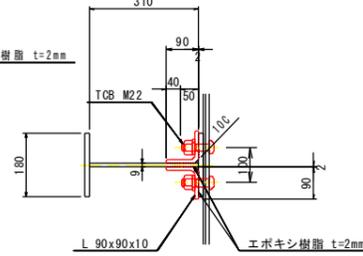
換箇所

補修詳細
(1-13)

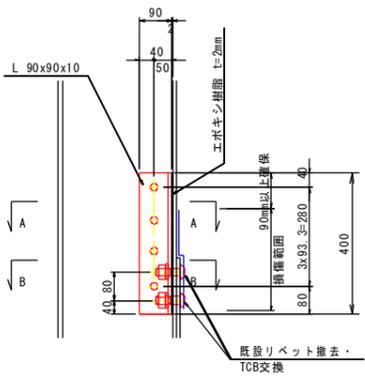
断面図
A-A



断面図
B-B



側面図



斜材補修数量

鋼材数量 15 kg

ボルト数量 8 本

リベット撤去数量 4 本

素地調整 0.193 m²

孔明工 4 ヶ

不陸調整材 0.490 kg

現場塗装工 0.233 m²

2-L 90x90x10x400

4-TCB M22x70 (S10T)

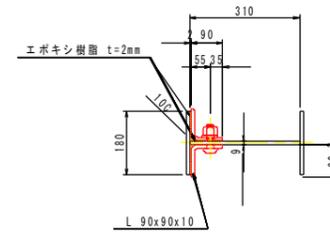
4-TCB M22x75 (S10T)

※鋼材長は損傷範囲より1×90mm以上延長する

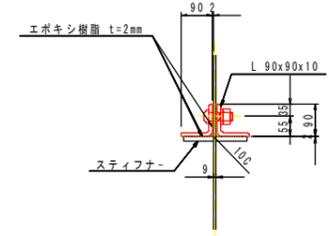
- 〈あて板補修施工順序〉
1. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 2. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 3. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 4. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 5. 垂直材ウェブ部締付

補修詳細
(1-15)

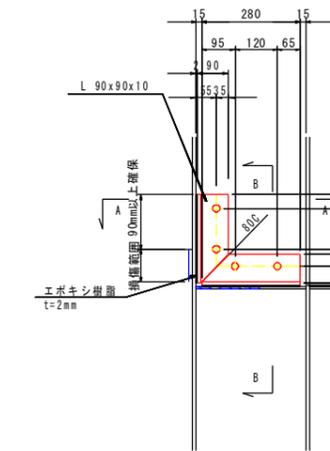
断面図
A-A



断面図
B-B



側面図



斜材補修数量

鋼材数量 16 kg

ボルト数量 4 本

素地調整 0.242 m²

孔明工 4 ヶ

不陸調整材 0.648 kg

現場塗装工 0.262 m²

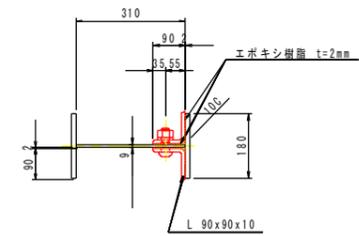
2-L 90x90x10x530

4-TCB M22x70 (S10T)

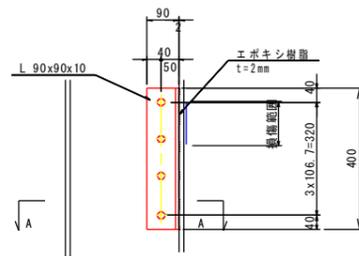
※鋼材長は損傷範囲より2×90mm以上延長する

補修詳細
(1-16)

断面図
A-A



側面図



垂直材補修数量

鋼材数量 13 kg

ボルト数量 4 本

素地調整 0.193 m²

孔明工 4 ヶ

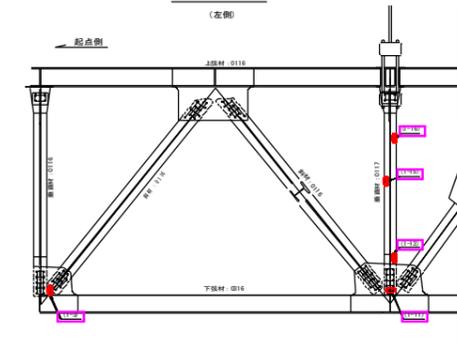
不陸調整材 0.490 kg

現場塗装工 0.213 m²

2-L 90x90x10x400

4-TCB M22x70 (S10T)

マーク図



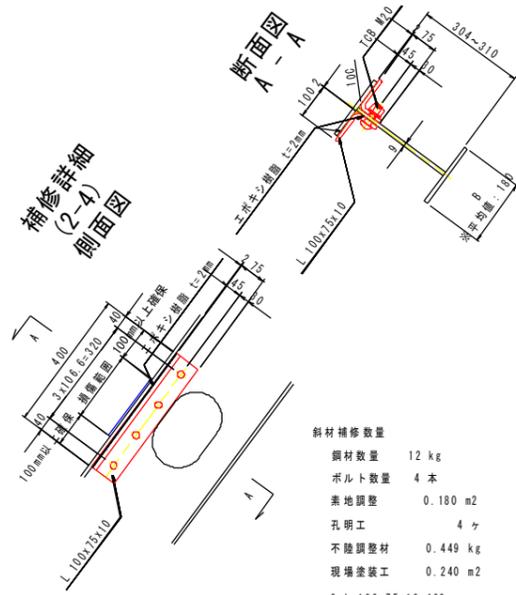
注記

- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
- 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
- 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
- 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(34) 主構(左側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	25 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

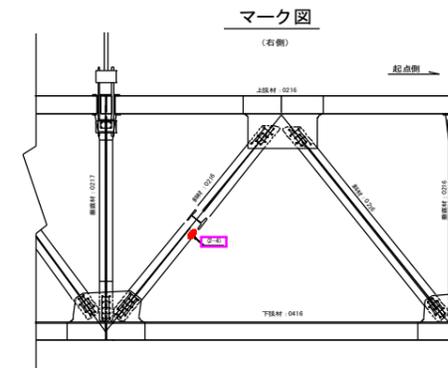
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(34) 主構(右側)



- 鋼材補修数量
- 鋼材数量 12 kg
 - ボルト数量 4 本
 - 業地調整 0.180 m2
 - 孔明工 4 ヶ
 - 不陸調整材 0.449 kg
 - 現場塗装工 0.240 m2
 - 2-L 100x75x10x400
 - 4-TCB M20x60 (S10T)

※鋼材長は損傷範囲より2×100mm以上延長する



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

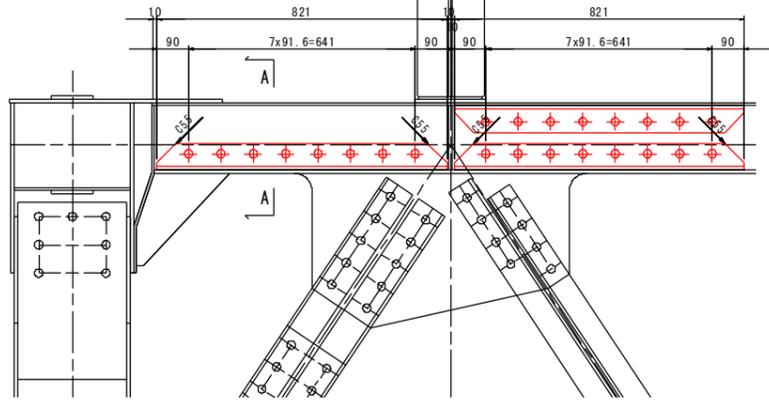
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(34) 主構(右側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	26 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

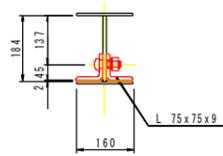
ブロック番号(34)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

補修詳細
(4-1, 2, 3)
正面図

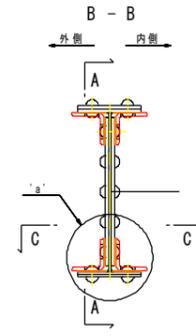


断面図
A - A

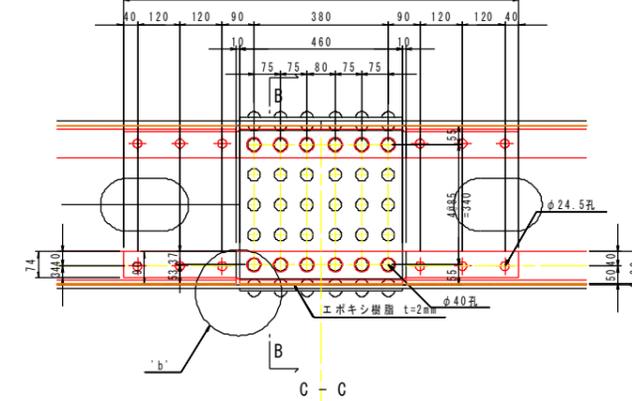


対傾構上弦材補修数量
鋼材数量 58 kg 素地調整 0.944 m²
ボルト数量 24 本 孔明工 24 ヶ
不陸調整材 2.596 kg
現場塗装工 1.040 m²
6-L 75x75x9x821
24-TCB M20x65 (S10T)

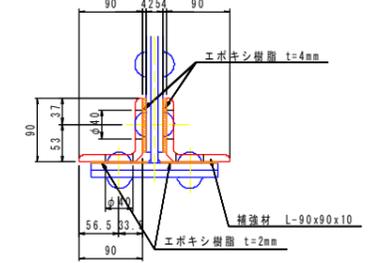
外縦桁現場添接部



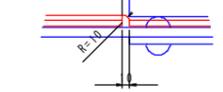
補修詳細
(5-6~9)
A - A



'a'部詳細図
S=1:5

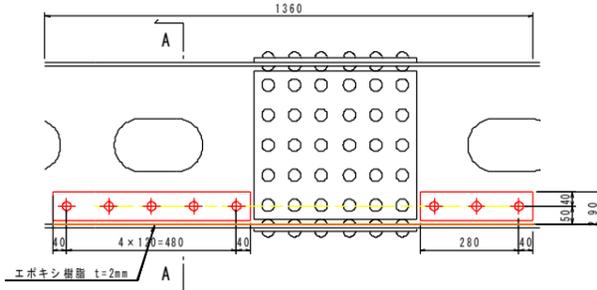


'b'部詳細図
S=1:5

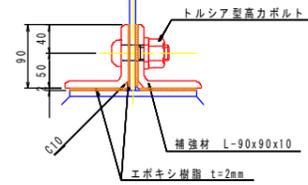


鋼材数量 66 kg 素地調整 0.495 m² 4-L 90x90x10x1120
ボルト数量 12 本 孔明工 12 ヶ 12-TCB M22x90 (S10T)
不陸調整材 2.056 kg
現場塗装工 0.557 m²

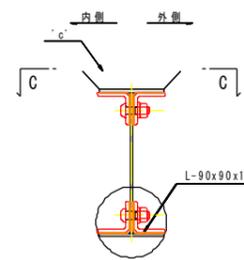
補修詳細
(5-2, 3, 4)
側面図



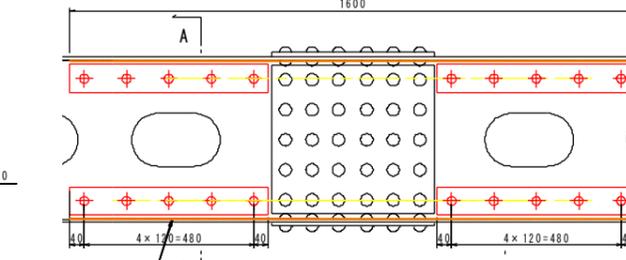
'c'部詳細図
S=1:5



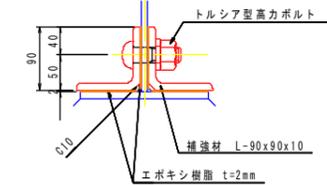
断面図
A - A



補修詳細
(5-6~9)
側面図

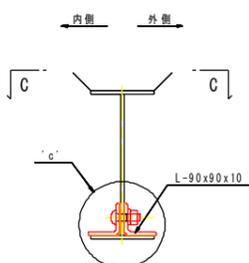


'c'部詳細図
S=1:5

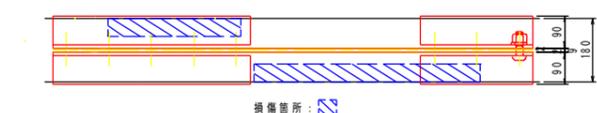


主桁補修数量(5-6~9)
鋼材数量 69 kg
20-TCB M22x70 (S10T) ボルト数量 20 本
素地調整 0.991 m²
孔明工 20 ヶ
不陸調整材 2.742 kg
現場塗装工 1.052 m²

断面図
A - A



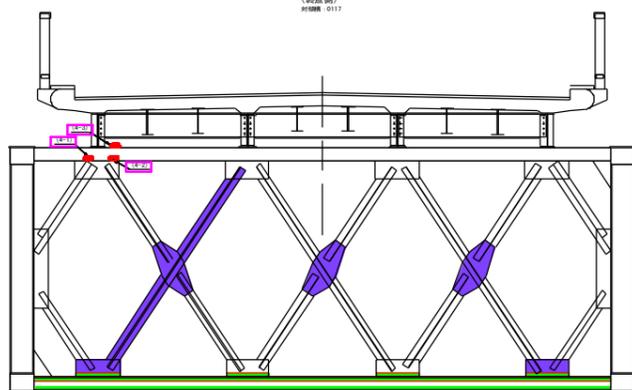
平面図
C - C



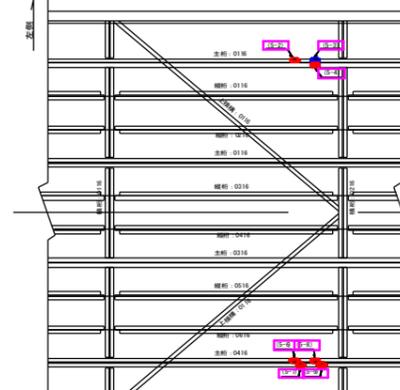
平面図
C - C



マーク図
正面図(対傾構)



マーク図
(主桁・縦桁・横桁・上構)



マーク図
(下横構)



注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
4) 現地調査作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修詳細図 ブロック番号(34) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:10 図面番号 27 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

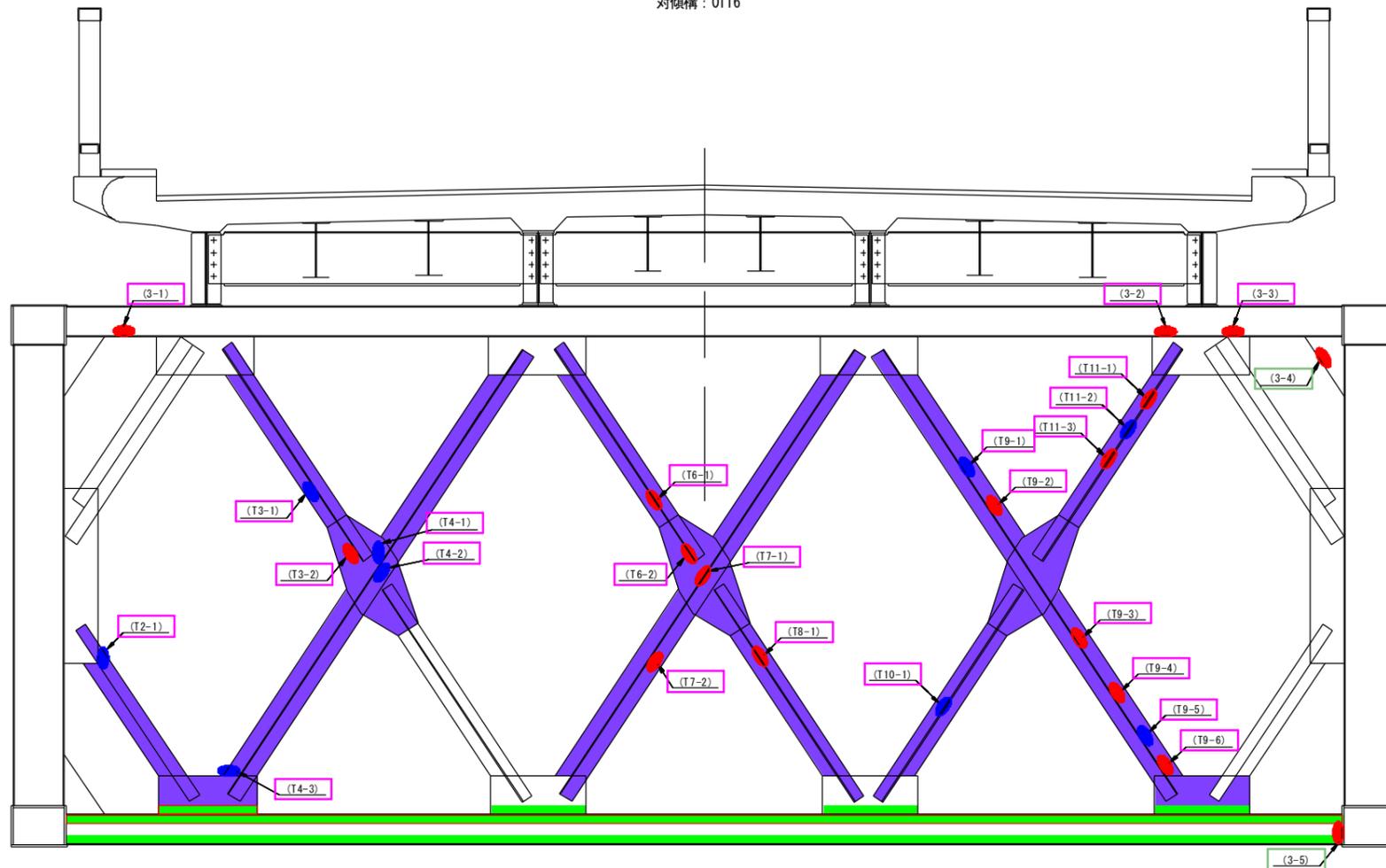
S=1:20

ブロック番号(35)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	有	250 x 60 x 3				部材補修
(3-2)	有	400 x 100 x 5				部材補修
(3-3)	有	800 x 80 x 5				部材補修
(3-4)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修
(3-5)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(T2-1)	無	70 x 30 x 3				部材補修
(T3-1)	無	120 x 70 x 3				部材補修
(T3-2)	有	70 x 60 x 5				部材補修
(T4-1)	無	130 x 100 x 3				部材補修
(T4-2)	無	60 x 50 x 3				部材補修
(T4-3)	無	80 x 30 x 3				部材補修
(T6-1)	有	150 x 50 x 5				部材補修
(T6-2)	有	100 x 60 x 5				部材補修
(T7-1)	有	100 x 40 x 5				部材補修
(T7-2)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(T8-1)	有	120 x 30 x 5				部材補修
(T9-1)	無	150 x 60 x 4				部材補修
(T9-2)	有	300 x 80 x 5				
(T9-3)	有	150 x 80 x 5				
(T9-4)	有	80 x 80 x 5				
(T9-5)	無	150 x 70 x 3				部材補修
(T9-6)	有	120 x 50 x 5				
(T10-1)	無	130 x 70 x 4				
(T11-1)	有	120 x 60 x 5				部材補修
(T11-2)	無	80 x 60 x 3				
(T11-3)	有	120 x 40 x 5				
小計			0.007	0.00	0.075	

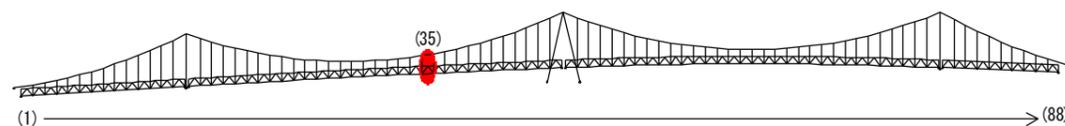
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

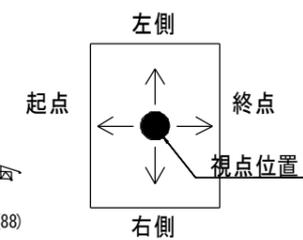
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(35) 対傾構(起点側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	28 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

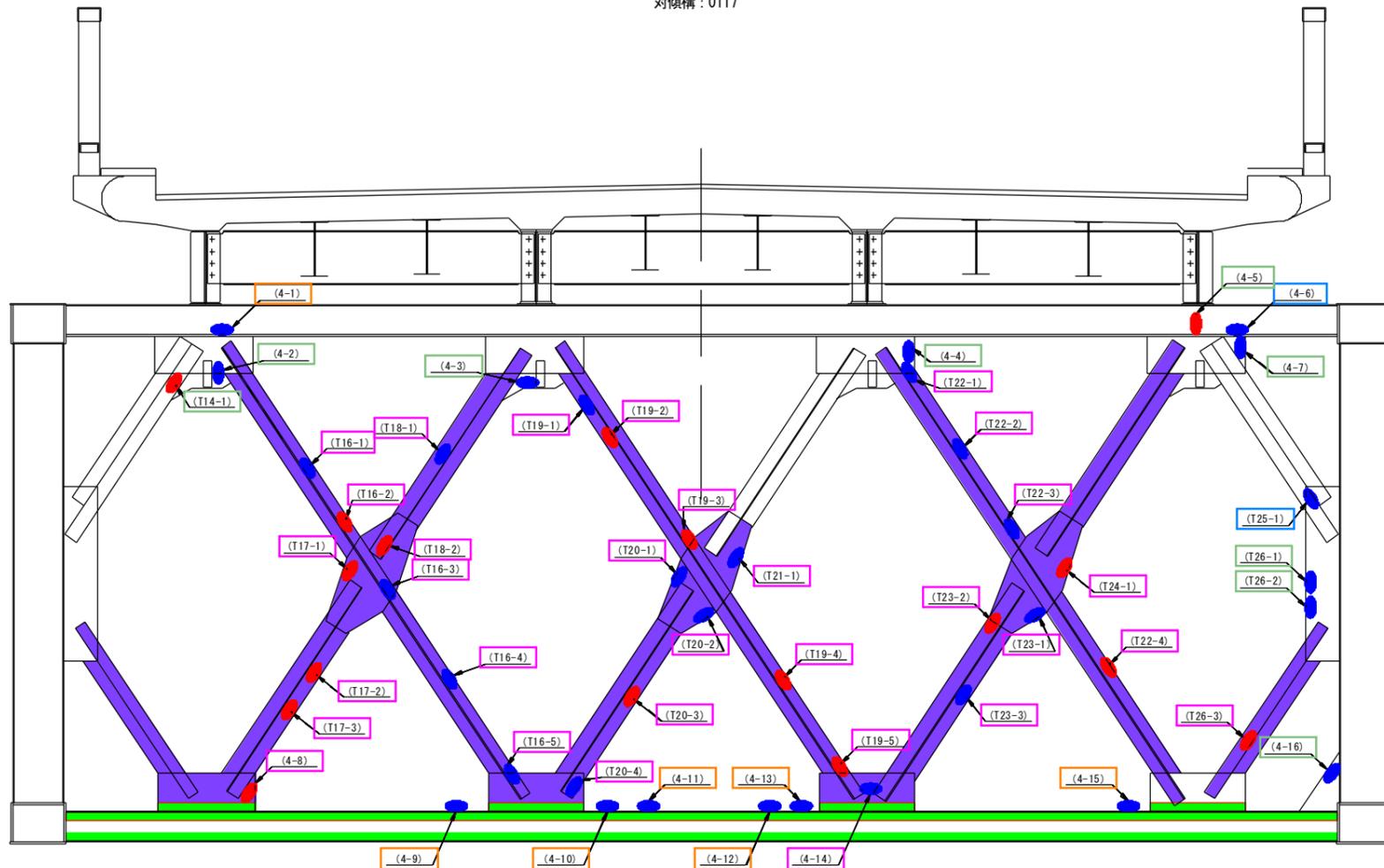
ブロック番号(35)

S=1:20

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

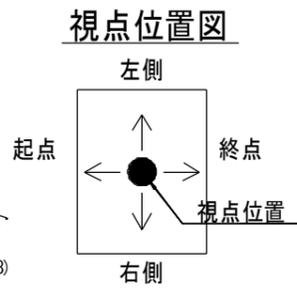
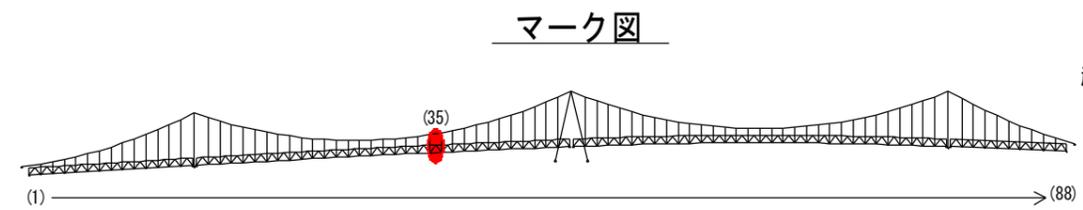
(終点側)
対傾構: 0117



- 補修工法凡例**
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

凡例

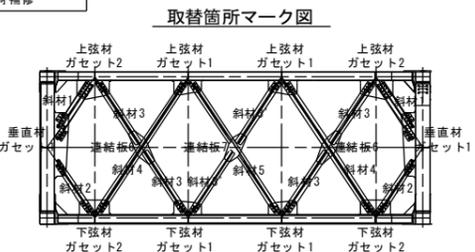
損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●



箇所	孔食 (有・無)	範囲	補修 面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(4-1)	無	90 x 70 x 3	0.006	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(4-2)	無	150 x 50 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修
(4-3)	無	70 x 50 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修
(4-4)	無	100 x 50 x 4	0.005		0.05	金属パテ補修
(4-5)	有	150 x 70 x 5	0.011		0.12	金属パテ補修
(4-6)	無	100 x 50 x 4	0.005			再塗装
(4-7)	無	150 x 30 x 4	0.005		0.04	金属パテ補修
(4-8)	有	200 x 100 x 5				部材補修
(4-9)	無	350 x 60 x 3	0.021	0.11		エポキシ樹脂パテ補修
(4-10)	無	120 x 50 x 3	0.006	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(4-11)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(4-12)	無	80 x 60 x 3	0.005	0.02		エポキシ樹脂パテ補修
(4-13)	無	150 x 50 x 3	0.008	0.04		エポキシ樹脂パテ補修
(4-14)	無	180 x 50 x 4				部材補修
(4-15)	無	250 x 70 x 3	0.018	0.09		エポキシ樹脂パテ補修
(4-16)	無	70 x 60 x 3	0.004		0.03	金属パテ補修
(T14-1)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(T16-1)	無	450 x 70 x 4				部材補修
(T16-2)	有	500 x 80 x 5				
(T16-3)	無	300 x 80 x 4				
(T16-4)	無	300 x 70 x 4				
(T16-5)	無	150 x 80 x 3				
(T17-1)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T17-2)	有	200 x 50 x 5				
(T17-3)	有	200 x 80 x 5				
(T18-1)	無	60 x 50 x 4				部材補修
(T18-2)	有	100 x 50 x 5				
(T19-1)	無	100 x 50 x 3				部材補修
(T19-2)	有	400 x 50 x 5				
(T19-3)	有	300 x 70 x 5				
(T19-4)	有	350 x 70 x 5				
(T19-5)	有	300 x 70 x 5				
(T20-1)	無	150 x 40 x 3				部材補修
(T20-2)	無	150 x 50 x 3				
(T20-3)	有	200 x 60 x 5				
(T20-4)	無	130 x 40 x 3				
(T21-1)	無	300 x 100 x 4				部材補修
(T22-1)	無	300 x 50 x 4				
(T22-2)	無	300 x 100 x 4				部材補修
(T22-3)	無	300 x 40 x 3				
(T22-4)	有	200 x 70 x 5				
(T23-1)	無	300 x 100 x 3				
(T23-2)	有	50 x 30 x 5				部材補修
(T23-3)	無	150 x 50 x 4				
(T24-1)	有	300 x 100 x 5				
(T25-1)	無	200 x 60 x 4	0.012			再塗装
(T26-1)	無	100 x 40 x 3	0.004		0.03	金属パテ補修
(T26-2)	無	60 x 40 x 3	0.002		0.02	金属パテ補修
(T26-3)	有	70 x 50 x 5				部材補修
合計			0.131	0.347	0.420	

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	2
斜材 3	4
斜材 3'	1
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	0
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	2
下弦材 ガセット 2	1
垂直材 ガセット 1	0



- <補修方針>**
- 可能減肉率及び間値(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
 - 孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
 - 雨水滞水箇所はエポキシパテ補修を行う。
 - 上記に満たない損傷は再塗装とする。
 - 損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

- <補修方針>**
- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
 - 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した床調整及び、再塗装を行う。
 - 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
 - 対傾構補修において起点側と終点側に補修箇所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて表記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(35) 対傾構(終点側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	29 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

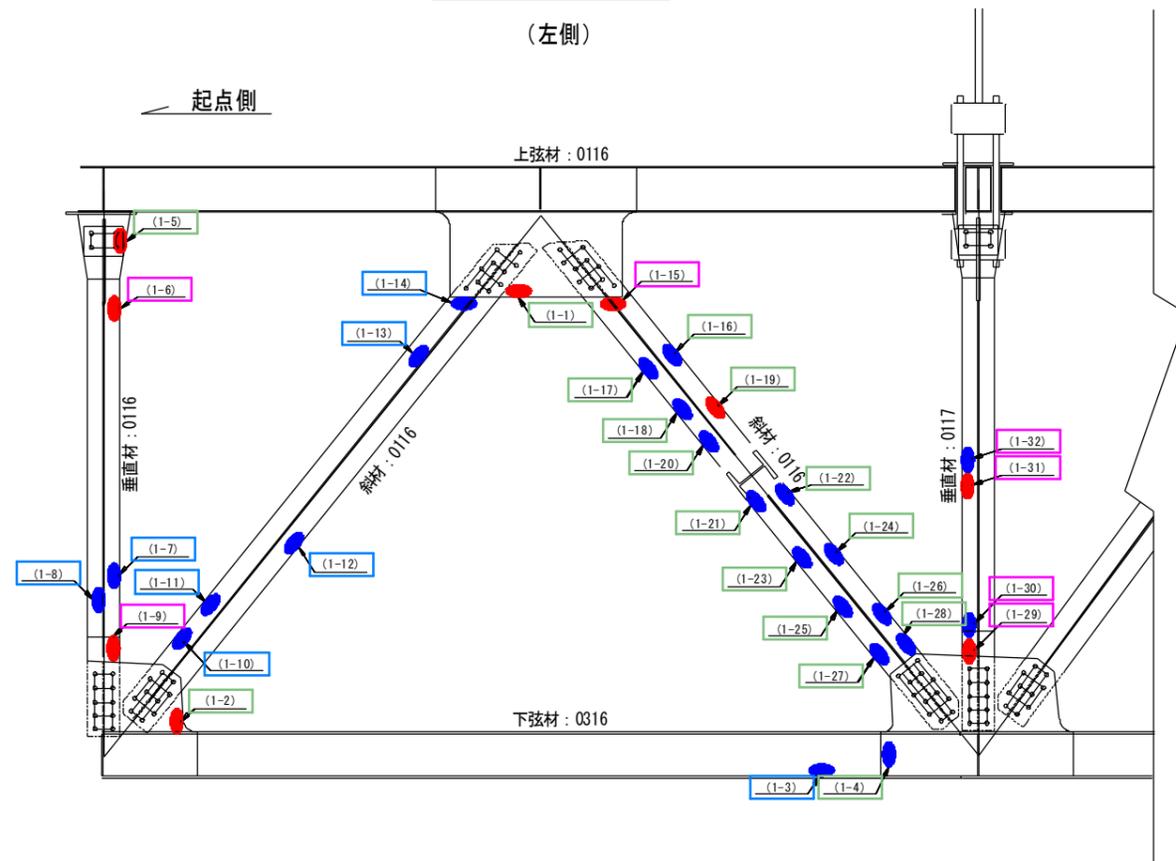
ブロック番号(35)

主構<弦材・斜材・垂直材>

左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	漆地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	有	150 x 50 x 5	0.008		0.09	金属パテ補修
(1-2)	有	80 x 60 x 5	0.005		0.06	金属パテ補修
(1-3)	無	90 x 50 x 3	0.005			再塗装
(1-4)	無	250 x 120 x 3	0.030		0.21	金属パテ補修
(1-5)	有	60 x 30 x 5	0.002		0.02	金属パテ補修
(1-6)	有	250 x 50 x 5				部材補修
(1-7)	無	150 x 70 x 3	0.011			再塗装
(1-8)	無	700 x 70 x 3	0.049			再塗装
(1-9)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(1-10)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
(1-11)	無	60 x 30 x 3	0.002			再塗装
(1-12)	無	60 x 30 x 3	0.002			再塗装
(1-13)	無	100 x 40 x 3	0.004			再塗装
(1-14)	無	200 x 30 x 4	0.006			再塗装
(1-15)	有	200 x 50 x 5				部材補修
(1-16)	無	150 x 80 x 3	0.012		0.08	金属パテ補修
(1-17)	無	150 x 70 x 3	0.011		0.07	金属パテ補修
(1-18)	無	120 x 50 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修
(1-19)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修
(1-20)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
(1-21)	無	300 x 60 x 3	0.018		0.12	金属パテ補修
(1-22)	無	200 x 70 x 4	0.014		0.13	金属パテ補修
(1-23)	無	70 x 50 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修
(1-24)	無	100 x 50 x 4	0.005		0.05	金属パテ補修
(1-25)	無	120 x 70 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
(1-26)	無	130 x 50 x 3	0.007		0.04	金属パテ補修
(1-27)	無	200 x 50 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(1-28)	無	60 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(1-29)	有	60 x 60 x 5				部材補修
(1-30)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(1-31)	有	120 x 70 x 5				部材補修
(1-32)	無	200 x 80 x 3				部材補修
小計			0.234	0.00	1.165	

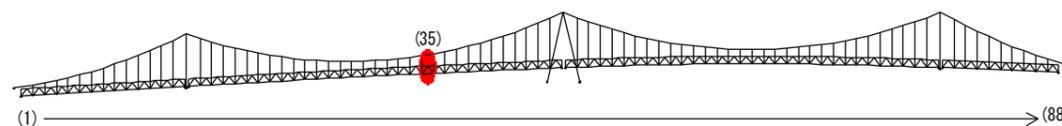
補修工法凡例

- (1-5) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (1-1) : 金属パテ補修箇所
- (1-9) : エポキシパテ補修箇所
- (1-8) : 再塗装箇所

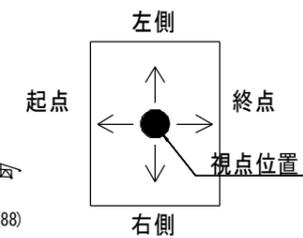
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(35) 主構(左側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	30 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

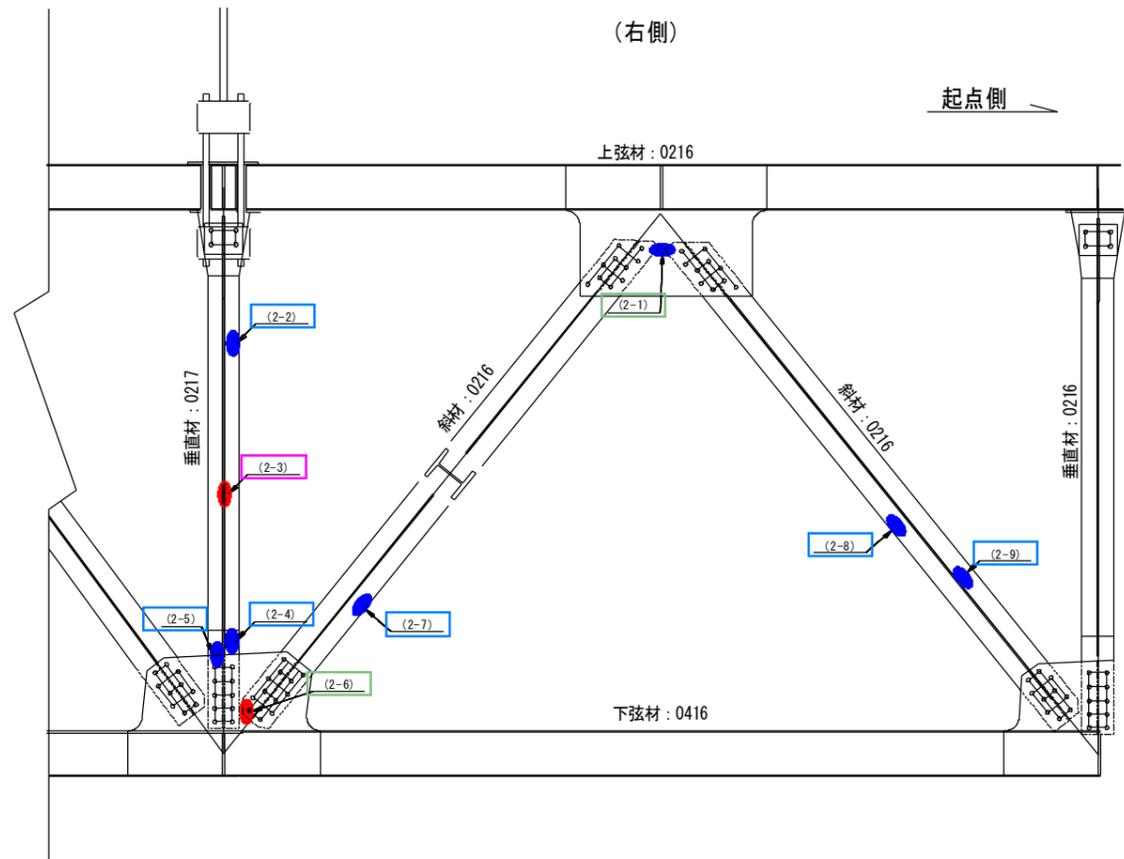
補修図

S=1:20

ブロック番号(35)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	基準 再塗装 調整・ 面積 (m ²)	エポキシ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	200 x 200 x 3	0.040		0.28	金属パテ補修
(2-2)	無	150 x 80 x 4	0.012			再塗装
(2-3)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(2-4)	無	80 x 60 x 3	0.005			再塗装
(2-5)	無	120 x 100 x 3	0.012			再塗装
(2-6)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(2-7)	無	80 x 80 x 3	0.006			再塗装
(2-8)	無	80 x 80 x 3	0.006			再塗装
(2-9)	無	150 x 40 x 3	0.006			再塗装
小計			0.092	0.00	0.32	

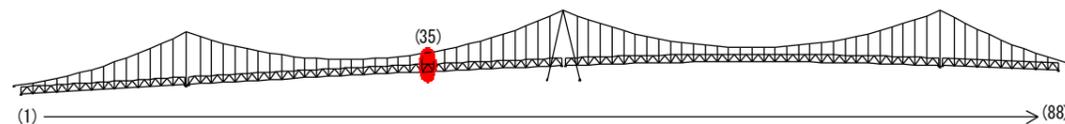
補修工法凡例

- (2-3) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (2-1) : 金属パテ補修箇所
- (2-6) : エポキシパテ補修箇所
- (2-2) : 再塗装箇所

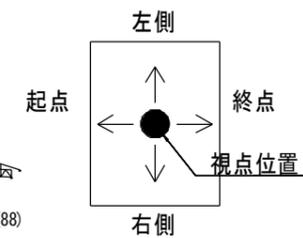
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

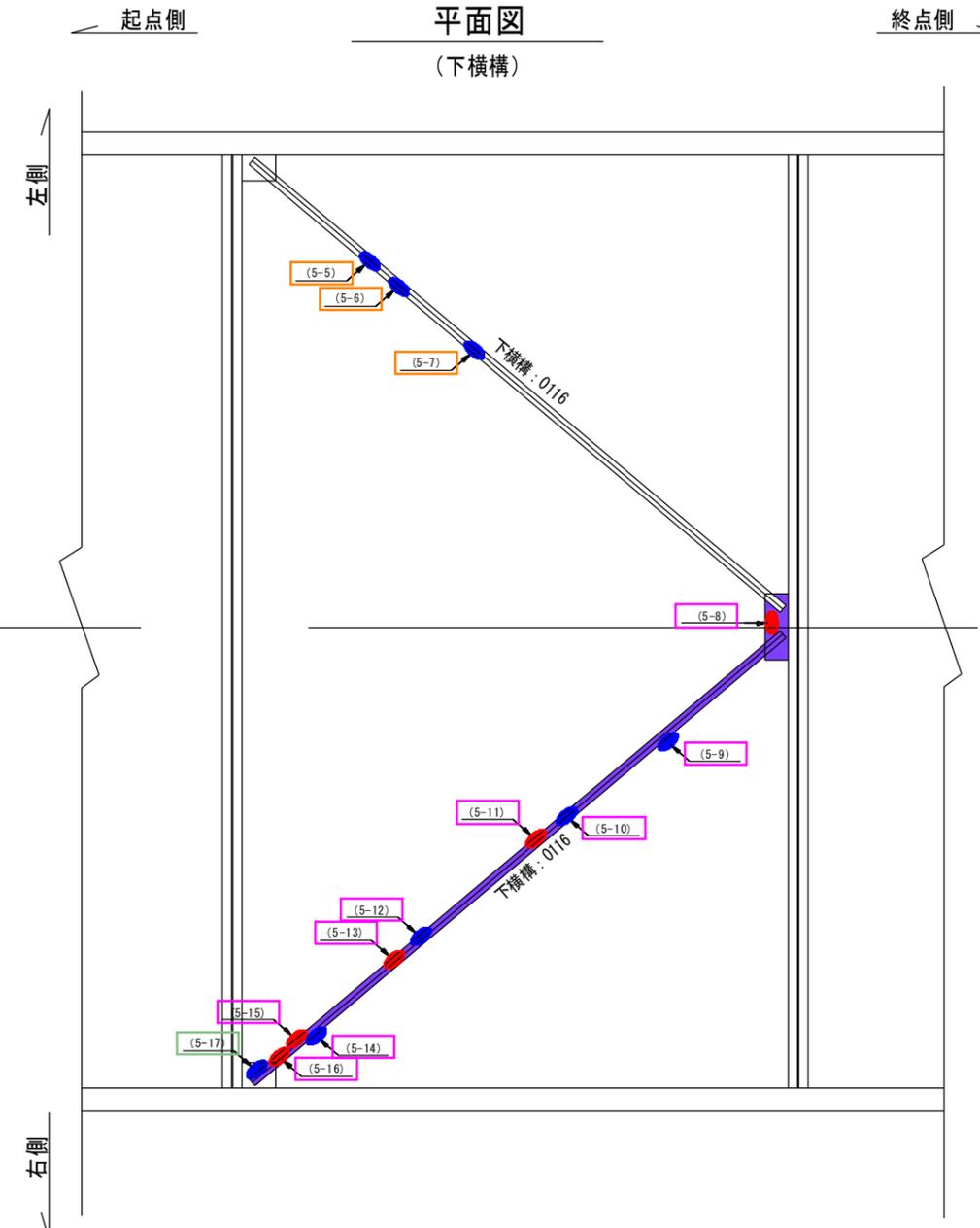
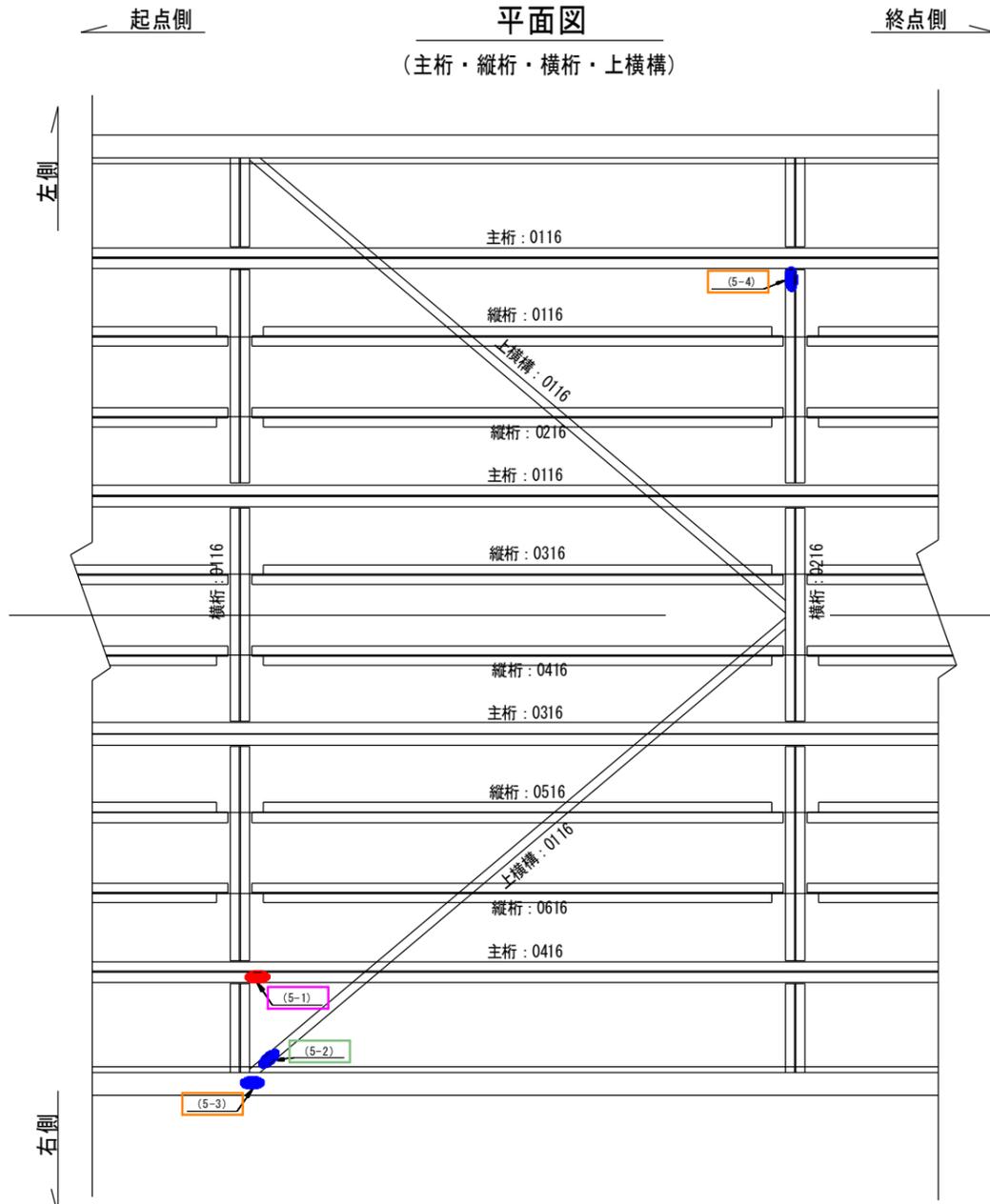
工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・御養大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(35) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	31 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

ブロック番号(35)

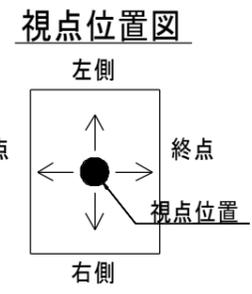
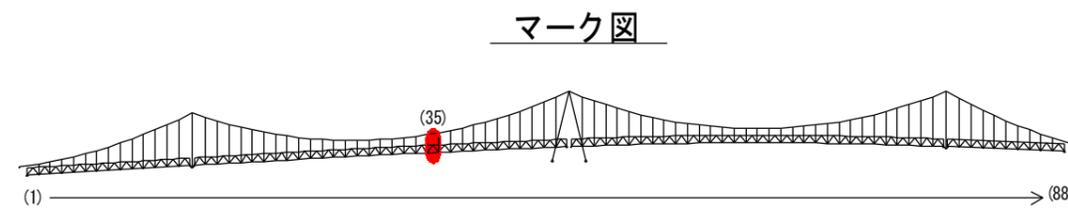
主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材



- 補修工法凡例**
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	



箇所	孔食 (有・無)	範囲	集地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	有	150 x 100 x 5				部材補修
(5-2)	無	150 x 100 x 4	0.015		0.14	金属パテ補修
(5-3)	無	300 x 300 x 3	0.090	0.46		エポキシ樹脂パテ補修
(5-4)	無	200 x 80 x 3	0.016	0.08		エポキシ樹脂パテ補修
(5-5)	無	80 x 40 x 4	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修
(5-6)	無	40 x 40 x 4	0.002	0.01		エポキシ樹脂パテ補修
(5-7)	無	80 x 40 x 4	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修
(5-8)	有	500 x 50 x 5				部材補修
(5-9)	無	250 x 80 x 4				部材補修
(5-10)	無	70 x 40 x 3				
(5-11)	有	130 x 70 x 5				
(5-12)	無	100 x 60 x 3				
(5-13)	有	200 x 80 x 5				
(5-14)	無	200 x 80 x 4				
(5-15)	有	70 x 60 x 5				
(5-16)	有	150 x 70 x 5				
(5-17)	無	90 x 90 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
小計			0.137	0.60	0.19	

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	1
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	0

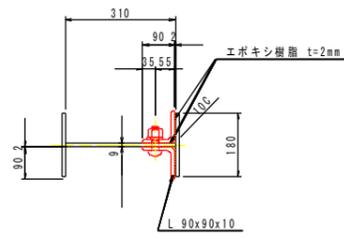
- (補修方針)
- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
 - ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した集地調整及び、再塗装を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装(再塗装)とする。
 - ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1国土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(35) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 32 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

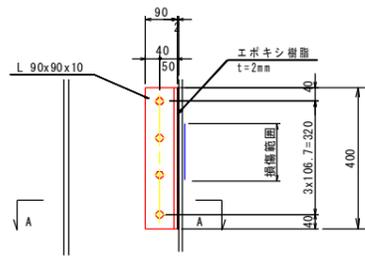
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(35) 主構(左側)

補修詳細
(1-6, 29 (30), 32)
断面図
A-A

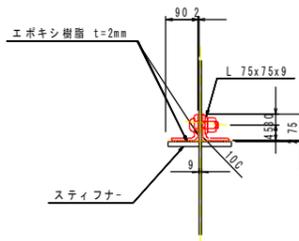


側面図

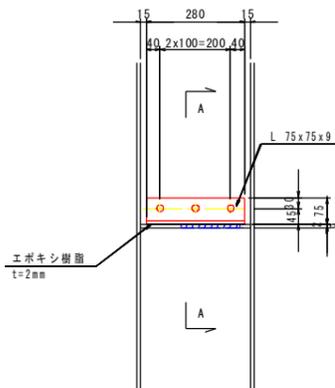


垂直材補修数量(1箇所当たり) ※3箇所
 鋼材数量 13 kg
 ボルト数量 4 本
 素地調整 0.193 m²
 孔明工 4 ヶ
 不陸調整材 0.490 kg
 現場塗装工 0.233 m²
 2-L 90x90x10x400
 4-TCB M22x70 (S10T)

補修詳細
(1-31)
断面図
A-A



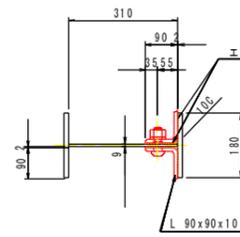
側面図



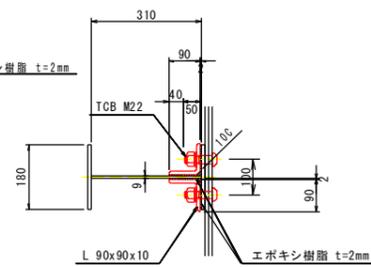
垂直材補修数量
 鋼材数量 7 kg
 ボルト数量 3 本
 素地調整 0.121 m²
 孔明工 3 ヶ
 不陸調整材 0.286 kg
 現場塗装工 0.133 m²
 2-L 75x75x9x280
 3-TCB M20x65 (S10T)

補修詳細
(1-9)

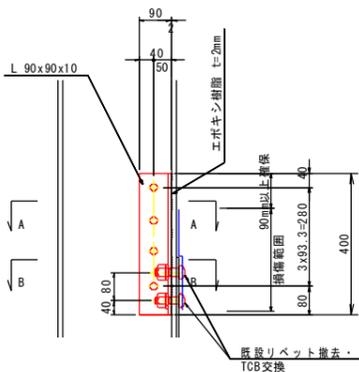
断面図
A-A



断面図
B-B



側面図

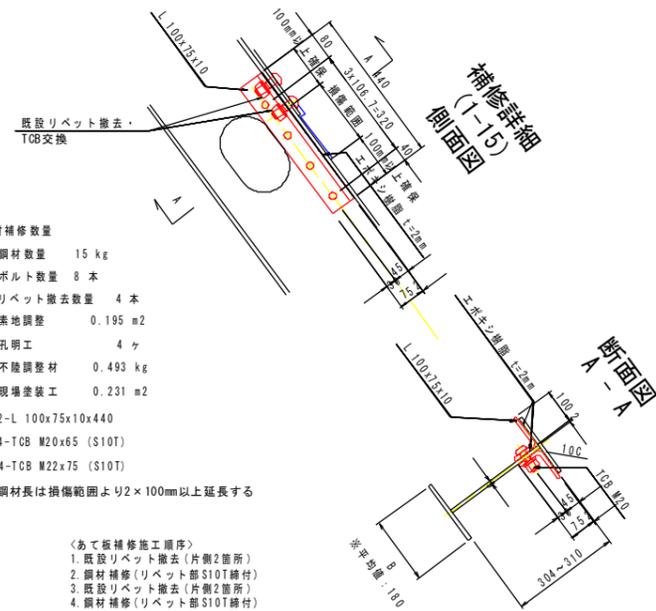


斜材補修数量
 鋼材数量 15 kg
 ボルト数量 8 本
 リベット撤去数量 4 本
 素地調整 0.193 m²
 孔明工 4 ヶ
 不陸調整材 0.490 kg
 現場塗装工 0.233 m²
 2-L 90x90x10x400
 4-TCB M22x70 (S10T)
 4-TCB M22x75 (S10T)

〈あて板補修施工順序〉
 1. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 2. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 3. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 4. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 5. 垂直材ウェブ部締付

※鋼材長は損傷範囲より1×90mm以上延長する

補修詳細
(1-15)
側面図

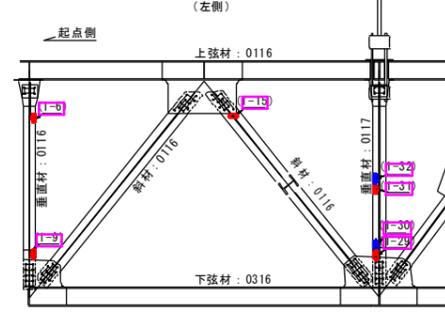


斜材補修数量
 鋼材数量 15 kg
 ボルト数量 8 本
 リベット撤去数量 4 本
 素地調整 0.195 m²
 孔明工 4 ヶ
 不陸調整材 0.493 kg
 現場塗装工 0.231 m²
 2-L 100x75x10x440
 4-TCB M20x65 (S10T)
 4-TCB M22x75 (S10T)

※鋼材長は損傷範囲より2×100mm以上延長する

〈あて板補修施工順序〉
 1. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 2. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 3. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 4. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 5. 斜材ウェブ部締付

マーク図
(左側)



注記
 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

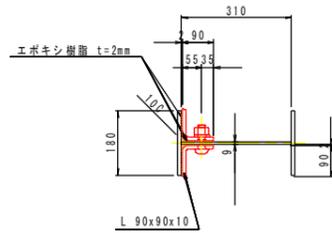
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(35) 主構(左側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	33 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

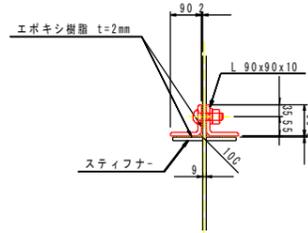
ブロック番号(35) 主構(右側)

補修詳細 (2-3)

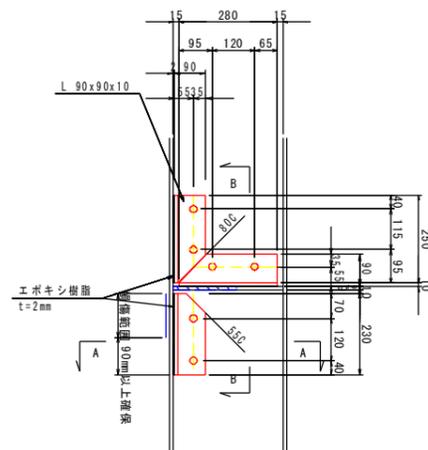
断面図
A - A



断面図
B - B

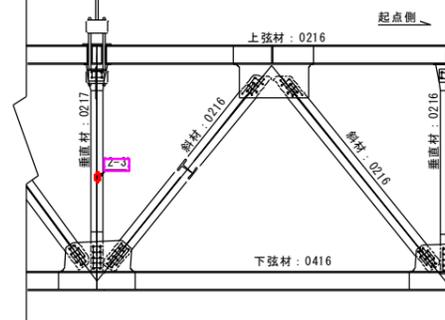


側面図



- 斜材補修数量
鋼材数量 23 kg
ボルト数量 6 本
素地調整 0.356 m²
孔明工 6 ヶ
不陸調整材 0.930 kg
現場塗装工 0.386 m²
- 2-L 90x90x10x760
6-TCB M22x70 (S10T)
- ※鋼材長は損傷範囲より2×90mm以上延長する

マーク図
(右側)



- 注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

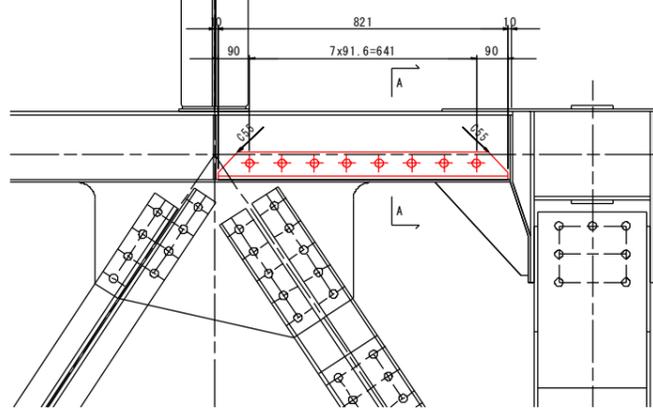
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(35) 主構(右側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	34 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

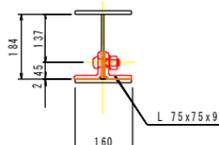
ブロック番号(35)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

補修詳細
(3-1)
正面図

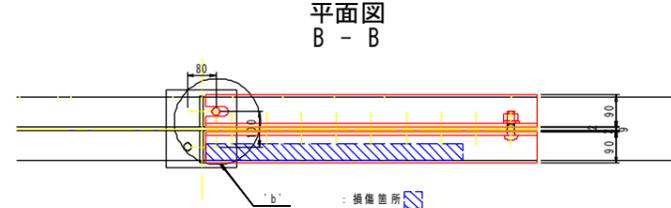


断面図
A-A



対傾構上弦材補修数量
鋼材数量 19 kg 素地調整 0.312 m²
ボルト数量 8 本 孔明工 8 ヶ
不陸調整材 0.866 kg
現場塗装工 0.344 m²
2-L 75x75x9x821
8-TCB M20x65(S10T)

補修詳細
(5-1)
平面図

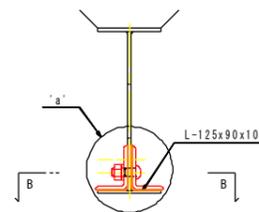


平面図
B-B

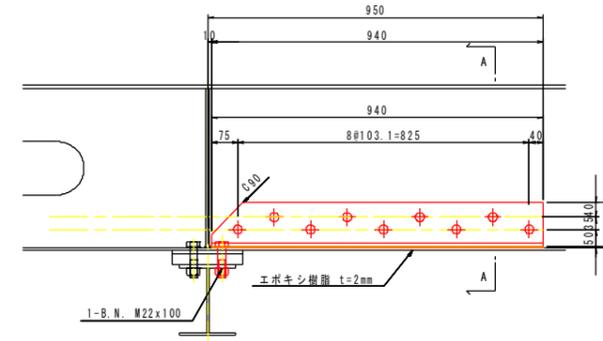
主桁補修数量(5-25)
鋼材数量 35 kg
ボルト数量 9 本
素地調整 0.476 m²
孔明工 9 ヶ
不陸調整材 1.374 kg
現場塗装工 0.527 m²
2-L 125x90x10x940
9-TCB M22x70(S10T)
1-BN M22x100

断面図
A-A

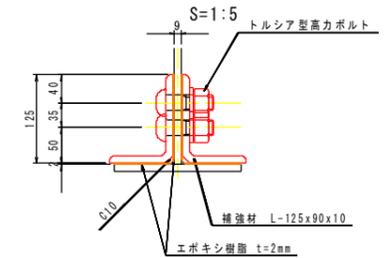
内側 外側



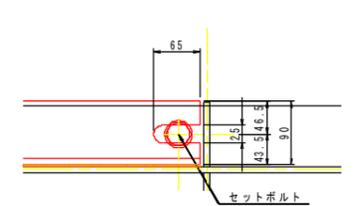
側面図



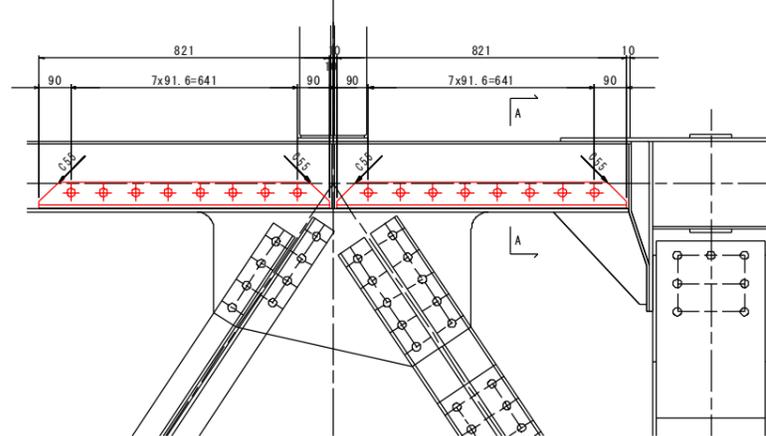
'a'部詳細図



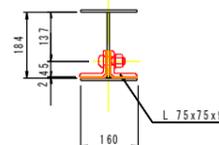
'b'部詳細図



補修詳細
(3-2, 3)
正面図

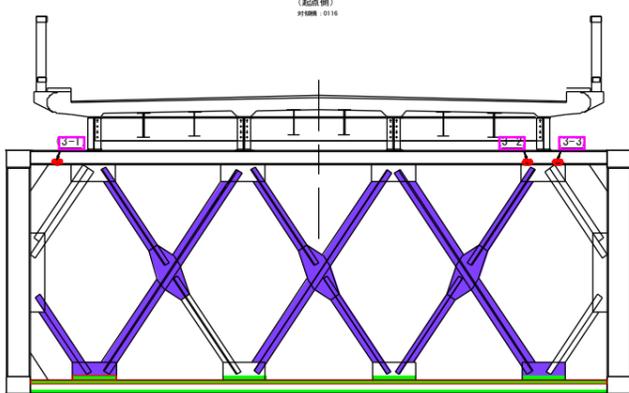


断面図
A-A

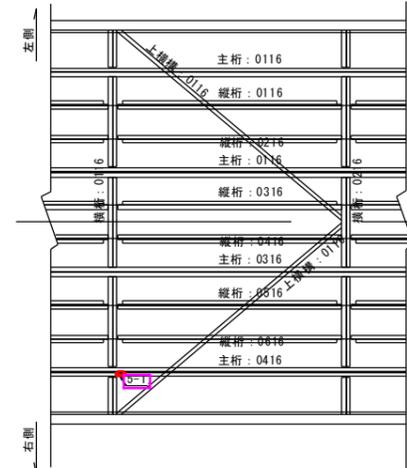


対傾構上弦材補修数量
鋼材数量 39 kg 素地調整 0.622 m²
ボルト数量 16 本 孔明工 16 ヶ
不陸調整材 1.730 kg
現場塗装工 0.686 m²
4-L 75x75x9x821
16-TCB M20x65(S10T)

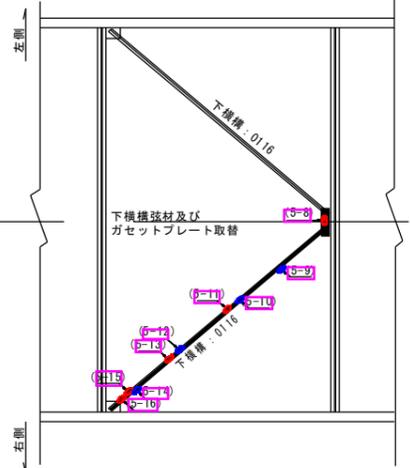
正面図(対傾構)



マーク図
(主桁・縦桁・横桁・上横構)



マーク図
(下横構)



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修詳細図 ブロック番号(35) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:10 図面番号 35 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

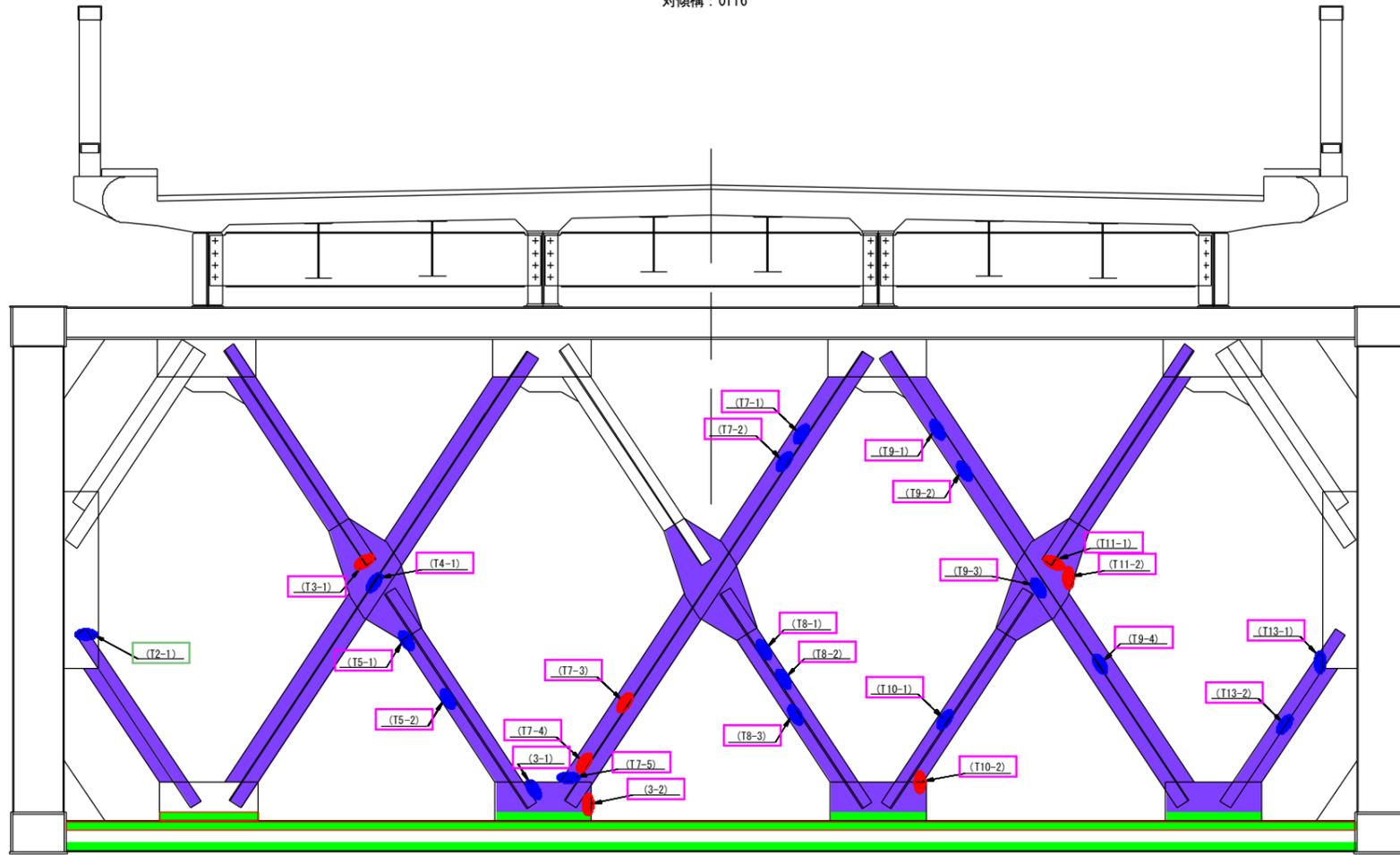
S=1:20

ブロック番号(36)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	無	50 x 80 x 3				部材補修
(3-2)	有	100 x 30 x 5				
(T2-1)	無	80 x 50 x 3	0.004		0.03	金属パテ補修
(T3-1)	有	50 x 60 x 5				部材補修
(T4-1)	無	300 x 60 x 3				部材補修
(T5-1)	無	70 x 60 x 3				部材補修
(T5-2)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T7-1)	無	60 x 60 x 3				部材補修
(T7-2)	無	80 x 30 x 4				
(T7-3)	有	300 x 100 x 5				
(T7-4)	有	300 x 50 x 5				
(T7-5)	無	80 x 80 x 4				
(T8-1)	無	150 x 60 x 4				部材補修
(T8-2)	無	60 x 60 x 3				
(T8-3)	無	250 x 60 x 4				
(T9-1)	無	100 x 70 x 3				部材補修
(T9-2)	無	150 x 40 x 3				
(T9-3)	無	100 x 50 x 4				
(T9-4)	無	200 x 50 x 4				
(T10-1)	無	350 x 70 x 4				部材補修
(T10-2)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T11-1)	有	60 x 60 x 5				
(T11-2)	有	200 x 60 x 5				部材補修
(T13-1)	無	80 x 80 x 5				
(T13-2)	無	300 x 70 x 3				
小計			0.004	0.00	0.03	

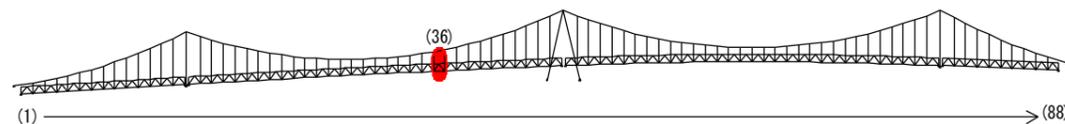
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

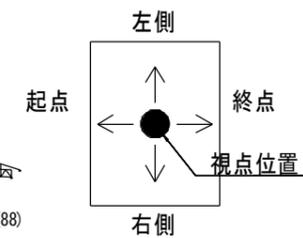
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所は
パテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を
確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合は
ブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(36) 対傾構<起点側>		
縮尺	S=1:20	図面番号	36 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

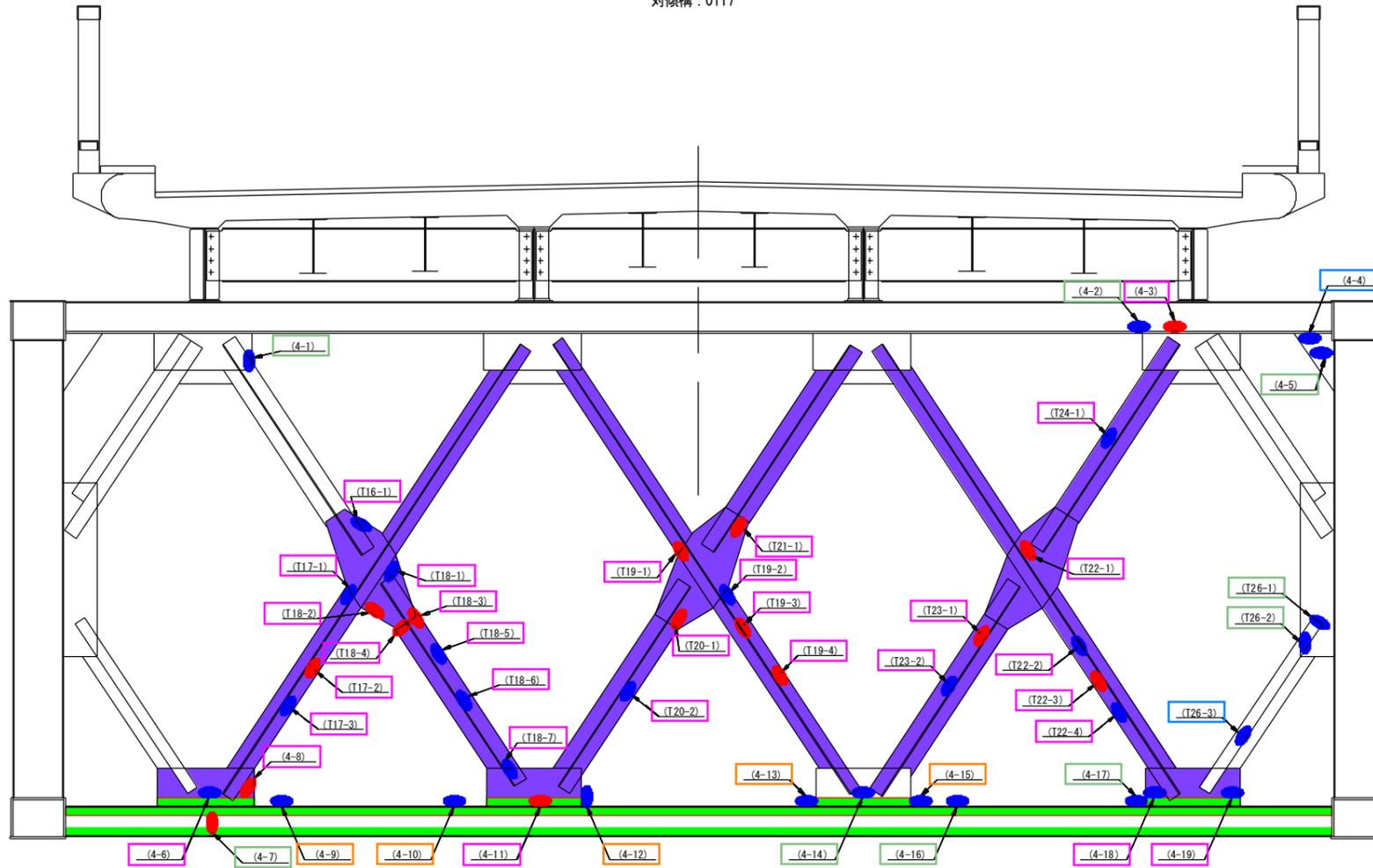
S=1:20

ブロック番号(36)

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

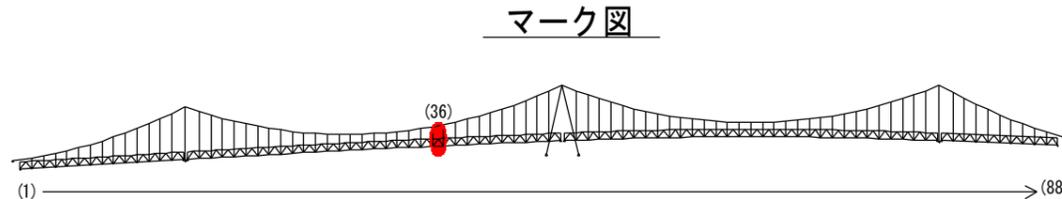
(終点側)
対傾構: 0117



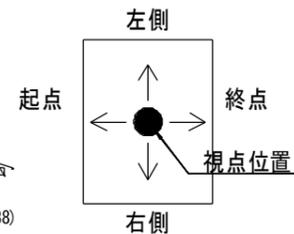
- 補修工法凡例**
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●



視点位置図

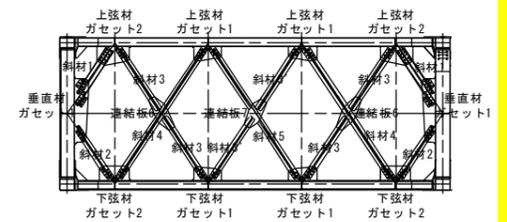


箇所	孔食 (有・無)	範囲	腐食 損傷 面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(4-1)	無	80 x 50 x 4	0.004		0.04	金属パテ補修
(4-2)	無	120 x 60 x 3	0.007		0.05	金属パテ補修
(4-3)	有	120 x 80 x 3				部材補修
(4-4)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(4-5)	無	200 x 200 x 3	0.040		0.28	金属パテ補修
(4-6)	無	100 x 60 x 4				部材補修
(4-7)	有	100 x 70 x 5	0.007		0.08	金属パテ補修
(4-8)	有	150 x 80 x 5				部材補修
(4-9)	無	250 x 60 x 4	0.015	0.10		エポキシ樹脂パテ補修
(4-10)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(4-11)	有	500 x 100 x 5				部材補修
(4-12)	無	150 x 60 x 4	0.009	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(4-13)	無	150 x 50 x 4	0.008	0.05		エポキシ樹脂パテ補修
(4-14)	無	300 x 80 x 4	0.024		0.22	金属パテ補修
(4-15)	無	120 x 80 x 4	0.010	0.07		エポキシ樹脂パテ補修
(4-16)	無	300 x 150 x 4	0.045		0.41	金属パテ補修
(4-17)	無	150 x 150 x 4	0.023		0.21	金属パテ補修
(4-18)	無	150 x 150 x 4				部材補修
(4-19)	無	100 x 80 x 3				部材補修
(T16-1)	無	80 x 30 x 4				部材補修
(T17-1)	無	80 x 60 x 4				部材補修
(T17-2)	有	100 x 60 x 5				部材補修
(T17-3)	無	200 x 50 x 4				部材補修
(T18-1)	無	100 x 100 x 4				部材補修
(T18-2)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T18-3)	有	400 x 80 x 5				部材補修
(T18-4)	有	80 x 30 x 5				部材補修
(T18-5)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(T18-6)	無	200 x 60 x 4				部材補修
(T18-7)	無	350 x 60 x 4				部材補修
(T19-1)	有	200 x 60 x 5				部材補修
(T19-2)	無	100 x 80 x 3				部材補修
(T19-3)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T19-4)	有	200 x 100 x 5				部材補修
(T20-1)	有	150 x 60 x 5				部材補修
(T20-2)	無	300 x 60 x 4				部材補修
(T21-1)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(T22-1)	有	250 x 50 x 5				部材補修
(T22-2)	無	100 x 10 x 4				部材補修
(T22-3)	有	130 x 50 x 5				部材補修
(T22-4)	無	130 x 60 x 4				部材補修
(T23-1)	有	250 x 60 x 5				部材補修
(T23-2)	無	150 x 50 x 4				部材補修
(T24-1)	無	80 x 40 x 3				部材補修
(T26-1)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(T26-2)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	再塗装
(T26-3)	無	200 x 50 x 3	0.010			再塗装
小計			0.237	0.30	1.39	

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	0
斜材 3	3
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	0
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	1
下弦材 ガセット 2	2
垂直材 ガセット 1	0

取替箇所マーク図



<補修方針>

- ・可能減肉率及び腐蝕(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
- ・孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
- ・雨水排水箇所はエポキシパテ補修を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装とする。
- ・損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

<補修方針>

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水漏水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した床調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて表記する。

工事名	R1国土 鳴門公園線 鳴門橋大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(36) 対傾構(終点側)
縮尺	S=1:20 図面番号 37 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

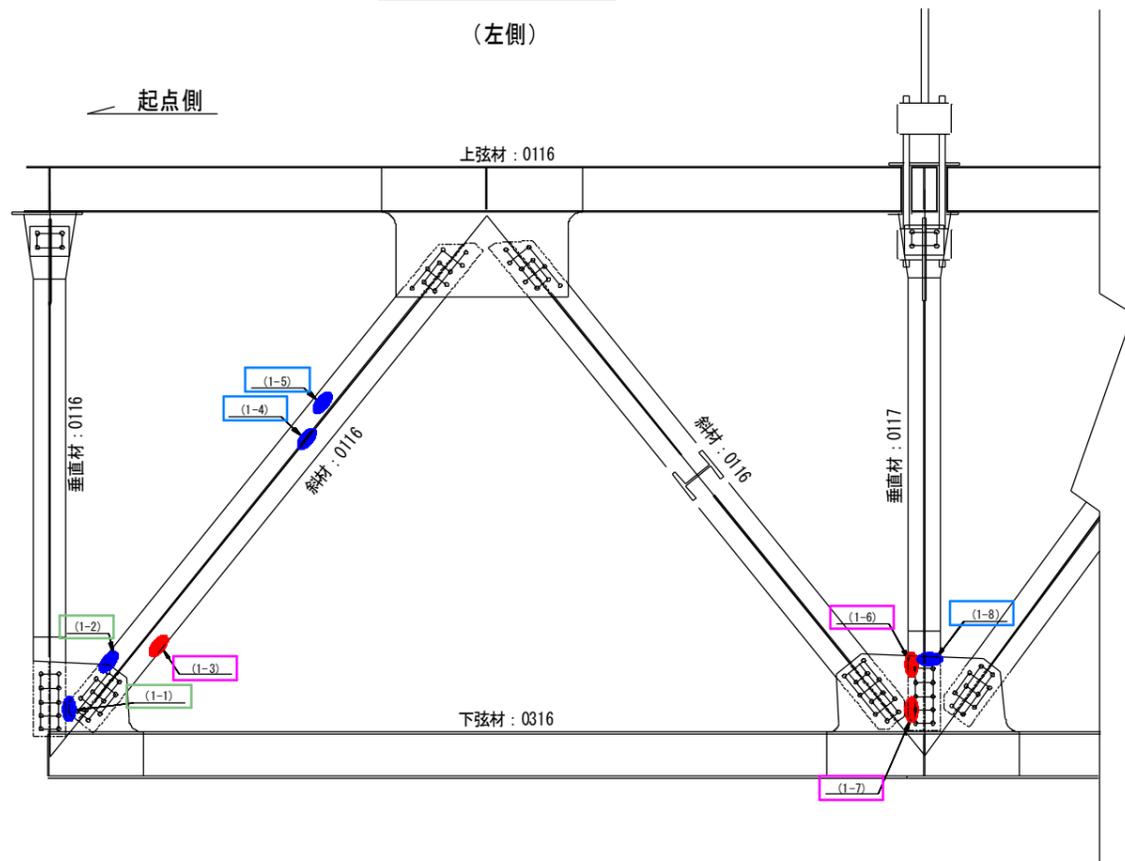
S=1:20

ブロック番号(36)

主構<弦材・斜材・垂直材>
左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(1-2)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
(1-3)	有	120 x 50 x 5				部材補修
(1-4)	無	100 x 60 x 3	0.006			再塗装
(1-5)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(1-6)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(1-7)	有	300 x 150 x 5				部材補修
(1-8)	無	160 x 100 x 4	0.016			再塗装
小計			0.051	0.00	0.09	

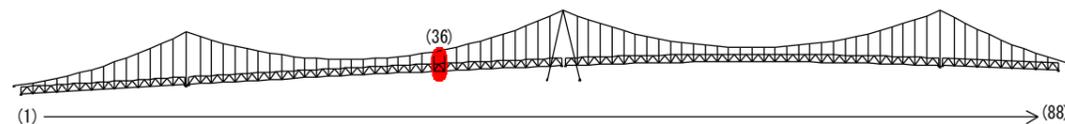
補修工法凡例

- (1-3) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (1-1) : 金属パテ補修箇所
- (1-6) : エポキシパテ補修箇所
- (1-5) : 再塗装箇所

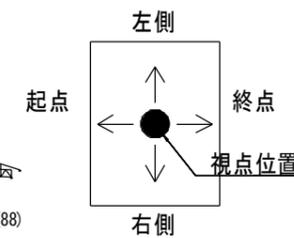
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(36) 主構<左側>		
縮尺	S=1:20	図面番号	38 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

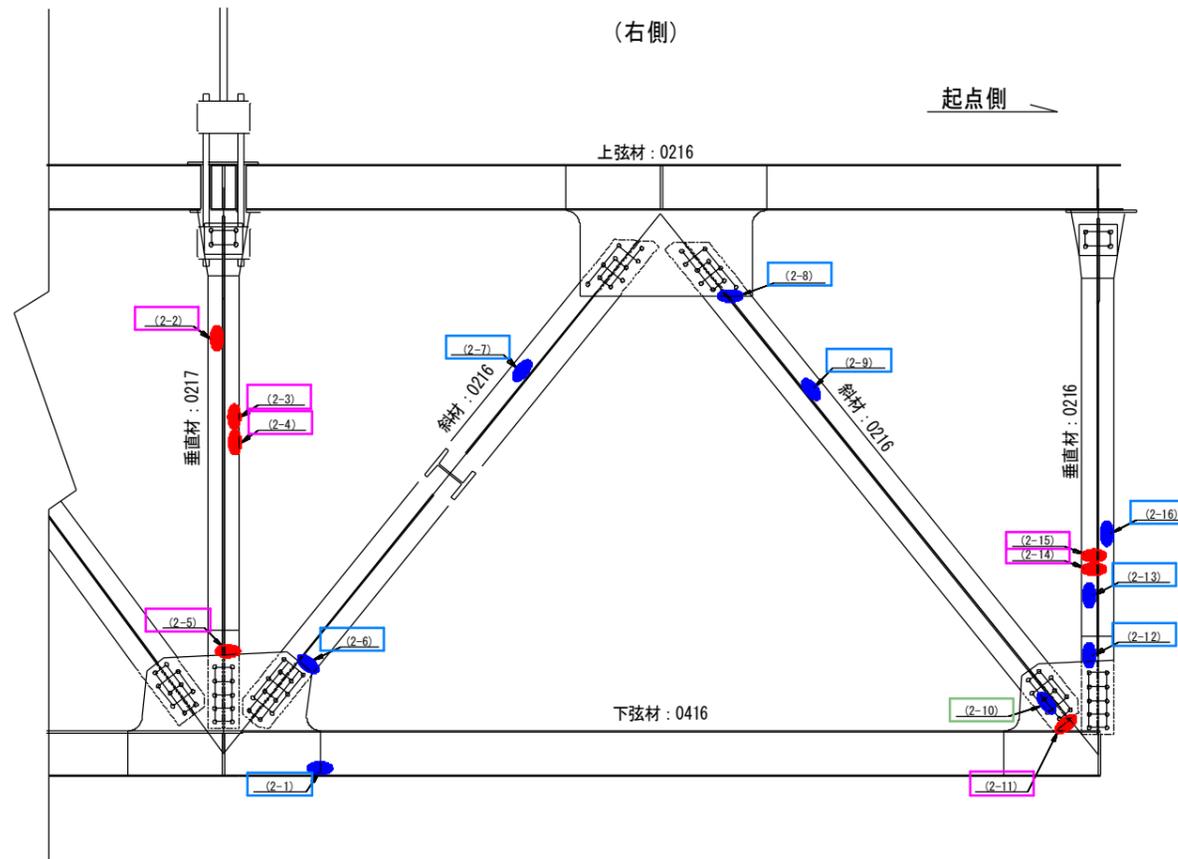
補修図

S=1:20

ブロック番号(36)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所 (有・無)	孔食	範囲	基地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	120 x 50 x 4	0.006			再塗装
(2-2)	有	150 x 70 x 5				部材補修
(2-3)	有	80 x 40 x 5				部材補修
(2-4)	有	80 x 80 x 5				部材補修
(2-5)	有	150 x 80 x 5				部材補修
(2-6)	無	100 x 50 x 4	0.005			再塗装
(2-7)	無	120 x 70 x 3	0.008			再塗装
(2-8)	無	130 x 40 x 3	0.005			再塗装
(2-9)	無	200 x 30 x 3	0.006			再塗装
(2-10)	無	130 x 30 x 3	0.004		0.03	金属パテ補修
(2-11)	有	200 x 100 x 5				部材補修
(2-12)	無	120 x 100 x 3	0.012			再塗装
(2-13)	無	120 x 80 x 3	0.010			再塗装
(2-14)	有	80 x 80 x 5				部材補修
(2-15)	有	80 x 70 x 5				部材補修
(2-16)	無	80 x 80 x 3	0.006			再塗装
小計			0.063	0.00	0.03	

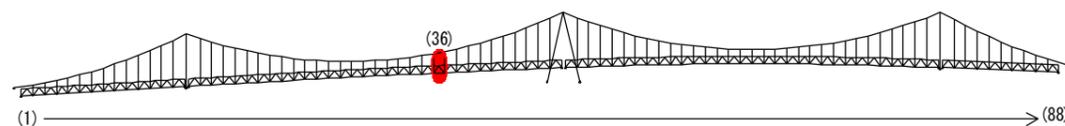
補修工法凡例

- (2-2) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (2-10) : 金属パテ補修箇所
- (2-11) : エポキシパテ補修箇所
- (2-1) : 再塗装箇所

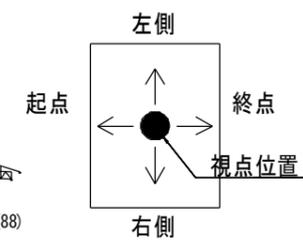
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形+再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(36) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	39 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

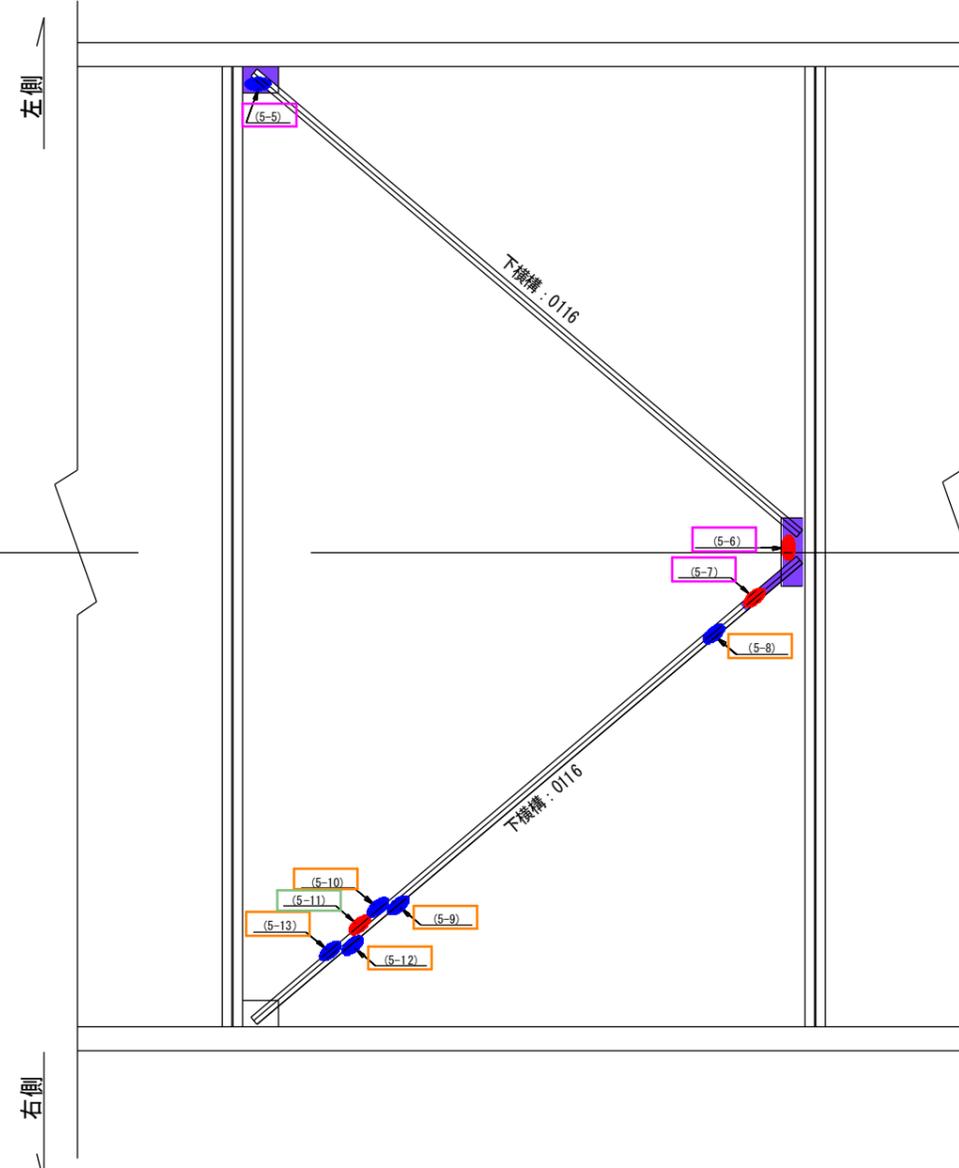
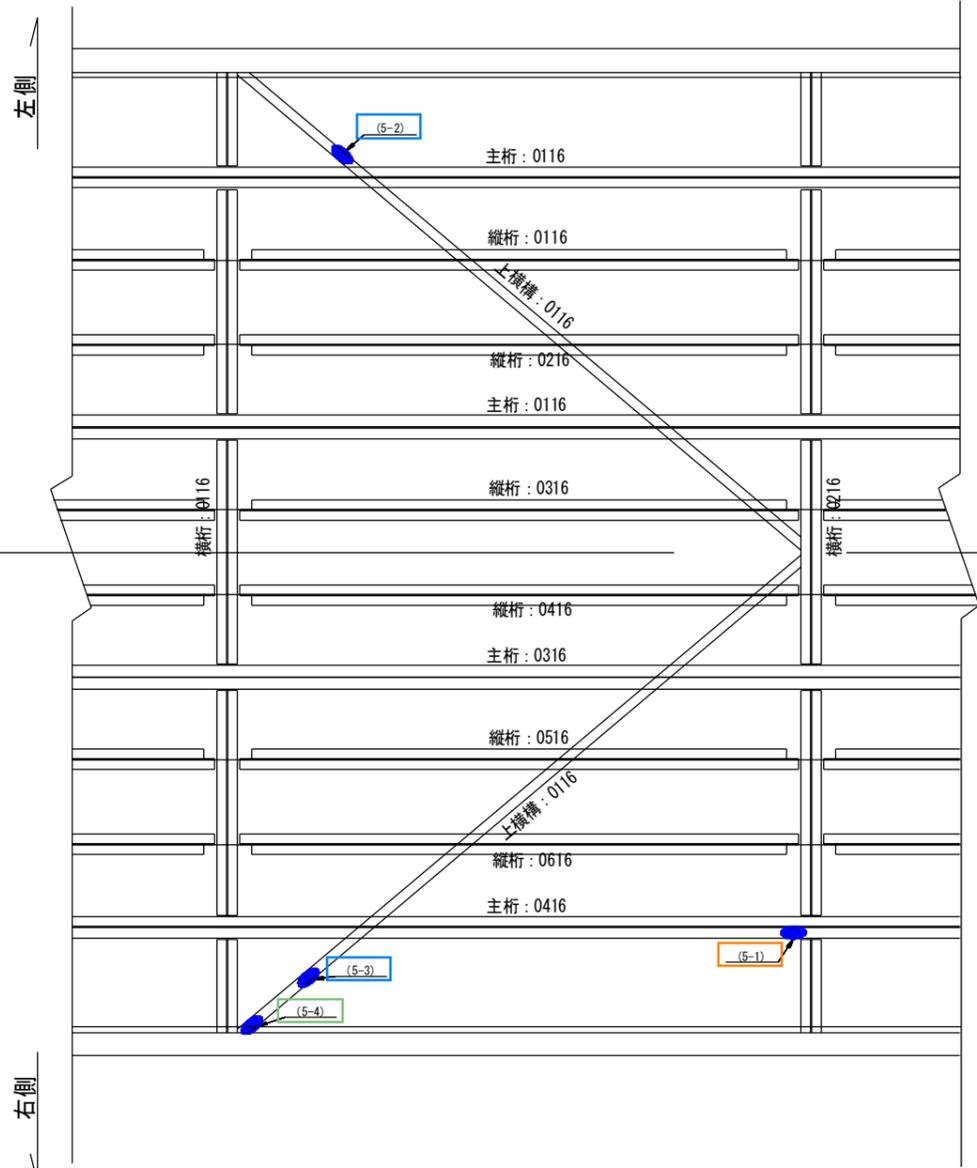
S=1:20

ブロック番号(36)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

起点側 平面図 (主桁・縦桁・横桁・上横構) 終点側

起点側 平面図 (下横構) 終点側



- 補修工法凡例
- (5-5) : 補修(あて板, 取替)箇所
 - (5-4) : 金属パテ補修箇所
 - (5-1) : エポキシパテ補修箇所
 - (5-2) : 再塗装箇所

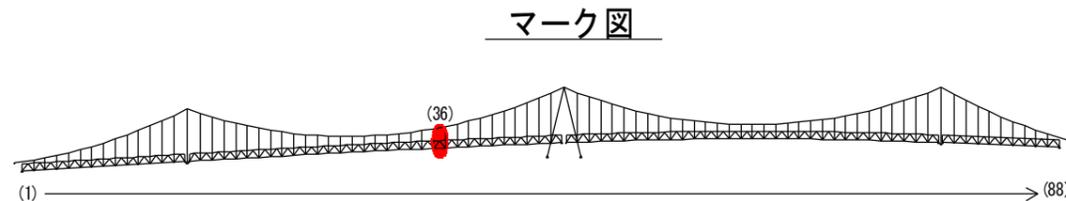
箇所	孔食 (有・無)	範囲	基地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	無	180 x 60 x 3	0.011	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(5-2)	無	300 x 100 x 3	0.030			再塗装
(5-3)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
(5-4)	無	150 x 100 x 3	0.015		0.10	金属パテ補修
(5-5)	有	300 x 300 x 4				部材補修
(5-6)	有	500 x 200 x 5				部材補修
(5-7)	有	100 x 60 x 5				部材補修
(5-8)	無	180 x 50 x 4	0.009	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(5-9)	無	450 x 80 x 3	0.036	0.18		エポキシ樹脂パテ補修
(5-10)	無	80 x 80 x 3	0.006	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(5-11)	有	70 x 60 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(5-12)	無	80 x 70 x 3	0.006	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(5-13)	無	180 x 80 x 3	0.014	0.07		エポキシ樹脂パテ補修
小計			0.136	0.43	0.15	

取替箇所一覧表

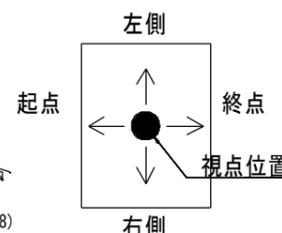
取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	0
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	1

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	



視点位置図



(補修方針)

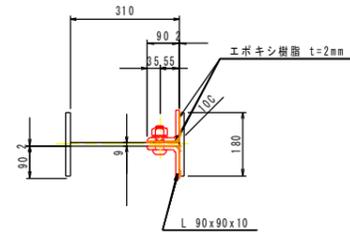
- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した基地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(36) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 40 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

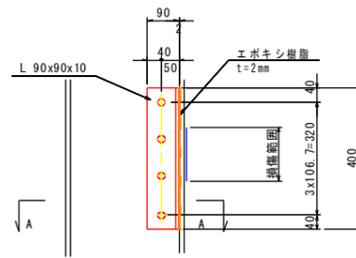
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(36) 主構(右側)

補修詳細
(2-2)
断面図
A-A

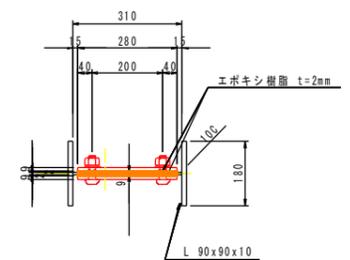


側面図

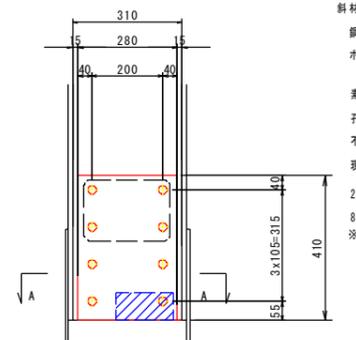


垂直材補修数量
鋼材数量 13 kg
ボルト数量 4 本
素地調整 0.193 m²
孔明工 4 ヶ
不陸調整材 0.490 kg
現場塗装工 0.213 m²
2-L 90x90x10x400
4-TCB M22x70 (S10T)

補修詳細
(2-11)
断面図
A-A



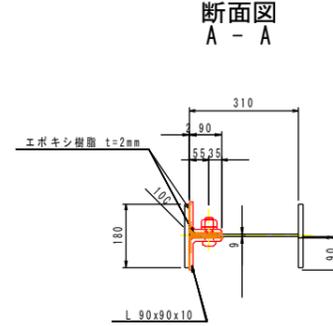
側面図



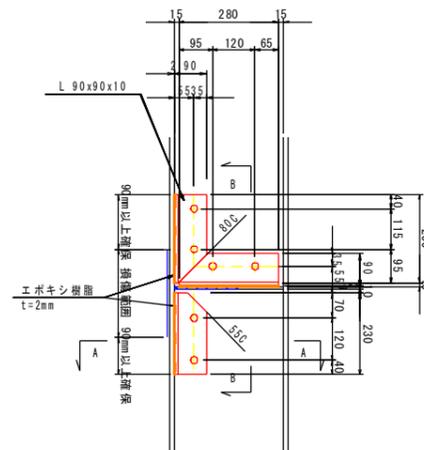
斜材補修数量
鋼材数量 20 kg
ボルト数量 8 本
素地調整 0.291 m²
孔明工 8 ヶ
不陸調整材 0.781 kg
現場塗装工 0.331 m²
2-PL 410x9x280(SS400)
8-TCB M22x70 (S10T)
※ウェブあて板において、トルシアボルトは健全部に4本以上定着する

損傷箇所

補修詳細
(2-3(4), 14(15))
断面図
A-A

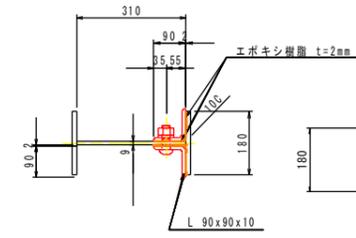


側面図

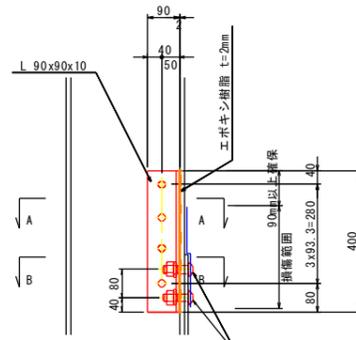


垂直材補修数量 (1箇所当たり) ※2箇所
鋼材数量 23 kg
ボルト数量 6 本
素地調整 0.356 m²
孔明工 6 ヶ
不陸調整材 0.930 kg
現場塗装工 0.386 m²
2-L 90x90x10x760
6-TCB M22x70 (S10T)
※鋼材長は損傷範囲より2×90mm以上延長する

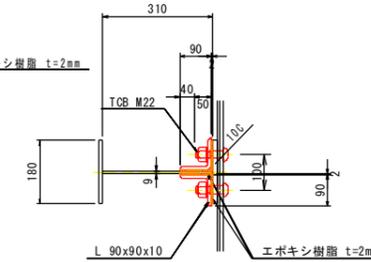
補修詳細
(2-5)
断面図
A-A



側面図



断面図
B-B

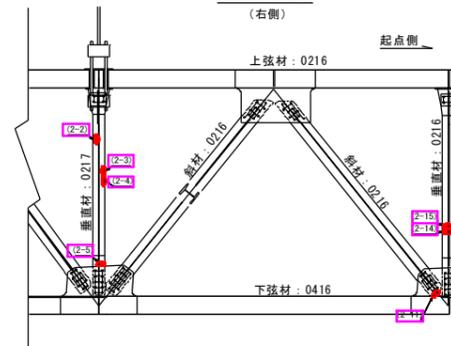


斜材補修数量
鋼材数量 15 kg
ボルト数量 8 本
リベット撤去数量 4 本
素地調整 0.193 m²
孔明工 4 ヶ
不陸調整材 0.490 kg
現場塗装工 0.233 m²
2-L 90x90x10x400
4-TCB M22x70 (S10T)
4-TCB M22x75 (S10T)
※鋼材長は損傷範囲より1×90mm以上延長する

〈あて板補修施工順序〉

1. 既設リベット撤去 (片側2箇所)
2. 鋼材補修 (リベット部S10T締付)
3. 既設リベット撤去 (片側2箇所)
4. 鋼材補修 (リベット部S10T締付)
5. 垂直材ウェブ締付

マーク図
(右側)



注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔 (現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
4) 現地調査作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

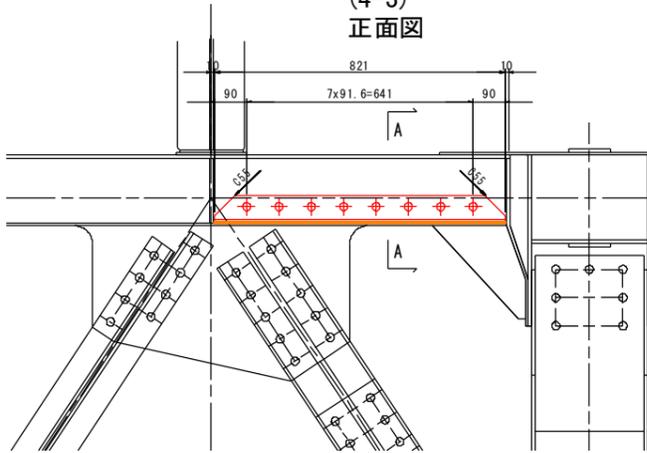
工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(36) 主構(右側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	42 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

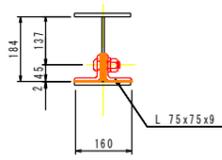
ブロック番号(36)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

補修詳細
(4-3)
正面図



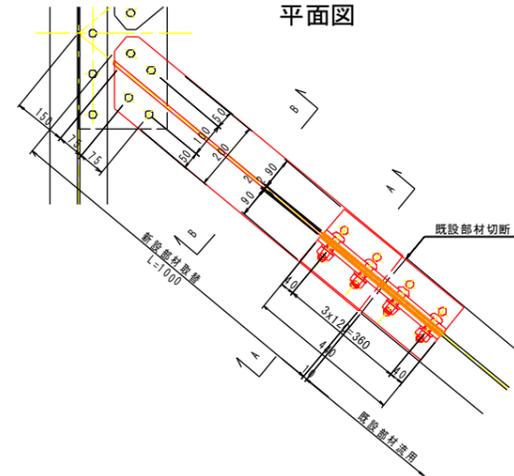
断面図
A-A



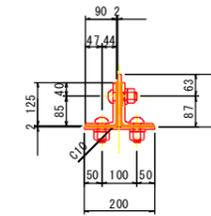
対傾構上弦材補修数量

鋼材数量	19 kg	素地調整	0.312 m ²
ボルト数量	8 本	孔明工	8 ケ
		不陸調整材	0.866 kg
		現場塗装工	0.344 m ²
		2-L 75x75x9x821	
		8-TCB M20x65 (S10T)	

補修詳細
(5-7)
平面図



断面図
A-A

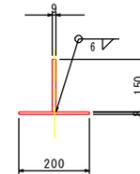


下横構連結(1箇所当たり)

2-L 125x90x10x440
4-TCB M22x70 (S10T)
8-TCB M22x60 (S10T)

鋼材数量	44 kg
ボルト数量	12 本

断面図
B-B

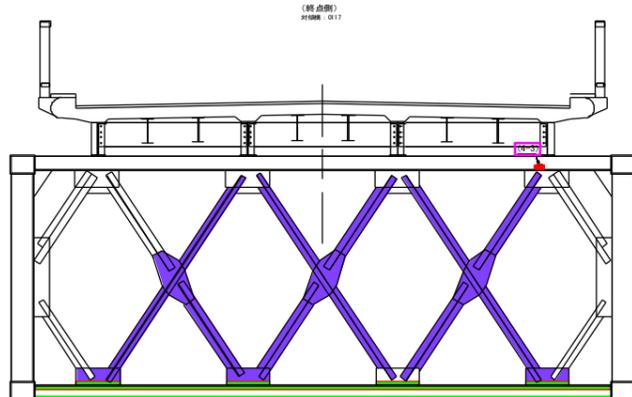


下横構復旧(1箇所当たり)

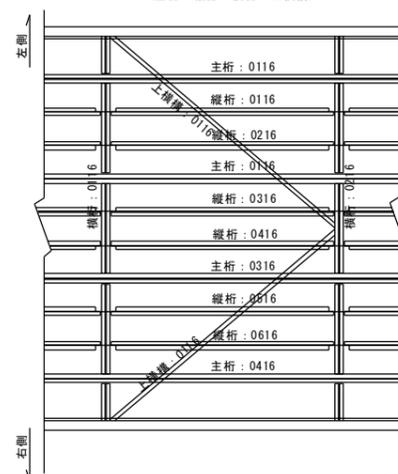
1-PL 150x9x1000 (SM400A)
1-PL 200x8x1000 (SM400A)
※リベット取外し工、TCB数量等は ガセットプレート取替で計上

ガス切断数量	0.350 m
グラインダー延長	0.350 m
素地調整	0.172 m ²
孔明工	12 ケ
不陸調整材	0.643 kg
現場塗装工	0.390 m ²
工場塗装工	0.484 m ²

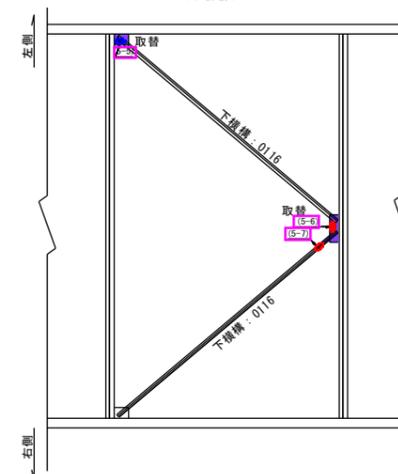
正面図(対傾構)



マーク図
(主桁・縦桁・横桁・上横構)



マーク図
(下横構)



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修詳細図 ブロック番号(36) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:10 図面番号 43 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

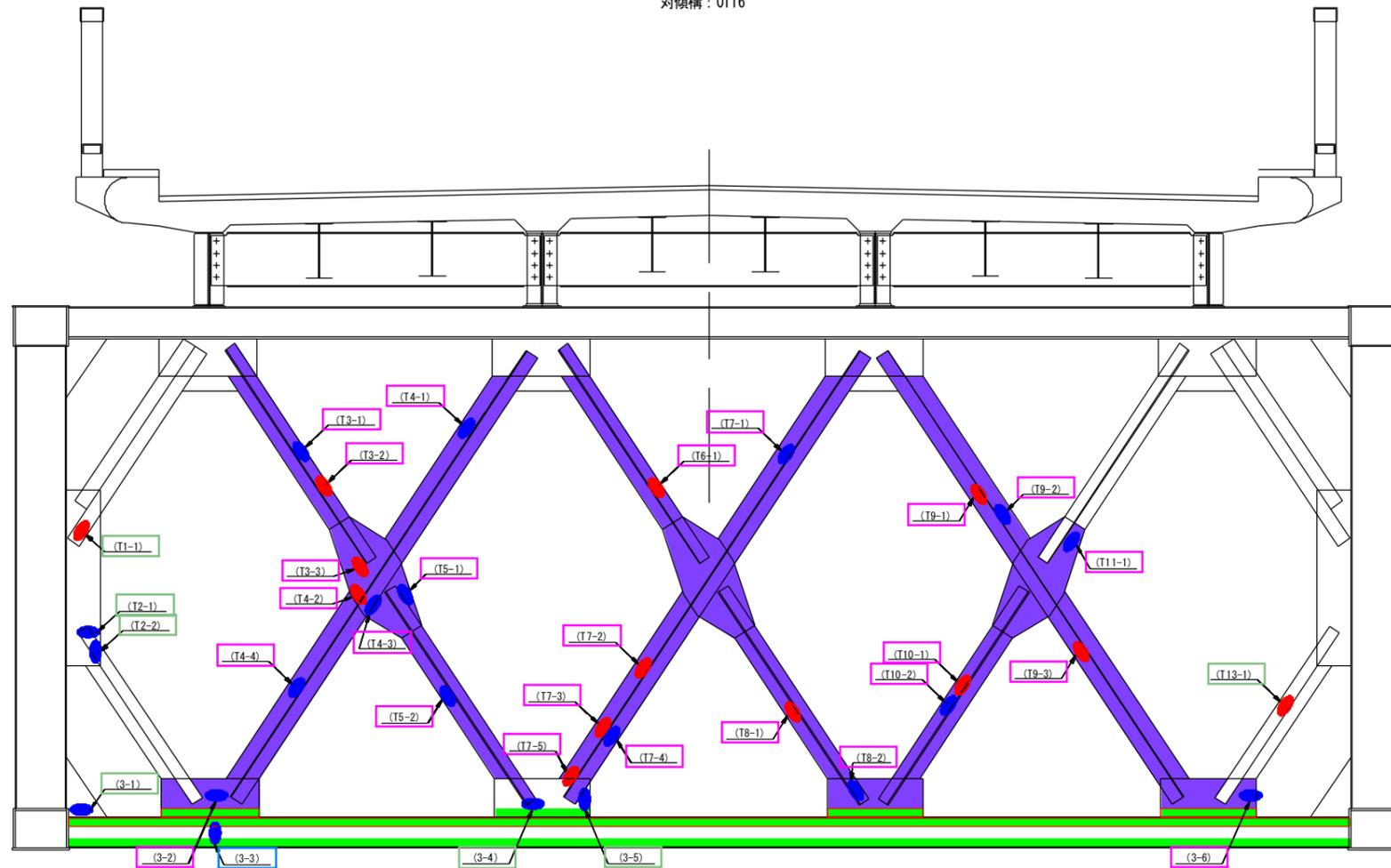
S=1:20

ブロック番号(37)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



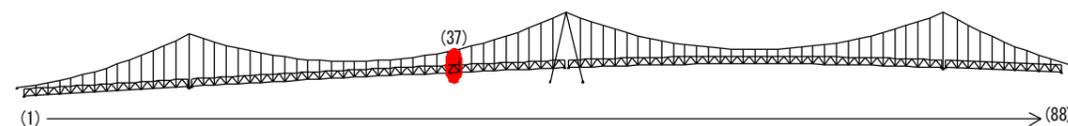
箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	無	120 x 100 x 3	0.012		0.08	金属パテ補修
(3-2)	無	400 x 100 x 4				部材補修
(3-3)	無	50 x 50 x 4	0.003			再塗装
(3-4)	無	150 x 80 x 4	0.012		0.11	金属パテ補修
(3-5)	無	100 x 100 x 4	0.010		0.09	金属パテ補修
(3-6)	無	80 x 30 x 3				部材補修
(T1-1)	有	200 x 80 x 5	0.016		0.18	金属パテ補修
(T2-1)	無	100 x 100 x 4	0.010		0.09	金属パテ補修
(T2-2)	無	100 x 80 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修
(T3-1)	無	80 x 60 x 3				部材補修
(T3-2)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T3-3)	有	130 x 80 x 5				部材補修
(T4-1)	無	80 x 30 x 3				部材補修
(T4-2)	有	100 x 30 x 5				部材補修
(T4-3)	無	150 x 40 x 4				部材補修
(T4-4)	無	250 x 80 x 4				部材補修
(T5-1)	無	100 x 30 x 4				部材補修
(T5-2)	無	200 x 60 x 4				部材補修
(T6-1)	有	160 x 50 x 5				部材補修
(T7-1)	無	200 x 40 x 3				部材補修
(T7-2)	有	300 x 70 x 5				部材補修
(T7-3)	有	250 x 50 x 5				部材補修
(T7-4)	無	80 x 60 x 4				部材補修
(T7-5)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T8-1)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(T8-2)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T9-1)	有	300 x 50 x 5				部材補修
(T9-2)	無	80 x 40 x 4				部材補修
(T9-3)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(T10-1)	有	80 x 50 x 5				部材補修
(T10-2)	無	60 x 60 x 3				部材補修
(T11-1)	無	80 x 30 x 4				部材補修
(T13-1)	有	200 x 70 x 5	0.014		0.16	金属パテ補修
小計			0.085	0.00	0.80	

- 補修工法凡例
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

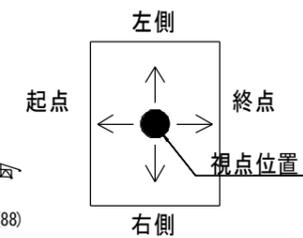
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所は
パテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を
確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合は
ブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(37) 対傾構<起点側>		
縮尺	S=1:20	図面番号	44 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

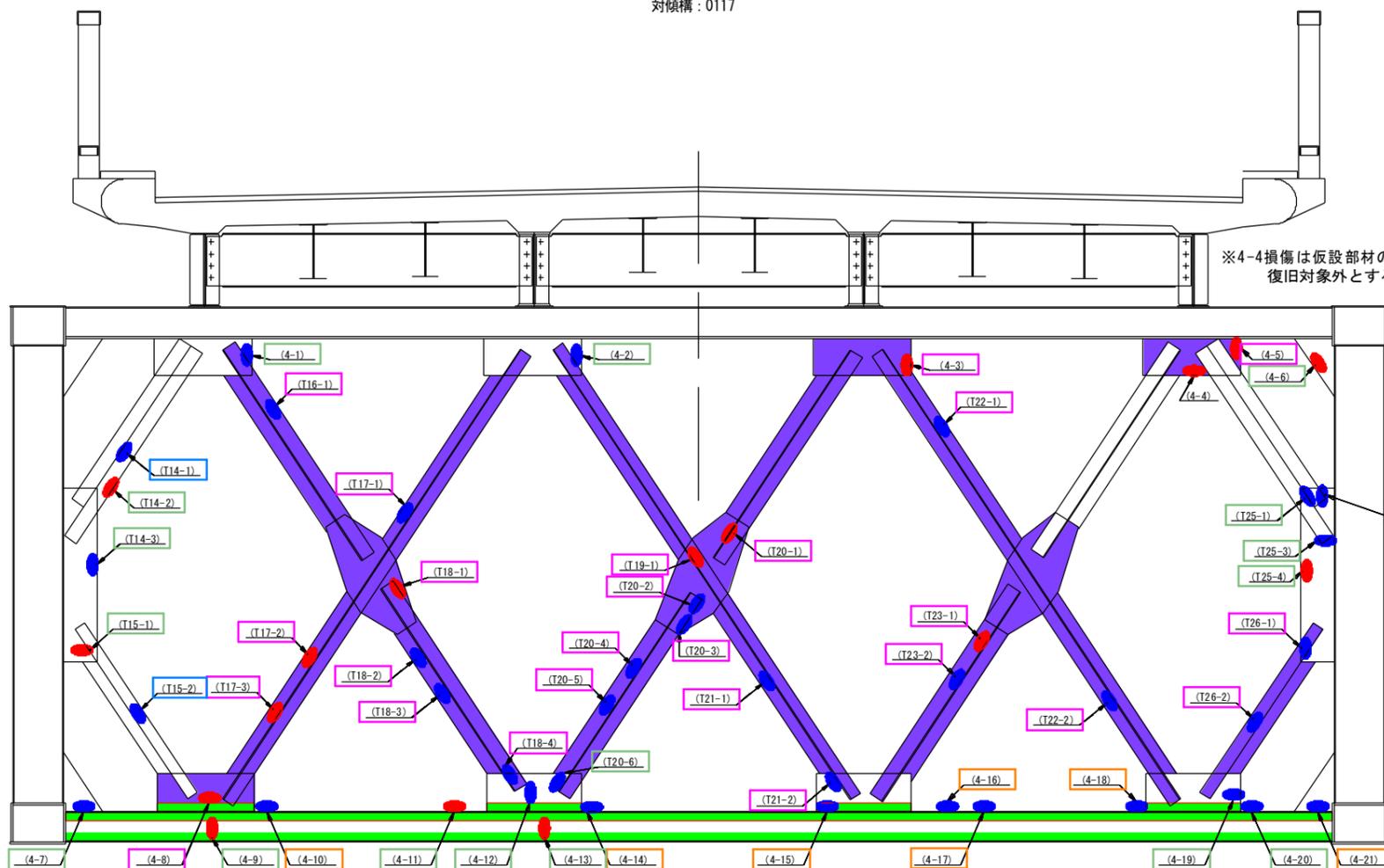
S=1:20

ブロック番号(37)

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

(終点側)
対傾構: 0117

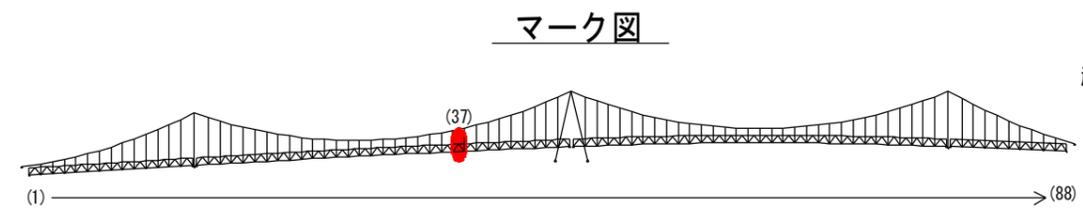


※4-4損傷は仮設部材のため、
復旧対象外とする

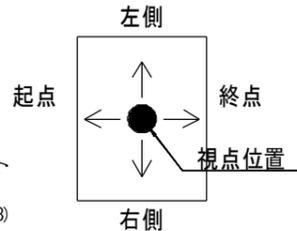
- 補修工法凡例**
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	赤丸
腐食(腐食による孔有り)	青丸
あて板補修済み箇所	緑丸



視点位置図

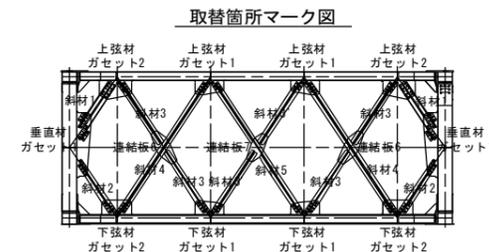


箇所	孔食 (有・無)	範囲	表地調整・ 再塗装面積 (m2)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	箇所	孔食 (有・無)	範囲	表地調整・ 再塗装面積 (m2)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(4-1)	無	80 x 40 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T16-1)	無	60 x 60 x 3				部材補修
(4-2)	無	100 x 60 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修	(T17-1)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(4-3)	有	100 x 60 x 5				部材補修	(T17-2)	有	400 x 100 x 5				部材補修
(4-4)	有	100 x 70 x 5				部材補修	(T17-3)	有	150 x 50 x 5				部材補修
(4-5)	有	160 x 60 x 5				部材補修	(T18-1)	有	700 x 100 x 5				部材補修
(4-6)	有	130 x 80 x 5	0.010		0.12	金属パテ補修	(T18-2)	無	80 x 50 x 3				部材補修
(4-7)	無	100 x 100 x 4	0.010		0.09	金属パテ補修	(T18-3)	無	80 x 80 x 4				部材補修
(4-8)	有	500 x 200 x 5				部材補修	(T18-4)	無	150 x 60 x 4				部材補修
(4-9)	有	70 x 70 x 5	0.005		0.06	金属パテ補修	(T19-1)	有	500 x 70 x 5				部材補修
(4-10)	無	180 x 80 x 4	0.014	0.10		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-1)	有	300 x 300 x 5				部材補修
(4-11)	有	400 x 50 x 5	0.020		0.23	金属パテ補修	(T20-2)	無	80 x 50 x 3				部材補修
(4-12)	無	60 x 50 x 4	0.003		0.03	金属パテ補修	(T20-3)	無	80 x 40 x 4				部材補修
(4-13)	有	100 x 100 x 5	0.010		0.12	金属パテ補修	(T20-4)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(4-14)	無	190 x 80 x 3	0.015	0.08		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-5)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(4-15)	無	100 x 80 x 4	0.008	0.05		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-6)	無	80 x 80 x 4	0.006		0.06	金属パテ補修
(4-16)	無	60 x 50 x 4	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T21-1)	無	300 x 80 x 4				部材補修
(4-17)	無	60 x 50 x 4	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T21-2)	無	150 x 60 x 4				部材補修
(4-18)	無	160 x 100 x 4	0.016	0.11		エポキシ樹脂パテ補修	(T22-1)	無	100 x 80 x 3				部材補修
(4-19)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T22-2)	無	60 x 60 x 3				部材補修
(4-20)	無	160 x 160 x 3	0.026		0.18	金属パテ補修	(T23-1)	有	50 x 50 x 5				部材補修
(4-21)	無	200 x 60 x 3	0.012	0.06		エポキシ樹脂パテ補修	(T23-2)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(T14-1)	無	120 x 80 x 3	0.010			再塗装	(T25-1)	無	150 x 100 x 4	0.015		0.14	金属パテ補修
(T14-2)	有	200 x 70 x 5	0.014		0.16	金属パテ補修	(T25-2)	無	120 x 50 x 4	0.006		0.06	金属パテ補修
(T14-3)	無	550 x 40 x 4	0.022		0.20	金属パテ補修	(T25-3)	無	100 x 100 x 4	0.010		0.09	金属パテ補修
(T15-1)	有	350 x 300 x 5	0.105		1.21	金属パテ補修	(T25-4)	有	300 x 40 x 5	0.012		0.14	金属パテ補修
(T15-2)	無	60 x 40 x 4	0.002			再塗装	(T26-1)	無	80 x 80 x 4				部材補修
							(T26-2)	無	300 x 70 x 4				部材補修
小計										0.375	0.44	2.99	

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	1
斜材 3	3
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	1
上弦材 ガセット 2	1
下弦材 ガセット 1	0
下弦材 ガセット 2	1
垂直材 ガセット 1	0

取替箇所マーク図



- 補修方針**
- 可能減肉率及び腐蝕(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
 - 孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
 - 雨水排水箇所はエポキシパテ補修を行う。
 - 上記に満たない損傷は再塗装とする。
 - 損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

補修方針

- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水排水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した表地調整及び、再塗装を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて表記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(37) 対傾構(終点側)
縮尺	図面番号 45 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

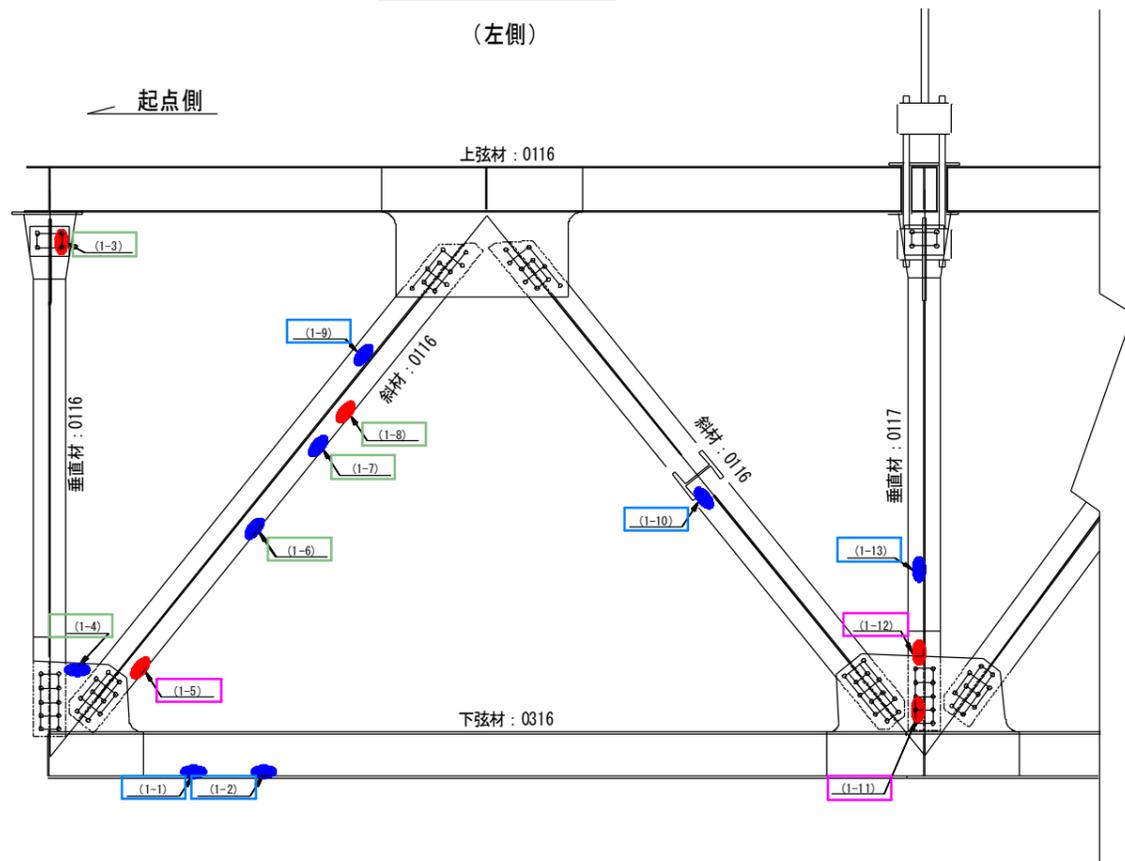
S=1:20

ブロック番号(37)

主構<弦材・斜材・垂直材>
左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	無	200 x 40 x 4	0.008			再塗装
(1-2)	無	250 x 50 x 4	0.013			再塗装
(1-3)	有	100 x 50 x 4	0.005		0.05	金属パテ補修
(1-4)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(1-5)	有	450 x 50 x 5				部材補修
(1-6)	無	200 x 80 x 4	0.016		0.15	金属パテ補修
(1-7)	無	300 x 100 x 4	0.030		0.28	金属パテ補修
(1-8)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修
(1-9)	無	120 x 30 x 3	0.004			再塗装
(1-10)	無	200 x 80 x 4	0.016			再塗装
(1-11)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(1-12)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(1-13)	無	300 x 80 x 4	0.024			再塗装
小計			0.128	0.00	0.57	

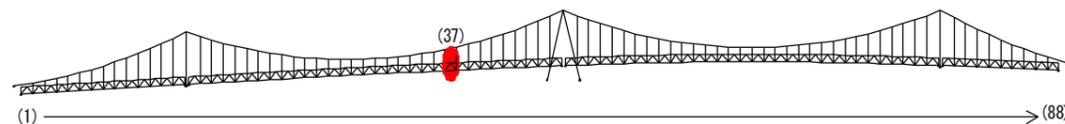
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

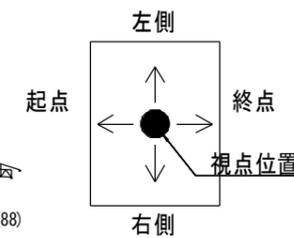
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形+再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候橋補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(37) 主構<左側>		
縮尺	S=1:20	図面番号	46 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

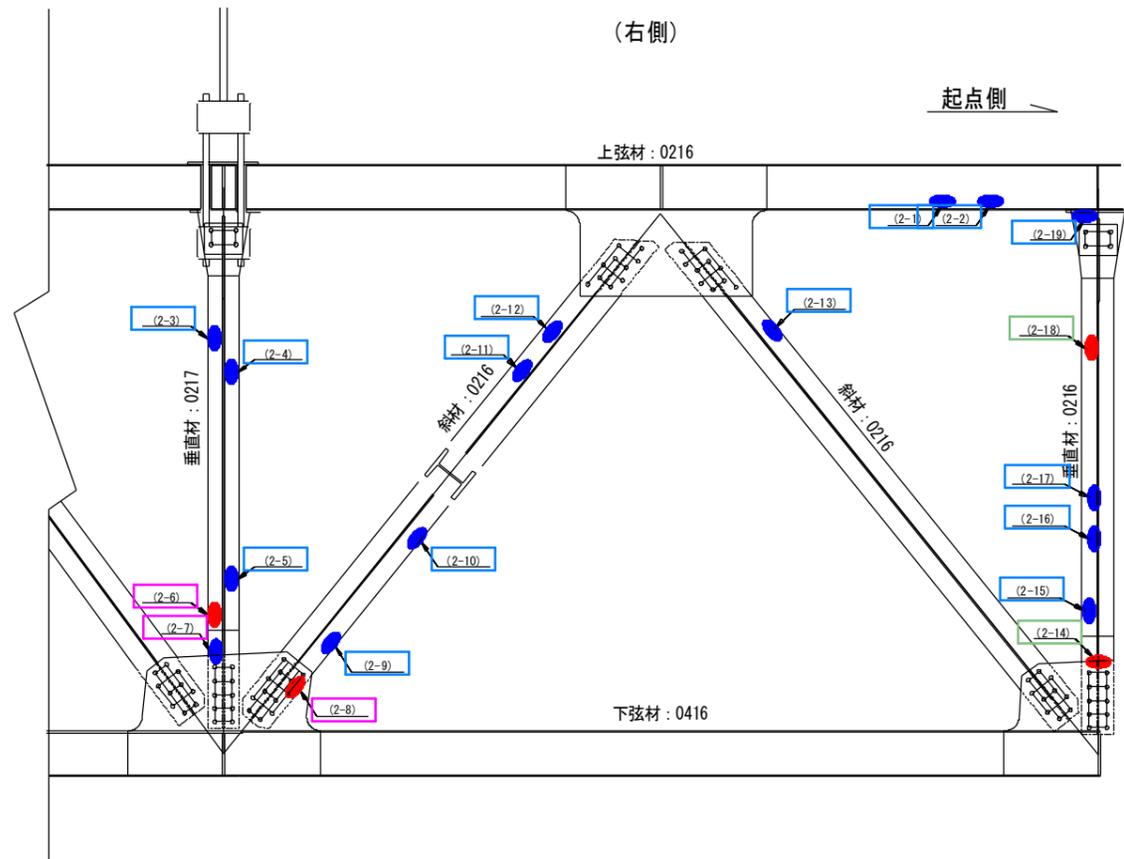
補修図

S=1:20

ブロック番号(37)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	基地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	80 x 30 x 3	0.002			再塗装
(2-2)	無	150 x 40 x 3	0.006			再塗装
(2-3)	無	300 x 70 x 3	0.021			再塗装
(2-4)	無	200 x 70 x 3	0.014			再塗装
(2-5)	無	80 x 80 x 4	0.006			再塗装
(2-6)	有	80 x 40 x 5				部材補修
(2-7)	無	400 x 60 x 4				部材補修
(2-8)	有	100 x 100 x 5				部材補修
(2-9)	無	100 x 50 x 4	0.005			再塗装
(2-10)	無	700 x 100 x 3	0.070			再塗装
(2-11)	無	90 x 70 x 3	0.006			再塗装
(2-12)	無	130 x 70 x 3	0.009			再塗装
(2-13)	無	100 x 80 x 3	0.008			再塗装
(2-14)	有	150 x 80 x 5	0.012		0.14	金属パテ補修
(2-15)	無	450 x 80 x 4	0.036			再塗装
(2-16)	無	120 x 50 x 4	0.006			再塗装
(2-17)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(2-18)	有	150 x 70 x 5	0.011		0.12	金属パテ補修
(2-19)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
小計			0.234	0.00	0.26	

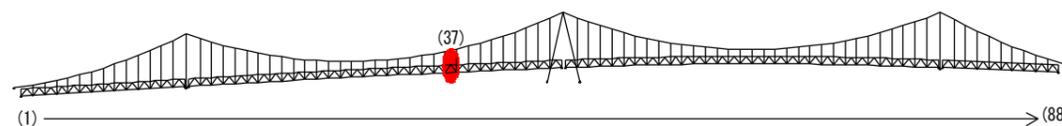
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

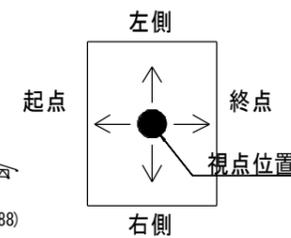
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候橋補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(37) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	47 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

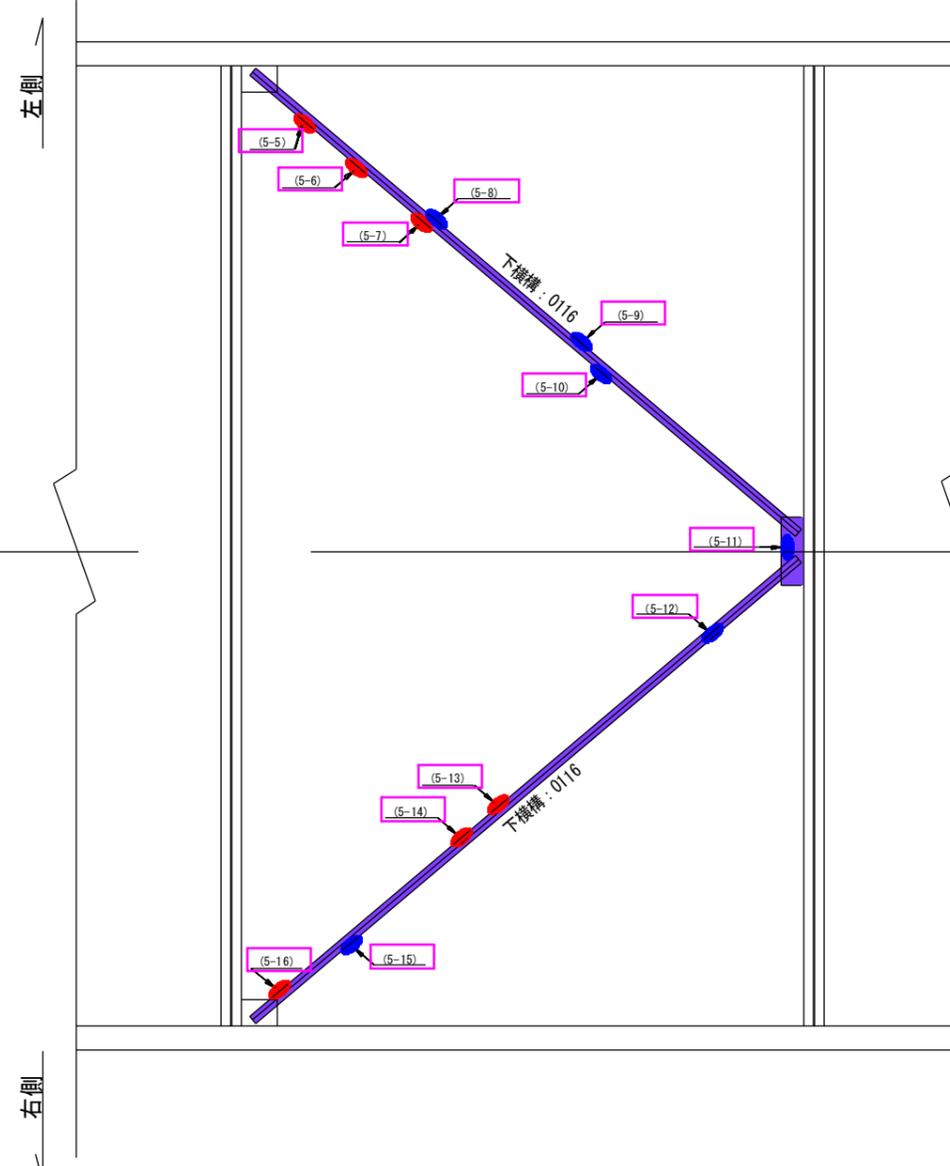
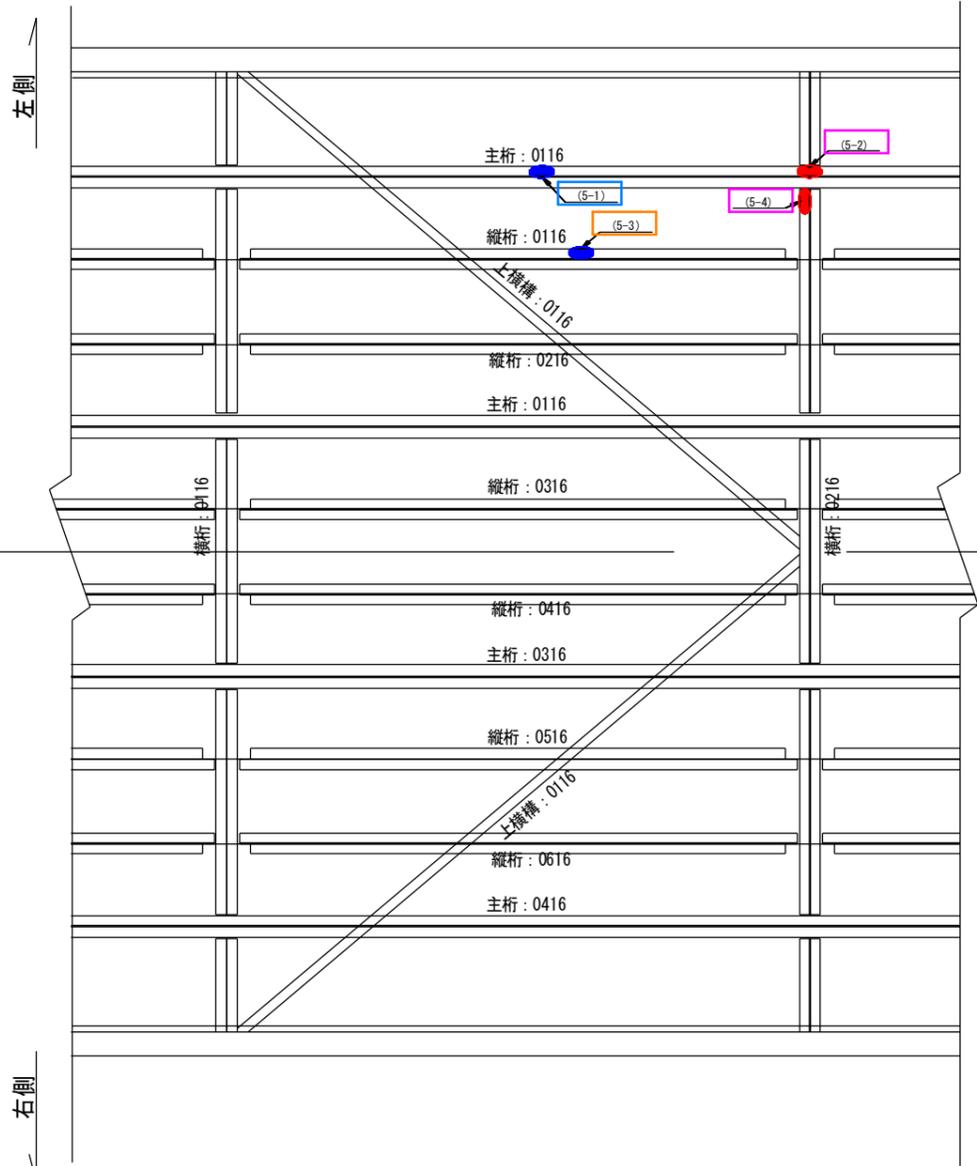
S=1:20

ブロック番号(37)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

起点側 平面図 (主桁・縦桁・横桁・上横構) 終点側

起点側 平面図 (下横構) 終点側



- 補修工法凡例
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

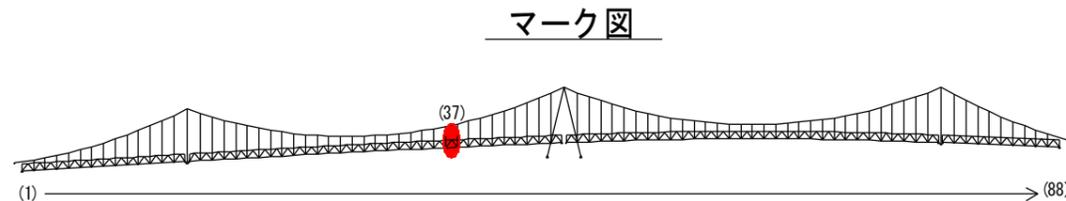
箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ	総合判定
(5-1)	無	80 x 70 x 3	0.006			再塗装
(5-2)	有	180 x 40 x 5				部材補修
(5-3)	無	450 x 70 x 3	0.032	0.16		エポキシ樹脂パテ補修
(5-4)	有	200 x 80 x 5				部材補修
(5-5)	有	400 x 90 x 5				部材補修
(5-6)	有	300 x 90 x 5				
(5-7)	有	700 x 90 x 5				
(5-8)	無	250 x 90 x 3				
(5-9)	無	400 x 80 x 4				
(5-10)	無	100 x 80 x 3				部材補修
(5-11)	無	500 x 200 x 4				
(5-12)	無	300 x 80 x 4				
(5-13)	有	700 x 80 x 5				
(5-14)	有	150 x 80 x 5				
(5-15)	無	300 x 80 x 3				
(5-16)	有	500 x 90 x 5				
小計			0.037	0.16	0.00	

取替箇所一覧表

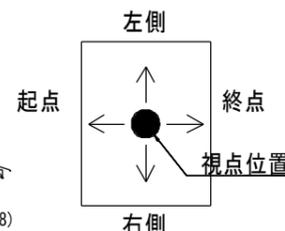
取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	2
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	0

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	



視点位置図



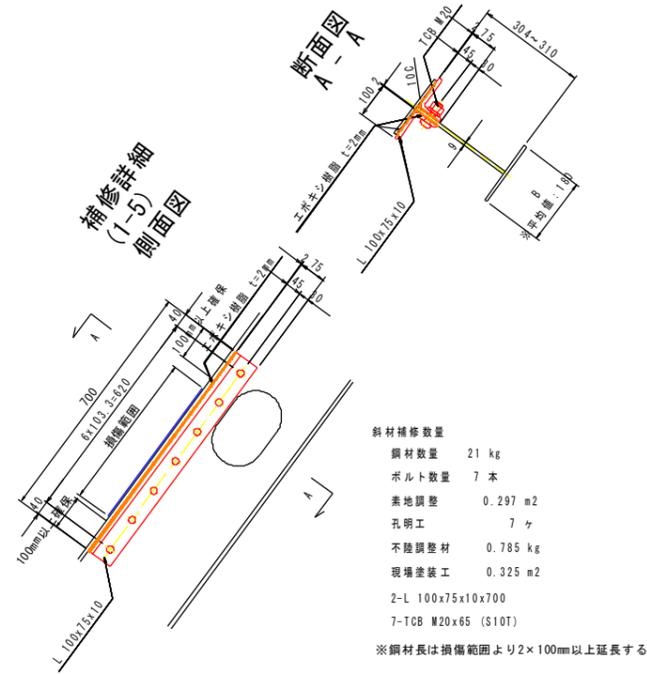
(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(再塗装)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修箇所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(37) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 48 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(37) 主構(左側)

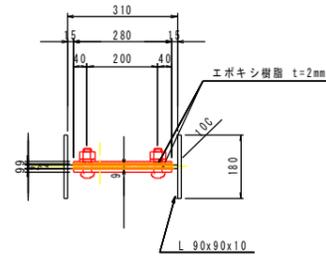


斜材補修数量

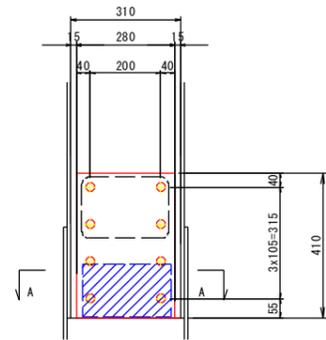
鋼材数量	21 kg
ボルト数量	7 本
素地調整	0.297 m ²
孔明工	7 ヶ
不陸調整材	0.785 kg
現場塗装工	0.325 m ²
2-L 100x75x10x700	
7-TCB M20x65 (S10T)	

※鋼材長は損傷範囲より2×100mm以上延長する

補修詳細
(1-11)
断面図
A - A



側面図



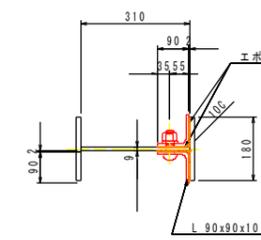
垂直材補修数量

鋼材数量	20 kg
ボルト数量	8 本
素地調整	0.291 m ²
孔明工	8 ヶ
不陸調整材	0.781 kg
現場塗装工	0.331 m ²
2-PL 410x9x280 (SS400)	
8-TCB M22x70 (S10T)	

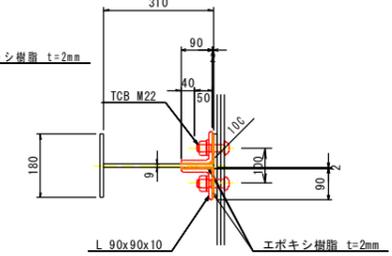
※ウェブあて板において、トルシアボルトは健全部に4本以上定着する

補修詳細
(1-12)

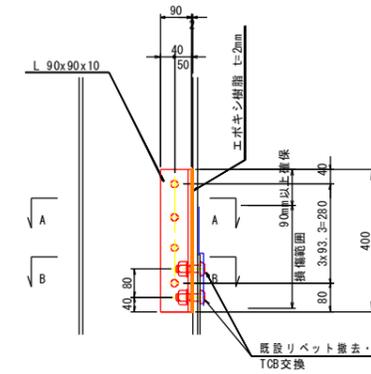
断面図
A - A



断面図
B - B



側面図



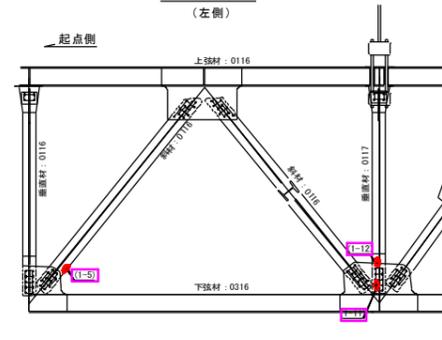
垂直材補修数量

鋼材数量	15 kg
ボルト数量	8 本
リベット撤去数量	4 本
素地調整	0.193 m ²
孔明工	4 ヶ
不陸調整材	0.490 kg
現場塗装工	0.233 m ²
2-L 90x90x10x400	
4-TCB M22x70 (S10T)	
4-TCB M22x75 (S10T)	

※鋼材長は損傷範囲より1×90mm以上延長する

- 〈あて板補修施工順序〉
1. 既設リベット撤去 (片側2箇所)
 2. 鋼材補修 (リベット部S10T締付)
 3. 既設リベット撤去 (片側2箇所)
 4. 鋼材補修 (リベット部S10T締付)
 5. 垂直材ウェブ部締付

マーク図
(左側)



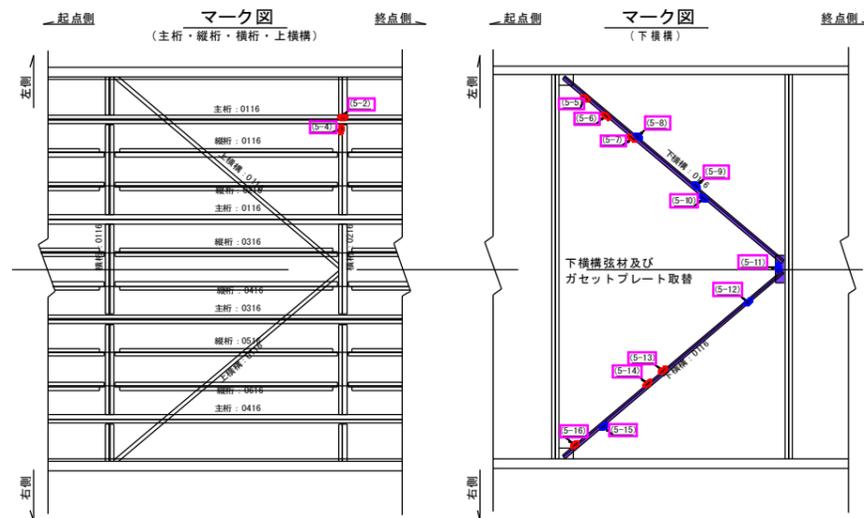
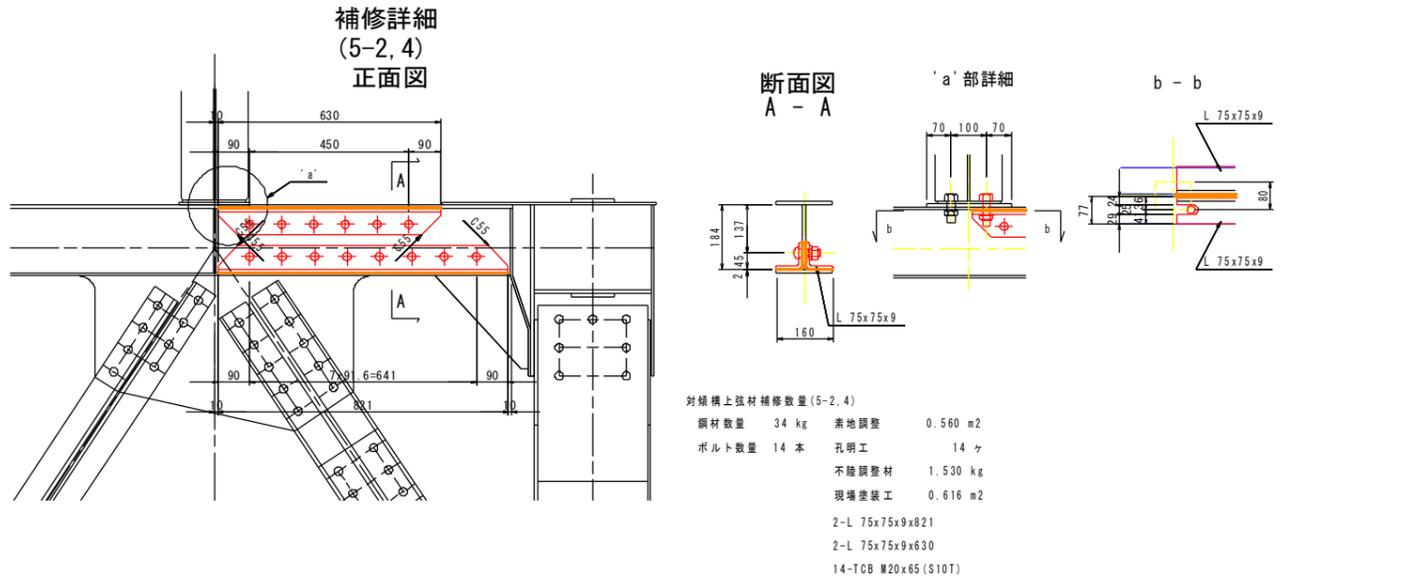
- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔 (現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(37) 主構(左側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	49 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(37)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔 (現場施工) は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(37) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材		
縮尺	S=1:10	図面番号	51 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

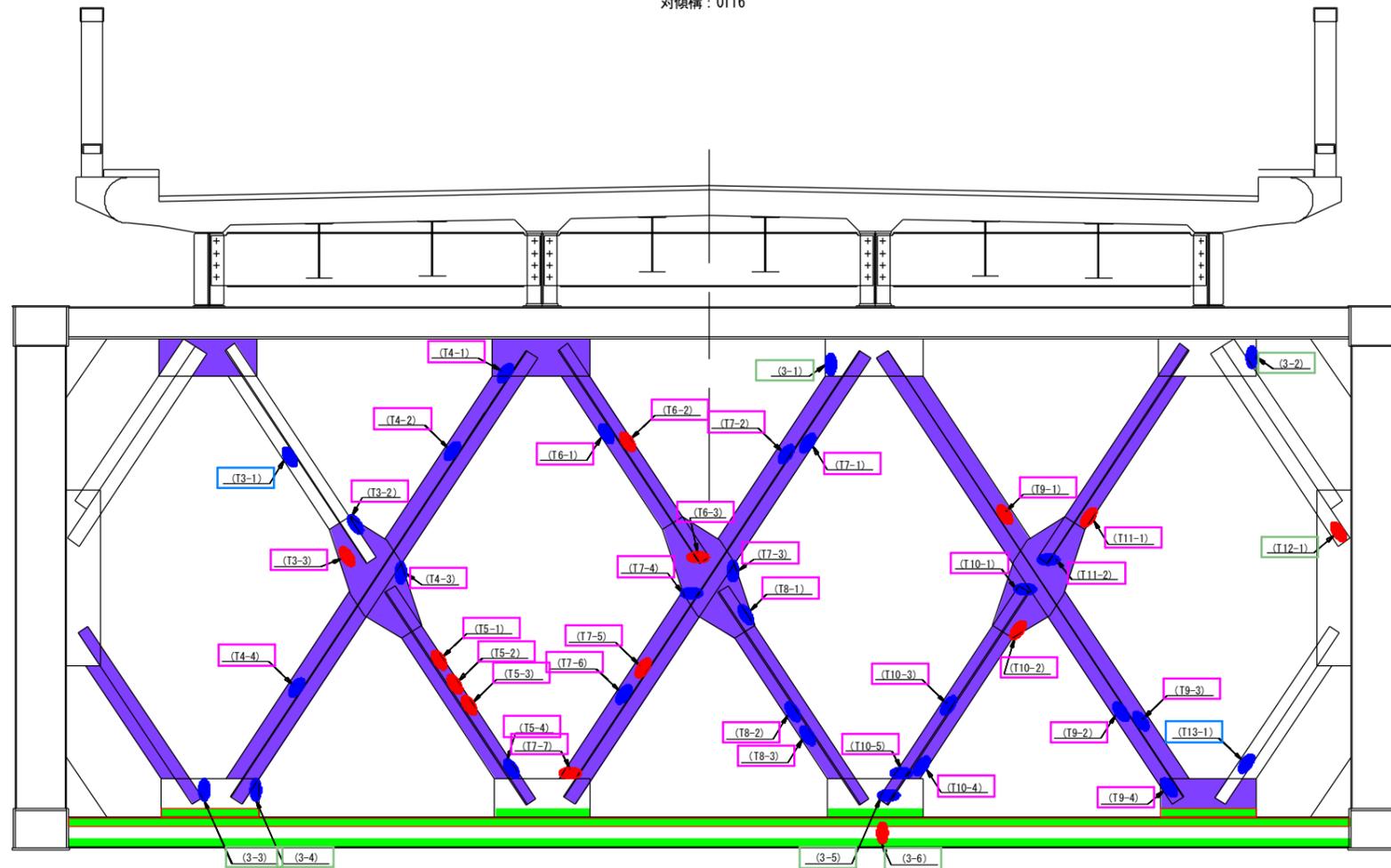
S=1:20

ブロック番号(38)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



- 補修工法凡例**
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

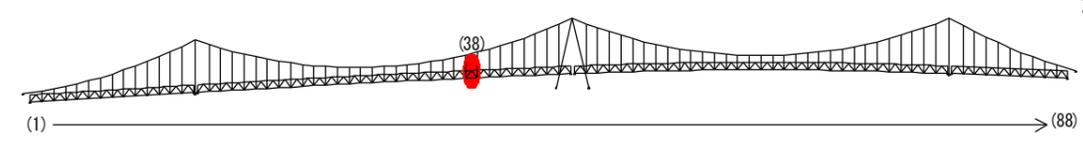
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

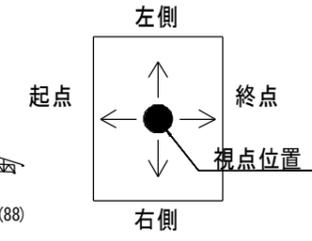
箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	無	100 x 30 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(3-2)	無	150 x 60 x 4	0.009		0.08	金属パテ補修
(3-3)	無	200 x 200 x 4	0.040		0.37	金属パテ補修
(3-4)	無	200 x 100 x 4	0.020		0.18	金属パテ補修
(3-5)	無	300 x 200 x 3	0.060		0.41	金属パテ補修
(3-6)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修
(T3-1)	無	250 x 60 x 3	0.015			再塗装
(T3-2)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(T3-3)	有	350 x 60 x 5				部材補修
(T4-1)	無	150 x 50 x 4				部材補修
(T4-2)	無	200 x 50 x 4				部材補修
(T4-3)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T4-4)	無	300 x 90 x 4				部材補修
(T5-1)	有	200 x 50 x 5				部材補修
(T5-2)	有	130 x 80 x 5				部材補修
(T5-3)	有	300 x 90 x 5				部材補修
(T5-4)	無	200 x 90 x 4				部材補修
(T6-1)	無	300 x 50 x 3				部材補修
(T6-2)	有	200 x 60 x 5				部材補修
(T6-3)	有	150 x 100 x 5				部材補修
(T7-1)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(T7-2)	無	70 x 30 x 3				部材補修
(T7-3)	無	80 x 80 x 4				部材補修
(T7-4)	無	80 x 80 x 4				部材補修
(T7-5)	有	80 x 40 x 5				部材補修
(T7-6)	無	250 x 90 x 3				部材補修
(T7-7)	有	90 x 50 x 5				部材補修
(T8-1)	無	100 x 30 x 4				部材補修
(T8-2)	無	100 x 80 x 4				部材補修
(T8-3)	無	70 x 70 x 4				部材補修
(T9-1)	有	300 x 70 x 5				部材補修
(T9-2)	無	200 x 70 x 4				部材補修
(T9-3)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T9-4)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T10-1)	無	100 x 30 x 3				部材補修
(T10-2)	有	100 x 30 x 5				部材補修
(T10-3)	無	200 x 70 x 4				部材補修
(T10-4)	無	100 x 30 x 3				部材補修
(T10-5)	無	80 x 30 x 4				部材補修
(T11-1)	有	100 x 30 x 5				部材補修
(T11-2)	無	100 x 100 x 4				部材補修
(T12-1)	有	100 x 60 x 5	0.006		0.07	金属パテ補修
(T13-1)	無	80 x 40 x 4	0.003			再塗装
小計			0.159	0.00	1.17	

- (補修方針)**
- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
 - ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
 - ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

マーク図



視点位置図



工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(38) 対傾構<起点側>		
縮尺	S=1:20	図面番号	52 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

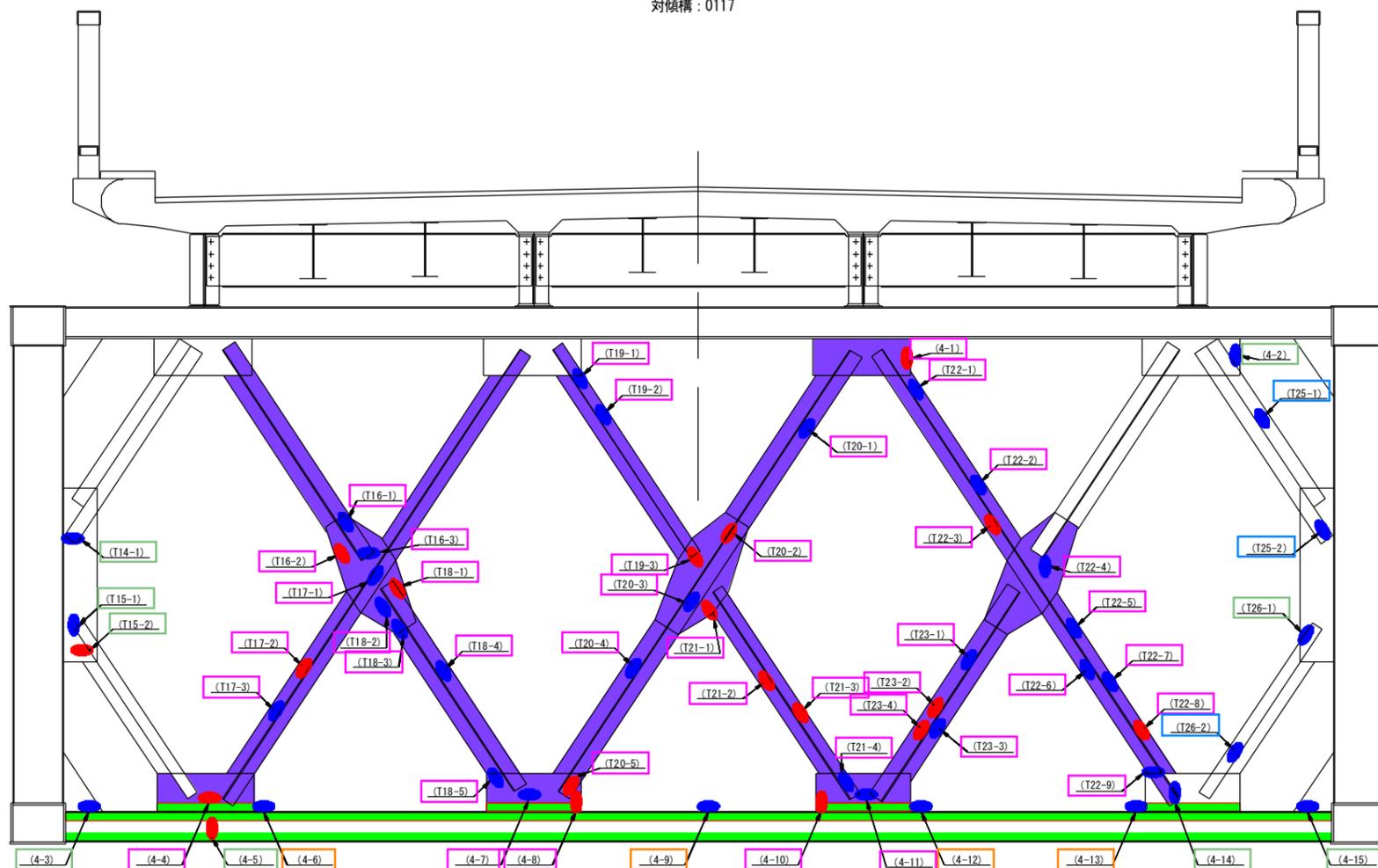
S=1:20

ブロック番号(38)

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

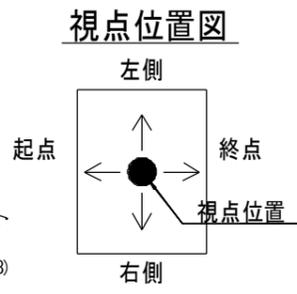
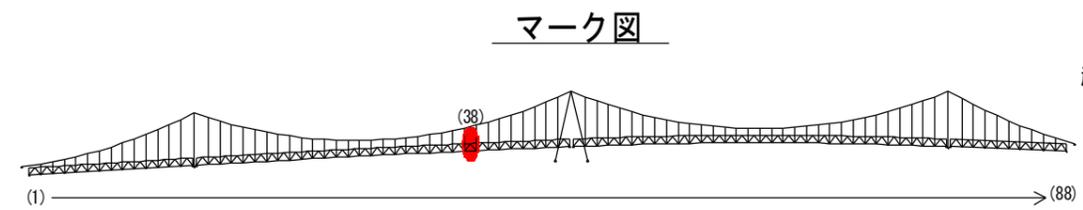
(終点側)
対傾構: 0117



- 補修工法凡例**
- (T16-1) : 補修(あて板, 取替)箇所
 - (T15-1) : 金属パテ補修箇所
 - (T17-1) : エポキシパテ補修箇所
 - (T18-1) : 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

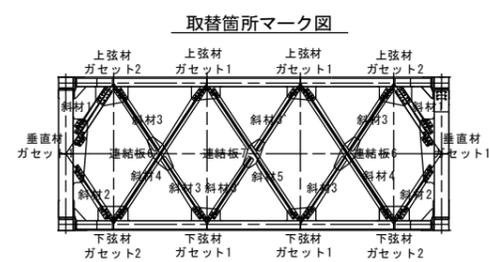


箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	
(4-1)	有	100 x 40 x 5				部材補修	(T19-1)	無	130 x 70 x 3					
(4-2)	無	150 x 50 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修	(T19-2)	無	200 x 70 x 3				部材補修	
(4-3)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T19-3)	有	700 x 80 x 5					
(4-4)	有	600 x 200 x 5				部材補修	(T20-1)	無	150 x 50 x 3				部材補修	
(4-5)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修	(T20-2)	有	400 x 300 x 5				部材補修	
(4-6)	無	150 x 100 x 3	0.015	0.08		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-3)	無	100 x 50 x 3					
(4-7)	無	280 x 60 x 4				部材補修	(T20-4)	無	100 x 70 x 3				部材補修	
(4-8)	有	200 x 100 x 5				部材補修	(T20-5)	有	100 x 70 x 5					
(4-9)	無	400 x 70 x 4	0.028	0.19		エポキシ樹脂パテ補修	(T21-1)	有	50 x 50 x 5					
(4-10)	有	100 x 30 x 5				部材補修	(T21-2)	有	300 x 100 x 5				部材補修	
(4-11)	無	100 x 80 x 3				部材補修	(T21-3)	有	300 x 80 x 5					
(4-12)	無	160 x 50 x 4	0.008	0.05		エポキシ樹脂パテ補修	(T21-4)	無	50 x 50 x 4					
(4-13)	無	160 x 50 x 3	0.008	0.04		エポキシ樹脂パテ補修	(T22-1)	無	100 x 80 x 3					
(4-14)	無	100 x 70 x 3	0.007		0.05	金属パテ補修	(T22-2)	無	100 x 80 x 3					
(4-15)	無	100 x 30 x 3	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T22-3)	有	160 x 60 x 5					
(T14-1)	無	250 x 100 x 4	0.025		0.23	金属パテ補修	(T22-4)	無	300 x 80 x 4				部材補修	
(T15-1)	無	200 x 150 x 4	0.030		0.28	金属パテ補修	(T22-5)	無	300 x 80 x 4					
(T15-2)	有	100 x 100 x 5	0.010		0.12	金属パテ補修	(T22-6)	無	200 x 100 x 3					
(T16-1)	無	150 x 10 x 4				部材補修	(T22-7)	無	100 x 100 x 3					
(T16-2)	有	100 x 50 x 5				部材補修	(T22-8)	有	200 x 70 x 5					
(T16-3)	無	200 x 200 x 3				部材補修	(T22-9)	無	70 x 50 x 3					
(T17-1)	無	100 x 70 x 4				部材補修	(T23-1)	無	70 x 70 x 4					
(T17-2)	有	70 x 60 x 5				部材補修	(T23-2)	有	80 x 50 x 5				部材補修	
(T17-3)	無	150 x 40 x 4				部材補修	(T23-3)	無	200 x 40 x 3					
(T18-1)	有	400 x 200 x 5				部材補修	(T23-4)	有	80 x 70 x 5					
(T18-2)	無	100 x 100 x 4				部材補修	(T25-1)	無	100 x 60 x 3	0.006			再塗装	
(T18-3)	無	50 x 50 x 3				部材補修	(T25-2)	無	100 x 80 x 3	0.008			再塗装	
(T18-4)	無	250 x 70 x 4				部材補修	(T26-1)	無	120 x 30 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修	
(T18-5)	無	100 x 100 x 4				部材補修	(T26-2)	無	70 x 70 x 3	0.005			再塗装	
小計											0.169	0.38	0.81	

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	0
斜材 3	3
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	1
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	2
下弦材 ガセット 2	1
垂直材 ガセット 1	0

- (補修方針)**
- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
 - ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水落水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
 - ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順に示して記載する。



- (補修方針)**
- ・可能減肉率及び腐蝕(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
 - ・孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
 - ・雨水落水箇所はエポキシパテ補修を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装とする。
 - ・損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

工事名	R1徳島 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(38) 対傾構(終点側)
縮尺	S=1:20 図面番号 53 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

S=1:20

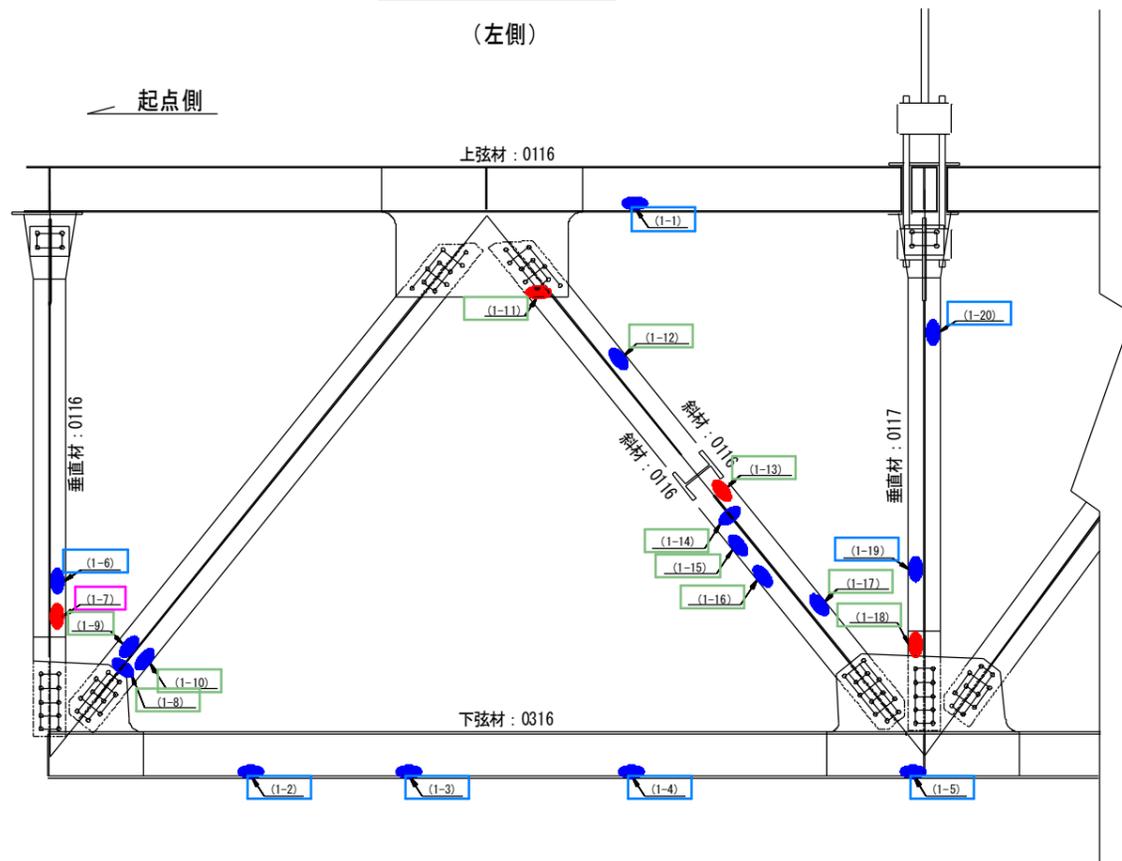
ブロック番号(38)

主構<弦材・斜材・垂直材>

左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	基地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	無	100 x 100 x 4	0.010			再塗装
(1-2)	無	100 x 50 x 4	0.005			再塗装
(1-3)	無	120 x 50 x 4	0.006			再塗装
(1-4)	無	500 x 60 x 4	0.030			再塗装
(1-5)	無	150 x 80 x 3	0.012			再塗装
(1-6)	無	150 x 80 x 4	0.012			再塗装
(1-7)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(1-8)	無	130 x 50 x 4	0.007		0.06	金属パテ補修
(1-9)	無	60 x 40 x 4	0.002		0.02	金属パテ補修
(1-10)	無	60 x 40 x 4	0.002		0.02	金属パテ補修
(1-11)	有	150 x 50 x 5	0.008		0.09	金属パテ補修
(1-12)	無	300 x 100 x 4	0.030		0.28	金属パテ補修
(1-13)	有	250 x 50 x 5	0.013		0.14	金属パテ補修
(1-14)	無	300 x 130 x 4	0.039		0.36	金属パテ補修
(1-15)	無	60 x 30 x 4	0.002		0.02	金属パテ補修
(1-16)	無	100 x 30 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(1-17)	無	150 x 100 x 3	0.015		0.10	金属パテ補修
(1-18)	有	300 x 80 x 4	0.024		0.22	金属パテ補修
(1-19)	無	200 x 50 x 3	0.010			再塗装
(1-20)	無	800 x 120 x 3	0.096			再塗装
小計			0.325	0.00	1.33	

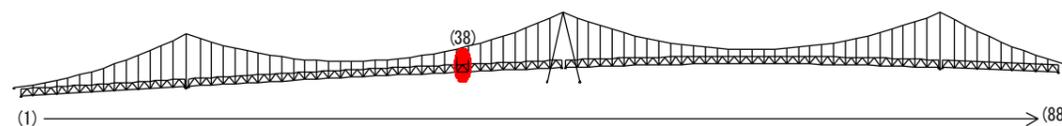
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

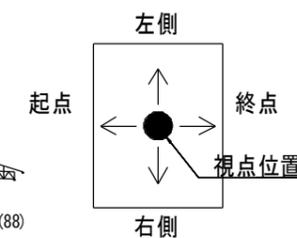
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(38) 主構(左側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	54 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

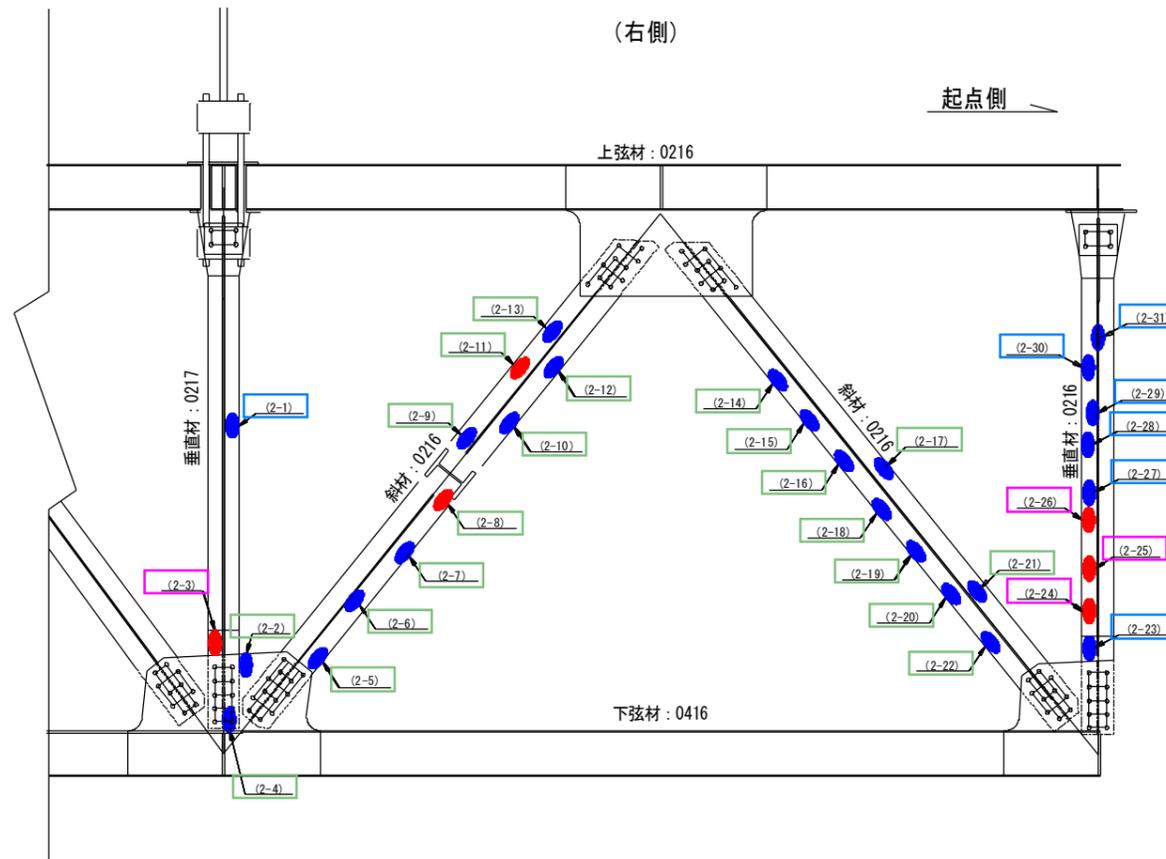
補修図

S=1:20

ブロック番号(38)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	80 x 80 x 4	0.006			再塗装
(2-2)	無	200 x 200 x 4	0.040		0.37	金属パテ補修
(2-3)	有	80 x 70 x 5				部材補修
(2-4)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(2-5)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(2-6)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(2-7)	無	70 x 40 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-8)	有	150 x 100 x 5	0.015		0.17	金属パテ補修
(2-9)	無	500 x 80 x 4	0.040		0.37	金属パテ補修
(2-10)	無	180 x 60 x 3	0.011		0.07	金属パテ補修
(2-11)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(2-12)	無	200 x 70 x 4	0.014		0.13	金属パテ補修
(2-13)	無	250 x 60 x 3	0.015		0.10	金属パテ補修
(2-14)	無	130 x 50 x 3	0.007		0.04	金属パテ補修
(2-15)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(2-16)	無	80 x 70 x 4	0.006		0.05	金属パテ補修
(2-17)	無	200 x 60 x 3	0.012		0.08	金属パテ補修
(2-18)	無	200 x 70 x 4	0.014		0.13	金属パテ補修
(2-19)	無	100 x 70 x 4	0.007		0.06	金属パテ補修
(2-20)	無	150 x 70 x 4	0.011		0.10	金属パテ補修
(2-21)	無	250 x 50 x 3	0.013		0.09	金属パテ補修
(2-22)	無	300 x 70 x 4	0.021		0.19	金属パテ補修
(2-23)	無	400 x 60 x 4	0.024			再塗装
(2-24)	有	80 x 40 x 5				部材補修
(2-25)	有	60 x 60 x 5				部材補修
(2-26)	有	80 x 70 x 5				部材補修
(2-27)	無	100 x 70 x 4	0.007			再塗装
(2-28)	無	400 x 70 x 4	0.028			再塗装
(2-29)	無	300 x 70 x 3	0.021			再塗装
(2-30)	無	300 x 70 x 3	0.021			再塗装
(2-31)	無	200 x 70 x 3	0.014			再塗装
小計			0.382	0.00	2.24	

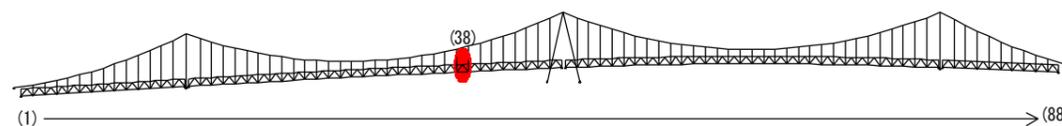
補修工法凡例

- (2-3) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (2-9) : 金属パテ補修箇所
- (2-26) : エポキシパテ補修箇所
- (2-1) : 再塗装箇所

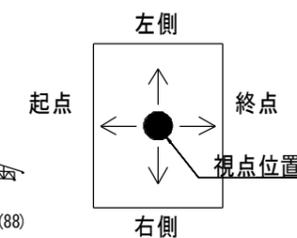
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候橋補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

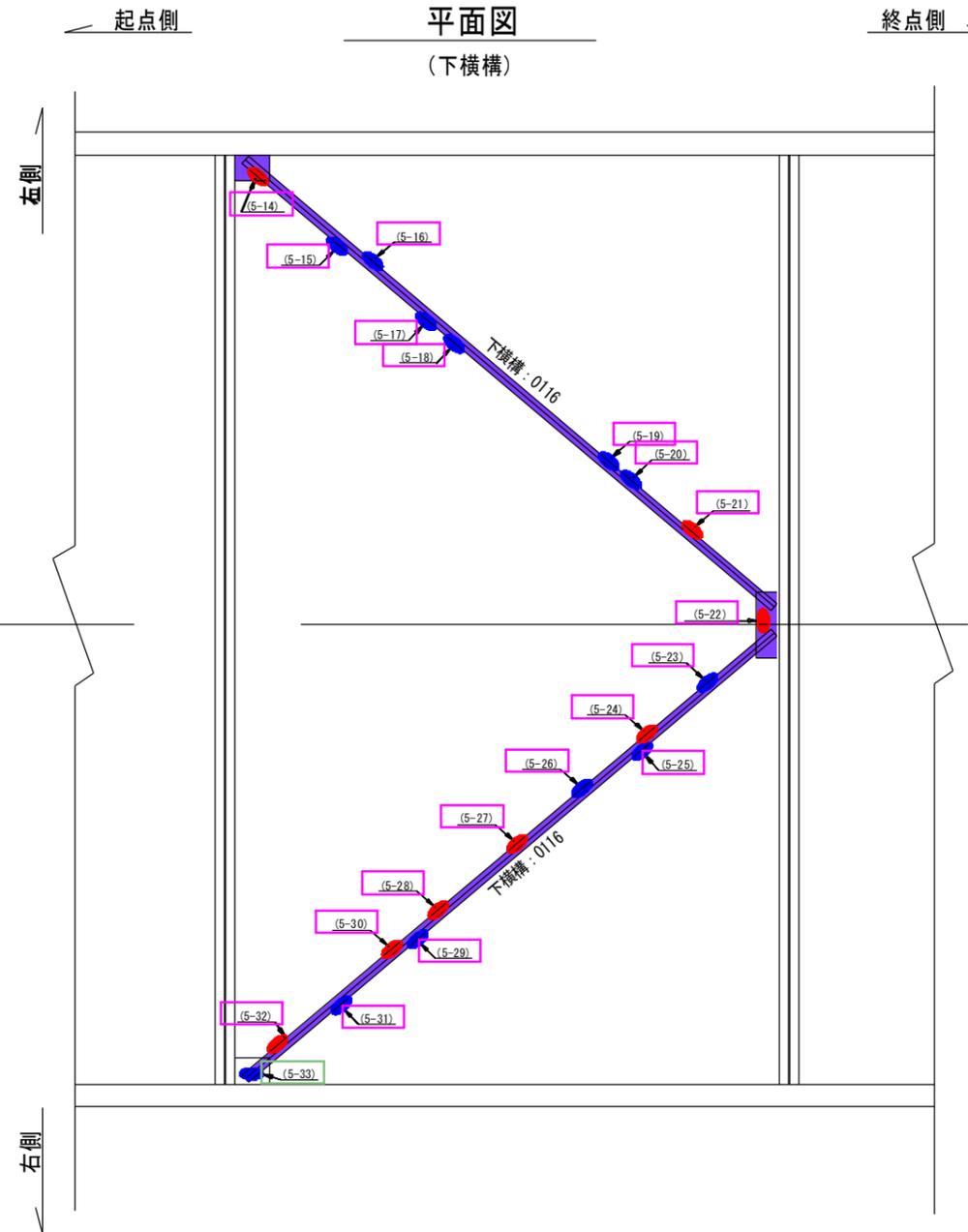
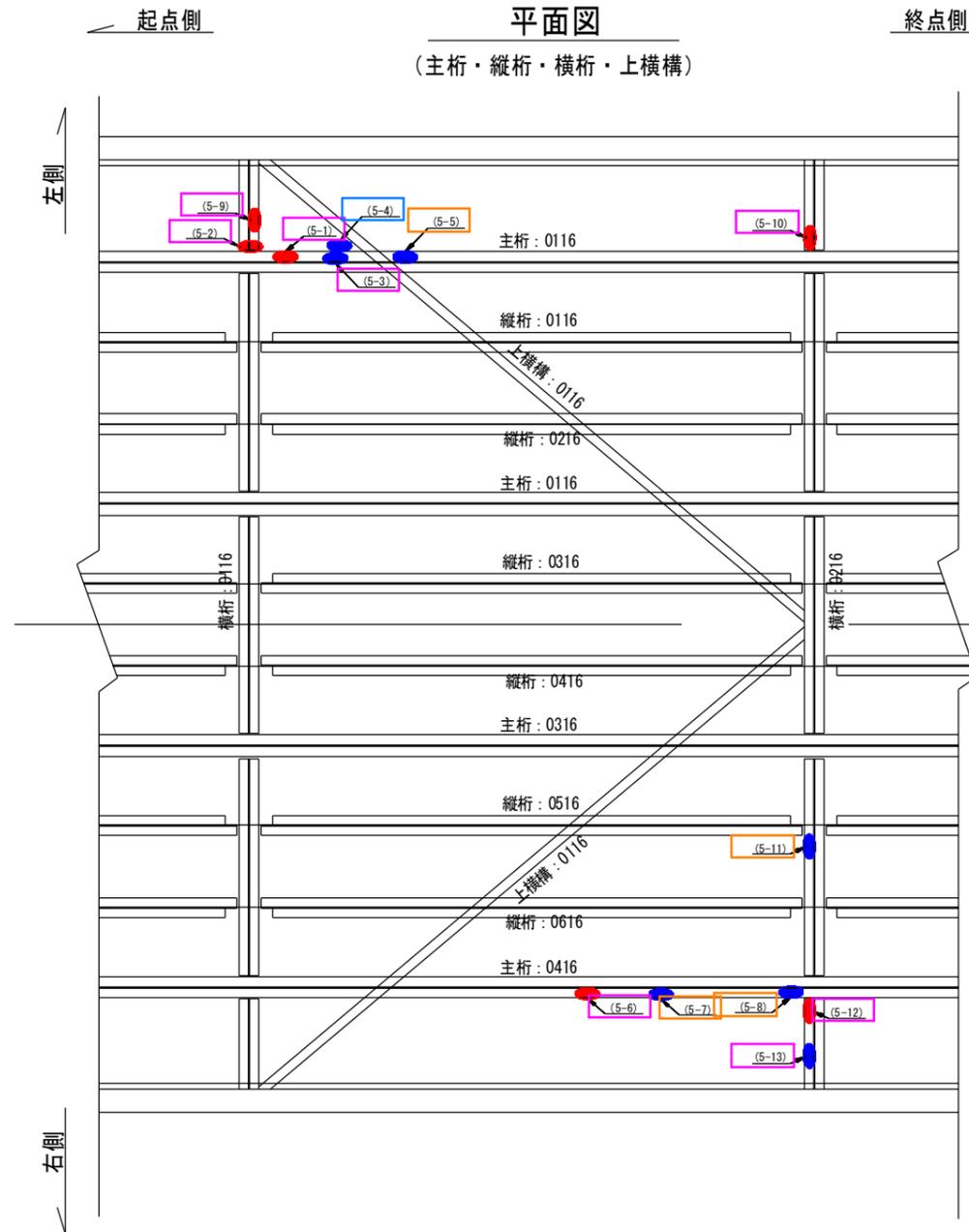
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(38) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	55 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

ブロック番号(38)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

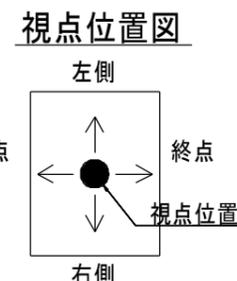
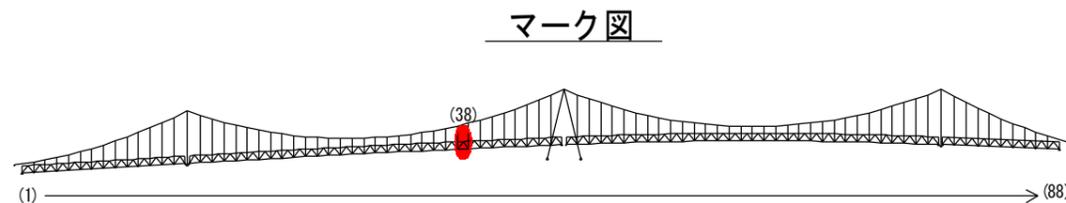


箇所	孔食 (有・無)	範囲	基地調整・再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	有	150 x 40 x 5				部材補修
(5-2)	有	180 x 40 x 5				部材補修
(5-3)	無	400 x 80 x 3				部材補修
(5-4)	無	800 x 40 x 3	0.032			再塗装
(5-5)	無	80 x 40 x 3	0.003	0.02		エポキシ樹脂パテ補修
(5-6)	有	120 x 40 x 5				部材補修
(5-7)	無	120 x 70 x 4	0.008	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(5-8)	無	500 x 70 x 3	0.035	0.18		エポキシ樹脂パテ補修
(5-9)	有	400 x 70 x 5				部材補修
(5-10)	有	100 x 70 x 5				部材補修
(5-11)	無	100 x 70 x 2	0.007	0.02		エポキシ樹脂パテ補修
(5-12)	有	100 x 70 x 5				部材補修
(5-13)	無	150 x 60 x 3				部材補修
(5-14)	有	250 x 100 x 5				部材補修
(5-15)	無	200 x 80 x 3				部材補修
(5-16)	無	450 x 110 x 4				
(5-17)	無	120 x 50 x 3				
(5-18)	無	120 x 50 x 3				
(5-19)	無	200 x 50 x 30				
(5-20)	無	50 x 50 x 3				
(5-21)	有	250 x 60 x 5				
(5-22)	有	500 x 200 x 5				
(5-23)	無	400 x 50 x 3				
(5-24)	有	1200 x 80 x 5				
(5-25)	無	250 x 80 x 3				
(5-26)	無	300 x 80 x 4				
(5-27)	有	300 x 50 x 5				
(5-28)	有	450 x 80 x 5				
(5-29)	無	100 x 80 x 3				
(5-30)	有	300 x 80 x 5				
(5-31)	無	350 x 80 x 3				
(5-32)	有	700 x 80 x 5				
(5-33)	無	250 x 200 x 3	0.050		0.35	金属パテ補修
小計			0.136	0.28	0.35	

- 補修工法凡例
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●



- (補修方針)
- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
 - 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した基地調整及び、再塗装を行う。
 - 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
 - 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

取替箇所一覧表

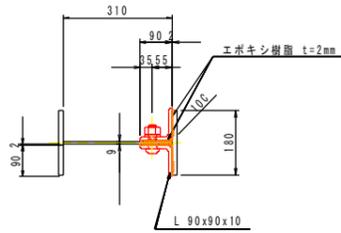
取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	2
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	1

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(38) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 56 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

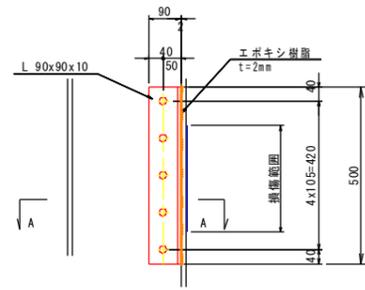
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(38) 主構(左側)

補修詳細
(1-7)
断面図
A-A

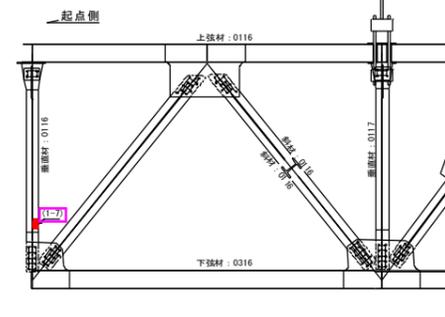


側面図



- 垂直材補修数量
- 鋼材数量 13 kg
 - ボルト数量 4 本
- 素地調整 0.193 m²
- 孔明工 4 ケ
 - 不陸調整材 0.490 kg
 - 現場塗装工 0.213 m²
- 2-L 90x90x10x400
4-TCB M22x70 (S10T)

マーク図
(左側)



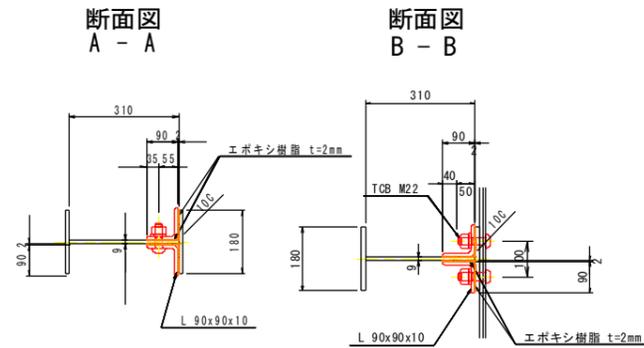
- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴-徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(38) 主構(左側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	57 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

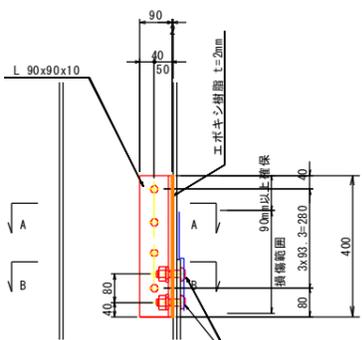
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(38) 主構(右側)

補修詳細
(2-3)



側面図



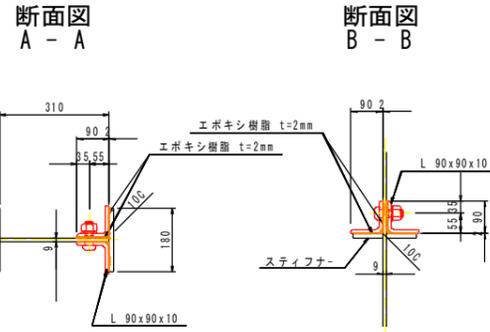
斜材補修数量

鋼材数量	15 kg
ボルト数量	8 本
リベット撤去数量	4 本
素地調整	0.193 m ²
孔明工	4 ケ
不陸調整材	0.490 kg
現場塗装工	0.233 m ²
2-L 90x90x10x400	
4-TCB M22x70 (S10T)	
4-TCB M22x75 (S10T)	

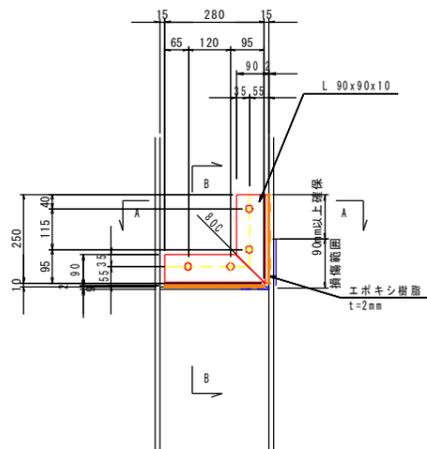
※鋼材長は損傷範囲より1×90mm以上延長する

- 〈あて板補修施工順序〉
1. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 2. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 3. 既設リベット撤去(片側2箇所)
 4. 鋼材補修(リベット部S10T締付)
 5. 垂直材ウェブ部締付

補修詳細
(2-26)



側面図

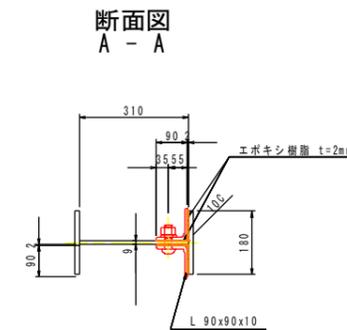


斜材補修数量

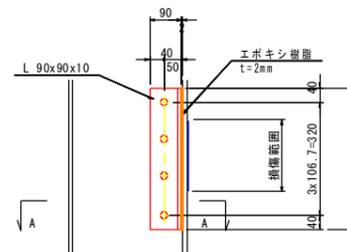
鋼材数量	16 kg
ボルト数量	4 本
素地調整	0.242 m ²
孔明工	4 ケ
不陸調整材	0.648 kg
現場塗装工	0.262 m ²
2-L 90x90x10x530	
4-TCB M22x70 (S10T)	

※鋼材長は損傷範囲より2×90mm以上延長する

補修詳細
(2-24, 25)



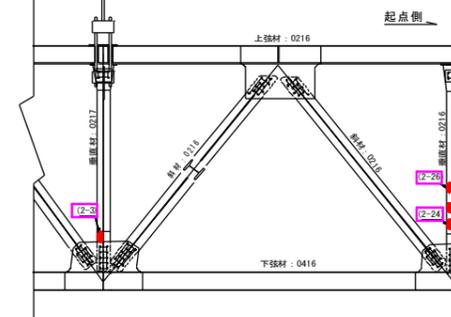
側面図



垂直材補修数量(1箇所当たり) ※2箇所

鋼材数量	13 kg
ボルト数量	4 本
素地調整	0.193 m ²
孔明工	4 ケ
不陸調整材	0.490 kg
現場塗装工	0.213 m ²
2-L 90x90x10x400	
4-TCB M22x70 (S10T)	

マーク図
(右側)



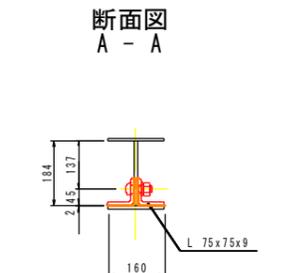
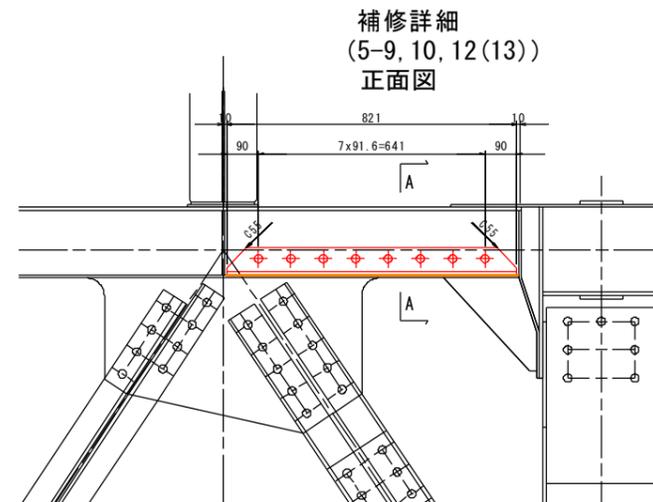
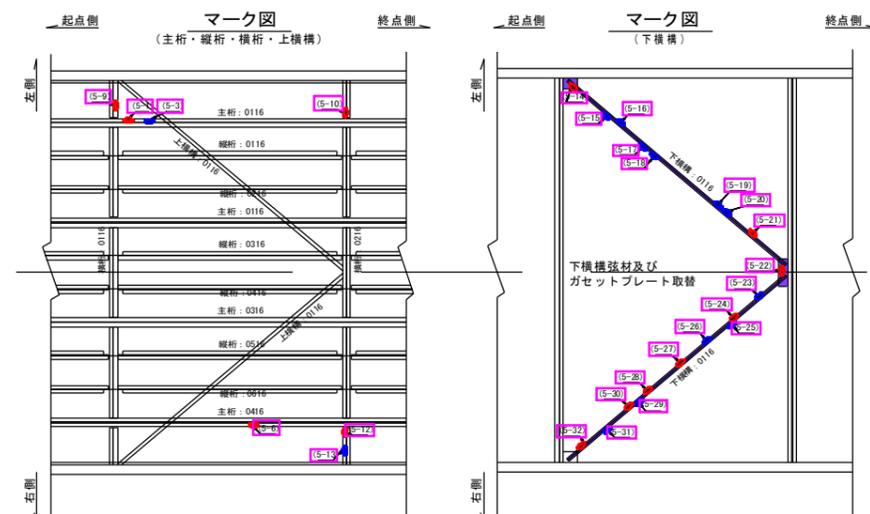
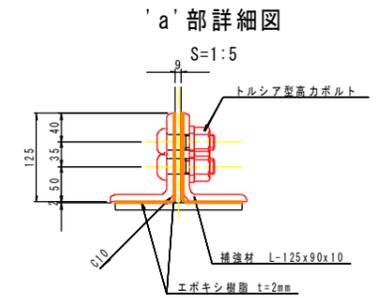
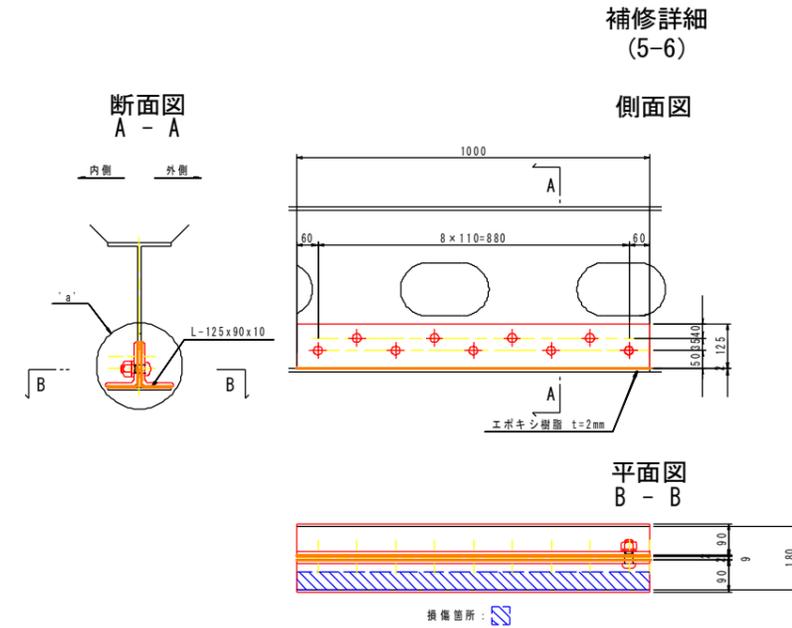
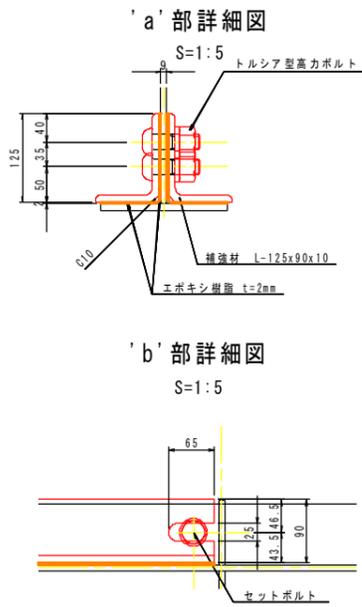
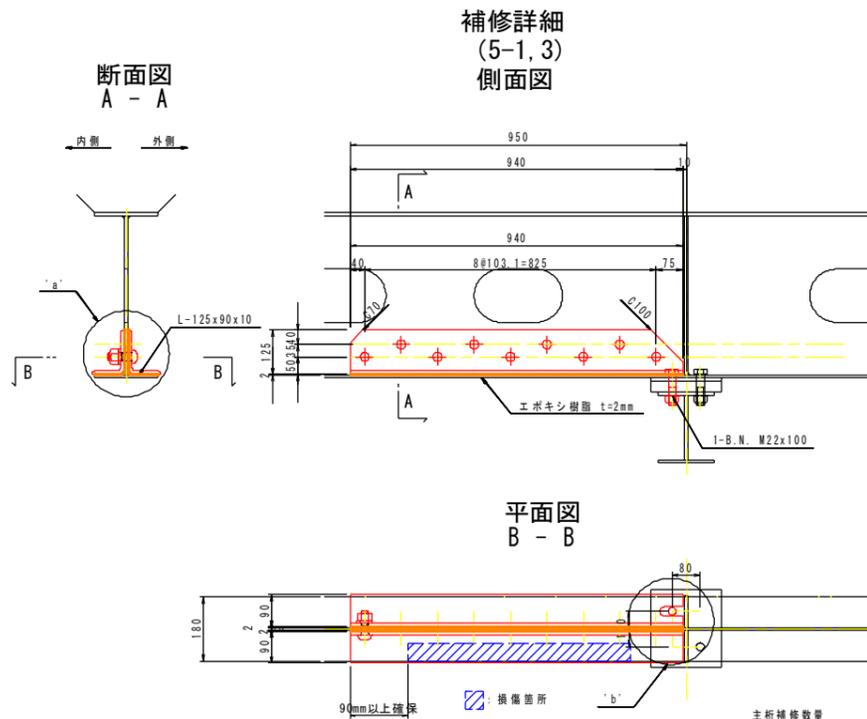
- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳安大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(38) 主構(右側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	58 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(38)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材



対横構上弦材補修数量(1箇所当たり) ※3箇所

鋼材数量	19 kg	素地調整	0.312 m ²
ボルト数量	8 本	孔明工	8ヶ
		不陸調整材	0.866 kg
		現場塗装工	0.344 m ²
2-L 75x75x9x821			
8-TCB M20x65 (S10T)			

注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図	ブロック番号(38)	
縮尺	S=1:10	図面番号	59 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

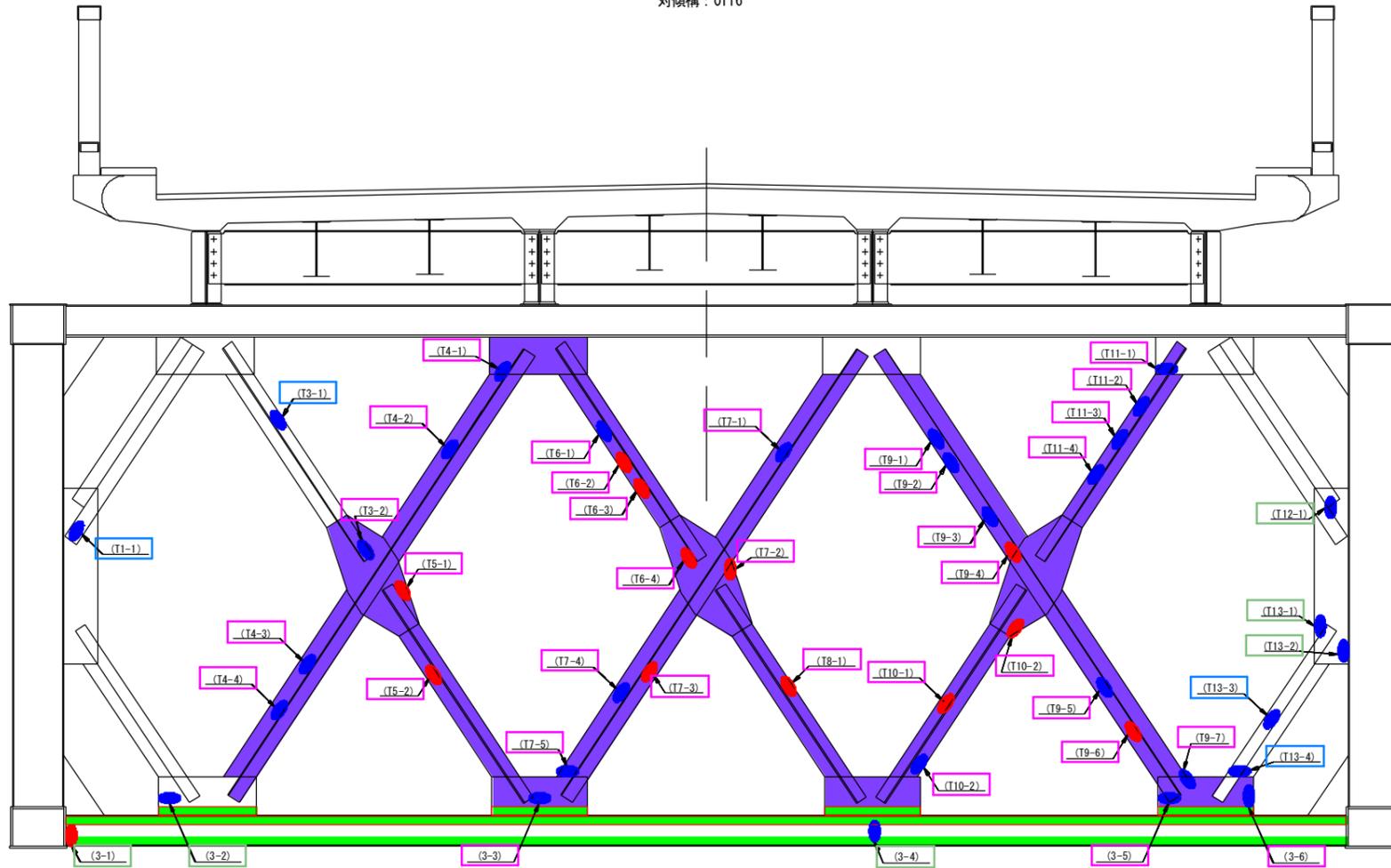
S=1:20

ブロック番号(39)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116



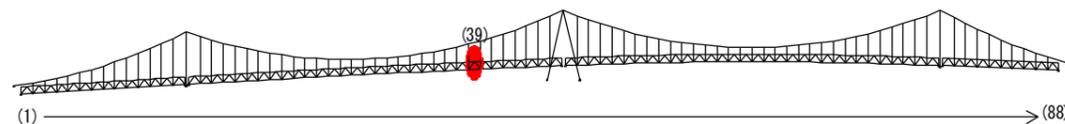
箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (㎡)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	有	100 x 70 x 5	0.007		0.08	金属パテ補修
(3-2)	無	350 x 100 x 3	0.035		0.24	金属パテ補修
(3-3)	無	120 x 80 x 3				部材補修
(3-4)	無	70 x 70 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(3-5)	無	100 x 40 x 4				部材補修
(3-6)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(T1-1)	無	100 x 70 x 3	0.007			再塗装
(T3-1)	無	180 x 50 x 3	0.009			再塗装
(T3-2)	無	80 x 80 x 3				部材補修
(T4-1)	無	100 x 50 x 3				部材補修
(T4-2)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T4-3)	無	80 x 50 x 4				部材補修
(T4-4)	無	250 x 100 x 4				部材補修
(T5-1)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(T5-2)	有	150 x 80 x 5				部材補修
(T6-1)	無	120 x 50 x 3				部材補修
(T6-2)	有	80 x 50 x 5				部材補修
(T6-3)	有	300 x 60 x 5				部材補修
(T6-4)	有	80 x 80 x 5				部材補修
(T7-1)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(T7-2)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(T7-3)	有	400 x 80 x 5				部材補修
(T7-4)	無	300 x 80 x 4				部材補修
(T7-5)	無	80 x 50 x 4				部材補修
(T8-1)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(T9-1)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T9-2)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T9-3)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T9-4)	有	70 x 70 x 5				部材補修
(T9-5)	無	80 x 80 x 4				部材補修
(T9-6)	有	200 x 80 x 5				部材補修
(T9-7)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(T10-1)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(T10-2)	無	100 x 30 x 3				部材補修
(T11-1)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T11-2)	無	180 x 50 x 3				部材補修
(T11-3)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T11-4)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T12-1)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
(T13-1)	無	200 x 100 x 4	0.020		0.18	金属パテ補修
(T13-2)	無	100 x 60 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修
(T13-3)	無	200 x 80 x 3	0.016			再塗装
(T13-4)	無	50 x 50 x 4	0.003			再塗装
小計			0.115	0.00	0.64	

- 補修工法凡例
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

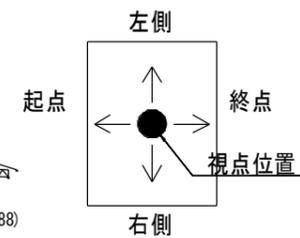
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕裕を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(39) 対傾構(起点側)		
縮尺	図面番号	60 / 74	
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

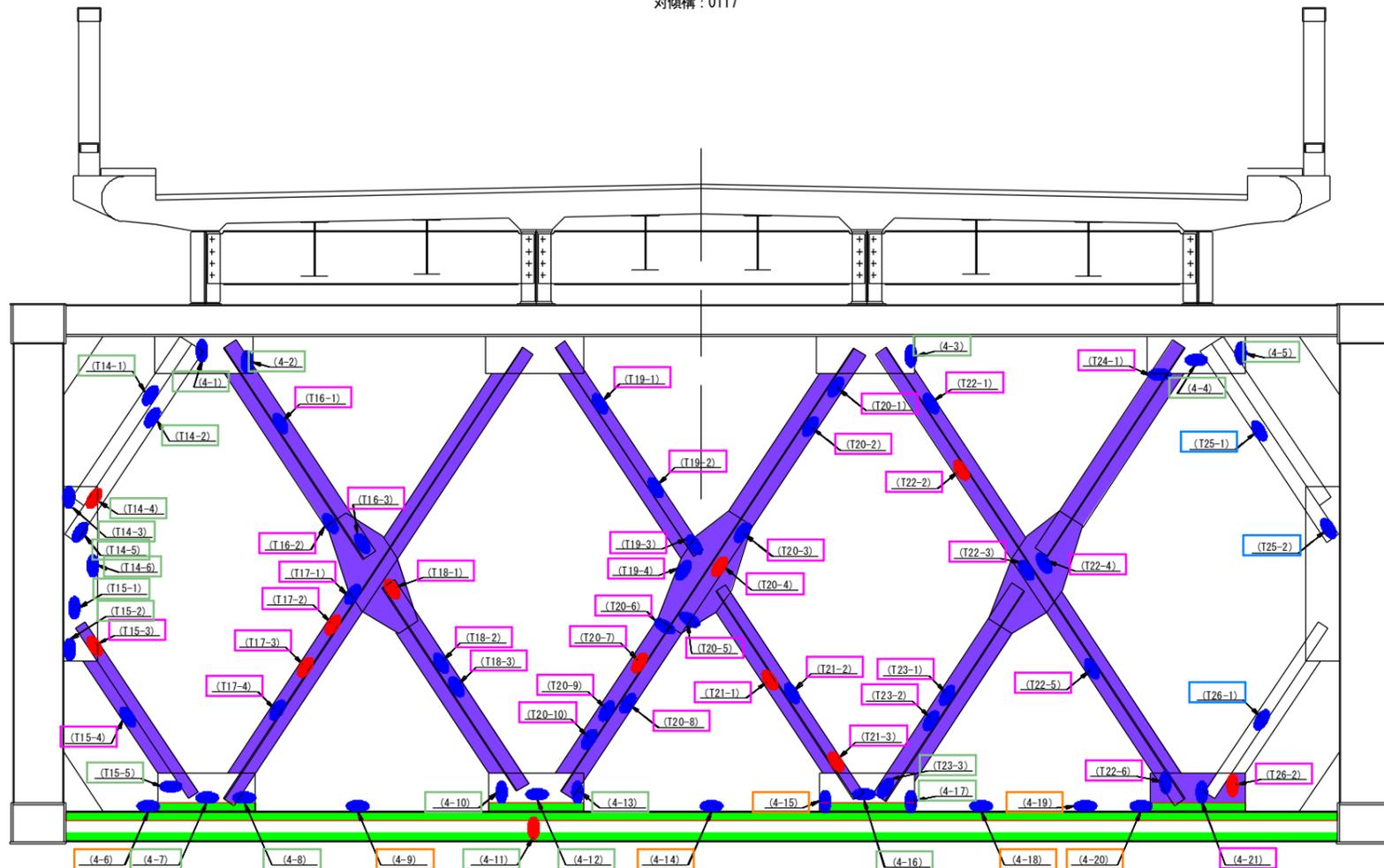
ブロック番号(39)

対傾構<終点側>

S=1:20

正面図(対傾構)

(終点側)
対傾構: 0117

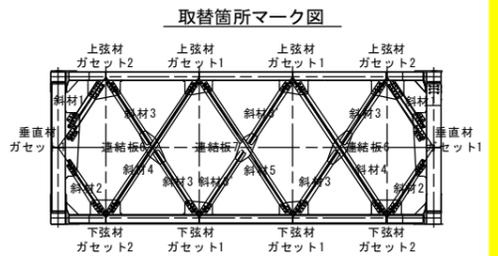


箇所	孔食 (有・無)	範囲	表地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	箇所	孔食 (有・無)	範囲	表地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(4-1)	無	80 x 80 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修	(T17-1)	無	60 x 60 x 3				
(4-2)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修	(T17-2)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(4-3)	無	150 x 100 x 3	0.015		0.10	金属パテ補修	(T17-3)	有	300 x 80 x 5				部材補修
(4-4)	無	60 x 60 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修	(T17-4)	無	150 x 90 x 4				
(4-5)	無	60 x 30 x 3	0.002		0.01	金属パテ補修	(T18-1)	有	300 x 200 x 5				部材補修
(4-6)	無	100 x 100 x 3	0.010	0.05		エポキシ樹脂パテ補修	(T18-2)	無	150 x 50 x 4				部材補修
(4-7)	無	150 x 60 x 3	0.009		0.06	金属パテ補修	(T18-3)	無	300 x 70 x 4				
(4-8)	無	100 x 70 x 3	0.007		0.05	金属パテ補修	(T19-1)	無	400 x 60 x 4				部材補修
(4-9)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修	(T19-2)	無	500 x 80 x 4				部材補修
(4-10)	無	80 x 80 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修	(T19-3)	無	70 x 30 x 3				
(4-11)	有	50 x 50 x 5	0.003		0.03	金属パテ補修	(T19-4)	無	80 x 50 x 3				部材補修
(4-12)	無	100 x 60 x 4	0.006		0.06	金属パテ補修	(T20-1)	無	50 x 50 x 4				部材補修
(4-13)	無	100 x 80 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修	(T20-2)	無	80 x 60 x 4				部材補修
(4-14)	無	500 x 70 x 4	0.035	0.24		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-3)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(4-15)	無	160 x 30 x 3	0.005	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-4)	有	100 x 70 x 5				部材補修
(4-16)	無	40 x 40 x 3	0.002		0.01	金属パテ補修	(T20-5)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(4-17)	無	100 x 40 x 4	0.004		0.04	金属パテ補修	(T20-6)	無	70 x 70 x 4				部材補修
(4-18)	無	100 x 50 x 4	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-7)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(4-19)	無	130 x 50 x 4	0.007	0.04		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-8)	無	100 x 60 x 3				部材補修
(4-20)	無	160 x 50 x 4	0.008	0.05		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-9)	無	50 x 30 x 4				部材補修
(4-21)	無	80 x 80 x 3				部材補修	(T20-10)	無	50 x 30 x 4				部材補修
(T14-1)	無	100 x 80 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修	(T21-1)	有	70 x 50 x 5				部材補修
(T14-2)	無	400 x 100 x 3	0.040		0.28	金属パテ補修	(T21-2)	無	200 x 70 x 4				部材補修
(T14-3)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修	(T21-3)	有	300 x 50 x 5				部材補修
(T14-4)	有	300 x 80 x 5	0.024		0.28	金属パテ補修	(T22-1)	無	150 x 60 x 4				部材補修
(T14-5)	無	120 x 70 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T22-2)	有	200 x 60 x 5				部材補修
(T14-6)	無	150 x 100 x 4	0.015		0.14	金属パテ補修	(T22-3)	無	100 x 30 x 3				部材補修
(T15-1)	無	200 x 150 x 3	0.030		0.21	金属パテ補修	(T22-4)	無	80 x 40 x 3				部材補修
(T15-2)	無	200 x 100 x 4	0.020		0.18	金属パテ補修	(T22-5)	無	150 x 80 x 3				部材補修
(T15-3)	有	120 x 70 x 5				部材補修	(T22-6)	無	100 x 100 x 4				部材補修
(T15-4)	無	100 x 60 x 4				部材補修	(T23-1)	無	90 x 80 x 3				部材補修
(T15-5)	無	80 x 40 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T23-2)	無	90 x 80 x 4				部材補修
(T16-1)	無	200 x 60 x 4				部材補修	(T23-3)	無	40 x 40 x 3	0.002		0.01	金属パテ補修
(T16-2)	無	60 x 60 x 3				部材補修	(T24-1)	無	60 x 60 x 4				部材補修
(T16-3)	無	200 x 200 x 4				部材補修	(T25-1)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
							(T25-2)	無	250 x 50 x 3	0.013			再塗装
							(T26-1)	無	50 x 50 x 3	0.003			再塗装
							(T26-2)	有	100 x 80 x 5				部材補修
小計			0.331	0.47	1.89								

- 補修工法凡例
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

取替箇所一覧表

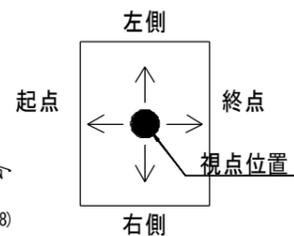
取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	1
斜材 3	4
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	0
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	0
下弦材 ガセット 2	1
垂直材 ガセット 1	0



<補修方針>

- 可能減肉率及び開値(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
- 孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
- 雨水排水箇所はエポキシパテ補修を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装とする。
- 損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

視点位置図



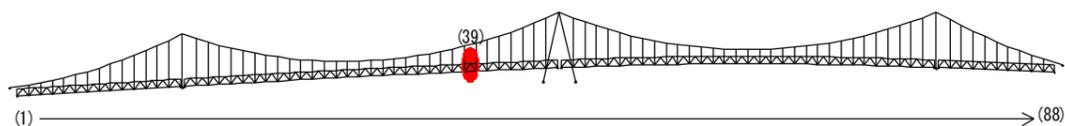
<補修方針>

- 可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水排水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した表地調整及び、再塗装を行う。
- 上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて明記する。

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修箇所	●

マーク図



工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門大島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(39) 対傾構(終点側)
縮尺	S=1:20 図面番号 61 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

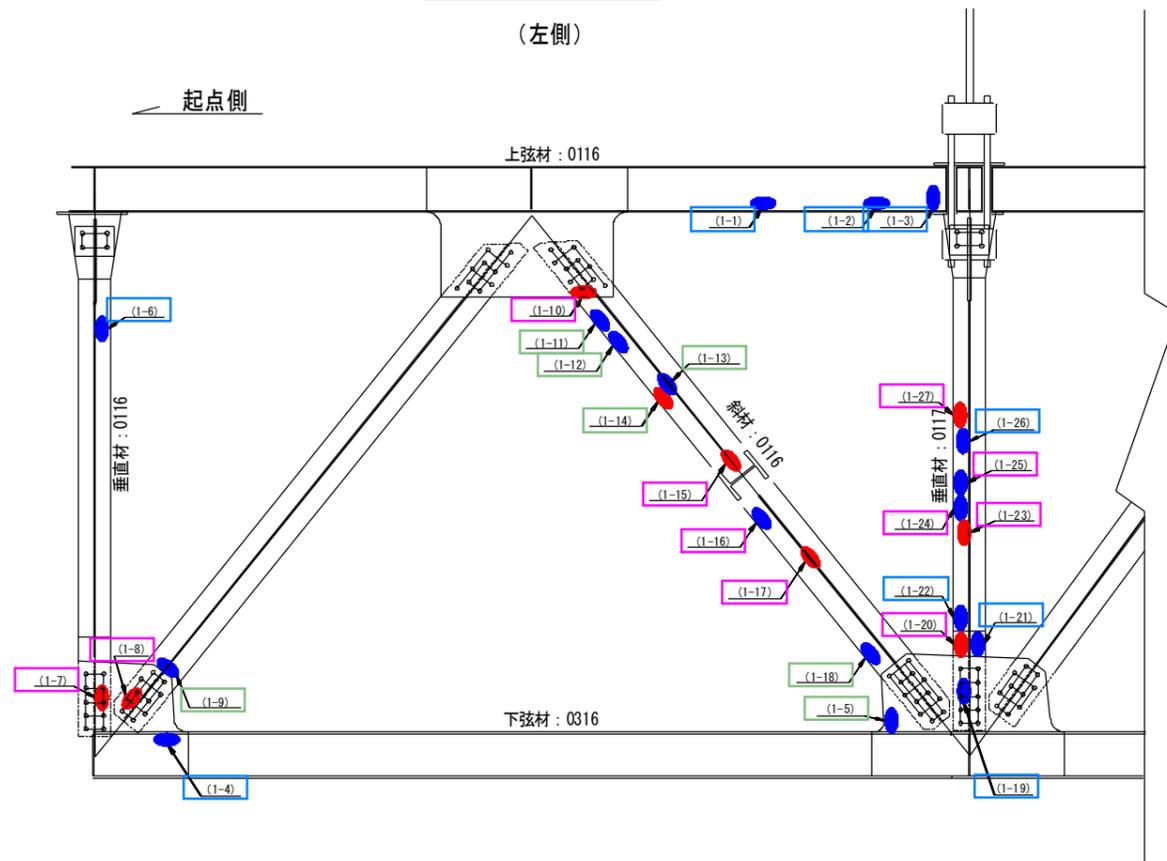
S=1:20

ブロック番号(39)

主構<弦材・斜材・垂直材>
左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	無	180 x 80 x 4	0.014			再塗装
(1-2)	無	700 x 100 x 3	0.070			再塗装
(1-3)	無	100 x 100 x 3	0.010			再塗装
(1-4)	無	450 x 200 x 2	0.090			再塗装
(1-5)	無	150 x 100 x 3	0.015		0.10	金属パテ補修
(1-6)	無	800 x 120 x 3	0.096			再塗装
(1-7)	有	80 x 70 x 5				部材補修
(1-8)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(1-9)	無	160 x 50 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修
(1-10)	有	100 x 50 x 5				部材補修
(1-11)	無	60 x 60 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修
(1-12)	無	60 x 60 x 3	0.004		0.02	金属パテ補修
(1-13)	無	100 x 50 x 4	0.005		0.05	金属パテ補修
(1-14)	有	120 x 30 x 5	0.004		0.04	金属パテ補修
(1-15)	有	350 x 150 x 5				部材補修
(1-16)	無	300 x 80 x 4				部材補修
(1-17)	有	200 x 160 x 5				部材補修
(1-18)	無	550 x 80 x 4	0.044		0.40	金属パテ補修
(1-19)	無	200 x 150 x 3	0.030			再塗装
(1-20)	有	100 x 100 x 5				部材補修
(1-21)	無	60 x 40 x 3	0.002			再塗装
(1-22)	無	140 x 50 x 4	0.007			再塗装
(1-23)	有	300 x 100 x 5				部材補修
(1-24)	無	80 x 80 x 4				部材補修
(1-25)	無	120 x 80 x 4				部材補修
(1-26)	無	100 x 80 x 4	0.008			再塗装
(1-27)	有	150 x 80 x 5				部材補修
小計			0.411	0.00	0.70	

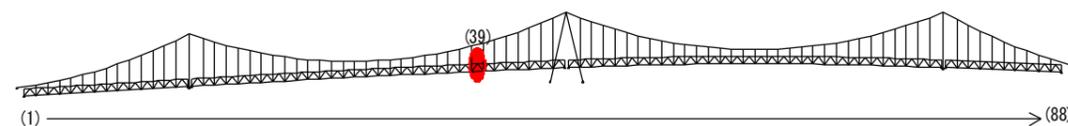
補修工法凡例

- (1-8) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (1-10) : 金属パテ補修箇所
- (1-15) : エポキシパテ補修箇所
- (1-1) : 再塗装箇所

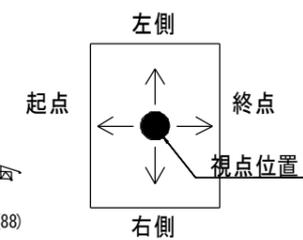
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(39) 主構(左側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	62 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

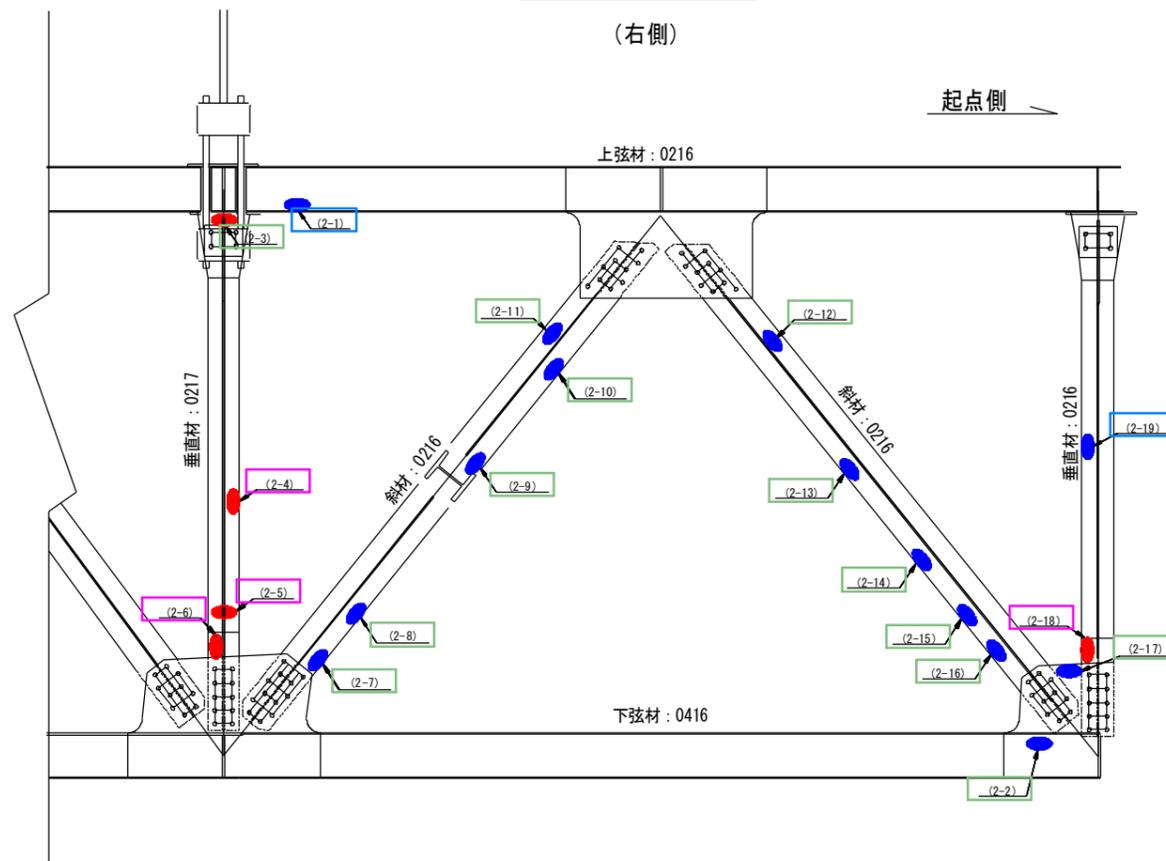
補修図

S=1:20

ブロック番号(39)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	200 x 40 x 4	0.008			再塗装
(2-2)	無	300 x 100 x 4	0.030		0.28	金属パテ補修
(2-3)	有	250 x 50 x 5	0.013		0.14	金属パテ補修
(2-4)	有	250 x 30 x 5				部材補修
(2-5)	有	50 x 50 x 5				部材補修
(2-6)	有	100 x 60 x 5				部材補修
(2-7)	無	300 x 80 x 4	0.024		0.22	金属パテ補修
(2-8)	無	250 x 80 x 3	0.020		0.14	金属パテ補修
(2-9)	無	250 x 80 x 4	0.020		0.18	金属パテ補修
(2-10)	無	90 x 30 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-11)	無	100 x 40 x 3	0.004		0.03	金属パテ補修
(2-12)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-13)	無	150 x 50 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修
(2-14)	無	120 x 50 x 4	0.006		0.06	金属パテ補修
(2-15)	無	100 x 30 x 4	0.003		0.03	金属パテ補修
(2-16)	無	110 x 30 x 4	0.003		0.03	金属パテ補修
(2-17)	無	250 x 200 x 4	0.050		0.46	金属パテ補修
(2-18)	有	80 x 70 x 5				部材補修
(2-19)	無	400 x 70 x 3	0.028			再塗装
小計			0.222	0.00	1.67	

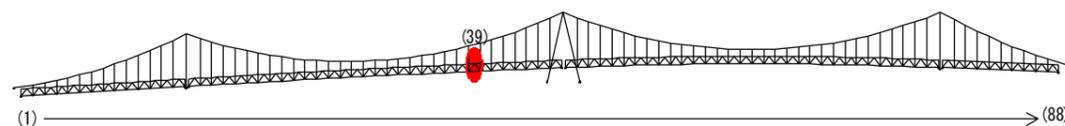
補修工法凡例

- : 補修(あて板, 取替)箇所
- : 金属パテ補修箇所
- : エポキシパテ補修箇所
- : 再塗装箇所

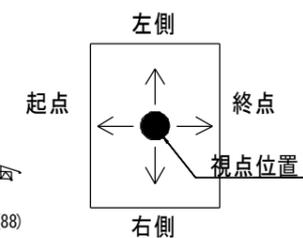
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候橋補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(39) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	63 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

ブロック番号(39)

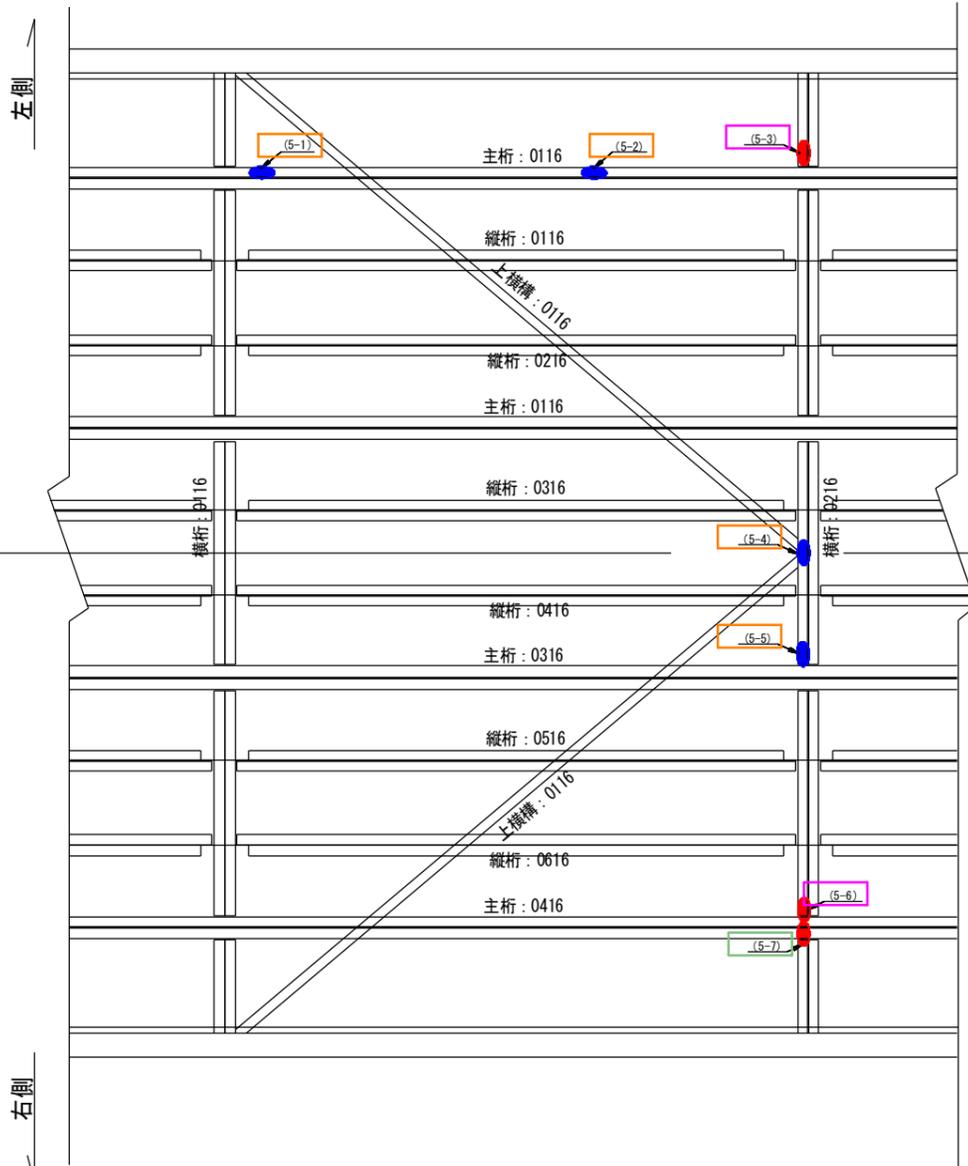
主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

起点側

平面図

終点側

(主桁・縦桁・横桁・上横構)



- 補修工法凡例**
- (5-1) : 補修(あて板, 取替)箇所
 - (5-20) : 金属パテ補修箇所
 - (5-3) : エポキシパテ補修箇所
 - (5-4) : 再塗装箇所

凡例

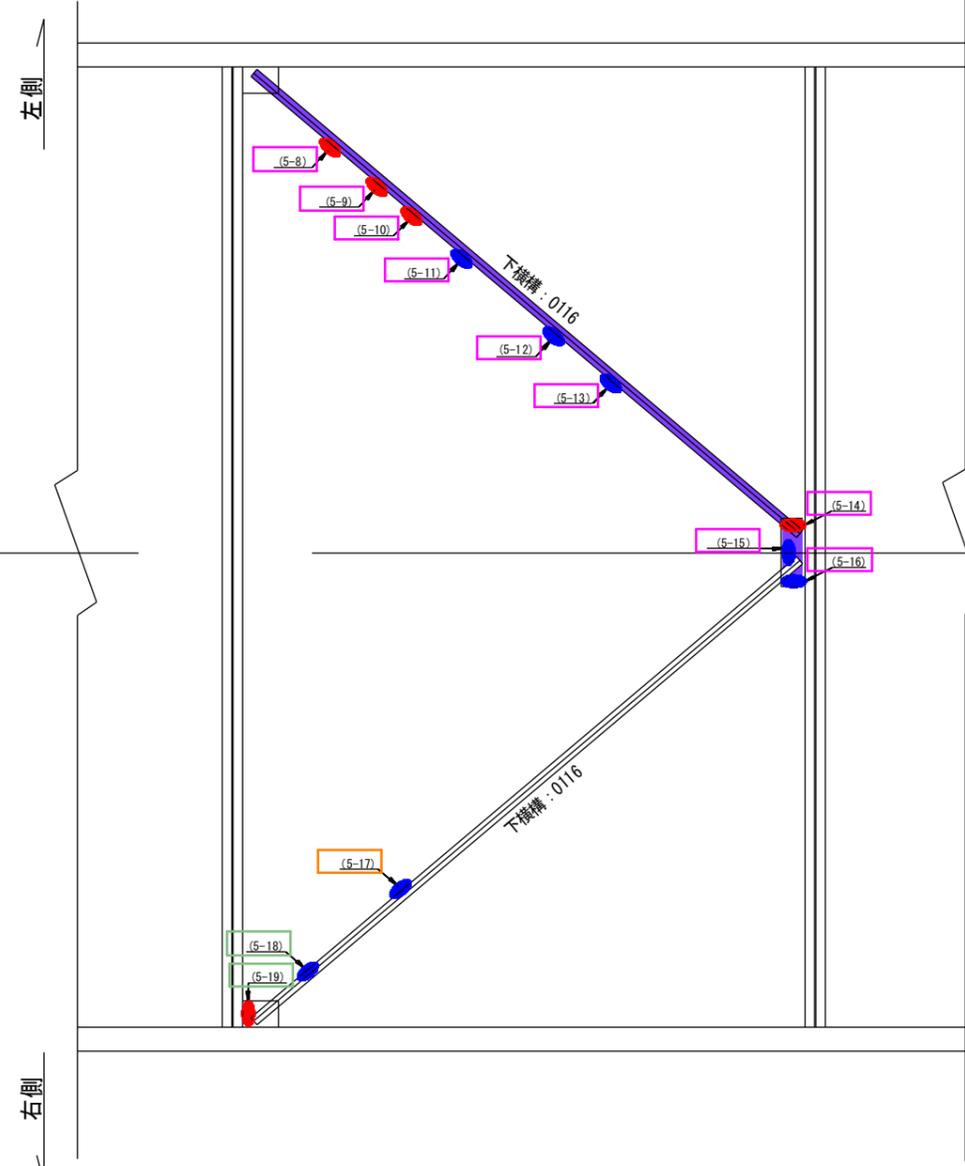
損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

起点側

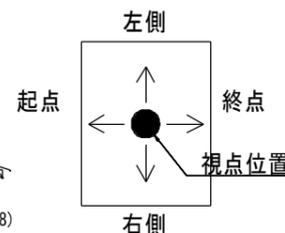
平面図

終点側

(下横構)



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(再塗装)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	無	200 x 70 x 3	0.014	0.07		エポキシ樹脂パテ補修
(5-2)	無	100 x 70 x 4	0.007	0.05		エポキシ樹脂パテ補修
(5-3)	有	100 x 70 x 5				部材補修
(5-4)	無	200 x 100 x 3	0.020	0.10		エポキシ樹脂パテ補修
(5-5)	無	200 x 70 x 3	0.014	0.07		エポキシ樹脂パテ補修
(5-6)	有	100 x 80 x 5				部材補修
(5-7)	有	80 x 60 x 5	0.005		0.06	金属パテ補修
(5-8)	有	450 x 80 x 5				部材補修
(5-9)	有	450 x 80 x 5				
(5-10)	有	80 x 50 x 5				
(5-11)	無	100 x 80 x 4				
(5-12)	無	100 x 50 x 3				部材補修
(5-13)	無	100 x 50 x 3				
(5-14)	有	100 x 100 x 5				
(5-15)	無	100 x 100 x 4				
(5-16)	無	100 x 100 x 4				エポキシ樹脂パテ補修
(5-17)	無	300 x 80 x 3	0.024	0.12		金属パテ補修
(5-18)	無	300 x 80 x 4	0.024		0.22	金属パテ補修
(5-19)	有	250 x 100 x 5	0.025		0.29	金属パテ補修
小計			0.133	0.41	0.56	

取替箇所一覧表

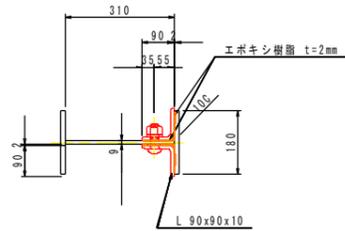
取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	1
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	0

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(39) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 64 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

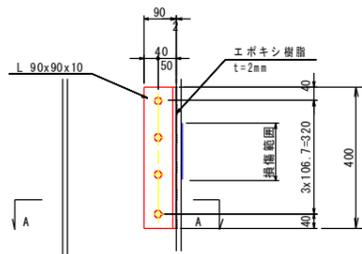
補修詳細図 S=1:10

ブロック番号(39) 主構(右側)

補修詳細
(2-4, 5(6))
断面図
A-A



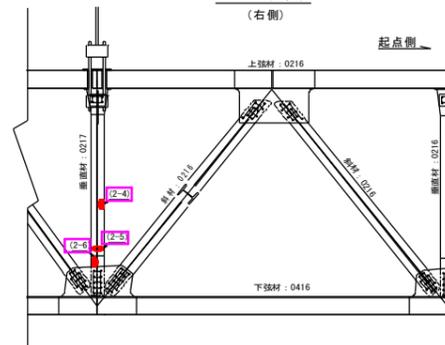
側面図



垂葺材補修数量(1箇所当たり) ※2箇所

鋼材数量	13 kg
ボルト数量	4 本
素地調整	0.193 m ²
孔明工	4 ヶ
不陸調整材	0.490 kg
現場塗装工	0.213 m ²
2-L 90x90x10x400	
4-TCB M22x70 (S10T)	

マーク図
(右側)



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

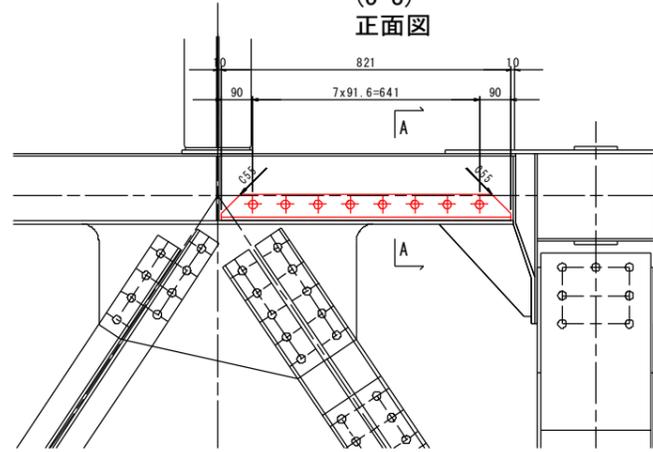
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・撫養大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(39) 主構(右側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	66 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

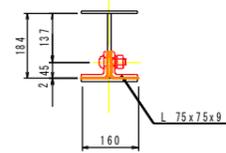
ブロック番号(39)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

補修詳細
(5-3)
正面図



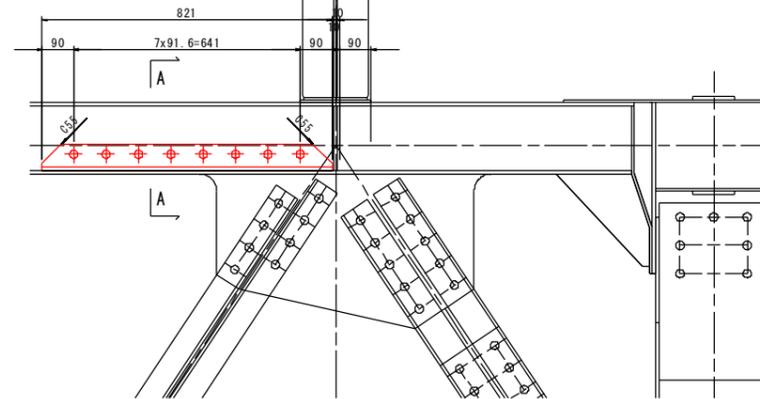
断面図
A - A



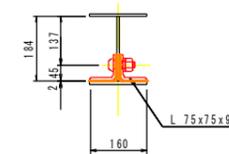
対傾構上弦材補修数量

鋼材数量	19 kg	素地調整	0.312 m ²
ボルト数量	8 本	孔明工	8 ヶ
		不陸調整材	0.866 kg
		現場塗装工	0.344 m ²
2-L 75x75x9x821			
8-TCB M20x65 (S10T)			

補修詳細
(5-6)
正面図

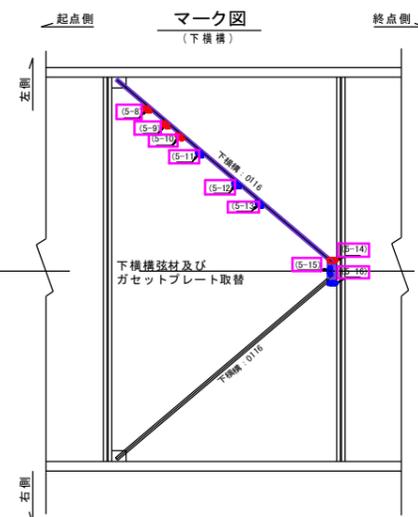
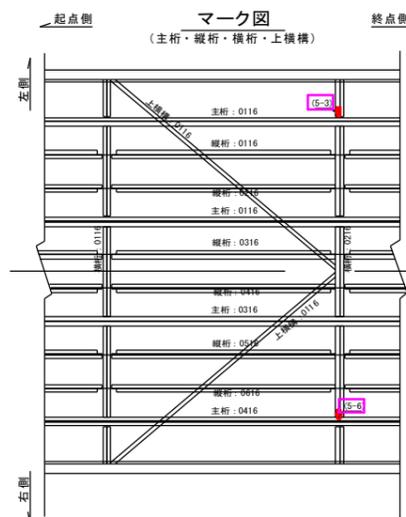


断面図
A - A



対傾構上弦材補修数量

鋼材数量	19 kg	素地調整	0.312 m ²
ボルト数量	8 本	孔明工	8 ヶ
		不陸調整材	0.866 kg
		現場塗装工	0.344 m ²
2-L 75x75x9x821			
8-TCB M20x65 (S10T)			



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
 - 4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(39) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材		
縮尺	S=1:10	図面番号	67 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

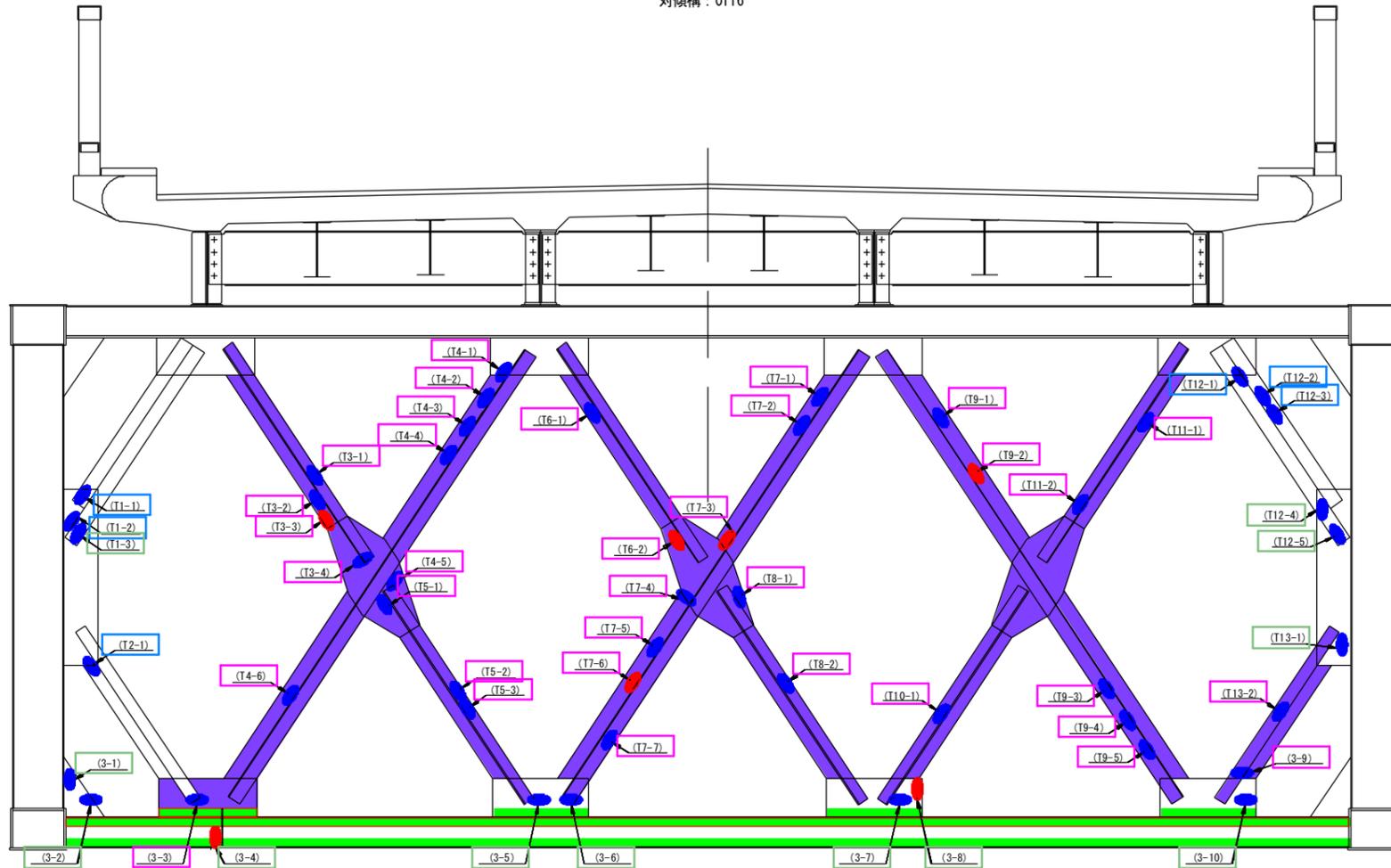
S=1:20

ブロック番号(40)

対傾構<起点側>

正面図(対傾構)

(起点側)
対傾構: 0116

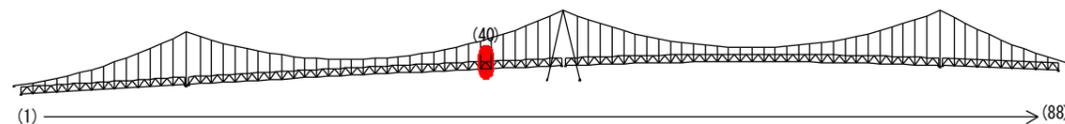


- 補修工法凡例**
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

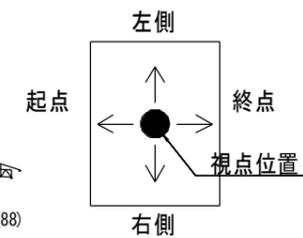
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



箇所	孔食 (有・無)	範囲	腐食調整・ 再塗装面積 (m2)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(3-1)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(3-2)	無	100 x 80 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修
(3-3)	無	80 x 70 x 4				部材補修
(3-4)	有	100 x 100 x 5	0.010		0.12	金属パテ補修
(3-5)	無	150 x 10 x 3	0.002		0.01	金属パテ補修
(3-6)	無	100 x 100 x 4	0.010		0.09	金属パテ補修
(3-7)	無	60 x 30 x 4	0.002		0.02	金属パテ補修
(3-8)	有	80 x 40 x 5	0.003		0.04	金属パテ補修
(3-9)	無	80 x 50 x 3				部材補修
(3-10)	無	80 x 80 x 3	0.006		0.04	金属パテ補修
(T1-1)	無	70 x 60 x 4	0.004			再塗装
(T1-2)	無	100 x 70 x 3	0.007			再塗装
(T1-3)	無	100 x 70 x 3	0.007		0.05	金属パテ補修
(T2-1)	無	60 x 60 x 3	0.004			再塗装
(T3-1)	無	120 x 100 x 4				部材補修
(T3-2)	有	100 x 70 x 5				部材補修
(T3-3)	無	250 x 60 x 4				部材補修
(T3-4)	無	180 x 150 x 4				部材補修
(T4-1)	無	70 x 40 x 3				部材補修
(T4-2)	無	70 x 40 x 4				部材補修
(T4-3)	無	70 x 30 x 4				部材補修
(T4-4)	無	70 x 40 x 4				部材補修
(T4-5)	無	100 x 50 x 4				部材補修
(T4-6)	無	200 x 80 x 3				部材補修
(T5-1)	無	150 x 80 x 3				部材補修
(T5-2)	無	100 x 50 x 3				部材補修
(T5-3)	無	200 x 50 x 4				部材補修
(T6-1)	無	250 x 70 x 4				部材補修
(T6-2)	有	450 x 80 x 5				部材補修
(T7-1)	無	300 x 60 x 3				部材補修
(T7-2)	無	180 x 70 x 4				部材補修
(T7-3)	有	200 x 70 x 5				部材補修
(T7-4)	無	70 x 70 x 4				部材補修
(T7-5)	無	70 x 40 x 4				部材補修
(T7-6)	有	200 x 80 x 5				部材補修
(T7-7)	無	200 x 70 x 4				部材補修
(T8-1)	無	150 x 50 x 3				部材補修
(T8-2)	無	150 x 80 x 3				部材補修
(T9-1)	無	200 x 70 x 4				部材補修
(T9-2)	有	450 x 80 x 5				部材補修
(T9-3)	無	250 x 80 x 4				部材補修
(T9-4)	無	100 x 80 x 4				部材補修
(T9-5)	無	70 x 40 x 3				部材補修
(T10-1)	無	300 x 80 x 4				部材補修
(T11-1)	無	180 x 70 x 4				部材補修
(T11-2)	無	100 x 70 x 4				部材補修
(T12-1)	無	100 x 80 x 3	0.008			再塗装
(T12-2)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
(T12-3)	無	100 x 50 x 3	0.005			再塗装
(T12-4)	無	100 x 70 x 4	0.007		0.06	金属パテ補修
(T12-5)	無	300 x 80 x 4	0.024		0.22	金属パテ補修
(T13-1)	無	250 x 60 x 4	0.015		0.14	金属パテ補修
(T13-2)	無	150 x 80 x 4				部材補修
小計			0.137	0.00	0.93	

(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜りカ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1橋土 鳴門公園線 鳴・徳島大島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(40) 対傾構<起点側>
縮尺	S=1:20 図面番号 68 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

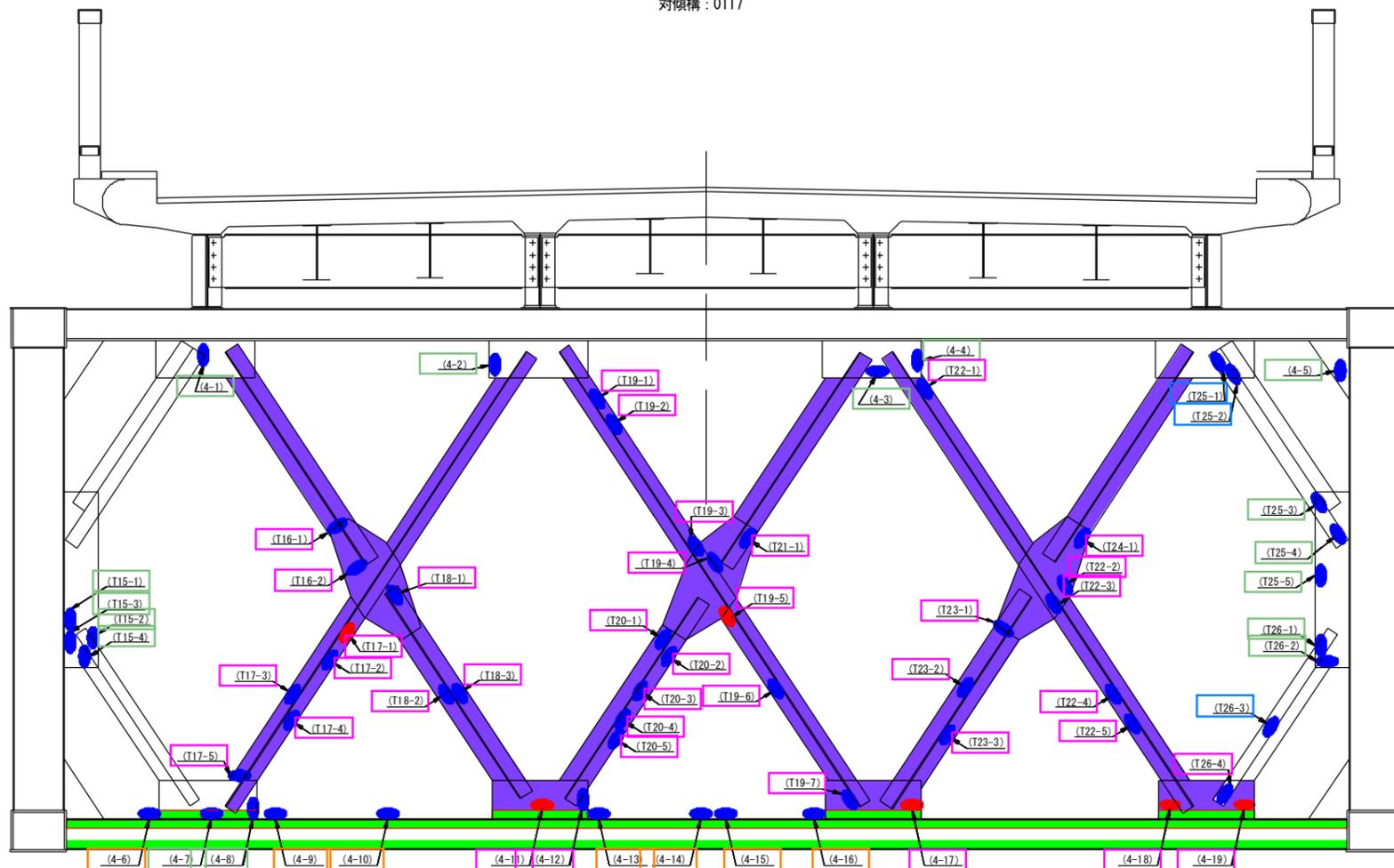
S=1:20

ブロック番号(40)

対傾構<終点側>

正面図(対傾構)

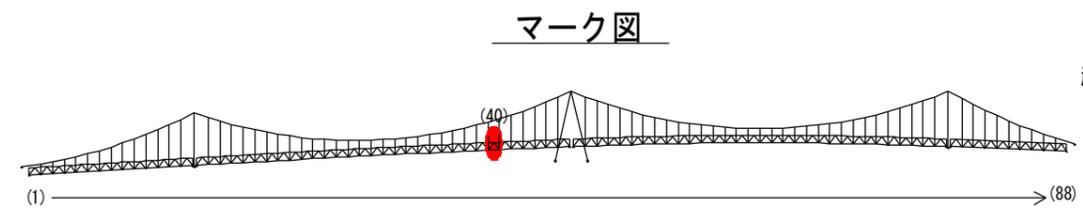
(終点側)
対傾構: 0117



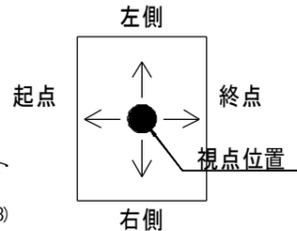
- 補修工法凡例**
- : 補修(あて板, 取替)箇所
 - : 金属パテ補修箇所
 - : エポキシパテ補修箇所
 - : 再塗装箇所

凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	



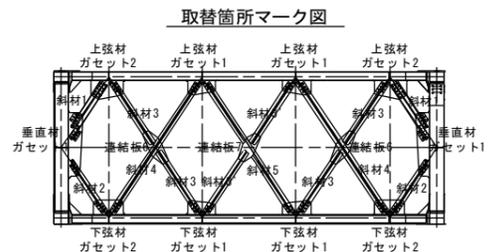
視点位置図



箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	箇所	孔食 (有・無)	範囲	素地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定	
(4-1)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修	(T18-1)	無	150 x 100 x 4				部材補修	
(4-2)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T18-2)	無	200 x 80 x 4					
(4-3)	無	150 x 50 x 3	0.008		0.05	金属パテ補修	(T18-3)	無	300 x 60 x 4					
(4-4)	無	200 x 100 x 4	0.020		0.18	金属パテ補修	(T19-1)	無	100 x 20 x 3				部材補修	
(4-5)	無	60 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T19-2)	無	400 x 60 x 4					
(4-6)	無	160 x 80 x 3	0.013	0.07		エポキシ樹脂パテ補修	(T19-3)	無	400 x 60 x 4					
(4-7)	無	200 x 70 x 3	0.014		0.10	金属パテ補修	(T19-4)	無	350 x 40 x 4				部材補修	
(4-8)	無	150 x 150 x 4	0.023		0.21	金属パテ補修	(T19-5)	有	70 x 30 x 5					
(4-9)	無	80 x 50 x 4	0.004	0.03		エポキシ樹脂パテ補修	(T19-6)	無	60 x 60 x 3					
(4-10)	無	100 x 80 x 3	0.008	0.04		エポキシ樹脂パテ補修	(T19-7)	無	150 x 60 x 4				部材補修	
(4-11)	有	180 x 60 x 5				部材補修	(T20-1)	無	180 x 20 x 3					
(4-12)	無	100 x 100 x 4				部材補修	(T20-2)	無	180 x 20 x 3					
(4-13)	無	160 x 50 x 3	0.008	0.04		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-3)	無	100 x 70 x 4				部材補修	
(4-14)	無	80 x 50 x 3	0.004	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-4)	無	100 x 50 x 4					
(4-15)	無	80 x 50 x 3	0.004	0.02		エポキシ樹脂パテ補修	(T20-5)	無	100 x 50 x 3					
(4-16)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修	(T21-1)	無	70 x 40 x 4				部材補修	
(4-17)	有	120 x 50 x 5				部材補修	(T22-1)	無	400 x 50 x 3					
(4-18)	有	150 x 150 x 5				部材補修	(T22-2)	無	100 x 30 x 3					
(4-19)	有	150 x 80 x 5				部材補修	(T22-3)	無	100 x 80 x 3				部材補修	
(T15-1)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T22-4)	無	100 x 50 x 3					
(T15-2)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T22-5)	無	80 x 80 x 3					
(T15-3)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T23-1)	無	70 x 60 x 3				部材補修	
(T15-4)	無	100 x 80 x 3	0.008		0.06	金属パテ補修	(T23-2)	無	60 x 60 x 3					
(T16-1)	無	70 x 30 x 3				部材補修	(T23-3)	無	100 x 60 x 3					
(T16-2)	無	100 x 100 x 4				部材補修	(T24-1)	無	100 x 20 x 4				部材補修	
(T17-1)	有	300 x 60 x 5				部材補修	(T25-1)	無	50 x 50 x 3	0.003				再塗装
(T17-2)	無	60 x 60 x 3				部材補修	(T25-2)	無	50 x 50 x 3	0.003				再塗装
(T17-3)	無	70 x 50 x 3				部材補修	(T25-3)	無	50 x 50 x 4	0.003	0.02		金属パテ補修	
(T17-4)	無	100 x 60 x 3				部材補修	(T25-4)	無	100 x 80 x 4	0.008	0.07		金属パテ補修	
(T17-5)	無	60 x 30 x 3				部材補修	(T25-5)	無	300 x 30 x 4	0.009	0.08		金属パテ補修	
(T26-1)	無	50 x 50 x 4	0.003		0.02	金属パテ補修	(T26-1)	無	50 x 50 x 4	0.003		0.02	金属パテ補修	
(T26-2)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	(T26-2)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修	
(T26-3)	無	120 x 30 x 3	0.004			再塗装	(T26-3)	無	120 x 30 x 3	0.004			再塗装	
(T26-4)	無	250 x 50 x 4				部材補修	(T26-4)	無	250 x 50 x 4				部材補修	
小計										0.185	0.24	1.05		

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
斜材 1	0
斜材 2	0
斜材 3	4
斜材 3'	2
斜材 4	2
斜材 5	1
連結板 6	2
連結板 7	1
上弦材 ガセット 1	0
上弦材 ガセット 2	0
下弦材 ガセット 1	2
下弦材 ガセット 2	1
垂直材 ガセット 1	0



- <補修方針>**
- ・可能減肉率及び開値(減肉率10%)以上の損傷は部材補修を行う。
 - ・孔食箇所及び応力集中箇所は金属パテ補修を行う。
 - ・雨水排水箇所はエポキシパテ補修を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装とする。
 - ・損傷状況に応じて適宜対策工法を変更すること。

- <補修方針>**
- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
 - ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水漏水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
 - ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
 - ・対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い順にまとめて表記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴門橋大島島 橋脚補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(40) 対傾構<終点側>
縮尺	S=1:20 図面番号 69 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修図

S=1:20

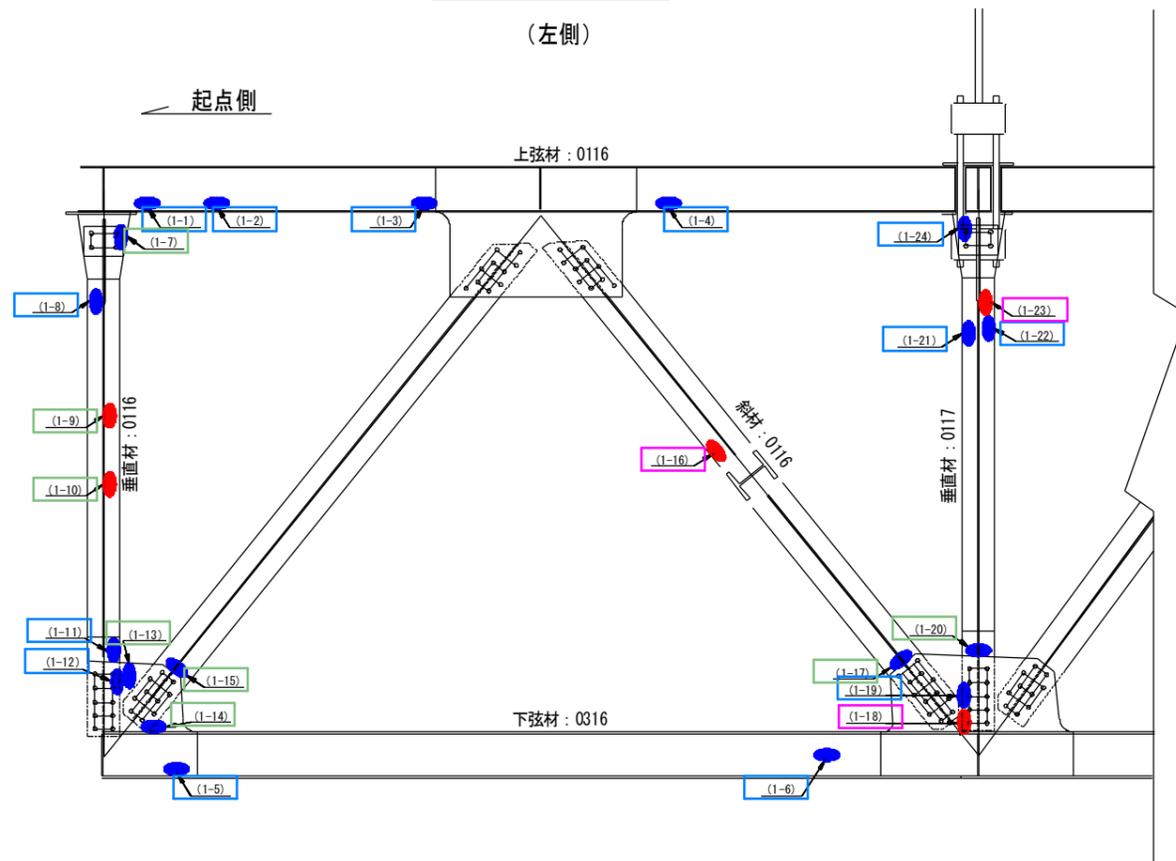
ブロック番号(40)

主構<弦材・斜材・垂直材>

左側

側面図(主構)

(左側)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	基地面 再塗装面積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(1-1)	無	100 x 50 x 4	0.005			再塗装
(1-2)	無	300 x 50 x 3	0.015			再塗装
(1-3)	無	150 x 50 x 4	0.008			再塗装
(1-4)	無	450 x 50 x 3	0.023			再塗装
(1-5)	無	300 x 200 x 3	0.060			再塗装
(1-6)	無	400 x 20 x 3	0.008			再塗装
(1-7)	無	300 x 100 x 4	0.030		0.28	金属パテ補修
(1-8)	無	100 x 100 x 3	0.010			再塗装
(1-9)	有	150 x 90 x 5	0.014		0.16	金属パテ補修
(1-10)	有	80 x 40 x 5	0.003		0.04	金属パテ補修
(1-11)	無	60 x 40 x 3	0.002			再塗装
(1-12)	無	80 x 80 x 3	0.006			再塗装
(1-13)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
(1-14)	無	120 x 120 x 3	0.014		0.10	金属パテ補修
(1-15)	無	140 x 50 x 4	0.007		0.06	金属パテ補修
(1-16)	有	120 x 50 x 5				部材補修
(1-17)	無	100 x 20 x 4	0.002		0.02	金属パテ補修
(1-18)	有	300 x 200 x 5				部材補修
(1-19)	無	100 x 60 x 4	0.006			再塗装
(1-20)	無	150 x 80 x 3	0.012		0.08	金属パテ補修
(1-21)	無	100 x 70 x 3	0.007			再塗装
(1-22)	無	150 x 80 x 4	0.012			再塗装
(1-23)	有	60 x 60 x 5				部材補修
(1-24)	無	100 x 80 x 4	0.008			再塗装
小計			0.262	0.00	0.80	

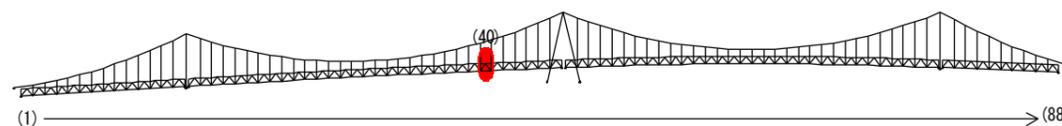
補修工法凡例

- (1-16) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (1-9) : 金属パテ補修箇所
- (1-18) : エポキシパテ補修箇所
- (1-1) : 再塗装箇所

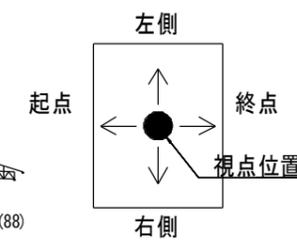
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形+再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対横構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋脚補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(40) 主構(左側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	70 / 74
会社名			
事業者名	徳島県 東部 県土整備局		

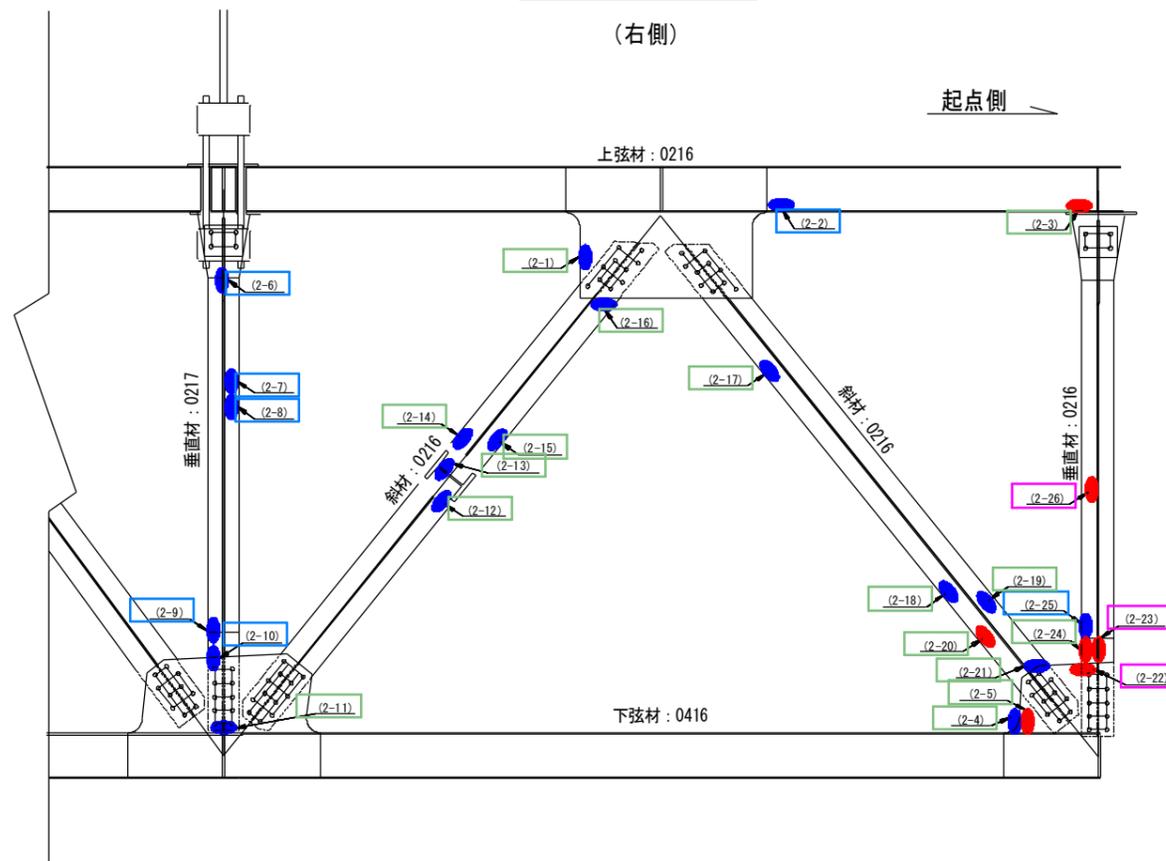
補修図

S=1:20

ブロック番号(40)

主構<弦材・斜材・垂直材>
右側

側面図(主構)



箇所	孔食 (有・無)	範囲	表地調整・ 再塗装面積 (m ²)	エポキシパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(2-1)	無	100 x 50 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(2-2)	無	250 x 50 x 4	0.013			再塗装
(2-3)	有	200 x 100 x 5	0.020		0.23	金属パテ補修
(2-4)	無	120 x 7 x 3	0.001		0.01	金属パテ補修
(2-5)	有	80 x 50 x 5	0.004		0.05	金属パテ補修
(2-6)	無	100 x 80 x 3	0.008			再塗装
(2-7)	無	60 x 60 x 3	0.004			再塗装
(2-8)	無	60 x 50 x 4	0.003			再塗装
(2-9)	無	100 x 30 x 3	0.003			再塗装
(2-10)	無	100 x 30 x 4	0.003			再塗装
(2-11)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-12)	無	60 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-13)	無	60 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-14)	無	50 x 50 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-15)	無	100 x 30 x 4	0.003		0.03	金属パテ補修
(2-16)	無	100 x 30 x 3	0.003		0.02	金属パテ補修
(2-17)	無	100 x 80 x 4	0.008		0.07	金属パテ補修
(2-18)	無	80 x 50 x 4	0.004		0.04	金属パテ補修
(2-19)	無	80 x 60 x 3	0.005		0.03	金属パテ補修
(2-20)	有	70 x 50 x 5	0.004		0.04	金属パテ補修
(2-21)	無	80 x 40 x 4	0.003		0.03	金属パテ補修
(2-22)	有	100 x 60 x 5				部材補修
(2-23)	有	50 x 50 x 5				部材補修
(2-24)	有	150 x 100 x 5	0.015		0.17	金属パテ補修
(2-25)	無	70 x 50 x 3	0.004			再塗装
(2-26)	有	300 x 150 x 5				部材補修
小計			0.122	0.00	0.83	

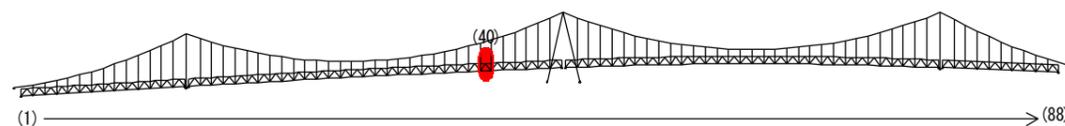
補修工法凡例

- (2-22) : 補修(あて板, 取替)箇所
- (2-1) : 金属パテ補修箇所
- (2-24) : エポキシパテ補修箇所
- (2-2) : 再塗装箇所

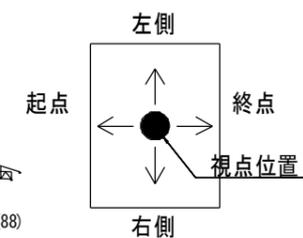
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	
腐食(腐食による孔有り)	
あて板補修済み箇所	

マーク図



視点位置図



(補修方針)

- ・可能減肉率以上の損傷は部材補修を行う。
- ・可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水溜水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
- ・上記に満たない損傷は再塗装(対策済)とする。
- ・対候構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

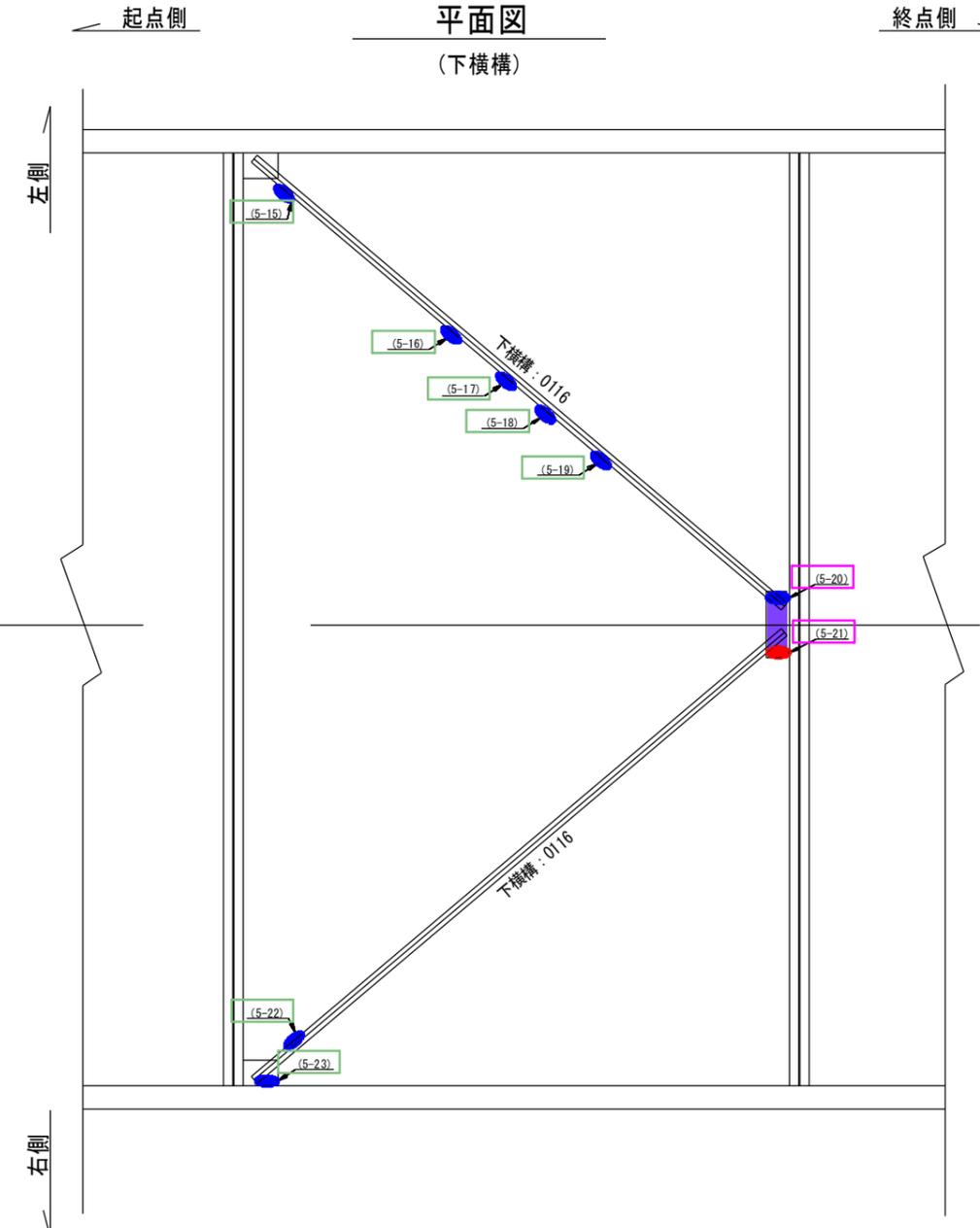
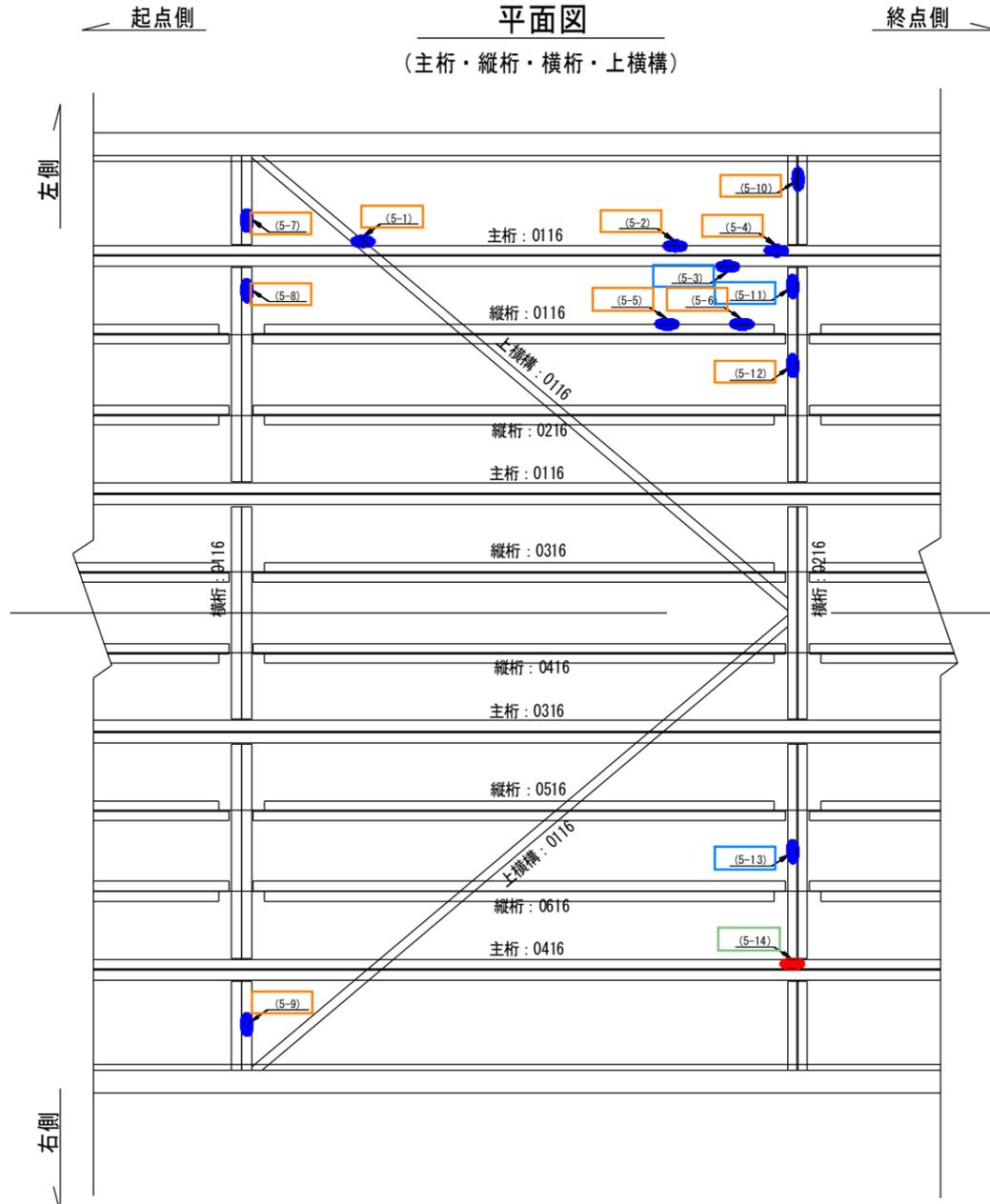
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)		
図面名	補修図 ブロック番号(40) 主構(右側)		
縮尺	S=1:20	図面番号	71 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修図

S=1:20

ブロック番号(40)

主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

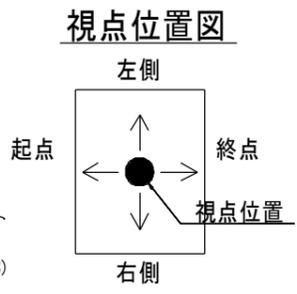
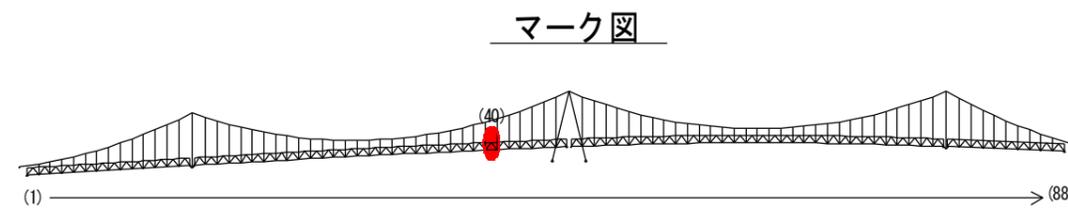


箇所	孔食 (有・無)	範囲	差 再 青 地 積 積 (m ²)	エポパテ (kg)	金属パテ (kg)	総合判定
(5-1)	無	100 x 50 x 3	0.005	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(5-2)	無	200 x 60 x 3	0.012	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(5-3)	無	1800 x 20 x 3	0.036			再塗装
(5-4)	無	200 x 100 x 3	0.020	0.10		エポキシ樹脂パテ補修
(5-5)	無	300 x 60 x 2	0.018	0.06		エポキシ樹脂パテ補修
(5-6)	無	450 x 60 x 2	0.027	0.09		エポキシ樹脂パテ補修
(5-7)	無	200 x 70 x 3	0.014	0.07		エポキシ樹脂パテ補修
(5-8)	無	100 x 60 x 3	0.006	0.03		エポキシ樹脂パテ補修
(5-9)	無	300 x 70 x 4	0.021	0.14		エポキシ樹脂パテ補修
(5-10)	無	100 x 100 x 3	0.010	0.05		エポキシ樹脂パテ補修
(5-11)	無	80 x 40 x 3	0.003			再塗装
(5-12)	無	150 x 70 x 2	0.011	0.04		エポキシ樹脂パテ補修
(5-13)	無	300 x 70 x 3	0.021	0.11		エポキシ樹脂パテ補修
(5-14)	有	100 x 60 x 5	0.006		0.07	金属パテ補修
(5-15)	無	300 x 150 x 2	0.045		0.21	金属パテ補修
(5-16)	無	450 x 80 x 4	0.036		0.33	
(5-17)	無	100 x 30 x 4	0.003		0.03	
(5-18)	無	100 x 30 x 4	0.003		0.03	
(5-19)	無	500 x 30 x 4	0.015		0.14	部材補修
(5-20)	無	100 x 100 x 4				
(5-21)	有	100 x 100 x 5				金属パテ補修
(5-22)	無	300 x 100 x 3	0.030		0.21	
(5-23)	無	100 x 100 x 3	0.010		0.07	金属パテ補修
小計			0.352	0.78	1.08	

- 補修工法凡例**
- 補修(あて板, 取替)箇所
 - 金属パテ補修箇所
 - エポキシパテ補修箇所
 - 再塗装箇所

取替箇所一覧表

取替部材	箇所
上横構 弦材	0
上横構 ガセット(対傾構上弦材)	0
上横構 ガセット(主構上弦材)	0
下横構 弦材	0
下横構 ガセット(対傾構下弦材)	1
下横構 ガセット(主構下弦材)	0



- (補修方針)**
- 可能減肉率以上の損傷は部材補強を行う。
 - 可能減肉率以上の損傷は孔食カ所及び、雨水滞水カ所はパテ整形・再塗装を行う。この時、健全部に30mm程度余裕代を確保した素地調整及び、再塗装を行う。
 - 上記に満たない損傷は再塗装(再塗装)とする。
 - 対傾構補修において起点側と終点側に補修カ所がある場合はブロック番号の若い側にまとめて明記する。

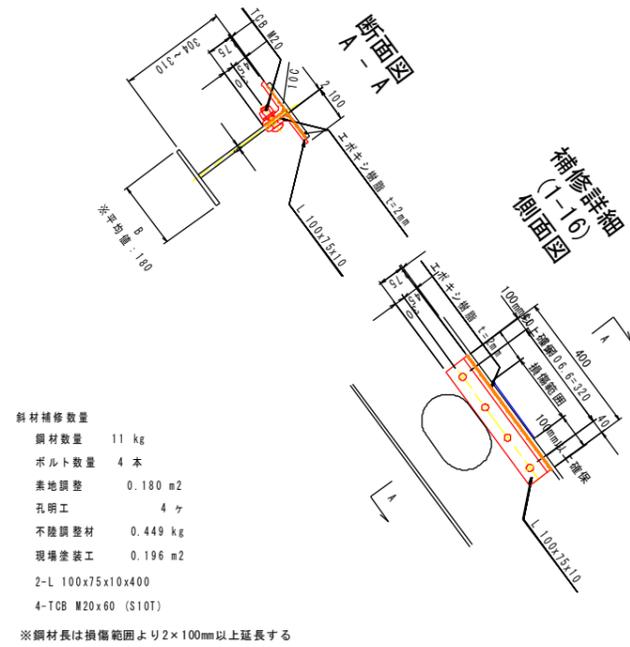
凡例

損傷の種類	表示
腐食(断面減少)	●
腐食(腐食による孔有り)	●
あて板補修済み箇所	●

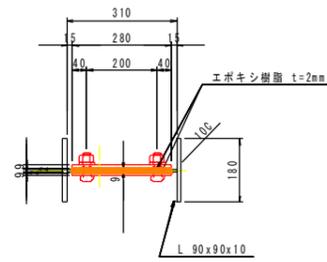
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳島大島島 橋梁補修工事
路線名等	鳴門公園線
工事箇所	鳴門市撫養町大島島(小鳴門橋)
図面名	補修図 ブロック番号(40) 主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材
縮尺	S=1:20 図面番号 72 / 74
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局

補修詳細図 S=1:10

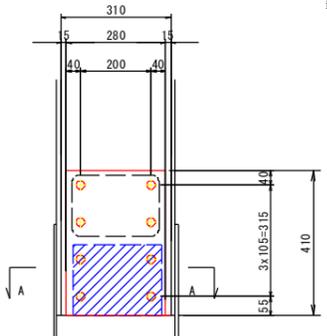
ブロック番号(40) 主構(左側)



補修詳細
(1-18)
断面図
A-A

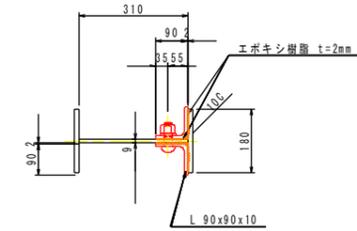


側面図

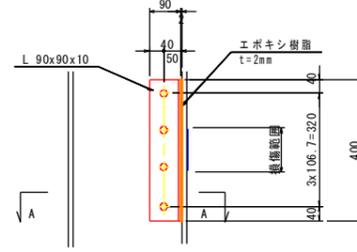


垂直材補修数量
鋼材数量 20 kg
ボルト数量 8 本
素地調整 0.291 m²
孔明工 8 ヶ
不陸調整材 0.781 kg
現場塗装工 0.331 m²
2-PL 410x9x280 (SS400)
8-TCB M22x70 (S10T)
※ウェブあて板において、トルシアボルトは健全部に4本以上定着する

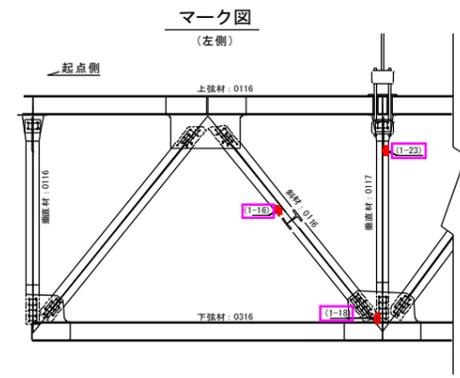
補修詳細
(1-23)
断面図
A-A



側面図



垂直材補修数量
鋼材数量 13 kg
ボルト数量 4 本
素地調整 0.193 m²
孔明工 4 ヶ
不陸調整材 0.490 kg
現場塗装工 0.213 m²
2-L 90x90x10x400
4-TCB M22x70 (S10T)



注記
1) 特記なき材料は全てSS400とする。
2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5 (M22)、φ22.5 (M20)とする。
3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5 (M22)、φ24.5 (M20)とする。
4) 現地確認作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

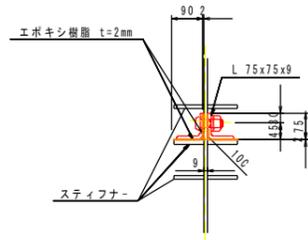
工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(40) 主構(左側)		
縮尺	S=1:10	図面番号	73 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		

補修詳細図 S=1:10

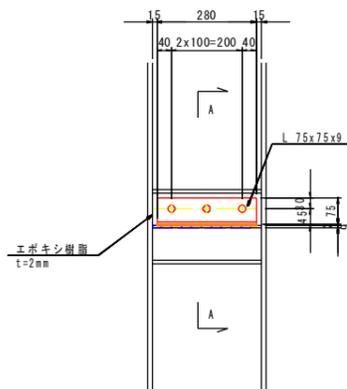
ブロック番号(40)

主構(右側)・主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材

補修詳細
(2-26)
断面図
A-A

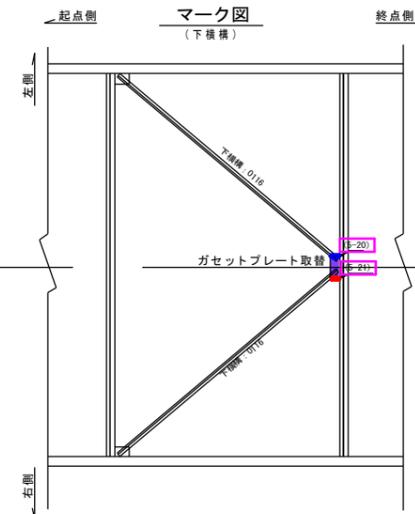
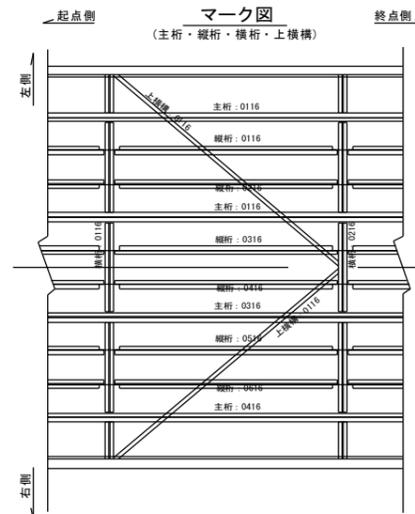
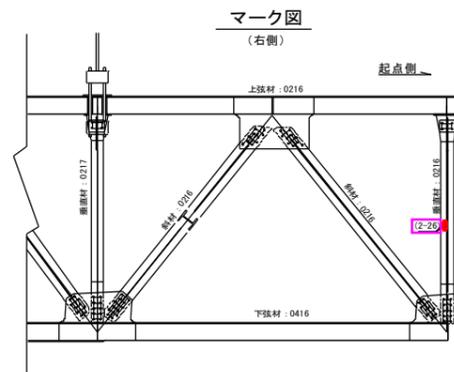


側面図



垂直材補修数量

- 鋼材数量 7 kg
- ボルト数量 3 本
- 素地調整 0.121 m²
- 孔明工 3ヶ
- 不陸調整材 0.286 kg
- 現場塗装工 0.133 m²
- 2-L 75x75x9x280
- 3-TGB M20x65 (S10T)



- 注記
- 1) 特記なき材料は全てSS400とする。
 - 2) 新規製作部材の高力ボルト孔は、φ24.5(M22)、φ22.5(M20)とする。
 - 3) 既設部材の高力ボルト孔(現場施工)は、φ26.5(M22)、φ24.5(M20)とする。
 - 4) 現地調査作業を行い、損傷状況に合わせて適宜形状変更を行うこと。

工事名	R1徳土 鳴門公園線 鳴・徳大島島 橋梁補修工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市撫養町大島島 (小鳴門橋)		
図面名	補修詳細図 ブロック番号(40) 主構(右側)・主桁・縦桁・横桁・横構・主構上弦材・対傾構上弦材		
縮尺	S=1:10	図面番号	74 / 74
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局		